

第 10 回男女平等参画基礎調査報告書

令和7年3月

名古屋市

はじめに

名古屋市では、市民の誰もが性別にかかわらず、安心して豊かに暮らせる社会をめざして、令和3（2021）年3月に「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」を策定しました。

今回の第10回男女平等参画基礎調査は、現在の計画が令和7（2025）年度に終了することを受け、市民の男女平等に関する意識や生活実態などの経年変化を総合的に捉え、新たな計画策定の貴重な基礎資料とするとともに、社会の実態を市民の皆さまへ情報発信するため実施いたしました。

この調査結果を踏まえ、新たな計画を策定し、市民の誰もがお互いの人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現をめざし、男女平等参画に関する施策を推進してまいります。

最後になりましたが、お忙しい中この調査にご協力いただきました市民の皆さま並びに調査の分析と報告書の執筆にご尽力くださいました名古屋市男女平等参画審議会基礎調査部会の委員の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

令和7年3月

名古屋市スポーツ市民局

目 次

第Ⅰ部 第10回名古屋市男女平等参画基礎調査の目的・対象及び課題	1
第1章 本調査の目的	2
1 名古屋市男女平等参画基礎調査の経緯	2
2 第10回調査の課題と分析視角	3
第2章 本調査の方法	6
1 調査票の構成	6
2 調査対象者と標本規模、抽出の方法	9
3 調査方法と回収率	10
4 標本特性と分析手法	11
5 調査結果の表示方法	12
第3章 本調査の回答者の属性	14
1 個人的属性	14
2 家族的属性	17
第Ⅱ部 各領域における意識と実態	21
第1章 男女平等意識や家族等における意識と実態	22
1 男女の地位の平等感	22
2 性別役割分担意識	40
3 結婚後の姓の考え方	44
第2章 地域における意識と実態	46
1 地域での活動への参加経験	46
2 地域における方針決定過程への女性の参画	52
3 災害時の避難所運営	54
第3章 労働における意識と実態	56
1 仕事や家事などに要する時間	56
2 家事・子育て・介護の役割分担	63
3 男性の育児休業の取得	65

第4章 人権に関わる意識と実態	70
1 あらゆる暴力の被害経験	70
2 言葉の認知度	83
第5章 行政課題	91
1 男女平等参画の推進	91
第Ⅲ部 調査結果から見えてきた課題	95
第1章 各領域における課題	96
1 男女平等意識や家族	96
2 地域	97
3 労働	98
4 人権	101
5 行政	103
第2章 全体を通じたまとめ	104
第Ⅳ部 資料	107

<本調査の実施方法及び報告書執筆分担>

本調査は、名古屋市長の附属機関である名古屋市男女平等参画審議会（会長 風間 孝）に基礎調査部会を設置して調査票の検討及び結果の分析を行った。なお、本報告書については、基礎調査部会構成委員で以下のとおり分担して執筆した（五十音順、敬称略）。

新井 美佐子（名古屋大学大学院人文学研究科准教授）

第Ⅱ部第1章

第Ⅲ部第1章 1

風間 孝（中京大学教養教育研究院教授）

第Ⅱ部第4章 2（4）以降

第Ⅱ部第5章

第Ⅲ部第1章 4（4）、（5）第2段落、5

第Ⅲ部第2章

桑島 薫（名城大学経営学部教授）

第Ⅱ部第4章 1、2（1）～（3）

第Ⅲ部第1章 4冒頭、（1）～（3）、（5）第1段落

菅原 真（南山大学法学部教授）

第Ⅱ部第2章

第Ⅲ部第1章 2

野崎 祐子（椙山女学園大学現代マネジメント学部教授）

第Ⅰ部第1～3章

第Ⅱ部第3章

第Ⅲ部第1章 3

第Ⅰ部
第10回名古屋市
男女平等参画基礎調査の
目的・対象及び課題

第1章 本調査の目的

1 名古屋市男女平等参画基礎調査の経緯

この基礎調査は昭和 57（1982）年度に開始され、昭和 60（1985）年度以降は概ね 5 年ごとに継続されてきた。令和 6（2024）年度に実施された今回の調査が第 10 回となる。第 9 回までの調査結果は、既に報告書として刊行されている（表 1-1）。なお、この基礎調査は、第 6 回以降、「男女平等参画推進なごや条例」（平成 14（2002）年公布）の第 19 条「市は、平等参画の推進に関し、必要な調査研究を定期的に行うとともに、情報及び資料を収集し、市民へ提供しなければならない」という根拠のもとに実施されている。

表 1-1 基礎調査実施年度とその報告書

	実施年度	報告書名（刊行年月）
第 1 回	昭和 57（1982）年度	『200 万市民を支える名古屋の女性たち－その意識と生活の実態』 （昭和 58 年 3 月刊）
第 2 回	昭和 60（1985）年度	『名古屋市の女性の意識と生活実態－「国連婦人の 10 年」の最終年に－』 （昭和 61 年 3 月刊）
第 3 回	平成 2（1990）年度	『女性問題基礎調査報告書－その意識と生活の実態－』 （平成 3 年 3 月刊）
第 4 回	平成 7（1995）年度	『第 4 回女性問題基礎調査報告書 男女市民－その生活と意識』 （平成 8 年 3 月刊）
第 5 回	平成 12（2000）年度	『第 5 回男女共同参画基礎調査報告書 名古屋市民の生活と意識－ 21 世紀を迎えて』（平成 13 年 3 月刊）
第 6 回	平成 17（2005）年度	『第 6 回男女平等参画基礎調査報告書』（平成 18 年 3 月刊）
第 7 回	平成 22（2010）年度	『第 7 回男女平等参画基礎調査報告書』（平成 23 年 3 月刊）
第 8 回	平成 26（2014）年度	『第 8 回男女平等参画基礎調査報告書』（平成 27 年 3 月刊）
第 9 回	令和元（2019）年度	『第 9 回男女平等参画基礎調査報告書』（令和 2 年 3 月刊）

調査対象者と調査方法の推移は表 1-2 に示すとおりである。第 1 回調査は女性のみを対象とする調査であったが、第 2 回以降は男女を対象としている。また、第 2 回及び第 3 回は女性と男性の標本規模をほぼ 2 対 1 としていたが、第 4 回以降は男女ほぼ同数を抽出している（第 10 回は調査対象者 4,000 人のうち、女性 2,000 人、男性 2,000 人）。男女の標本規模をあらかじめ決定しているのは、この調査が男女平等参画に関わる基礎的資料を提供することを主たる目的としており、名古屋市民における男女の意見分布の差などを明らかにすることが求められているためである。

表 1-2 各回の抽出標本数と回答数

	女性		男性		その他
	標本数（人）	回答数（人）	標本数（人）	回答数（人）	回答数（人）
第 1 回	1,737	1,498	—	—	—
第 2 回	1,025	884	533	446	—
第 3 回	3,024	1,587	1,512	690	—
第 4 回	2,582	1,500	2,418	996	—
第 5 回	2,000	1,148	2,000	790	—
第 6 回	2,050	996	2,050	724	—
第 7 回	2,042	723	1,958	458	—
第 8 回	2,000	891	2,000	628	0
第 9 回	2,000	1,078	2,000	794	2
第 10 回	2,000	1,008	2,000	775	17

注) 第 1・2 回は留置調査と面接調査の併用。第 3 回以降は往復郵送法。第 10 回は郵送法とWEB 回答の併用。
性別無回答数は除いてある。

上記のような調査対象者の推移は、この基礎調査をとりまく背景の変化と対応している。第 3 回までの調査が、女性のみあるいは女性を多く含む標本によって行われたのは、その当時は性別をめぐる問題が主として女性の問題であると位置付けられることが多かったことに関連している。この基礎調査の名称も、第 4 回までは「女性問題基礎調査」とされていた。1990 年代以降、女性をめぐる政策が男女共同参画政策と位置付けられ、名古屋市でも総務局の中に男女共同参画推進室（現在は「スポーツ市民局男女平等参画推進課」）が設置されたことも踏まえて、第 5 回は調査名称も「男女共同参画基礎調査」に変更された。さらに、平成 14（2002）年の男女平等参画推進なごや条例の公布を受けて、第 6 回以降は「男女平等参画に関する基礎調査」という名称になっている。

2 第 10 回調査の課題と分析視角

この基礎調査は、名古屋市民の生活諸領域に関する実態と意識及び行政ニーズを、ジェンダー（社会的性別）と世代の視点から継続的に調査してきた。第 10 回調査における課題を整理するならば、以下の 3 点にまとめることができる。

第 1 に、概ね 5 年ごとに実施されてきた継続調査であることを踏まえ、前回の第 9 回調査以降どのような変化が生じたのかを明らかにすることである。この間を振り返ると、日本では、高度な専門知識や技術を要する職種については就業者数が増加する一方、ルーティンワークや標準化された作業を行う職種については就業者数が減少する労働力の二極化や、高齢化の進展に伴い介護や医療の需要が増加する一方、担い手が不足する社会福祉問題が深刻化する中、突如起こった新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、遅々として進まなかった働き方改革を加速させ、仕事のみならず生活やライフコースを見直す契機となった。また、デジタルトランスフォーメーションの進展やオンラインサービス、電子商取引の拡大、AI の急速な発展といった情報技術の向上が私たちを取り巻く環境を大きく変えつつある。さらに、外国人労働者の受け入れ拡大や高齢者

の再雇用促進、女性の社会進出の進展もその速度を早めており、ビジネスや家庭を問わず大きな変動が生じている。この調査が継続調査であり、変化と継続性を明らかにすることが求められていることを踏まえ、今回調査でも多くの項目について第9回調査と同一の項目を用いているが、表1-3に見るように一部の項目はこの間の社会的変化を踏まえて新規に採択されている。これら諸項目の比較分析を通じて、名古屋市における生活実態と意識について、その現状と変化を主としてジェンダーと世代の視点から明らかにすることをこの報告書は目的としている。

第2に、名古屋市の男女平等参画をめぐる政策的取組の評価や新たな計画策定に際しての基礎データや基礎資料を提供することである。例えば、令和3（2021）年に策定した「名古屋市男女平等参画基本計画2025」（計画期間：令和3（2021）年度から令和7（2025）年度）において掲げた「性別にかかわる人権の尊重」「男女平等参画推進のための意識変革」「方針決定過程への女性の参画拡大」「雇用等における女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進」「家庭・地域における男女平等参画の促進」の5つの目標が、計画期間の最終段階の時期に実施する今回調査までに、どの程度達成できているかについて評価できる調査項目を組み込むことである（表1-4参照）。

第3に、男女共同参画社会に向けた社会の実態がどうなっているかについて、市民に対して情報発信を行うことである。既に述べたように、男女平等参画推進なごや条例第19条に基づいて、この報告書やインターネットなどを通じて、今回調査の結果が広く市民の目に触れることで、男女平等参画に関わる基礎的な情報が提供されることである。

以上のような課題を達成するため、この報告書では、第9回までの基礎調査と同様に、主にジェンダーと世代という分析視角から、名古屋市民の生活諸領域における実態を明らかにする。男女共同参画社会の実現に向けては、女性と男性が置かれた異なる状況について、双方が理解を深めることが必要になるため、現実を分析する上ではジェンダーの視点が最も重要になることは言うまでもない。これに対して、世代という視点が採用されるのは、多くの生活の諸領域において変革が進んでいくにあたっては、世代ごとに規範や価値観などの変化が進み、結果的に社会全体も変化していくという過程が見られ、世代による差異に着目することが求められるからである。また、女性と男性をめぐる状況については、世代ごとの大きな違いが見られる場合もあることから、世代という視点はこの意味でも不可欠である。こうした理解を背景にして、以下の分析においてはジェンダーと世代という視点を中心的に採用している。ただし、項目によってはジェンダーと世代だけでなく、それ以外の重要な視点も採用される必要がある。以下の報告は、部分的にそうした視点を併用しながら記述されていることをお断りしておきたい。

第2章 本調査の方法

1 調査票の構成

調査項目の設定にあたっては、第9回調査との比較可能性を維持すること、過去4年の間に生み出された新たな社会的及び政策的課題に対応すること並びに回答率を向上させるため回答を簡便にすることを重視した。社会的・政策的課題については第1章2の「第10回調査の課題と分析視角」で概観したとおりである。

表1-3は、第9回までの調査と今回調査の調査項目を比較・整理したものである。今回調査での調査カテゴリーは、基本的属性、家族、地域、労働、人権、行政の6つに大きく分けられる。各カテゴリーでの変更内容については、以下のとおりである。

- (1)家族のカテゴリーでは、第9回で削除した「結婚後の姓の考え方」について再度項目を設けた。
- (2)地域のカテゴリーでは項目を大幅に整理した。
- (3)労働のカテゴリーでは項目を大幅に整理しつつ、「家事分担の割合」の項目を追加した。また、第7回以来設けていなかった「男性の育児休業」を再度追加した。
- (4)人権のカテゴリーでは、項目内容や聞き方を整理した。
- (5)行政のカテゴリーでは、第9回の項目を踏襲した。

なお、表1-3には、今回調査での調査項目のうち、令和7（2025）年度までを計画期間とする「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」の達成評価において基準値となるものについては、「目標－方針」の列に主な基本計画の目標・方針番号との対応を掲示してある。

表 1-3 調査票の構成

調査カテゴリー 項目		目標- 方針	第10回 (R6)	第9回 (R1)	第8回 (H26)	第7回 (H22)	第6回 (H17)	第5回 (H12)	第4回 (H7)	第3回 (H2)		第2回 (S60)		第1回 (S57)
										女性	男性	女性	男性	女性
男女平等 意識・家族 Ⅰ	平等感(1)(2)	2-⑦	○	○	○	○								
	性役割分業意識(3)	2-⑦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	夫婦別姓への賛否(4)		○		○	○	○	○	○					
	結婚・離婚・家族意識					○	○	○	○	○	○		○	
	家族の家事参加					○	○	○	○					
	夫の家事参加					○	○	○	○	○	○		○	
	老後を見てくれる人					○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家庭での最終決定者						○	○	○					
	高齢期の暮らし方							○	○					
	看病してくれる人									○	○	○		○
	配偶者の介護支援策									○	○			
	女性の活躍	3.4.5		○										
地域 Ⅱ	近隣との関わり	5-⑩		○	○	○								
	活動参加の有無・活動の種類(5)	5-⑩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	参加の希望	5-⑩		○	○	○	○							
	地域での女性の活躍(6)	5-⑩	○	○										
	家庭・地域活動の評価方法				○	○								
	子育て支援				○	○								
	地域の防災(7)	5-⑩	○	○	○									
	高齢者への助け合い					○								
	参加の条件						○	○	○	○	○	○	○	
	地域活動での男女不平等						○							
	地域観							○	○	○	○	○	○	
	女性名での地域参加									○	○	○	○	
	自然観									○	○			
	ごみ問題									○	○			
	ライフスタイル									○	○			
労働 Ⅲ	女性の就労評価	4-⑭		○	○	○	○	○	○					
	労働時間(8)	4-⑭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	無償労働時間				○	○	○	○						
	就業状態	4-⑭		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	非就業者の就労観			○	○	○	○	○	○	○	○			○
	家事分担の割合(9)		○											
	仕事と生活のバランス	4-⑭		○	○	○								
	仕事と生活の関係				○	○								
	就業制度	4-⑭		○	○	○								
	育児休業の取得				○	○								
	介護休業の取得				○									
	女性の就労差別	4-⑭		○	○	○	○	○	○					
	生活の満足度				○	○	○							
	家族との共有時間					○								
	幸福感					○	○							
	柔軟な働き方の利用					○								
	家庭と仕事を両立する働き方への賛否					○								
	男性の育児休業(10)		○			○	○	○						
	男性の介護休業						○							
	余暇時間・睡眠時間						○							
	職場の育児休業取得						○							
	職場の介護休業取得						○							
	フリーター感						○							
	就労の障害							○	○	○				○
	就労理由								○	○		○		○
	時短状況									○	○			
人権 Ⅳ	DV(11)	1-②	○	○	○	○	○		○					
	セクハラ(11)	1-①	○	○	○	○								
	ストーカー(11)	1-②	○	○	○	○								
	DVの見聞				○	○								
	セクハラの見聞				○	○								
	DVの相談先(11)	1-②	○	○	○	○								
	DVの相談窓口の認知度(12)	1-②	○		○	○								
	言葉の認知度(13)	1	○	○	○									
	ファミリーシップ制度(14)		○											
	J Kビジネスの原因	1-①		○										
	J Kビジネスの防止	1-①		○										
	性の考え方					○	○	○						
	セクハラ認識							○	○					
	性表現							○						
	人権不尊重観							○						
行政等Ⅴ	行政の役割(15)	全体	○	○			○	○		○	○	○		○
	新センターの認知度						○							
	新センターの役割						○	○						
	就業に必要な情報							○	○					
	女性行政の認知								○					
	地位変化の有無									○	○	○	○	○
	地位変化の項目									○	○	○	○	○
	平等になった事項									○	○	○	○	○
	女性の努力すべき点								○	○	○	○	○	○

表 1-4 「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」の目標と方針

目標1 性別にかかわる人権の尊重	
方針	① 性別にかかわる人権侵害の解消に向けた啓発
	② 配偶者や交際相手からの暴力の予防啓発
	③ 配偶者や交際相手等からの暴力の被害者支援
	④ 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）の尊重と生涯を通じた女性の健康支援
	⑤ メディア社会における性別にかかわる人権侵害の解消に向けた啓発
	⑥ 様々な困難を抱える人々（貧困、ひとり親、障害、同和問題（部落差別）、外国人等）への支援
	⑦ 多様な生き方（ひとり親、事実婚、単身世帯、性的少数者（セクシュアル・マイノリティ）等）への理解促進
目標2 男女平等参画推進のための意識変革	
方針	⑧ 性別による固定的な役割分担意識の解消に向けた啓発
	⑨ 学校等における男女平等参画に向けた教育・学習の推進
	⑩ 地域・家庭における男女平等参画に向けた学習の推進
	⑪ 男女平等参画推進のための調査研究及び情報収集・提供
目標3 方針決定過程への女性の参画拡大	
方針	⑫ 市政等における女性の方針決定過程への登用推進
	⑬ 地域社会における女性の方針決定過程への参画拡大
	⑭ 企業における女性の方針決定過程への参画拡大
目標4 雇用等における女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進	
方針	⑮ 雇用主及び労働者（管理職、従業員等）への男女平等に向けた啓発
	⑯ 働く場における女性の活躍推進
	⑰ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた家庭生活への支援
	⑱ 仕事と子育て・介護との両立支援に向けた事業者への支援
目標5 家庭・地域における男女平等参画の促進	
方針	⑲ 男性の家事・育児・介護等への参画促進
	⑳ 地域活動における男女平等参画の促進
	㉑ 高齢期における男女の就業・社会参画支援
	㉒ 防災における男女平等参画の促進

2 調査対象者と標本規模、抽出の方法

調査対象者の抽出にあたっては、母集団としての名古屋市民の中から 18 歳以上 80 歳未満の男女を合わせて 4,000 名が選ばれるように、住民基本台帳よりコンピュータによる無作為抽出を行った。表 1-5 の右半分に、抽出された標本の性別及び区別の規模と構成割合を示した。また、同表の左半分に、母集団である名古屋市 18 歳以上人口の分布を示している。多少の上下はあるものの、ほぼ全ての区で、各区の 18 歳以上 80 歳未満の男女人口比に近い標本が抽出されていることが分かる。なお、第 8 回調査までの対象は 20 歳以上 80 歳未満の男女としており、第 9 回調査から対象者の年齢を 18 歳から引き下げている。

表 1-5 母集団・抽出標本規模（区別）

事 項	母集団（18歳以上80歳未満の人口）					事 項	抽出標本規模						
	総 数		女 性		男 性		総 数		女 性		男 性		
全 市	1,767,996人		875,547人		892,449人	全 市	4,000人		2,000人		2,000人		
	100%		49.5%		50.5%		100%		50.0%		50.0%		
千種区	123,132	7.0%	62,894	7.2%	60,238	6.7%	千種区	280	7.0%	144	7.2%	136	6.8%
	100%		51.1%		48.9%			100%		51.4%		48.6%	
東 区	66,070	3.7%	34,187	3.9%	31,883	3.6%	東 区	151	3.8%	79	4.0%	72	3.6%
	100%		51.7%		48.3%			100%		52.3%		47.7%	
北 区	124,173	7.0%	62,031	7.1%	62,142	7.0%	北 区	282	7.1%	142	7.1%	140	7.0%
	100%		50.0%		50.0%			100%		50.4%		49.6%	
西 区	114,456	6.5%	56,012	6.4%	58,444	6.5%	西 区	260	6.5%	128	6.4%	132	6.6%
	100%		48.9%		51.1%			100%		49.2%		50.8%	
中村区	108,646	6.1%	51,863	5.9%	56,783	6.4%	中村区	242	6.1%	116	5.8%	126	6.3%
	100%		47.7%		52.3%			100%		47.9%		52.1%	
中 区	83,992	4.8%	40,766	4.7%	43,226	4.8%	中 区	183	4.6%	90	4.5%	93	4.7%
	100%		48.5%		51.5%			100%		49.2%		50.8%	
昭和区	81,093	4.6%	40,816	4.7%	40,277	4.5%	昭和区	185	4.6%	95	4.8%	90	4.5%
	100%		50.3%		49.7%			100%		51.4%		48.6%	
瑞穂区	81,184	4.6%	41,182	4.7%	40,002	4.5%	瑞穂区	185	4.6%	95	4.8%	90	4.5%
	100%		50.7%		49.3%			100%		51.4%		48.6%	
熱田区	51,603	2.9%	25,160	2.9%	26,443	3.0%	熱田区	116	2.9%	57	2.9%	59	3.0%
	100%		48.8%		51.2%			100%		49.1%		50.9%	
中川区	167,077	9.5%	81,672	9.3%	85,405	9.6%	中川区	378	9.5%	186	9.3%	192	9.6%
	100%		48.9%		51.1%			100%		49.2%		50.8%	
港 区	109,294	6.2%	52,409	6.0%	56,885	6.4%	港 区	244	6.1%	117	5.9%	127	6.4%
	100%		48.0%		52.0%			100%		48.0%		52.0%	
南 区	101,508	5.7%	47,911	5.5%	53,597	6.0%	南 区	232	5.8%	111	5.6%	121	6.1%
	100%		47.2%		52.8%			100%		47.8%		52.2%	
守山区	130,608	7.4%	64,879	7.4%	65,729	7.4%	守山区	295	7.4%	148	7.4%	147	7.4%
	100%		49.7%		50.3%			100%		50.2%		49.8%	
緑 区	185,362	10.5%	92,693	10.6%	92,669	10.4%	緑 区	421	10.5%	213	10.7%	208	10.4%
	100%		50.0%		50.0%			100%		50.6%		49.4%	
名東区	120,197	6.8%	61,743	7.1%	58,454	6.5%	名東区	274	6.9%	142	7.1%	132	6.6%
	100%		51.4%		48.6%			100%		51.8%		48.2%	
天白区	119,601	6.8%	59,329	6.8%	60,272	6.8%	天白区	272	6.8%	137	6.9%	135	6.8%
	100%		49.6%		50.4%			100%		50.4%		49.6%	

注）令和 6（2024）年 6 月 1 日現在の推計人口（18 歳以上 80 歳未満）年齢不詳者を除く。

3 調査方法と回収率

調査は調査票を対象者に郵便で送付し、記入後返送してもらう往復郵送法とインターネットを用いたWEB回答を併用して行われた。調査期間は、令和6（2024）年7月11日から8月2日の23日間である。郵送回答1,264人、WEB回答549人、合計1,813人（回収率45.3%）から回答を得たが、白票、WEB回答の重複及び性別・年齢のいずれかが不明のものを除いた有効回答数は1,800であった。したがって、今回調査の有効回収率は45.0%であり、第9回調査の46.9%と同程度の結果となった。調査項目を精査したこと、読みやすくなるようフォントやレイアウトを工夫したこととともに、WEB回答を採用したことによる一定の効果があったものと考えられる。

性別で見ると、女性の回収率は50.4%（第9回53.9%）、男性の回収率は38.8%（第9回39.7%）といずれも前回はやや下回っている。男性の回収率が女性のそれを大きく下回った点は、第9回同様である。したがって、全体の回答結果は第9回調査と同様に女性のウェイトが高いものになっており、標本全体に関する数値を見るときはその点に留意が必要である。

なお第8回調査より性の多様性を尊重する観点から、性別回答欄に「その他」を加えたが、回答者は17名と前回（2名）よりも増加している。

4 標本特性と分析手法

性別・年齢別で見たときに有効回答者数の母集団からのずれがどのようになっているかについて確認しておく。母集団の男女別及び年齢階級別の構成比と回答者のそれを比較したのが表 1-6 である。表には、有限母集団からの単純無作為抽出を仮定したときの母集団比率（％）と標本サイズ（回答者人数）をもとにした標準誤差（S.E.）を示している。母集団比率と標本比率の差の絶対値を、標準誤差を 1.96 倍したものと比較することで、母集団とのずれが標本抽出による誤差の範囲にあるかどうかを検討することができる。

表からは、母集団と比較した回答者の特徴として、男女合計では 18～29 歳の構成比が小さく、50 歳代の構成比が大きいことが分かる。若年層の回収率が低く、高齢層の回収率が高いという傾向はこれまでの基礎調査にも共通している（表 1-7）。

表 1-6 性別・年齢別の母集団と回答者とのずれ

<総 数>

年代	母集団（18歳以上80歳未満の人口）		回答者		差 (X - P)	標準誤差 (注1)	Zスコア (注2)	
	人数 (N)	母集団比率 (P)	人数 (n)	標本比率 (X)				
総数	1,767,996	100.0%	1,783	100.0%				
18～29歳	320,055	18.1%	153	8.6%	-9.5%	3.1%	-3.1	*
30歳代	281,854	15.9%	229	12.8%	-3.1%	2.4%	-1.3	
40歳代	317,026	17.9%	296	16.6%	-1.3%	2.2%	-0.6	
50歳代	344,179	19.5%	387	21.7%	2.2%	2.0%	1.1	
60歳代	251,468	14.2%	345	19.3%	5.1%	1.9%	2.7	*
70歳以上	253,414	14.3%	373	20.9%	6.6%	1.8%	3.6	*

<女 性>

年代	母集団（18歳以上80歳未満の人口）		回答者		差 (X - P)	標準誤差 (注1)	Zスコア (注2)	
	人数 (N)	母集団比率 (P)	人数 (n)	標本比率 (X)				
計	875,547	100.0%	1,008	100.0%				
18～29歳	156,544	17.9%	95	9.4%	-8.5%	3.9%	-2.2	*
30歳代	136,021	15.5%	138	13.7%	-1.8%	3.1%	-0.6	
40歳代	154,007	17.6%	161	16.0%	-1.6%	3.0%	-0.5	
50歳代	168,459	19.2%	240	23.8%	4.6%	2.5%	1.8	
60歳代	125,627	14.3%	178	17.7%	3.3%	2.6%	1.3	
70歳以上	134,889	15.4%	196	19.4%	4.0%	2.6%	1.6	

<男 性>

年代	母集団（18歳以上80歳未満の人口）		回答者		差 (X - P)	標準誤差 (注1)	Zスコア (注2)	
	人数 (N)	母集団比率 (P)	人数 (n)	標本比率 (X)				
計	892,449	100.0%	775	100.0%				
18～29歳	163,511	18.3%	58	7.5%	-10.8%	5.1%	-2.1	*
30歳代	145,833	16.3%	91	11.7%	-4.6%	3.9%	-1.2	
40歳代	163,019	18.3%	135	17.4%	-0.8%	3.3%	-0.3	
50歳代	175,720	19.7%	147	19.0%	-0.7%	3.3%	-0.2	
60歳代	125,841	14.1%	167	21.5%	7.4%	2.7%	2.8	*
70歳以上	118,525	13.3%	177	22.8%	9.6%	2.6%	3.7	*

※ 母集団は令和 6（2024）年 6 月 1 日現在の推計人口（18 歳以上 80 歳未満）年齢不詳者を除く

※ 回答者は性別及び年齢を記載した人の合計数

（注 1）標準誤差 = $\sqrt{P(100 - P) / n}$

（注 2）Zスコアが ±1.96 を超える場合、統計的に有意な差があると判断される。

表 1-7 年齢別構成比のずれ

<女 性>

年代	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
18～29歳										
20歳代										
30歳代	+			+			+			
40歳代		+	+	+	+	+	+	+	+	
50歳代	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
60歳代		+	+	+	+	+	+	+	+	+
70歳以上		+							+	+

<男 性>

年代	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
18～29歳										
20歳代										
30歳代										
40歳代			+							
50歳代		+	+	+	+	+	+		+	
60歳代		+	+	+	+	+	+	+	+	+
70歳以上		+	+	+	+	+	+	+	+	+

※第1回は女性のみ

注) “+” は回答者の性別・年齢別構成比が母集団のそれを超えていることを示している。

なお、この調査は標本調査であることから、調査結果を直ちに名古屋市民の特徴とすることはできない。仮に今回の標本が性別や年齢別の構成において母集団をよく代表するものであったとしても、回答には偶然によって生じる誤差が含まれる可能性がある。標準的な統計理論から予想される誤差の可能性は、表 1-8 のとおりである。

表 1-8 サンプルング誤差（信頼度 95%）

標本数	回答率 (%)										
	1または 99.0	5または 95.0	10または 90.0	15または 85.0	20または 80.0	25または 75.0	30または 70.0	35または 65.0	40または 60.0	45または 55.0	50.0
1,800	0.5	1.0	1.4	1.7	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3

5 調査結果の表示方法

- ・割合は、各項目を選んだ人が、回答者全体に占める比率を表している。
- ・割合は、小数以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、内訳比率の計は必ずしも100%にはならない。

第3章 本調査の回答者の属性

1 個人的属性

本章では、Ⅱ部の領域別分析に先立って、今回調査における回答者がどのような属性を持つのかを明らかにする。既に第2章で見た性別、年齢と居住区については省略し、本節では、回答者の最終学歴、就業状態、暮らしむきといった個人の属性や状態について、また、次節では、回答者の配偶関係及び家族構成などの家族的属性の特徴を紹介する。

(1) 最終学歴

表1-9に回答者の最終学歴（在学中、中退は卒業と見なしている）を示した。男女別に年齢計で見ると、「高等学校」までの最終学歴を持つ割合は女性が男性を上回り、30.3%であった。「専門学校等」「短期大学等」を足した割合は女性が33.5%である一方、男性は11.5%であった。また、「大学」「大学院」を足した割合は女性が29.3%である一方、男性は53.3%であった。しかし、年代別に見ると、18～29歳と30歳代で、「高等学校」は男性が女性を上回り、「大学」では女性が男性を上回るという結果となっている。18～29歳及び30歳代の「大学」の割合で、女性が男性を上回ったのは今回の調査が初めてである。

表1-9 最終学歴

単位：％

区分	n	中学校	高等学校	専門学校等	短期大学等	大学	大学院	無回答
総数	1,800	6.2	28.3	11.8	12.1	35.4	4.2	2.1
女性計	1,008	5.1	30.3	14.3	19.2	27.3	2.0	1.9
男性計	775	7.6	25.3	8.5	3.0	46.2	7.1	2.3

<女性>

単位：％

区分	n	中学校	高等学校	専門学校等	短期大学等	大学	大学院	無回答
18～29歳	95	1.1	18.9	14.7	5.3	56.8	3.2	—
30歳代	138	1.4	15.9	15.2	5.8	58.7	2.9	—
40歳代	161	1.9	19.9	18.6	26.7	28.6	4.3	—
50歳代	240	2.9	30.4	14.2	27.1	21.3	2.1	2.1
60歳代	178	4.5	39.3	15.2	22.5	15.2	—	3.4
70歳以上	196	15.3	45.9	9.2	16.8	8.2	0.5	4.1

<男性>

単位：％

区分	n	中学校	高等学校	専門学校等	短期大学等	大学	大学院	無回答
18～29歳	58	1.7	32.8	10.3	1.7	46.6	5.2	1.7
30歳代	91	2.2	18.7	13.2	1.1	49.5	13.2	2.2
40歳代	135	5.2	15.6	13.3	3.7	46.7	14.1	1.5
50歳代	147	5.4	27.2	8.8	4.1	51.7	2.0	0.7
60歳代	167	6.6	23.4	5.4	3.0	50.9	8.4	2.4
70歳以上	177	16.9	33.9	4.5	2.8	35.0	2.3	4.5

(2) 職業

回答者の職業について、「勤め人（正規）」、「勤め人（非正規）」、「勤め人で休業中（育休等）」、「会社経営者・自営業主等」のいずれかに回答した割合は、女性で 64.6%、男性で 76.6%と、男性が女性より 12.0 ポイント高い結果となった。雇用形態について見ると、「勤め人で休業中（育休等）」を含む「勤め人（正規）」と回答した割合は、男性では 51.4%、女性では 26.4%で、男性の割合が女性の約 2 倍である。一方、「勤め人（非正規）」の割合は、女性が 31.5%、男性が 12.8%で、女性の割合が男性の約 2.5 倍である。「無職（家事専業、定年後含む）」の割合については、女性が 31.6%、男性が 19.9%で、女性の割合が男性の約 1.6 倍である。

今回の調査では、職業区分が変更された。具体的には、今回調査の「勤め人（正規）」と「勤め人で休業中（育休中）」が前回調査の「会社員・公務員（女性 23.1%、男性 54.5%）」に相当し、「勤め人（非正規）」が「非常勤・アルバイト・パート（女性 27.7%、男性 8.2%）」に相当する。また、「家事専業」と「無職」が統合されて「無職」となった。そのため、直接の比較は難しいが、この間の変化を概観すると、正規雇用の増加率は女性が男性を上回る一方で、非正規雇用の増加率は男性が女性を上回っている。これらの結果は、男女の正規雇用と非正規雇用の違いが縮小傾向にあることを示唆している。

表 1-10 職業

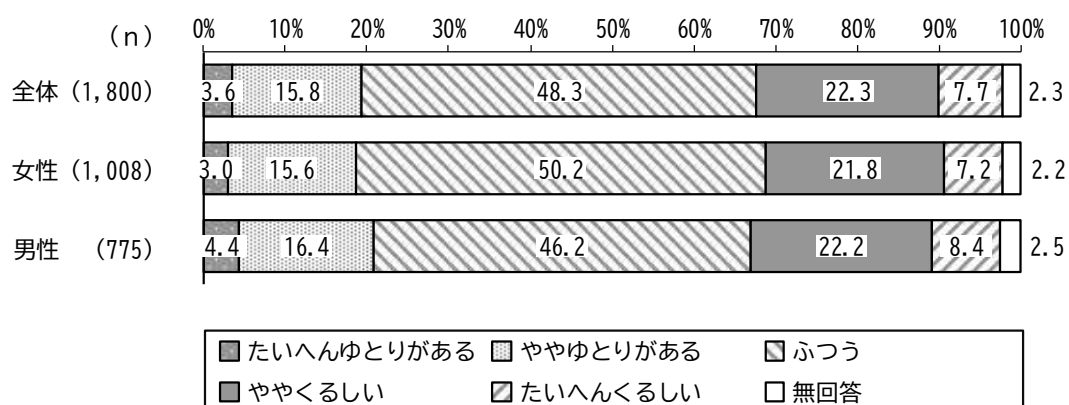
単位：%

区分	n	勤め人 (正規)	勤め人 (非正規)	勤め人で 休業中 (育休等)	会社経営者・ 自営業主等	学生	無職(家事 専業、定年 後含む)	その他	無回答
総 数	1,800	36.5	23.3	0.8	9.2	2.3	26.4	0.9	0.5
女性 計	1,008	25.1	31.5	1.3	6.7	2.4	31.6	0.7	0.6
男性 計	775	51.1	12.8	0.3	12.4	2.1	19.9	1.2	0.4

(3) 暮らしむき

回答者の経済状況については、年収ではなく主観的な体験としての「暮らしむき」をたずねている。その結果、男女とも約半数が「ふつう」と回答しており、これは前回調査と変わらない。しかし、「たいへんゆとりがある」「ややゆとりがある」と回答した割合は、女性が18.6%、男性が20.8%で、それぞれ3.5ポイント、2.2ポイント低下した。「ややくるしい」「たいへんくるしい」と回答した人は、女性が29.0%、男性が30.6%で、それぞれ2.7ポイント、3.7ポイント上昇した。これにより、全体として暮らしむきが前回調査時点よりも厳しくなっていることが分かる。

図 1-1 暮らしむき



2 家族的属性

本節では回答者の配偶関係及び世帯構成など、家族や親族に関わる事項についての特徴を概観する。

(1) 配偶関係

表 1-11 より回答者全体の配偶関係を見ると、配偶者やパートナー（以下「配偶者等」という。）がいる割合は約 7 割である。年代別に見ると、女性は 50 歳代を頂点にその後は配偶者等のいる割合が低下するが、男性は 40 歳代以降安定して約 8 割に配偶者等がいる。70 歳以上の配偶者等がいる割合は、女性 67.3%に対して男性 81.4%で、男女差は 14.1 ポイントと年代比較で最も大きい。この理由として、女性の離死別割合が 12.9%と高く、男性の 5.7%の 2 倍以上であることが挙げられる。女性の死別割合の高さは、夫が妻より年齢が高いことや、女性が男性より長寿であること、離別割合の高さは、男性の再婚率が高いことが影響していると推察される。「配偶者等なし」について同様に比較すると、18～29 歳の女性は 63.2%で、前回調査より 12.3 ポイント低いが、その他は同程度であった。

表 1-11 配偶関係

単位：％

区分	n	配偶者等あり	離死別	配偶者等なし	無回答
総 数	1,800	71.3	9.7	18.8	0.2
女性 計	1,008	70.8	12.9	16.0	0.3
男性 計	775	72.4	5.7	21.9	—

<女 性>

単位：％

区分	n	配偶者等あり	離死別	配偶者等なし	無回答
18～29 歳	95	33.7	2.1	63.2	1.1
30 歳代	138	71.7	3.6	24.6	—
40 歳代	161	75.2	8.1	16.8	—
50 歳代	240	82.5	10.4	7.1	—
60 歳代	178	74.2	18.0	7.9	—
70 歳以上	196	67.3	27.0	4.6	1.0

<男 性>

単位：％

区分	n	配偶者等あり	離死別	配偶者等なし	無回答
18～29 歳	58	20.7	—	79.3	—
30 歳代	91	63.7	2.2	34.1	—
40 歳代	135	76.3	5.9	17.8	—
50 歳代	147	78.2	3.4	18.4	—
60 歳代	167	77.2	6.0	16.8	—
70 歳以上	177	81.4	10.7	7.9	—

(2) 世帯構成

次に、回答者の世帯構成（同居する家族の構成）を見ると、表 1-12 のとおりである。回答者全体で世帯構成割合を見ると、最も高いのは「2 世代世帯（親と子）」で、約 5 割を占める。「1 世代世帯（夫婦（カップル）だけ）」は 26.4%、「単身世帯（一人暮らし）」が 14.1%、「3 世代世帯（親と子と孫）」は 4.8% である。

前回調査と比較すると、「単身世帯（一人暮らし）」は 2.3 ポイント増加し、「3 世代世帯（親と子と孫）」は 1.6 ポイント減少しており、世帯の小規模化が進展していることが示された。「単身世帯（一人暮らし）」について年代別で見ると、18～29 歳の単身世帯割合が男性 27.6%、女性 17.9% と最も高く、男性の方が女性よりも 9.7 ポイント高い。30 歳代においても、男性は女性よりも 6.0 ポイント高く、男性で単身世帯の傾向がより顕著である。

表 1-12 世帯構成

単位：％

区分	n	単身世帯 (一人暮らし)	1 世代世帯 (夫婦(カップル)だけ)	2 世代世帯 (親と子)	3 世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答
総 数	1,800	14.1	26.4	50.4	4.8	1.5	2.8
女性 計	1,008	12.4	26.5	52.2	4.6	1.8	2.6
男性 計	775	16.3	26.6	47.9	5.0	1.2	3.1

< 女 性 >

単位：％

区分	n	単身世帯 (一人暮らし)	1 世代世帯 (夫婦(カップル)だけ)	2 世代世帯 (親と子)	3 世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答
18～29 歳	95	17.9	16.8	56.8	4.2	4.2	—
30 歳代	138	11.6	10.9	73.2	2.2	0.7	1.4
40 歳代	161	9.3	13.7	72.0	3.1	0.6	1.2
50 歳代	240	9.6	25.0	58.3	4.2	1.3	1.7
60 歳代	178	12.4	38.2	37.1	6.2	2.2	3.9
70 歳以上	196	16.3	43.9	25.0	6.6	2.6	5.6

< 男 性 >

単位：％

区分	n	単身世帯 (一人暮らし)	1 世代世帯 (夫婦(カップル)だけ)	2 世代世帯 (親と子)	3 世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答
18～29 歳	58	27.6	6.9	56.9	6.9	—	1.7
30 歳代	91	17.6	14.3	61.5	4.4	1.1	1.1
40 歳代	135	8.9	10.4	73.3	4.4	0.7	2.2
50 歳代	147	17.0	19.0	55.1	5.4	2.0	1.4
60 歳代	167	19.8	34.7	37.7	1.8	1.8	4.2
70 歳以上	177	13.6	50.3	22.0	7.9	0.6	5.6

(3) 配偶者等のいる回答者の就業状況

今回の調査では、夫婦（カップル）の就業状況を把握するために「配偶者等のいる回答者の就業状況」の設問を追加した。回答者全体で最も割合が高いのは「共に働いている（パート、アルバイトを含む）」であり、共働き世帯が約6割弱を占めている。年代別では、男女とも50歳代以下では7割を超えている。

一方のみが働いている状況（「自分のみ就業」「配偶者・パートナーのみ就業」を合わせた割合）は回答者全体では26.6%と、3割以下である。男女別では男性では「自分のみ就業」が、女性は「配偶者・パートナーのみ就業」が高い結果となっている（表1-13）。

表 1-13 配偶者等のいる回答者の就業状況

単位：％

区分	n	共に働いている (パート、アルバイトを含む)	自分のみ就業	配偶者・ パートナー のみ就業	その他	無回答
総 数	1,284	57.9	12.7	13.9	13.6	1.9
女性 計	714	59.0	5.0	19.7	14.1	2.1
男性 計	561	56.7	22.5	6.4	12.7	1.8

<女 性>

単位：％

区分	n	共に働いている (パート、アルバイトを含む)	自分のみ就業	配偶者・ パートナー のみ就業	その他	無回答
18～29 歳	32	84.4	—	12.5	3.1	—
30 歳代	99	81.8	—	18.2	—	—
40 歳代	121	74.4	—	24.8	—	0.8
50 歳代	198	73.2	4.5	17.7	4.0	0.5
60 歳代	132	44.7	14.4	22.7	15.9	2.3
70 歳以上	132	14.4	6.1	18.2	53.8	7.6

<男 性>

単位：％

区分	n	共に働いている (パート、アルバイトを含む)	自分のみ就業	配偶者・ パートナー のみ就業	その他	無回答
18～29 歳	12	75.0	25.0	—	—	—
30 歳代	58	67.2	29.3	3.4	—	—
40 歳代	103	80.6	18.4	1.0	—	—
50 歳代	115	80.0	16.5	3.5	—	—
60 歳代	129	52.7	27.9	7.0	11.6	0.8
70 歳以上	144	18.8	22.2	13.9	38.9	6.3

第Ⅱ部

各領域における意識と実態

第1章 男女平等意識や家族等における意識と実態

今回の調査においても、第9回調査に引き続き、名古屋市における男女平等意識と実態を把握するために、家庭生活、職場、学校教育、地域活動、政治の場、法律や制度、社会通念といった項目での男女の地位の平等感についてたずね、さらに社会全体における男女の地位の平等感についてたずねた。また、性別役割分担意識についても第9回調査から継続してたずねた。

1 男女の地位の平等感

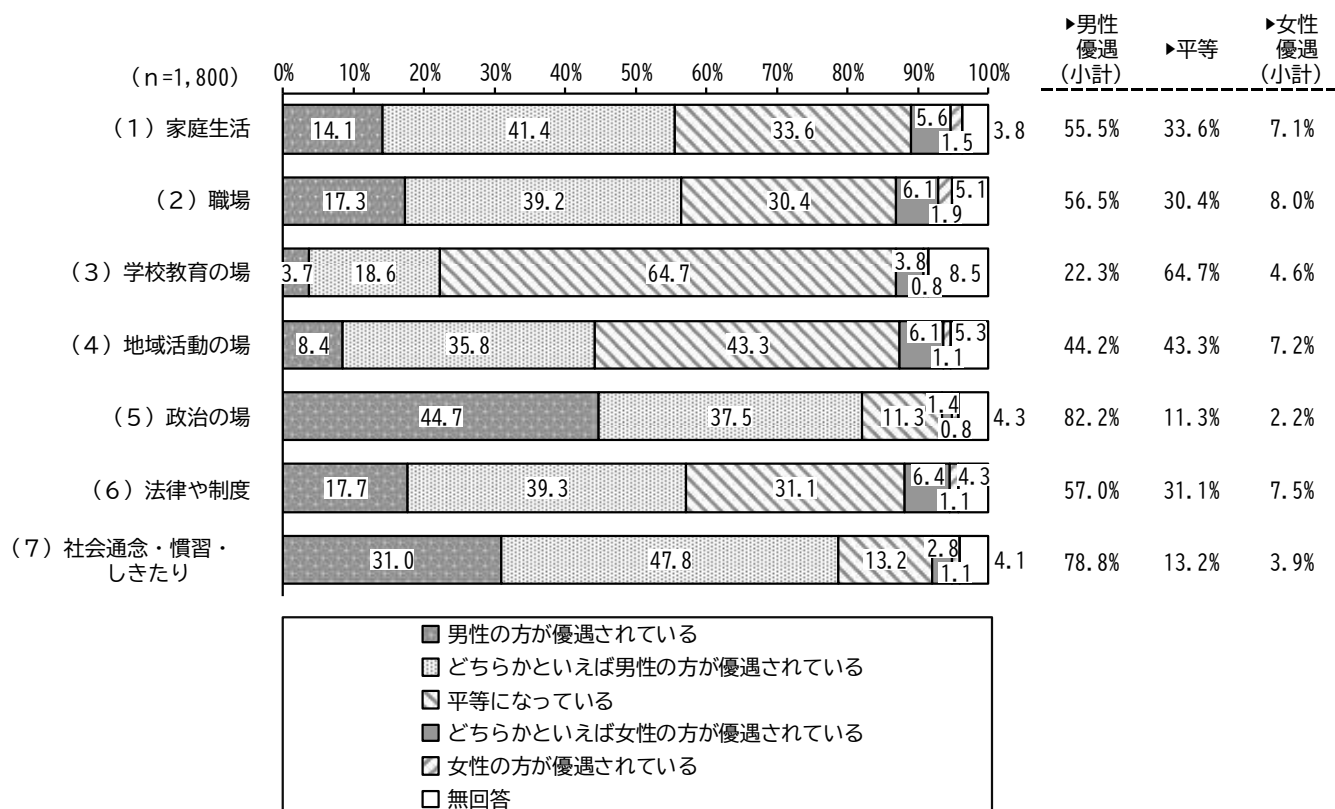
問1 あなたは、次にあげる項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。以下の(1)～(7)について、もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。【それぞれの項目で1つだけに○】

男女平等の考え方について上記の質問を行い、以下の7つの項目ごとに「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「平等」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」の5選択肢から1つを選択する形式で、回答者の意見をたずねた。なお、第9回では「わからない」という選択肢を設けていたが、今回調査から削除している。

- (1) 家庭生活
- (2) 職場
- (3) 学校教育の場
- (4) 地域活動の場
- (5) 政治の場
- (6) 法律や制度
- (7) 社会通念・慣習・しきたり

まず7つの項目のそれぞれについて、回答者全体の回答の分布を比較してみたい(図2-1)。なお、「男性の方が優遇されている」及び「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の回答を「男性優遇」として統合し、その割合については両者のそれを合計した。「女性優遇」に関しても同様である。また、選択肢の「平等になっている」は、文中で「平等」と略記する。

図 2-1 男女の地位の平等感についての考え方



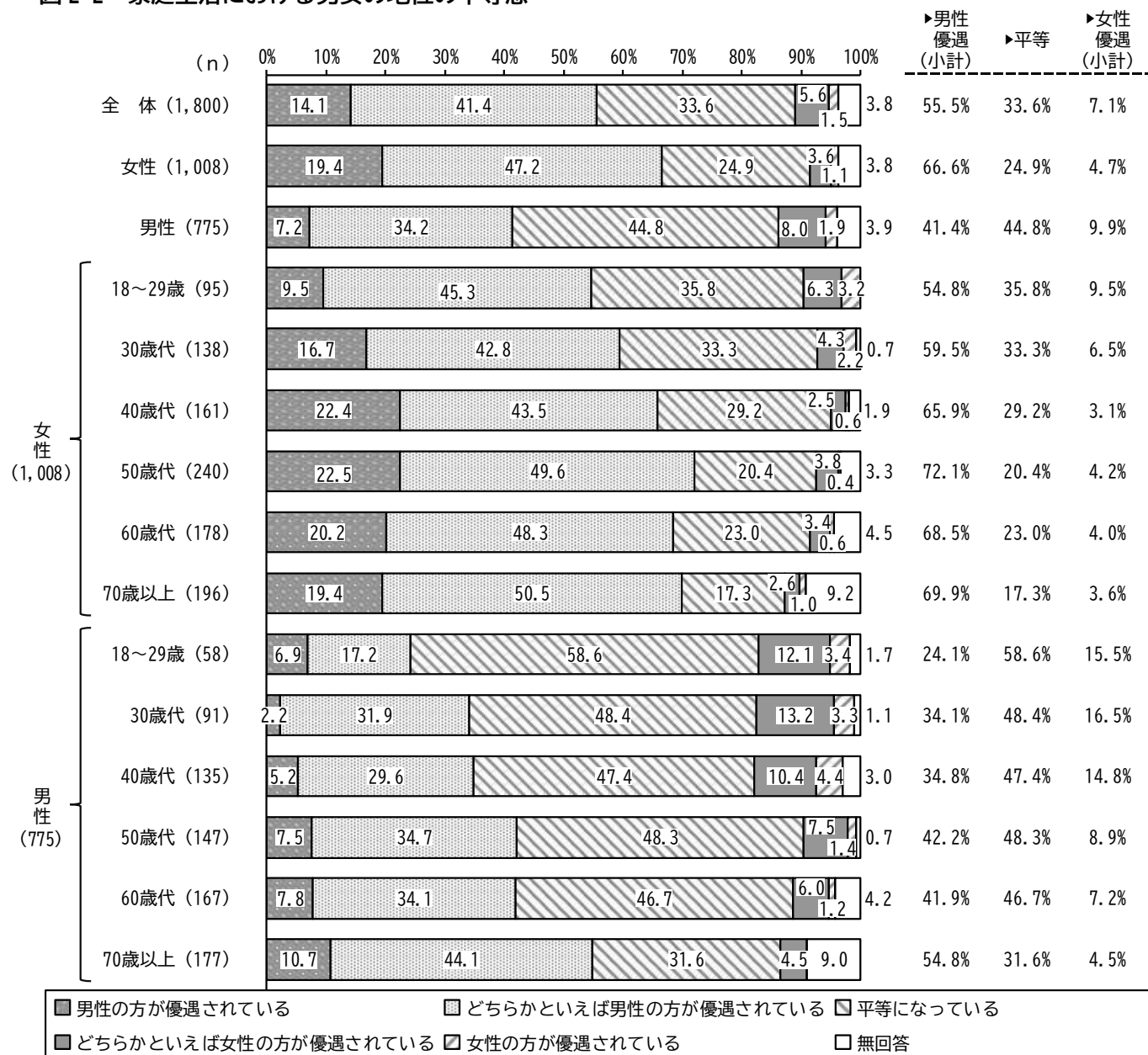
各項目における「男性優遇」の回答の割合を見ると、「(5) 政治の場」と「(7) 社会通念・慣習・しきたり」でそれぞれ 82.2%、78.8%と約8割に達し、非常に高い。次いで、「(6) 法律や制度」57.0%、「(2) 職場」56.5%、「(1) 家庭生活」55.5%では半数強を占めた。これらに対して、「(4) 地域活動の場」では「男性優遇」が 44.2%と半数を割り、「平等」43.3%と近似した。他方、「(3) 学校教育の場」に関しては「平等」の回答が 64.7%と他の6項目に比べて高く、唯一過半数に至っている。このように、「学校教育の場」を除いてはいずれも「男性優遇」との回答が最多となっている。

では、続いて各項目について、前回の調査並びに内閣府による「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和4(2022)年11月実施)の結果と比較しながら考察してみたい。

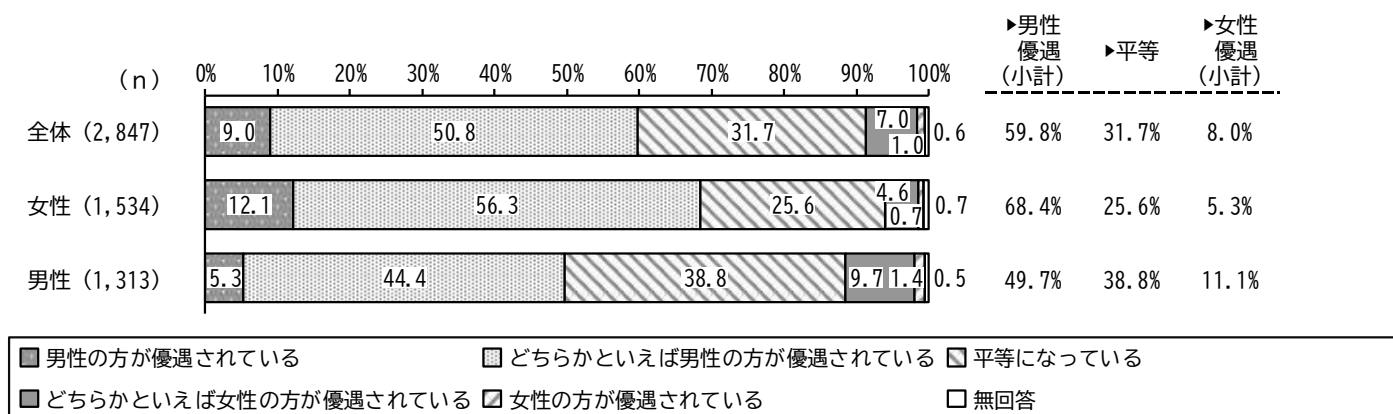
(1) 家庭生活

「家庭生活において男女の地位は平等になっているか」という問いに対して、全体では「男性優遇」の回答が半数強の 55.5%を占め、「平等」(33.6%)や「女性優遇」(7.1%)を大きく上回った(図 2-2)。ただし、回答の分布は男女間でかなり異なっている。すなわち、男性では「男性優遇」41.4%、「平等」44.8%とわずかながら「平等」の方が多いのに対し、女性では「男性優遇」66.6%、「平等」24.9%であり、男性優遇を強く感じている。さらに、これら数値を前回調査の結果と比較すると、男性では「男性優遇」が 40.0%から微増、「平等」は 40.3%から約 5 ポイント増、女性では「男性優遇」が 60.8%から約 6 ポイント増、「平等」は変化がなく、男女間の意識の相違が一層大きくなっている。この相違の拡大は、内閣府の調査とも共通するが、その背景には令和 2 (2020) 年 3 月に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大があると推測される。同対策の一環として「ステイホーム」が提唱され、家庭における家事や育児が増大し、それらは男性よりも女性に重くのしかかった(内閣府男女共同参画局『令和 3 年版男女共同参画白書』)。このことを一因に、とりわけ女性において「男性優遇」意識が高まり、男性との相違が広がったと考えられる。

図 2-2 家庭生活における男女の地位の平等感



(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果

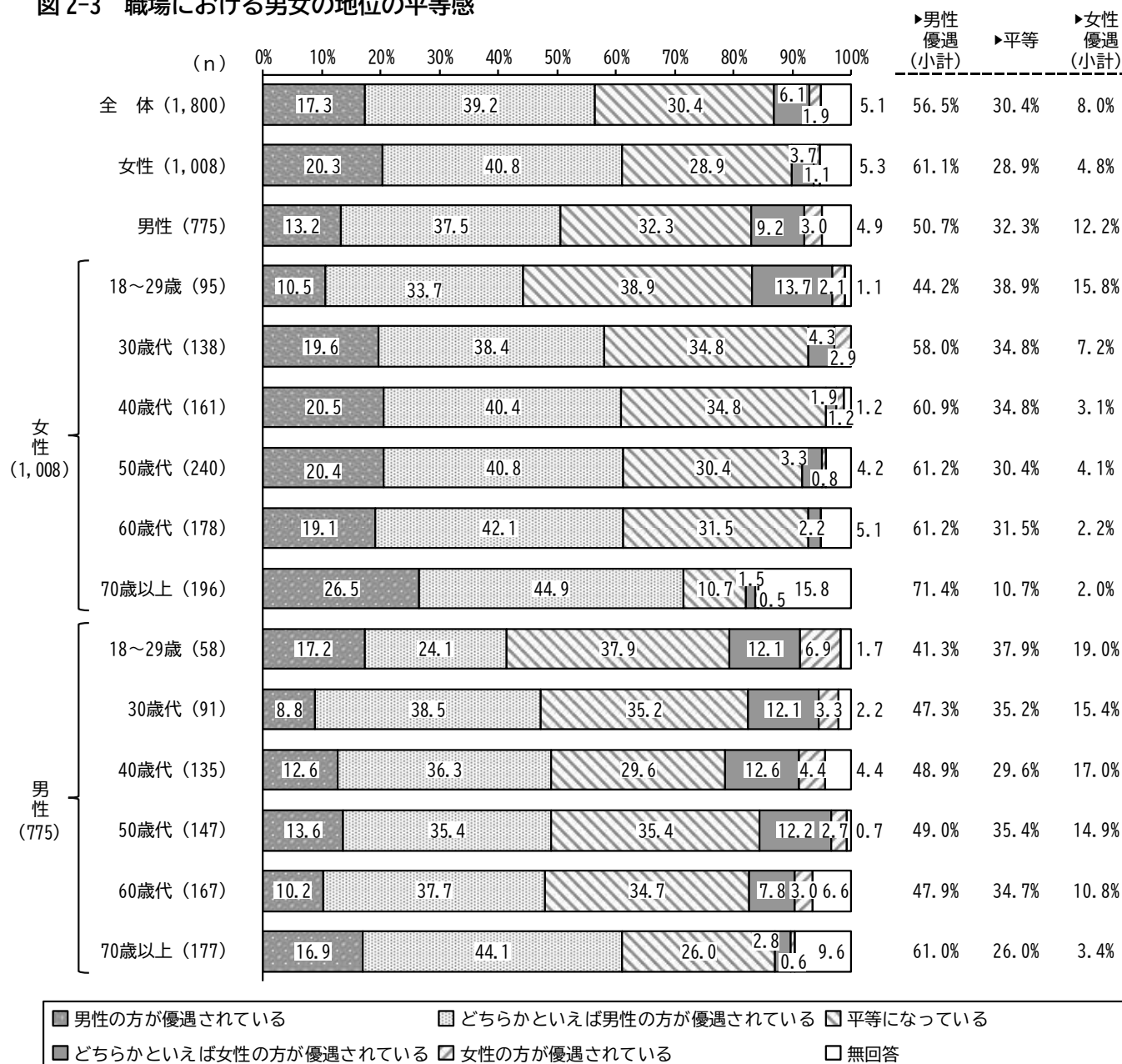


(2) 職場

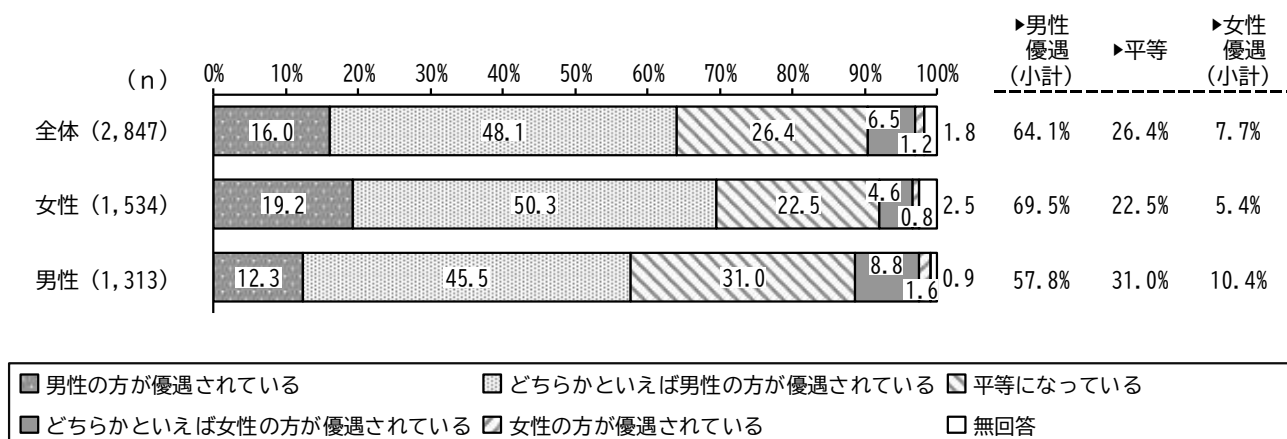
「職場において男女の地位は平等になっているか」という問いに対して、男女とも「男性優遇」の回答が全年代において最多であり、特に女性で総じて高い割合となっている。その後に「平等」「女性優遇」が続いている（図 2-3）。前回調査と比べると「平等」の割合が全体、女性全体、男性全体のいずれでも増加しているが、その増分は前回調査の回答選択肢にあった（今回調査では削除）「わからない」の回答割合とほぼ一致する。また、「女性優遇」の回答が、男性の 60 歳代以下層、並びに女性の 18～29 歳層で 1～2 割存在する。こうした「女性優遇」意識の背景には、平成 28（2016）年の「女性活躍推進法」* 施行をはじめ、「女性活躍」を促すための一連の動きがあることが考えられる。さらに、「女性優遇」回答が男女それぞれにおいて最も現れるのがいずれも 18～29 歳の最若年層であるのは、ジェンダー不平等を感じやすい出産・育児や介護を未経験の場合が多いからと推察される。なお、内閣府調査の結果と比べると、名古屋市の方が女性全体で「男性優遇」の回答が少なく、同「平等」はやや多い。

* 正式名称は「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」。この法に基づく一般事業主行動計画の策定の義務付けの対象は、当初は常勤労働者 301 人以上の企業・団体であったが、令和 4（2022）年からは同 101 人以上の企業・団体に改正された。

図 2-3 職場における男女の地位の平等感



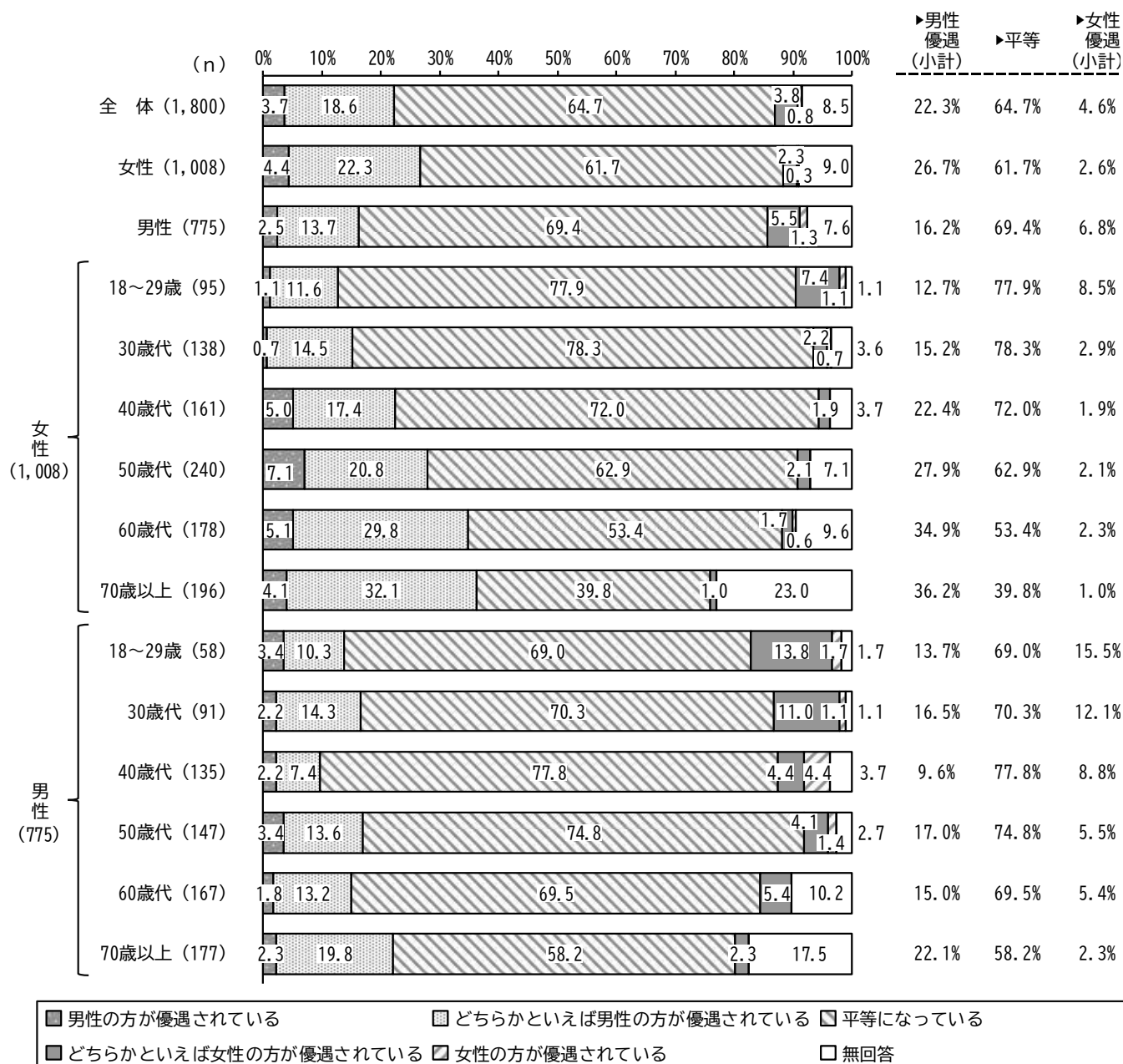
(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



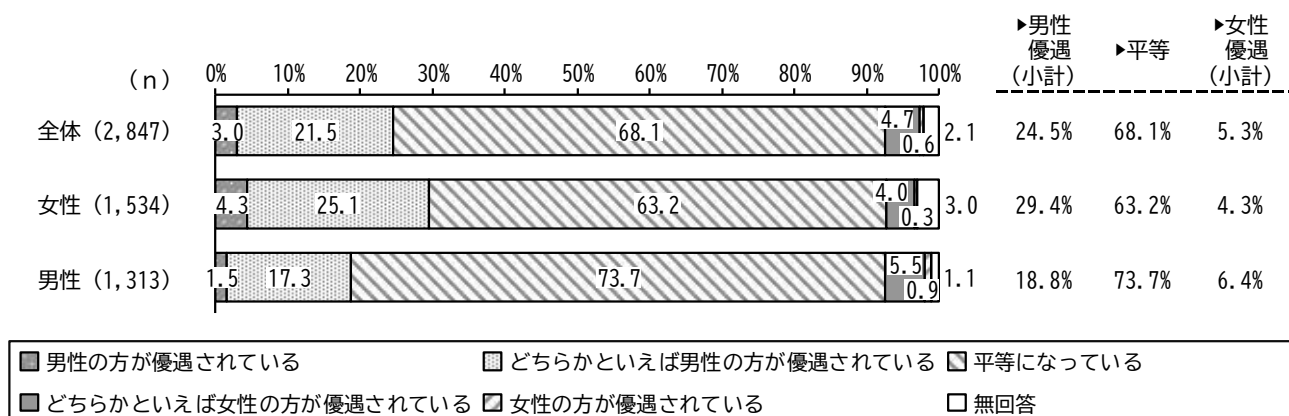
(3) 学校教育の場

「学校教育の場において男女の地位は平等になっているか」という問いに対しては、いずれの性別・年代でも「平等」の回答が最多となっており、他項目とは大きく異なる回答分布となっている（図 2-4）。これは前回調査並びに内閣府調査の結果とも共通する。ただし、前回調査では、今回選択肢から削除された「わからない」の回答が他の項目に比べて多く、特に 60 歳以上での割合は低くないことに留意を要する。「平等」意識は世代によらず共有されており、その要因として学校教育を受ける機会が戦後直後から男女平等に保障されたこと、回答者が（子の）保護者となって家庭科の男女共修や名簿の男→女記載順の見直し、制服のジェンダーレス化といった、子の世代における男女平等の取組も認識しうることなどが考えられよう。なお、女性では、年齢が高いほど「男性優遇」の回答が増え、「平等」の回答との差が縮まっている。他方、男性では 18～29 歳層及び 30 歳代層で「女性優遇」が 1 割超あるのが目につく。これには大学入試における「女子枠」の影響があるのかもしれない。

図 2-4 学校教育の場における男女の地位の平等感



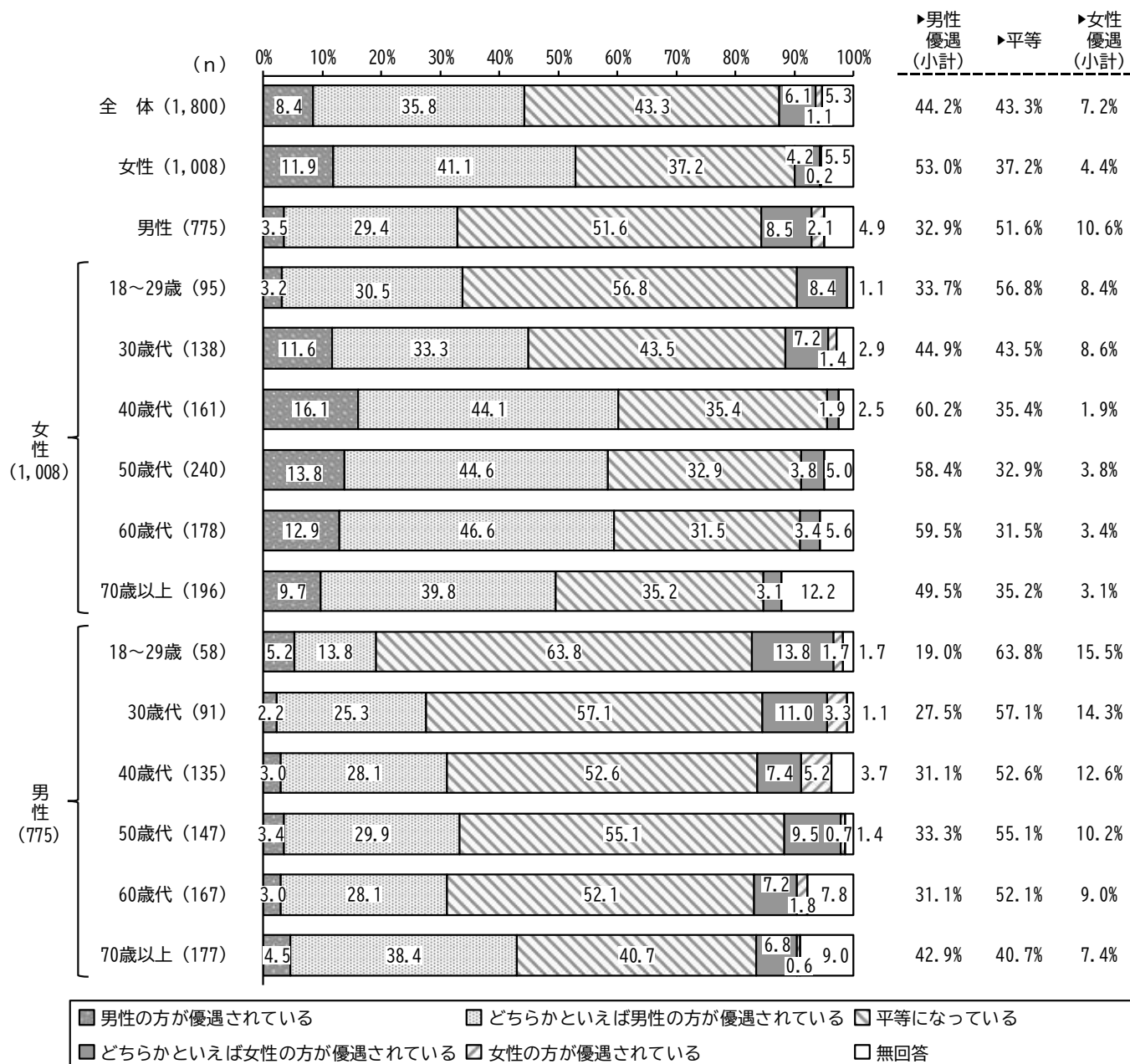
(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



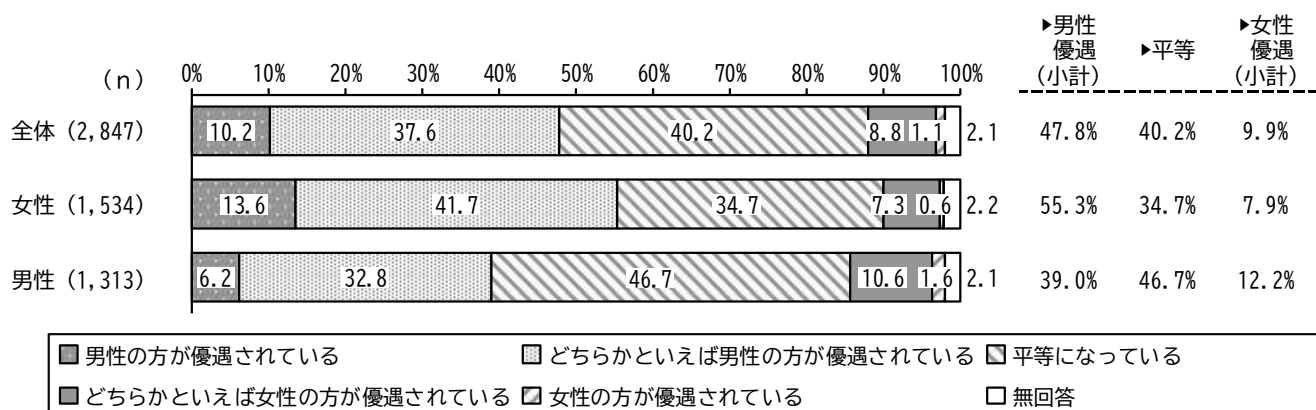
(4) 地域活動の場

「地域活動の場において男女の地位は平等になっているか」という問いに対して、全体では「男性優遇」と「平等」とがほぼ同割合となっているが、男女で異なる分布が見られる(図 2-5)。すなわち、男性では 60 歳代以下の全年代で「平等」が 5 割を超え、また「女性優遇」が 1 割前後と女性に比べて高い。他方、女性では、40 歳代以上では「平等」よりも「男性優遇」の方が多くなるが、30 歳代では両者はほぼ同割合、18～29 歳層では男性同様、「平等」が「男性優遇」を上回る。加えてこれら女性の若年層(30 歳代以下)では「女性優遇」との回答が 40 歳代以上に比べてかなり高い。前回調査の結果との比較は、今回の調査で選択肢から削除された「わからない」が前回調査の回答では相当割合あるので難しいが、それを除いた回答分布は大きく変わらない。また、内閣府調査の結果との比較でも同様に、全体、男性、女性のいずれについても分布は類似している。

図 2-5 地域活動の場における男女の地位の平等感



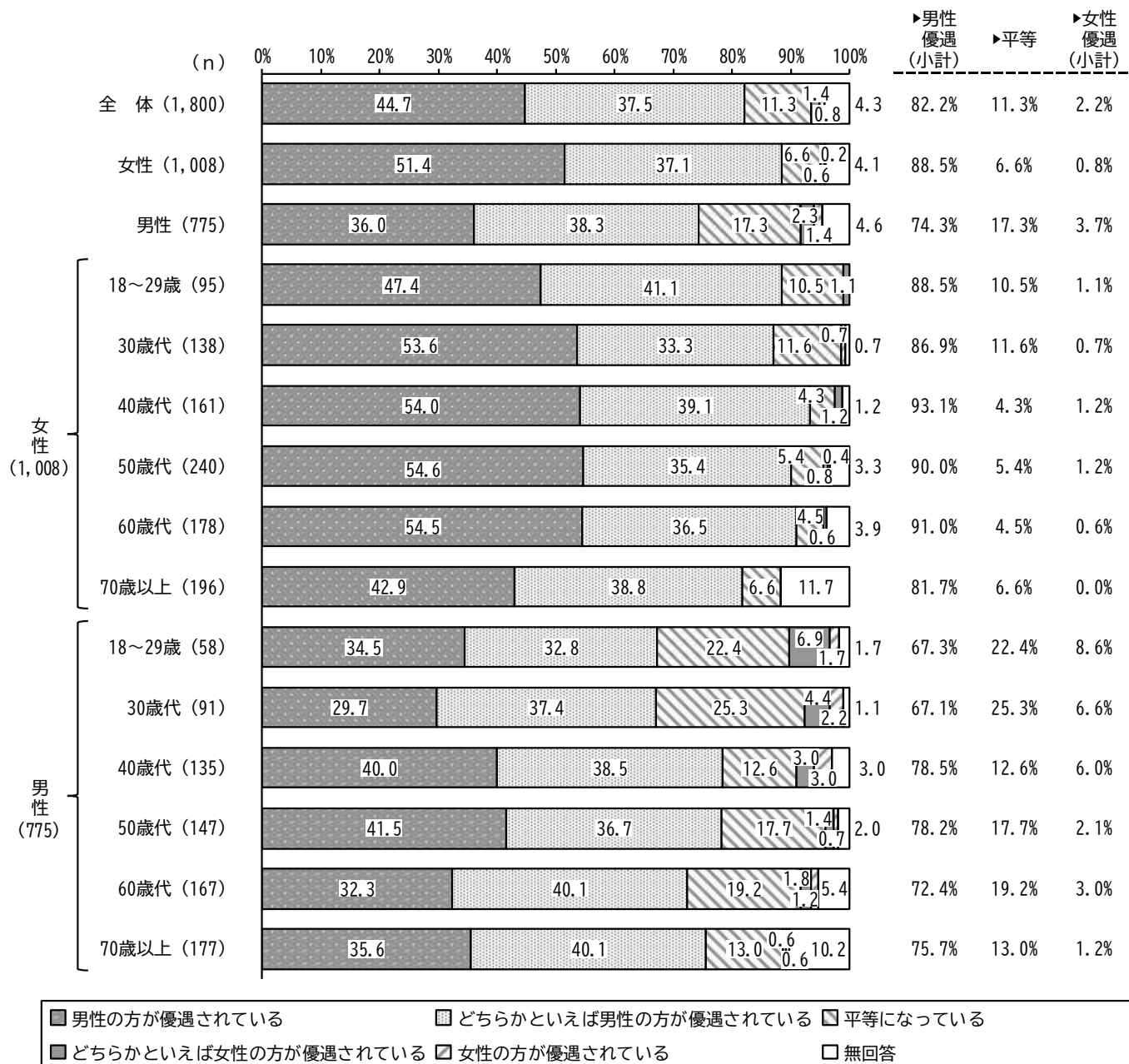
(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



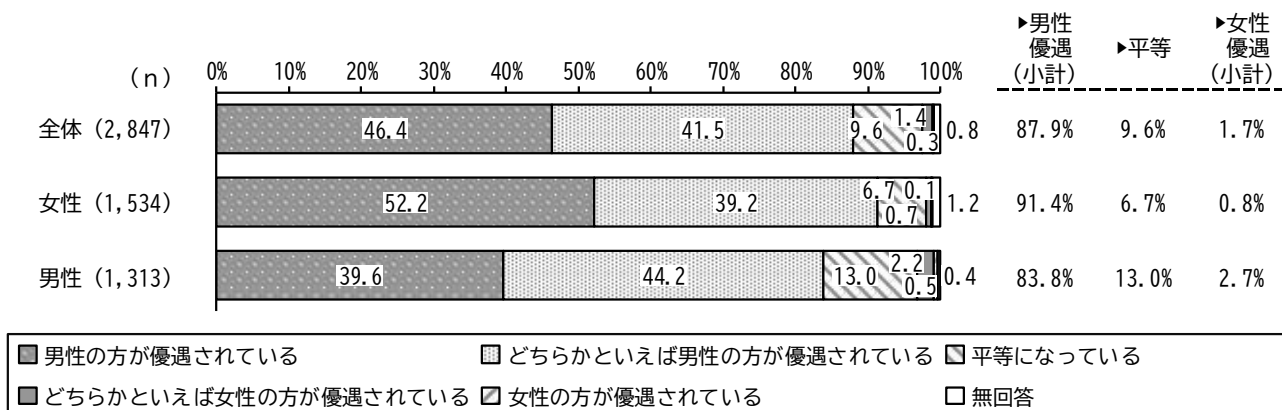
（５）政治の場

「政治の場において男女の地位は平等になっているか」という問いに対しては、いずれの性別・年代でも「男性優遇」が大半を占め、とりわけ女性では約９割に達している（図 2-6）。「平等」は男性において１割強～２割強見られるが、女性ではより少ない。「女性優遇」は男性の 18～29 歳層における１割弱のみで、他の性別・年代ではごくわずかとなっている。平成 30（2018）年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されたが、周知のとおり、各種議員や首長、閣僚等における男女差は引き続き大きく、今回調査のみならず、前回調査や内閣府調査でもその反映とも言える結果が示された。

図 2-6 政治の場における男女の地位の平等感



(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果

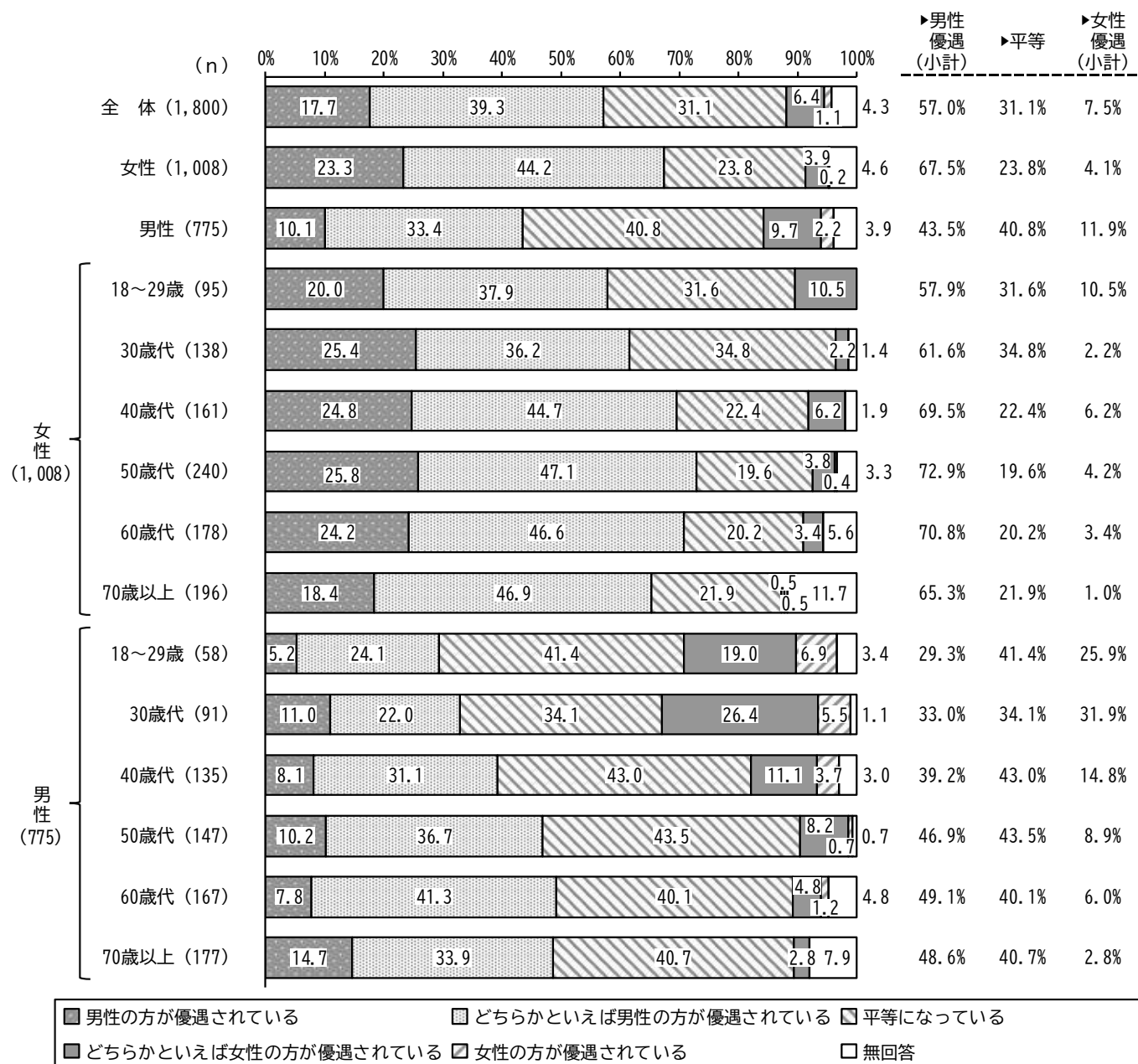


（６）法律や制度

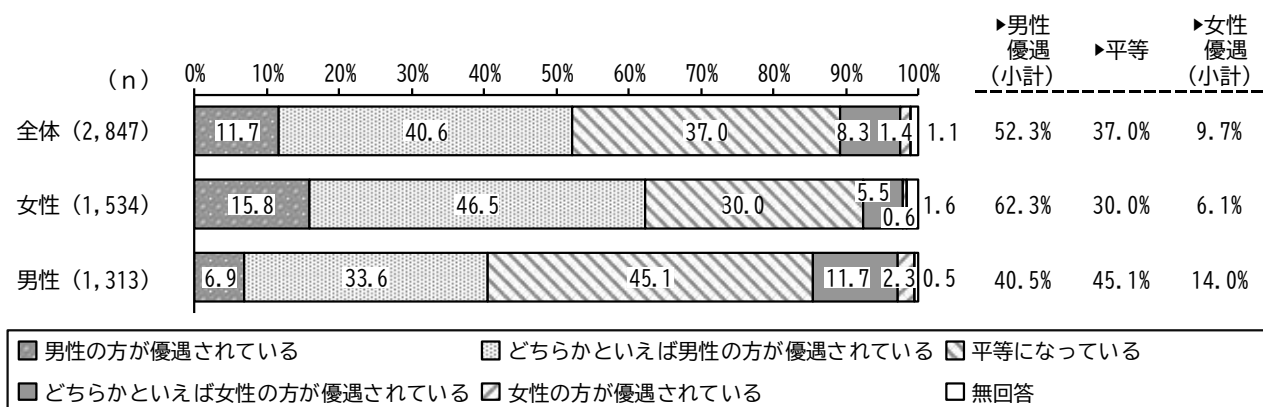
「法律や制度において男女の地位は平等になっているか」という問いに対しては、男女で回答分布に違いが見られた（図 2-7）。まず、男性全体では「男性優遇」が 43.5%で最多、小差で「平等」40.8%が続いた。内閣府の調査でも「平等」が 45.1%、「男性優遇」が 40.5%となっており、両調査から男性では「男性優遇」「平等」がほぼ同割合だと理解しうる。それに対し女性では、今回調査の 18～29 歳を除く全年代において、並びに内閣府の調査でも、6 割超が「男性優遇」、続いて「平等」となっている。前回調査の結果では、今回調査の選択肢にない「わからない」という回答割合が小さいとも言えず、比較が難しいが、回答分布は今回調査及び内閣府調査の結果と似通っている。

なお、今回の調査結果で興味深いのは、男性の年代による回答分布の相違である。すなわち、60 歳代以上では「男性優遇」「平等」の順に多く、40 歳代・50 歳代では「男性優遇」と「平等」が近似、30 歳代では「男性優遇」「平等」、さらに「女性優遇」の三者の回答割合がほぼ同じとなっている（前回調査との比較では、「女性優遇」の回答割合が増加（23.1%→31.9%）している。ちなみに、前回調査の結果における「わからない」の回答割合は 15.4%であった）。そして、最若年層の 18～29 歳層では「平等」が 4 割超、続いて「男性優遇」29.0%、「女性優遇」25.9%となっている。また、各回答の割合から見れば、「平等」が全年代で総じて 4 割なのに対し、「男性優遇」回答は高年齢層で相対的に高く、「女性優遇」回答は逆に若年齢層で相対的に高い。

図 2-7 法律や制度における男女の地位の平等感



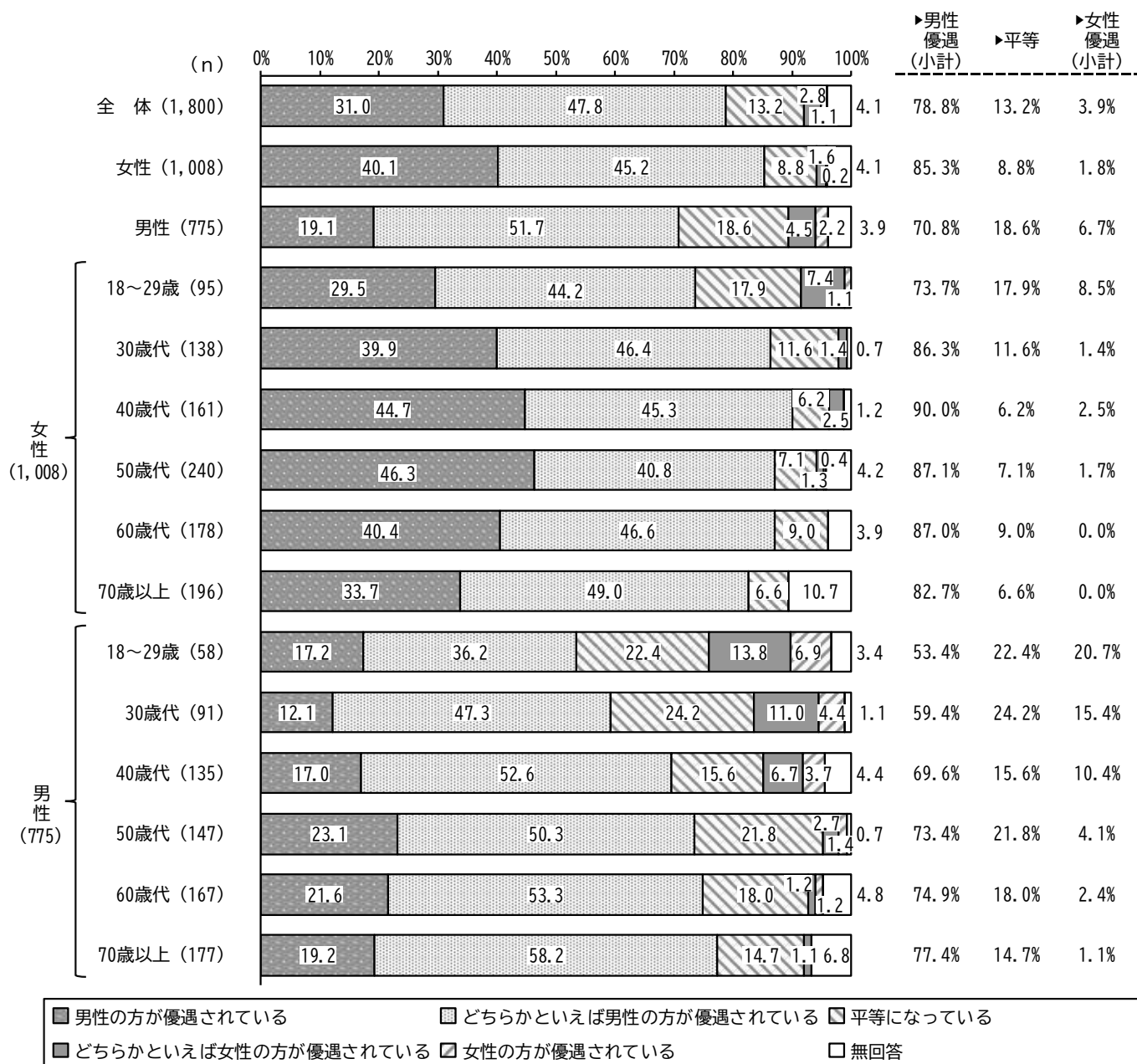
(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



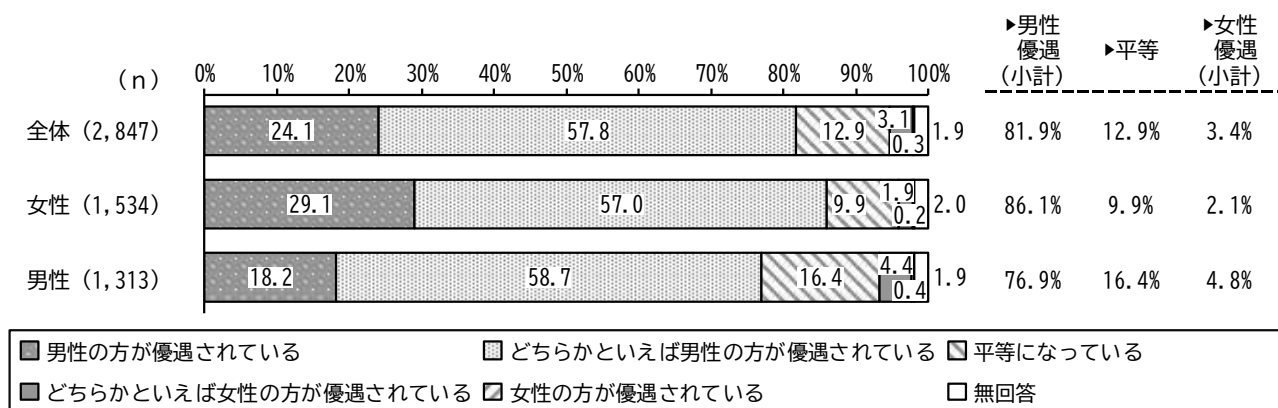
(7) 社会通念・慣習・しきたり

「社会通念・慣習・しきたりにおいて男女の地位は平等になっているか」という問いに対しては、いずれの性別・年代においても「男性優遇」が大きく半数を超え、「政治の場」と並んでその割合が非常に高い（図 2-8）。前回調査及び内閣府の調査でも同様の結果となっている。ただし、男性の 18～29 歳層、並びに 30 歳代では「女性優遇」がそれぞれ 20.7%、15.4%と、「政治の場」に比べてかなり高い（前回調査でも 18～29 歳層の男性では「女性優遇」が 13.6%と唯一 1 割以上であった）。また、女性でも 18～29 歳層では「平等」が 17.9%、さらに「女性優遇」も 8.5%あり、他の年代とは回答分布がやや異なっている。男女を問わず若年層については、「社会通念・慣習・しきたり」に直面した経験が相対的に少ない、あるいは昨今強化が著しい男女平等推進の動きを常に身近に感じている等が考えられ、よって回答が独特の分布を示しているのではないだろうか。

図 2-8 社会通念・慣習・しきたりにおける男女の地位の平等感



(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



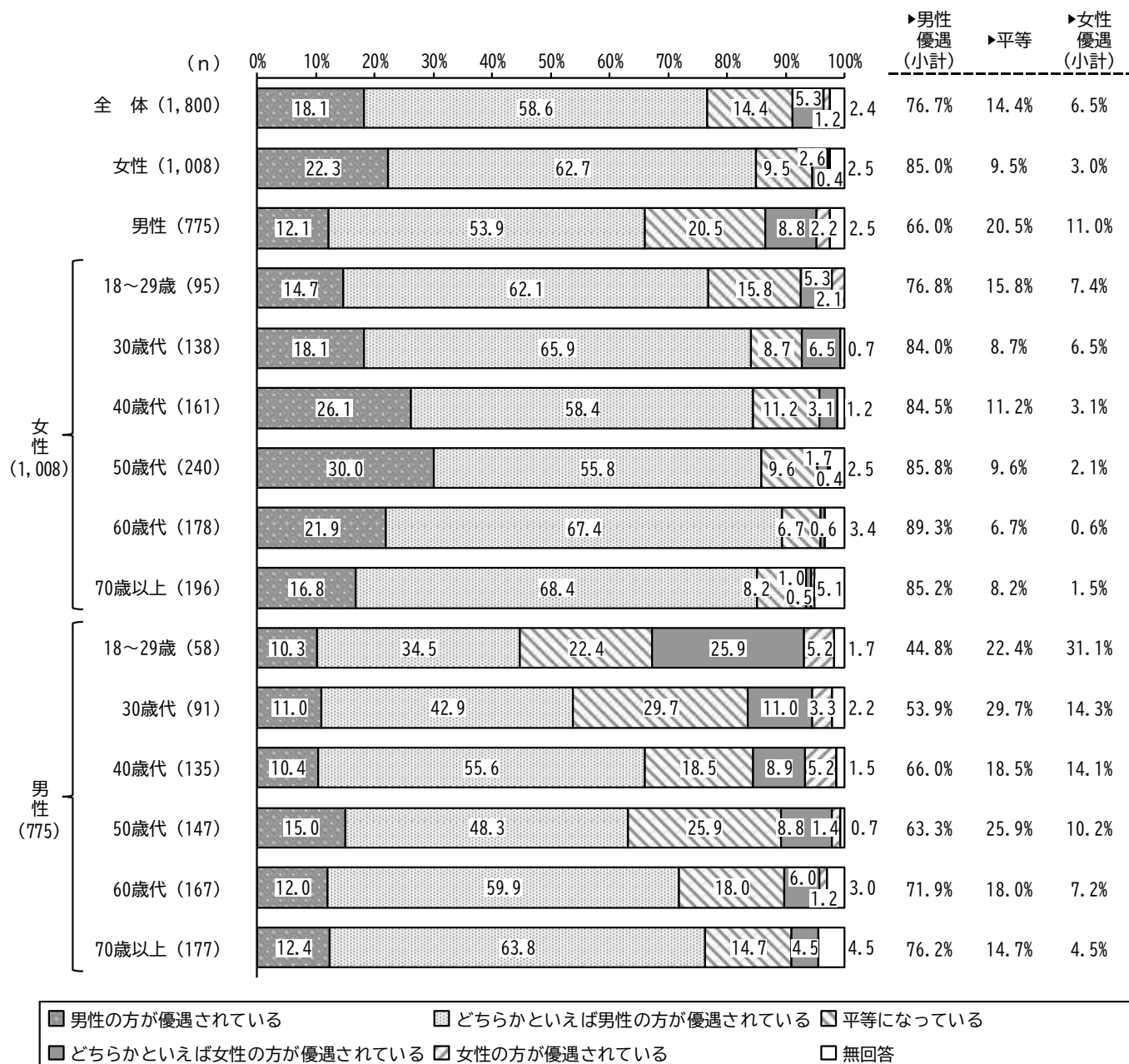
問2 あなたは、社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。【1つだけに○】

問1における(1)～(7)の項目を含め、「社会全体として男女の地位は平等になっているか」という設問に対しては、男性全体、女性全体の双方とも、前回調査並びに内閣府の調査と似たような回答分布が見られた(図2-9)。今回の調査では、女性全体では30歳代以上で8割超が「男性優遇」と回答、18～29歳層では8割を若干下回った(76.8%)ものの、前回調査に比べ17.2ポイント増えた(なお、「平等」が5.5ポイント減った。ただし、今回は削除された、「わからない」の回答が前回調査では12.8%あった)。そして、女性ほどではないが男性でも「男性優遇」の回答がいずれの年代でも最多であり、30歳代以上では過半を占め、年代が高くなるほど割合が高くなった。

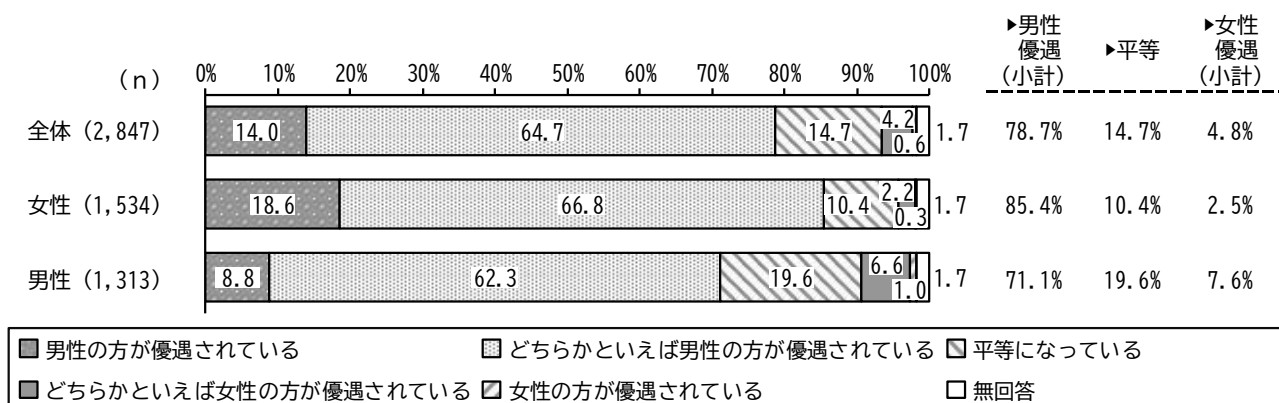
目を引くのは男性18～29歳層の結果である。すなわち、「男性優遇」の回答は半数をやや下回り(44.8%)、それに続くのは他の年代とは異なり、「平等」22.4%ではなく「女性優遇」31.1%となっている。この年代では男女間で回答の分布がかなり相違している。なお、男性の30～50歳代でも「女性優遇」は1割を超え、他の年代に比べて高い。

問1、問2の回答から大きく以下が示されたといえよう。まず、問1の冒頭(図2-1)で見たように回答分布は(1)～(7)の項目を通じて一様ではないが、総じて「男性優遇」との意識が大勢であり、男性よりも女性でそれが強い。次に、それに対して「平等」の回答は男性の方がやや多く、さらに男性、とりわけ若年層で「女性優遇」の回答が少なからず確認される。

図 2-9 社会全体における男女の地位の平等感



(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



2 性別役割分担意識

問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。【1つだけに○】

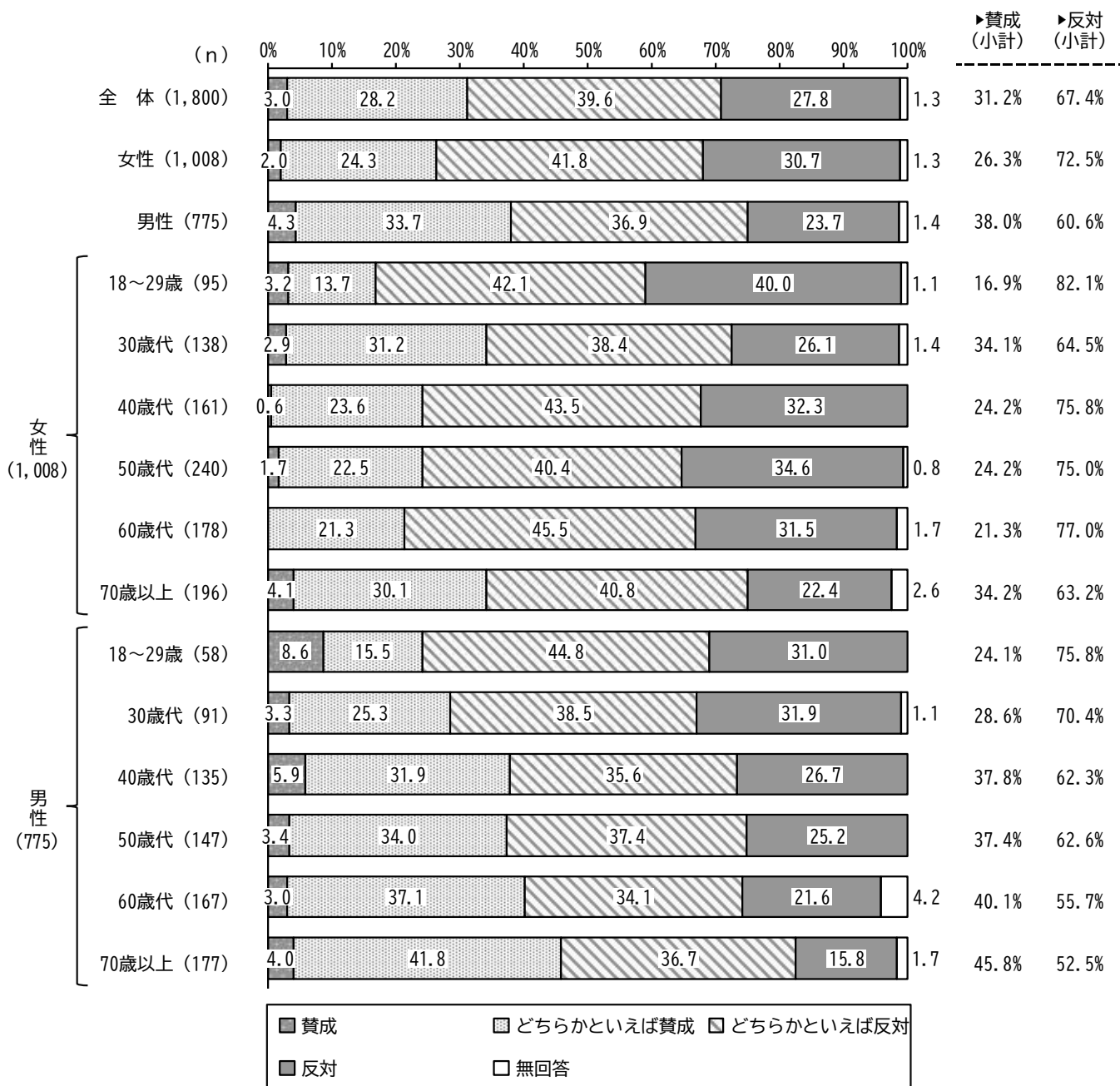
ここでは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という性別役割分担に関する考え方について見てみる。上記の質問を行い、「賛成」「どちらかといえば賛成」「どちらかといえば反対」「反対」の4つの選択肢から1つを選択する形式で、回答者の意見をたずねた。その結果、男性全体、女性全体のいずれも「反対」「どちらかといえば反対」の合計が、「賛成」「どちらかといえば賛成」のそれよりも多かった（図 2-10）。女性では「反対」「どちらかといえば反対」の回答が「賛成」「どちらかといえば賛成」の3倍弱、男性では同じく1.5倍強であり、女性の方が性別役割分担により否定的と言える。こうした回答分布は、内閣府調査のそれと大きく変わらない。

回答を男女別に見ると、まず女性では「反対」「どちらかといえば反対」が、全体で前回調査に比べ18ポイント近く増え（ただし前回調査では、今回調査にない「わからない」が1割強を占めている）、いずれの年代でも過半数に達している。その上で、30歳代と70歳以上では「賛成」「どちらかといえば賛成」が約3分の1に至り、他の年代に比べて多い。70歳以上については、前回調査では「反対」「どちらかといえば反対」が43.6%、「賛成」「どちらかといえば賛成」が44.0%と、双方がほぼ同割合だったので、今回の調査では他の年代の女性の分布に近づいたことになる。他方、30歳代は前回調査から「賛成」「どちらかといえば賛成」がかなり増えている（18.2%→34.1%）。前回調査では「わからない」が17.5%（全性別・年代で最多）あったので、（その選択肢を削除した）今回の調査結果との単純な比較は難しい上で、30歳代女性の回答分布については次の問3-1の結果と合わせて後述する。

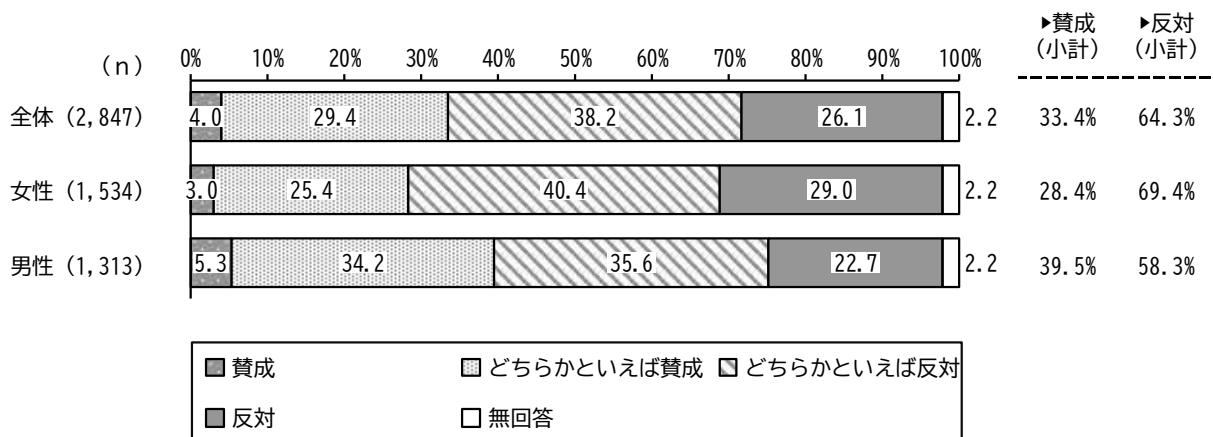
他方、男性では、年代が高くなるにつれて「賛成」「どちらかといえば賛成」の回答が増加する。最年少層の18～29歳では女性全体と似たような分布で、それら回答は約4分の1にとどまる。また、30歳代では、上記のように同年代層の女性の回答がやや特徴的なこともあってか、回答割合が「賛成」「どちらかといえば賛成」については男性が女性より小さく、逆に「反対」「どちらかといえば反対」については男性が女性より大きくなっており、他の年代と相違している。

なお、（家庭内）性別役割分担には、本設問の「夫は外で働き、妻は家庭を守る」とは逆の、「妻が外で働き、夫が家庭を守る」場合もあり得るし、あるいは同性カップルも存在することに留意が必要であろう。さらにそうした分担が原則不可能な単親世帯、単独世帯、他もあり、世帯のあり方は多様である。

図 2-10 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方



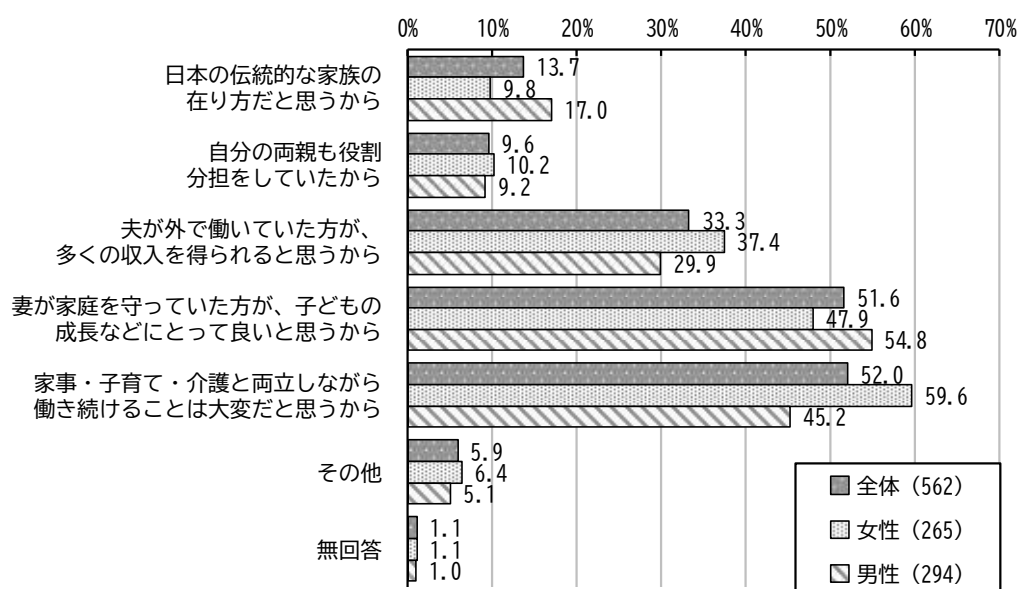
(参考) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和4年（2022）11月実施）」の結果



問3-1 問3で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。
賛成と思うのはなぜですか。【あてはまる番号すべてに○】

全体では、「家事・子育て・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから」52.0%、「妻が家庭を守っていた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」51.6%がほぼ同率で最も高く、「夫が外で働いていた方が、多くの収入を得られると思うから」が33.3%で続いている。男女ともに典型的な性別役割分担が親の負担を軽減し、子の成長にもよい等、家族にとってプラスであると考えて、「賛成」していることが読み取れる。さらに詳細には、男性は「子」、女性は「親」の側からの理由がより多い（図2-11）。特に後者は、図2-10において30歳代女性の「賛成」「どちらかといえば賛成」（あるいは前回調査での同じく「わからない」）の回答割合が他の年代の女性に比べて相対的に高かったことと関連しているのではないだろうか。すなわち、出産・育児を経験する前は性別役割分担に「反対」「どちらかといえば反対」だったが、それらを経験、又は身近に見聞きして、「賛成」「どちらかといえば賛成」が（理想ではないが）現実的である、もしくは「反対」「どちらかといえば反対」とは言い切れないとの考えに至った女性が少なからずいると推察される。出産・育児の未経験者が多いであろう18～29歳層で、男女とも「賛成」「どちらかといえば賛成」割合が各性別中最も低く、同様に「反対」「どちらかといえば反対」割合が最も高くなっていることにも、こうした「理想と現実」が背景としてあるのではないだろうか。

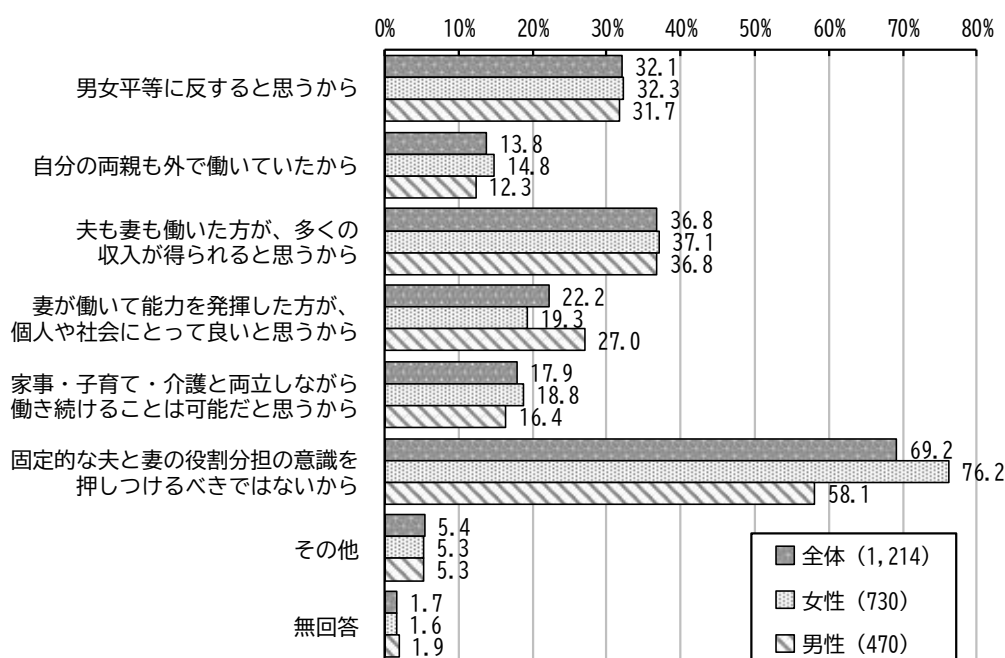
図2-11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成の理由



問3-2 問3で「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方におたずねします。
反対と思うのはなぜですか。【あてはまる番号すべてに○】

全体では「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」の割合が69.2%と最も高く、続いてほぼその半分の割合で「夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから」36.8%、「男女平等に反すると思うから」32.1%が並んでいる（図2-12）。特定の意識を強要することに対する否定や、男女平等の尊重といった、人権上の理由に回答が集まっている。なお、「夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られる」ことは確かであろうが、反面、「時間の貧困」とも称される、「家庭」のための時間の不足につながりやすくなる。共働きカップルでも女性に家事・育児が掛かりやすいことは知られる所であり、本調査の別設問の回答でも確認される。

図2-12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対の理由



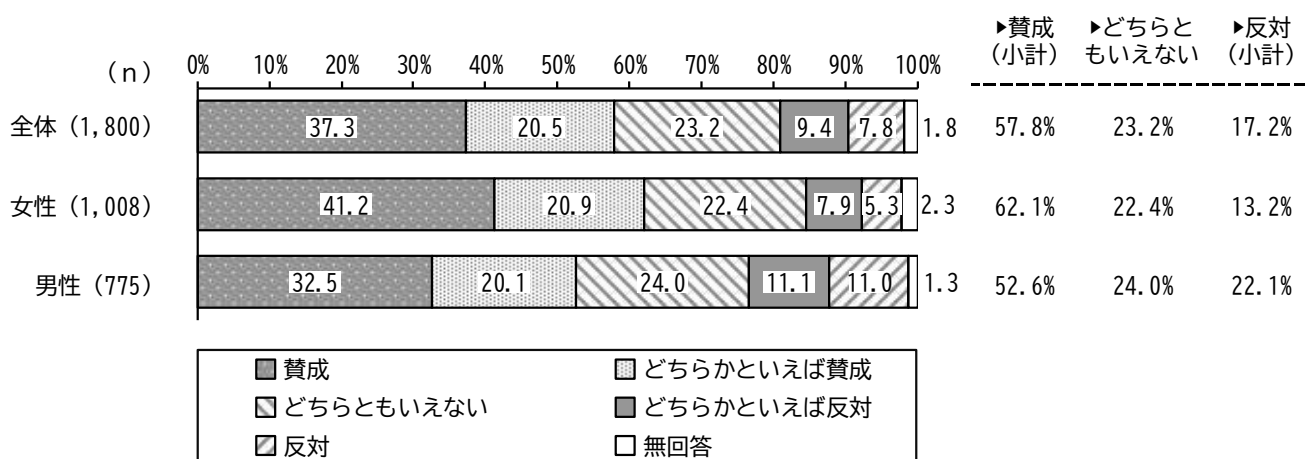
3 結婚後の姓の考え方

問4 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。(1)、(2)それぞれについて、もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。
【それぞれの項目で1つだけに○】

(1) 希望する夫婦は戸籍上、別々の姓であっても構わない

回答割合は男女を問わず、高い順に「賛成」・「どちらかといえば賛成」の合算、「どちらともいえない」、「どちらかといえば反対」・「反対」の合算であった(図2-13)。ただし、「賛成」・「どちらかといえば賛成」は女性の方が、逆に「反対」・「どちらかといえば反対」は男性の方が、それぞれ約10ポイント多かった。現行の夫婦同氏制度では夫・妻いずれの姓を選択しても構わないが、9割以上が夫の姓を選択しており、結婚による改姓で不便・不利益を被るのは主に女性であることから、こうした男女間での相違が生じたと考えられる。

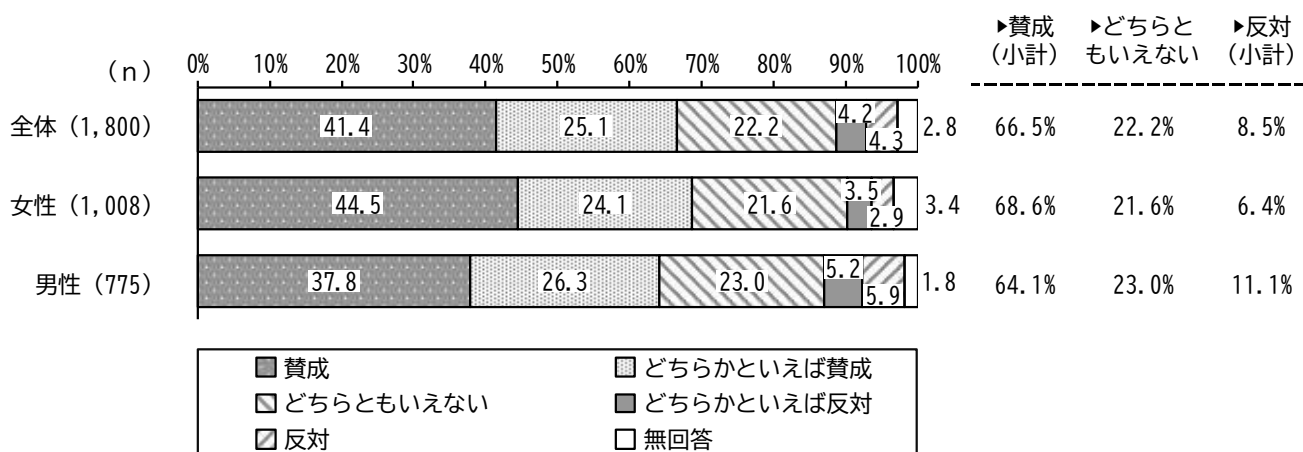
図2-13 希望する夫婦は戸籍上、別々の姓であっても構わない



(2) 結婚後、通称として旧姓使用が可能な範囲が広がる方がよい

上記の問4(1)の質問に対する回答同様、女性、男性の双方とも回答割合は、「賛成」・「どちらかといえば賛成」の合算、「どちらともいえない」、「どちらかといえば反対」・「反対」の合算の順に高かった(図2-14)。その上で、(1)の結果と比較すると、回答割合の男女差は小さく、また「賛成」・「どちらかといえば賛成」の割合が全体、女性、男性のいずれでも高くなっている(当然ながら逆に「どちらかといえば反対」・「反対」は低い)。なお、(1)(2)の回答分布のいずれにおいても、「どちらともいえない」との回答が2割以上存在している。

図2-14 結婚後、通称として旧姓使用が可能な範囲が広がる方がよい



第2章 地域における意識と実態

福祉・環境・防災などの分野における地域活動の活性化のためには、地域活動への参加実態や男女平等参画の視点に立脚して展開していくことが必要だとされている。

したがって、今回調査の地域カテゴリーでは、名古屋市内の地域での活動の参加経験や女性が地域リーダーになるために必要なこと、災害時の避難所運営のあり方について、性別や世代によってどのような意識や実態の違いがあるかについて把握することをねらいとした質問を行った。第9回調査から継続した設問もあるが、地域での活動に参加していない理由についての設問は、今回調査で初めて導入したものである。

1 地域での活動への参加経験

問5 現在も含めてこれまでに、あなたは地域でどのような活動に参加しましたか。
【あてはまる番号すべてに○】

「自治会・町内会活動」をはじめとした具体的な地域活動分野を6つと「その他」「いずれも参加したことがない」（「参加経験なし」）を加えた8の選択肢を示して、地域活動への参加経験をたずねたところ、「参加経験なし」（29.1%）と無回答（0.8%）を除く70.1%はいずれかの地域活動分野への参加経験があると回答した。（図 2-15）「いずれも参加したことがない」は、女性が21.8%、男性が38.2%であった。いずれかの地域活動への参加経験があると回答した人の活動分野数の平均は2.29であり、前回調査とほとんど変わりなかった。

地域活動への参加経験のある回答者の割合（以下、「参加経験割合」とする。）は、第7回調査71.4%、第8回調査71.5%、第9回調査71.3%、そして今回調査では70.1%となり、この20年間の調査では約7割で推移している。

今回調査を全体として見ると、地域での活動の参加経験割合は女性全体が77.5%であるのに対して、男性全体が60.9%と、女性が男性よりも高いことはこれまでの基礎調査結果と同様であるが、前回調査と比して女性は参加割合が微減している（前回調査では、女性全体が79.6%、男性全体が60.0%）。なお、今回調査では、前回調査にはなかった「ごみ・資源収集の協力、清掃活動」を加え、「女性会などの地域女性団体」、「教養・趣味・スポーツサークル」を削除するなど、調査項目に変更を加えている。

参加割合が高い分野は、全体では、「自治会・町内会活動」（50.2%）、「PTAや子ども会活動」（35.7%）、「ごみ・資源収集の協力、清掃活動」（33.9%）の順で上位を占めている。女性全体では、「自治会・町内会活動」（56.9%）、「PTAや子ども会活動」（52.4%）、「ごみ・資源収集の協力、清掃活動」（38.4%）の順であるのに対し、男性全体では、「自治会・町内会活動」（41.7%）、「いずれも参加したことがない」（38.2%）、「ごみ・資源収集の協力、清掃活動」（28.5%）の順である。

男女差が最も顕著であったのは「PTAや子ども会活動」であり、その男性の参加経験は14.2%で、女性との差は38.2ポイントの開きがあった。前回調査よりもその差はさらに5ポイント以上拡大している。子育てにおける男性（父親）の参加率の低さについては、性別役割分担意識が根強く残っていること（図 2-10 参照）、さらに子育ての中心が今なお母親（女性）であるという

実態（図 2-24 参照）を反映していると考えられる。

なお、子ども家庭庁による「令和 3 年度全国ひとり親世帯等調査」によれば、離婚又は死別による「ひとり親世帯」は増加傾向にあり、「母子世帯」は 119.5 万世帯、「父子世帯」は 14.9 万世帯と推計されている。令和 6（2024）年 5 月の民法等改正（令和 8（2026）年 5 月までに施行）により共同親権の導入が決まっている。

図 2-15 地域活動への参加経験

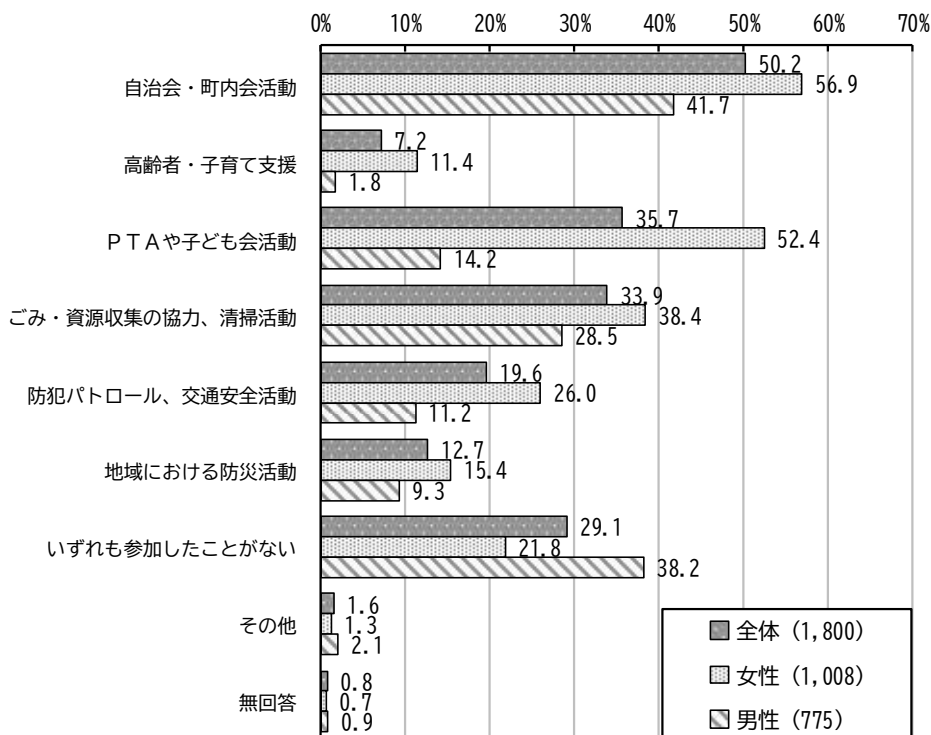


表 2-1 は、性別・年齢階級別に見た地域活動への参加割合である。女性は年代が高くなるにつれて地域活動への参加割合が高まり、50 歳代・60 歳代・70 歳以上の年齢階級別参加経験割合はいずれも 8 割を超えるのに対し、男性は 30 歳代が 48.4%と最も低く、その後の年代でも 5 割後半から 6 割半ばの参加率にとどまる。18～29 歳が 67.2%で参加経験割合が最も高い。

今回の調査結果の特徴としては、従来の調査ではいずれの年齢層においても女性が男性を上回っていたのに対して、今回調査において初めて 18～29 歳において男性の参加経験割合（67.2%）が女性のそれ（44.2%）を上回る結果を示したことである（23.0 ポイントの男女差）。30 歳代でも女性と男性の地域活動への参加経験割合は、女性 55.8%、男性 48.4%とその差は 7.4%にまで縮小している。これは、特に 18～29 歳において、女性の参加経験割合が前回調査（56.4%）から 10 ポイント以上低下したのに対して、男性の参加経験割合は前回調査（55.6%）から 10 ポイント以上増加したこと、さらに 30 歳代男性の参加経験割合も前回調査（37.4%）から 10 ポイント以上増加した結果である。

また前回調査と比較すると、女性の参加率が高い「PTAや子ども会活動」について、18 歳～29 歳の参加経験割合が 37.2%から 21.1%へ、30 歳代が 35.7%から 29.0%へ、40 歳代が 59.3%から 57.1%へ、50 歳代が 61.5%から 70.8%へと推移しており、この背景には、非婚化・晩婚化、子なし夫婦の増加、高齢出産などの影響があると推測される。

表 2-1 性別・年齢階級別に見た地域活動への参加経験割合

単位：％

	参加経験割合％		
	女性	男性	男女差
18～29歳	44.2	67.2	-23.0
30歳代	55.8	48.4	7.4
40歳代	73.3	58.5	14.8
50歳代	88.4	59.2	29.2
60歳代	86.5	64.1	22.4
70歳以上	90.8	65.5	25.3
全体	77.5	60.9	16.6

表 2-2 は、性別・年齢階級別に見た参加経験の上位を占める回答である。参加経験割合の高い地域活動の上位 3 つを女性・年齢階級別に見ると、「いずれも参加したことがない」の回答が 1 位である 18～29 歳女性及び 30 歳代女性以外の 40 歳代以上の年代では、「PTA や子ども会活動」と「自治会・町内会活動」が 1 位又は 2 位を占めている。また、「ごみ・資源の協力、清掃活動」は、18～29 歳で第 2 位、40 歳代・50 歳代・60 歳代・70 歳以上では第 3 位であった。なお、18～29 歳女性及び 30 歳代女性の「いずれも参加したことがない」の回答割合については、前回調査ではそれぞれ 43.6%、41.3%であり、いずれも減少した。

男性・年齢階級別の場合、「いずれも参加したことがない」が 30 歳代で第 1 位となり、ほかの全ての世代では第 2 位を占めた。「自治会・町内会活動」は、40 歳代から 70 歳以上で第 1 位、18～29 歳・30 歳代で第 3 位となり、「ごみ・資源収集の協力、清掃活動」は、18～29 歳で第 1 位、30 歳代で第 2 位、40 歳代・50 歳代・60 歳代・70 歳以上で第 3 位であった。

今回の調査結果では、男女とも若年層では地域活動への参加経験は半数程度にとどまるが、女性の場合には、子育て世代になると「PTA や子ども会活動」や「自治会・町内会活動」への参加経験が増え、50 歳代・60 歳代・70 歳以上になると 6 割から 7 割台に至っていることが認められる。これに対して、男性の場合には、「自治会・町内会活動」への参加経験は 40 歳代以降の全ての年代で 4 割から 5 割台あるものの、同じ 40 歳代以降の全ての年代で「いずれも参加したことがない」との回答が 4 割から 3 割程度あることが認められる。

表 2-2 性別・年齢階級別に見た参加経験の上位を占める回答

年齢	性別	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
18～29 歳	女性	いずれも参加したことがない (54.7%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (29.5%)	PTA や子ども会活動 (21.1%)	自治会・町内会活動 (17.9%)	防犯パトロール、交通安全活動 (9.5%)
	男性	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (37.9%)	いずれも参加したことがない (32.8%)	自治会・町内会活動 (22.4%)	防犯パトロール、交通安全活動 (6.9%)	地域における防災活動 (6.9%)
30歳代	女性	いずれも参加したことがない (44.2%)	自治会・町内会活動 (33.3%)	PTA や子ども会活動 (29.0%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (21.7%)	高齢者・子育て支援 (14.5%)
	男性	いずれも参加したことがない (51.6%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (27.5%)	自治会・町内会活動 (20.9%)	PTA や子ども会活動 (17.6%)	地域における防災活動 (11.0%)
40歳代	女性	PTA や子ども会活動 (57.1%)	自治会・町内会活動 (49.1%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (28.0%)	防犯パトロール、交通安全活動 (26.7%)	いずれも参加したことがない (26.7%)
	男性	自治会・町内会活動 (41.5%)	いずれも参加したことがない (41.5%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (24.4%)	PTA や子ども会活動 (20.7%)	防犯パトロール、交通安全活動 (13.3%)
50歳代	女性	PTA や子ども会活動 (70.8%)	自治会・町内会活動 (69.6%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (45.8%)	防犯パトロール、交通安全活動 (39.6%)	地域における防災活動 (20.4%)
	男性	自治会・町内会活動 (40.8%)	いずれも参加したことがない (40.8%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (26.5%)	PTA や子ども会活動 (19.7%)	防犯パトロール、交通安全活動 (7.5%)
60歳代	女性	自治会・町内会活動 (73.6%)	PTA や子ども会活動 (61.2%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (46.1%)	防犯パトロール、交通安全活動 (30.9%)	地域における防災活動 (21.9%)
	男性	自治会・町内会活動 (49.7%)	いずれも参加したことがない (32.3%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (31.7%)	防犯パトロール、交通安全活動 (12.0%)	地域における防災活動 (9.6%)
70歳代以上	女性	自治会・町内会活動 (68.4%)	PTA や子ども会活動 (49.5%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (46.9%)	防犯パトロール、交通安全活動 (24.0%)	地域における防災活動 (17.3%)
	男性	自治会・町内会活動 (52.0%)	いずれも参加したことがない (33.9%)	ごみ・資源収集の協力、清掃活動 (27.7%)	防犯パトロール、交通安全活動 (15.3%)	地域における防災活動 (14.7%)

注) 括弧内の数字は、それぞれの性別・年齢別の回答者のうち、当該の条件を選択した回答者の割合である。

問5-1 問5で「いずれも参加したことがない」と答えた方におたずねします。
あなたが、活動に参加していないのはどのような理由ですか。
【あてはまる番号すべてに○】

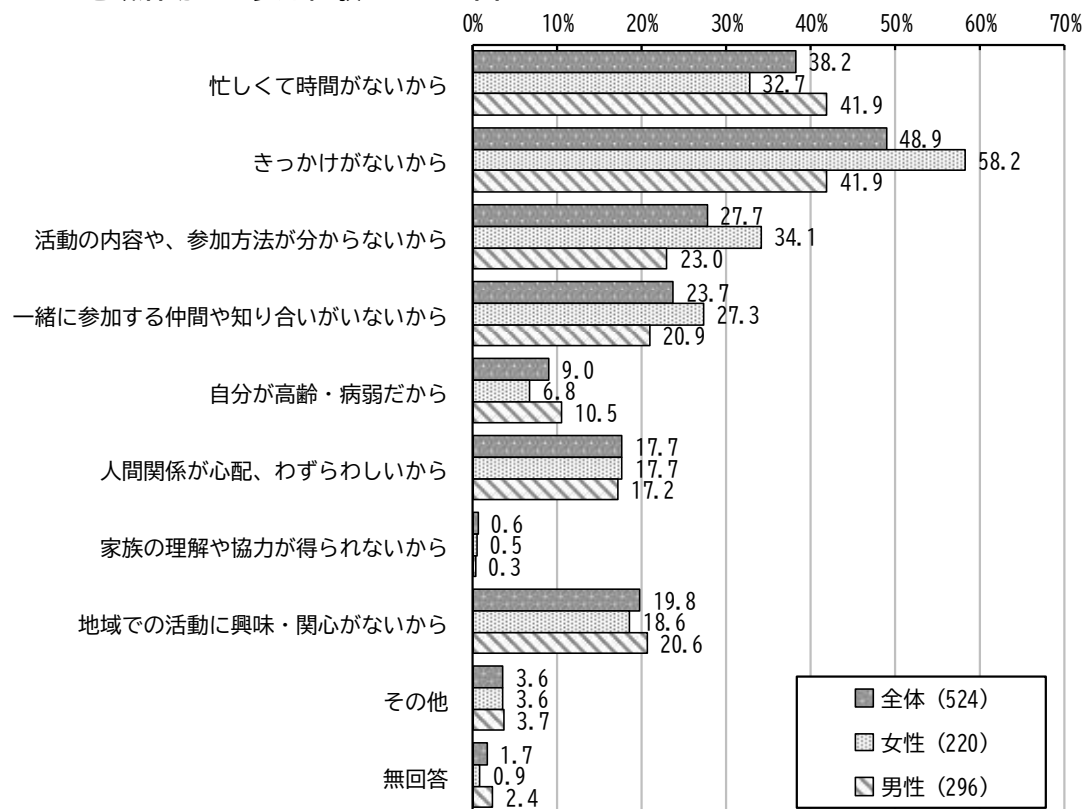
地域活動に参加していない理由について、全体では、「きっかけがないから」の割合が48.9%と最も高く、次いで「忙しくて時間がないから」の割合が38.2%、「活動の内容や、参加方法が分からないから」の割合が27.7%となっている。

図2-16に見るように、女性で多いのは、「きっかけがないから」の割合が58.2%、「活動の内容や、参加方法が分からないから」が34.1%、「忙しくて時間がないから」が32.7%、「一緒に参加する仲間や知り合いがいないから」が27.3%、「地域での活動に興味・関心がないから」が18.6%という順番であった。男性の場合には、「きっかけがないから」及び「忙しくて時間がないから」の割合が41.9%で同率第1位、「活動の内容や、参加方法が分からないから」が23.0%、「一緒に参加する仲間や知り合いがいないから」が20.9%、「地域での活動に興味がないから」が20.6%の順であった。

内閣府男女共同参画局『平成20年版男女共同参画白書』によれば、地域の活動には住民同士のつながりが大きく関係しており、①少子高齢化や人口減少の進展、②近隣との関係の希薄化、③地域における世代間の交流の減少、④仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現の困難さといった現象がみられる中で、以前と比較して地域のつながりが希薄化している。他方で、社会への貢献意欲や地域活動への参加意欲は高まっており、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていると答えた者の割合が全体で69.2%に達している（内閣府「社会意識に関する世論調査」（平成20（2008）年2月実施））ことも指摘されている。社会への貢献意識については、令和6年（2023）年10月に内閣府が実施した同調査においても、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていると答えた者の割合が63.6%と、依然として6割を超えている。

今回の調査結果からは、「きっかけ」があれば、さらに「活動の内容や参加方法」が分かれば、これまで参加経験のない住民が地域での活動に参加する可能性があることが考えられる。

図 2-16 地域活動への参加経験がない理由



2 地域における方針決定過程への女性の参画

問6 地域における方針決定への女性の参画についておたずねします。あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域での活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまる番号すべてに○】

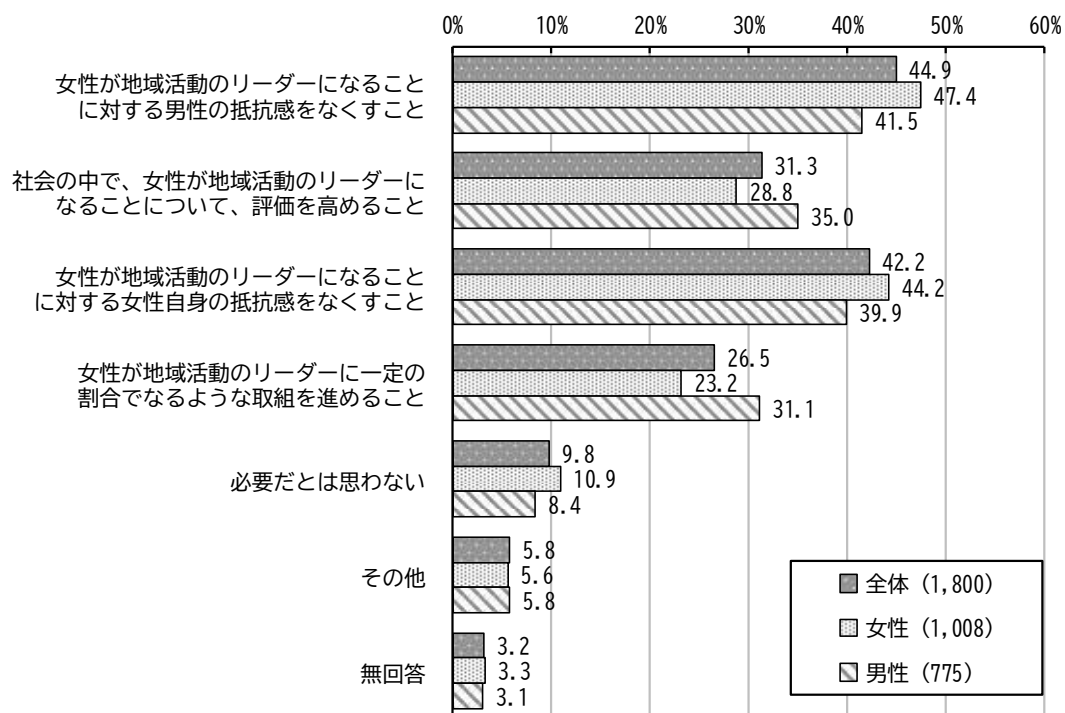
全体で見ると、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」(44.9%)と「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」(42.2%)がほぼ同じ割合で上位を占め、以下、「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること」(31.3%)、「女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること」(26.5%)の順となった。また、「必要だとは思わない」は9.8%、「その他」は5.8%であった。

図2-17に見るように、女性は、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」(47.4%)がもっとも多く、次いで「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」(44.2%)、「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること」(28.8%)の順であった。男性も、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」(41.5%)がもっとも多く、次に「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」(39.9%)、「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること」(35.0%)の順となり、前回調査と比較すると、男性では1位の理由と2位の理由が入れ替わった。

性別・年齢階級別に見ると、「男性の抵抗感をなくすこと」は、60歳代女性が52.2%で最も高く、18歳～29歳男性が34.5%で最も低い。「女性自身の抵抗感をなくすこと」も、60歳代女性が53.4%で最も高く、18歳～29歳男性が29.3%で最も低い結果であった。

自治会・町内会をはじめとする地域の活動団体において、会長・役員業務の見直しを行うことで、誰もが担い手になりやすくし、女性会長・役員が増えることや自治会活動の持続可能性を高めていくことが求められるが、「女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること」については、70歳以上男性の44.1%に対し、30歳代女性が17.4%、18～29歳男性が13.8%であり、性別や年齢階級による回答割合の差が生じている。

図 2-17 女性が地域のリーダーになるために必要なこと



3 災害時の避難所運営

問7 地域の防災についておたずねします。災害時の避難所運営について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。【あてはまる番号すべてに○】

「女性用スペース（着替え、物干し場など）や授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること」が80.8%（女性86.1%、男性73.9%）と最も高かった。次いで、「避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること」は69.7%（女性67.1%、男性73.0%）、「性別により異なる悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置」は55.4%（女性61.7%、男性46.8%）、「女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消」は36.2%（女性35.6%、男性36.4%）の順となった。（図2-18）

割合の多い3項目及び順位については前回調査と同様であるが、「避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること」は前回調査比7.8ポイント増、「女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消」は前回調査比6.4ポイント増となり、日本各地において自然災害が多発する中で、男女平等参画の意識は向上していると考えられる。

表2-3は性別・年齢階級別に見たものであるが、「女性用スペース（着替え、物干し場など）や授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること」は、50歳代・60歳代・70歳以上の男性以外では第1位となり、70歳以上以外の世代の女性では86.3%から89.9%という高い回答比率であった。50歳代・60歳代・70歳以上の男性では、「避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること」の割合がもっとも高かった。この項目については、前回比で、40歳代男性を除く全ての性別・年齢階級において回答率が高くなっているが、18～29歳女性が前回比で24.8ポイント増、18～29歳男性が18.4ポイント増と若い世代での回答率が顕著に増加した。また「性別により異なる悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置」という項目については、前回比で18～29歳女性が19.5ポイント増と、若い世代の女性の回答率が大きく増加した。

図2-18 災害時の避難所運営で必要なこと

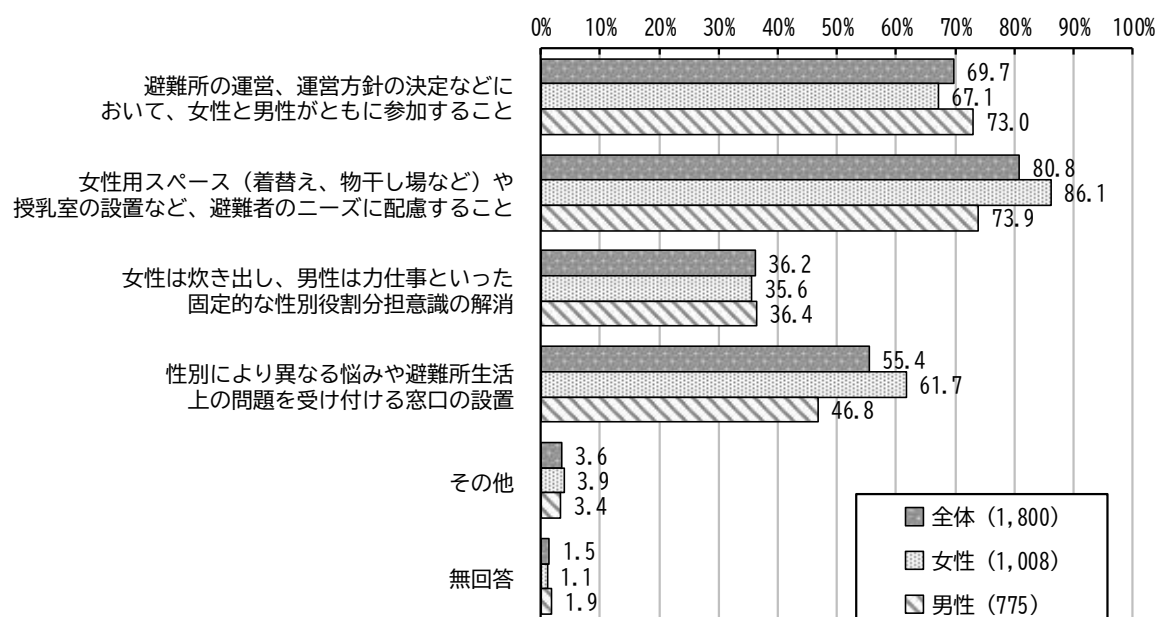


表 2-3 性別・年齢階級別に見た災害時の避難所運営で必要なこと

単位：％

		避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること	女性用スペース（着替え、物干し場など）や授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること	女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消	性別により異なる悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置
女性	18～29歳	69.5	86.3	31.6	58.9
	30歳代	67.4	88.4	22.5	57.2
	40歳代	61.5	88.2	34.8	62.1
	50歳代	65.0	88.8	39.6	60.0
	60歳代	70.8	89.9	43.3	68.0
	70歳以上	69.4	76.0	35.7	62.2
男性	18～29歳	69.0	79.3	25.9	37.9
	30歳代	72.5	72.5	37.4	49.5
	40歳代	65.9	77.0	35.6	50.4
	50歳代	71.4	68.7	32.7	41.5
	60歳代	73.7	73.1	40.7	44.3
	70歳以上	80.8	75.7	39.0	52.5

注)「その他」「無回答」の回答割合は記載していない。

第3章 労働における意識と実態

男女平等参画を考える上で、労働分野はその主要な分野の1つと言える。以下の分析では、生活時間（仕事、家事、子育て、介護）、配偶者やパートナー（以下「配偶者等」という。）の間の家事、子育て、介護などの役割分担の希望と実際、男性の育児休業についての考えという項目に関する結果について報告する。

以上の項目の調査結果を検討することを通して、男女平等参画の推進にあたって重要となることは何であるかを見定めていきたい。

1 仕事や家事などに要する時間

問8 1日のうちであなたが仕事や家事、子育て、介護に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。

（1）仕事（在宅就労を含む。また通勤時間を含む）【1つだけに○】

仕事に要する時間について、全体を見ると、「なし」の回答を除くと、男女ともに1日「7時間～9時間未満」が最も多く、女性は21.1%、男性は23.1%である。次いで「9時間～11時間未満」が多く、女性は15.0%、男性は22.5%である。前回調査と比べると、女性の順位は変わっていないが、男性は「9～11時間未満」が最多であったところ、今回「7～9時間未満」が6.0ポイント増加し、女性と同じ順位となっている。

ア 女性の変化

子育て期にあたる30歳代と40歳代で「なし」とした割合はそれぞれ19.6%、10.6%で、前回調査とほぼ同じであり変化は見られなかった。一方、18～29歳では「7～9時間未満」の割合が13.0ポイント減少し、「9～11時間未満」と「11時間以上」の割合がそれぞれ10.3ポイント、2.0ポイント増加している。また、50歳代では「7～9時間未満」と「9～11時間未満」でそれぞれ6.2ポイント、4.5ポイント増加していることも確認された。これらの結果から、子育て期にあたる30～40歳代では大きな変化はないものの、その前後の年代で仕事の時間が長くなる傾向があると言える。

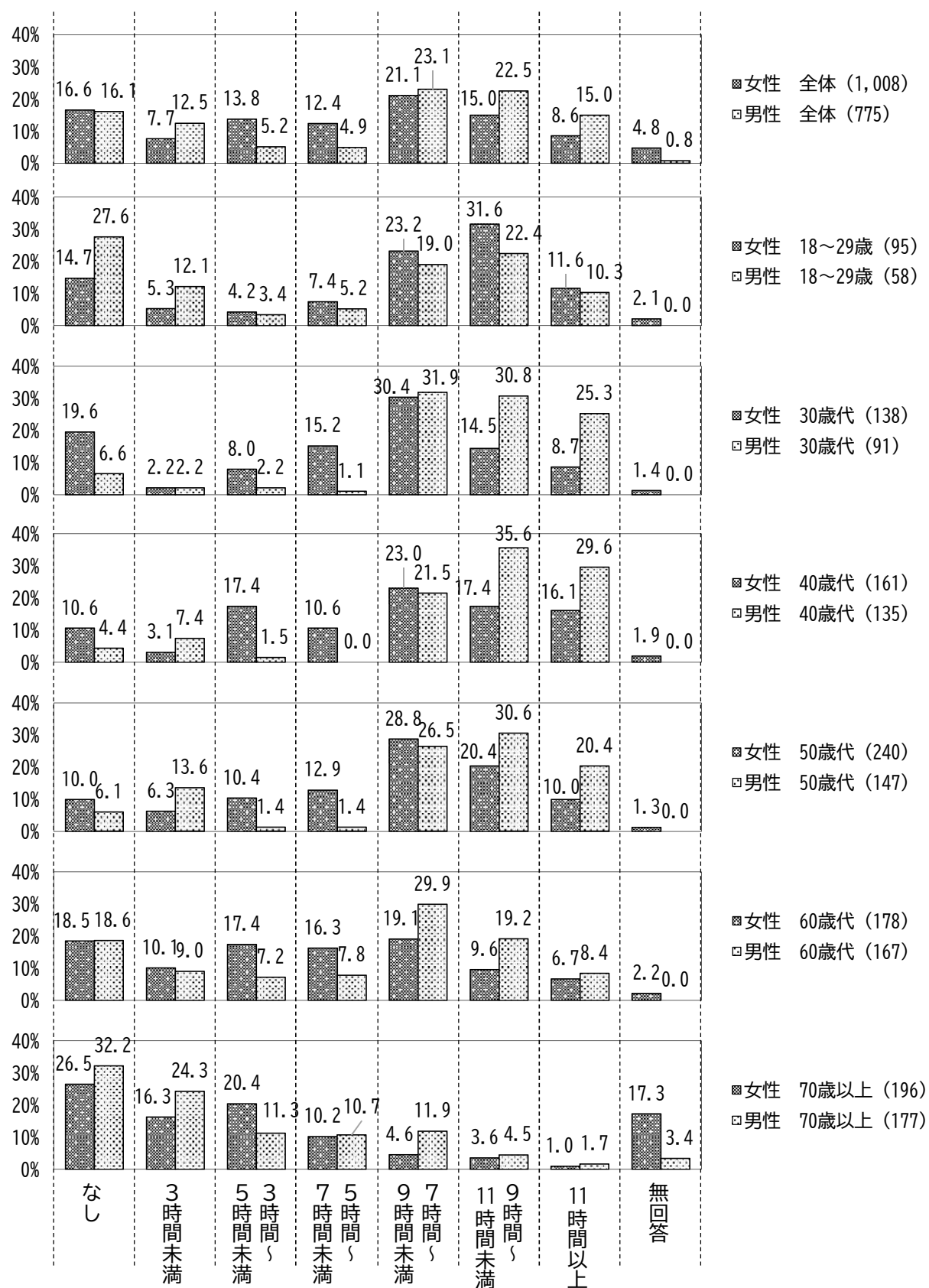
イ 男性の変化

男性の仕事時間が変化した要因について、年代別に比較すると、「7～9時間未満」と回答した人の割合は、19～29歳を除く全ての年代で増加している。特に、30歳代で18.7ポイント、40歳代で8.1ポイントと、子育て期にあたる年代でその傾向が顕著である。

「9時間～11時間未満」については、19～29歳で6.0ポイント、30歳代で2.2ポイント、40歳代で1.3ポイント減少したのに対し、50歳代で1.1ポイント、60歳代で7.8ポイント、70歳以上で1.4ポイント増加しており、40歳代以下と50歳代以上では対照的な変化をみせている。

「11時間以上」とした人の割合は、40歳代の4.1ポイントの増加を除くと、どの年代も0.8～7.0ポイント減少している。30歳代の2.5割程度（25.3%）、40歳代の3割（29.6%）、50歳代の2割（20.4%）が、平日に11時間以上働くという結果は前回と同様だが、前回との比較において総合的に判断すると、男性の平日の仕事時間は長時間労働からのシフトの兆しが見える。

図 2-19 1日（平日）のうち仕事に要する時間（年代別）



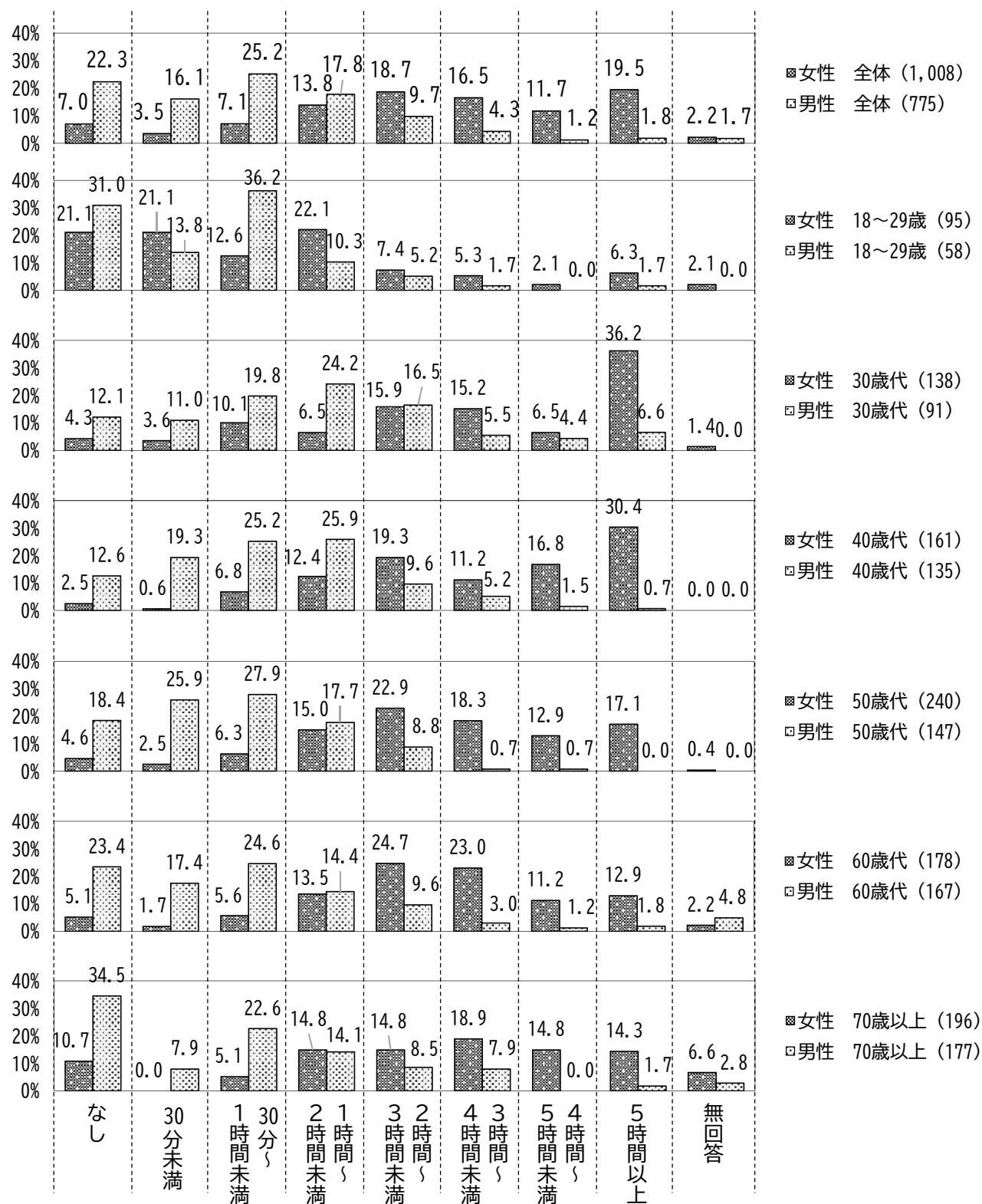
（２）家事全般（子育て・介護を含む）【１つだけに○】

ア 年代別

平日の家事に要する時間について全体を見ると、女性では「５時間以上(19.5%)」が、男性では「30分～１時間未満(25.2%)」が最も多かった。前回調査と比較すると、女性で「５時間以上」と回答する人の割合は1.3ポイント減少している。一方、男性では「なし」と回答する人が2.1ポイント、「30分未満」と回答する人が6.3ポイント減少し、「30分～１時間未満」と回答する人が5.2ポイント増加した。これらの結果から、女性の家事時間は減少し、男性の家事参加が増えているものの、変化はわずかであり、家事分担の平等はあまり進んでいないことがわかる。

子育て期にあたる30歳代及び40歳代では、女性の「５時間以上」とする割合が最も多く、それぞれ36.2%、30.4%となっている。一方、男性はどちらの年代でも「１～２時間未満」が最も多い（30歳代は24.2%、40歳代は25.9%）。50歳代、60歳代では、女性の家事時間は「２～３時間未満」が最も多く、22.9%、24.7%となっており、男性は「30分～１時間未満」が最も多く、27.9%、24.6%となっている。70歳代以降では、家事時間の男女差は縮小するが、「なし」の割合は、女性が１割程度に対して男性は３割を超えている。これらの結果は、年代により家事にかかる時間は変化するが、家事負担は一貫して女性に偏っていることを示している。

図 2-20 1日（平日）のうち家事全般（子育て・介護を含む）に要する時間（年代別）



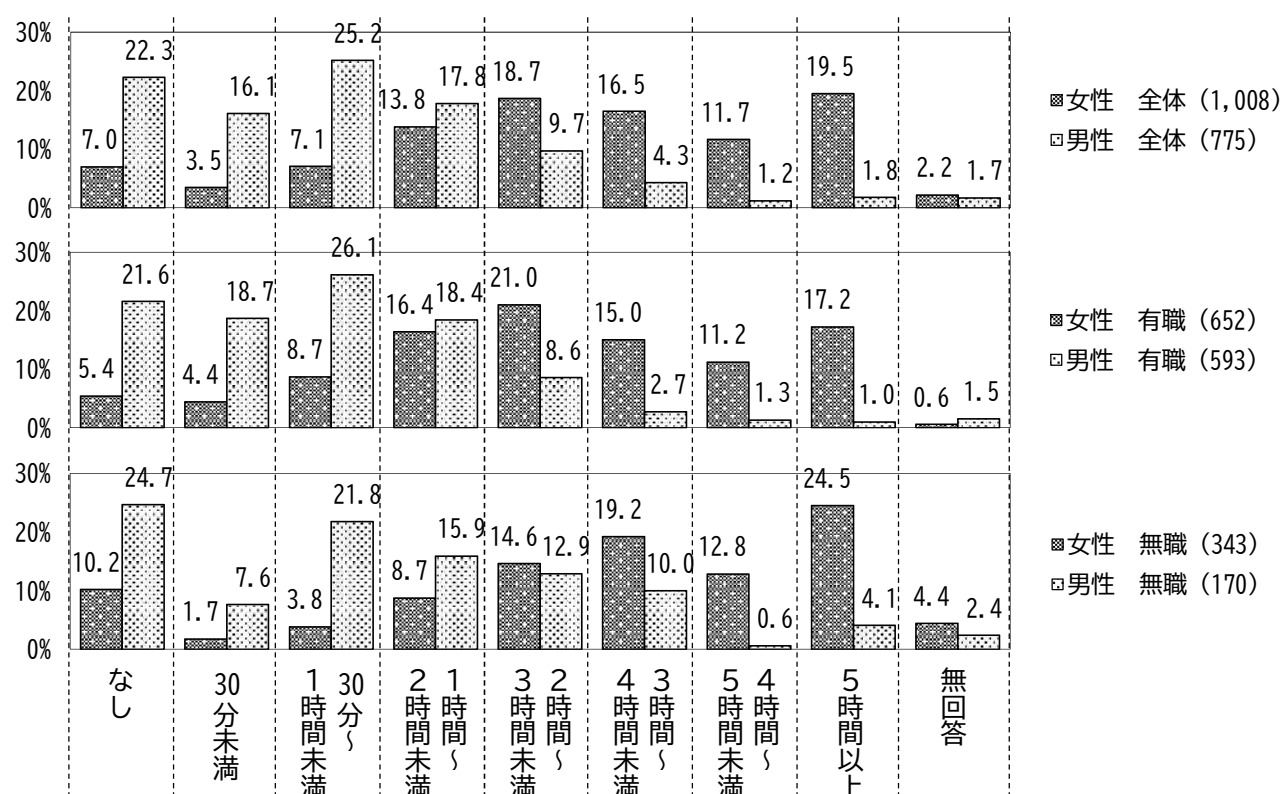
イ 有職・無職別

「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」の成果指標「平日 1 時間以上家事を行う有職男性の割合」の目標値は 40%である。今回の調査では、前回調査の 24.9%から 7.1 ポイント増の 32.0%と、目標値には及ばないものの、着実に前進していることが伺える。

しかし、その内訳を見ると、家事を「1～2 時間未満」行う有職男性が 18.4%、「2～3 時間未満」行う男性が 8.6%であり、これらの合計が 32.0%のうちの約 8 割を占めている。また、「なし」と回答した人が全体の約 2 割（21.6%）であることを考慮すると、依然として家事を行う時間が短い男性が多いことが分かる。

有職女性について見ると、家事を「2～3 時間未満」している人が最も多く、21.0%を占めた。次いで「5 時間以上」が 17.2%、「1～2 時間未満」が 16.4%という結果となっている。前回調査では「1～2 時間未満」が最も多かったことや、「4～5 時間未満」は今回 3.7 ポイント増加していることから、有職女性は、家事に費やす時間が増えている傾向にあると言える。無職女性の場合、前回最も多かった「5 時間以上」の割合が 1.5 ポイント減少し、「3～4 時間未満」が 2.9 ポイント増加した。このことから、無職女性は、家事の負担がやや軽減された可能性が考えられる。

図 2-21 1 日（平日）のうち家事全般（子育て・介護を含む）に要する時間（有職・無職別）



※有職：「勤め人（正規社員・職員）」、「勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）」、「勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）」、「会社経営者・自営業主または家族従業員」

無職：「学生」、「無職（家事専業、定年後も含む）」

(2) - 1 現在、育児中の方（6歳未満の子どもを持つ方）におたずねします。

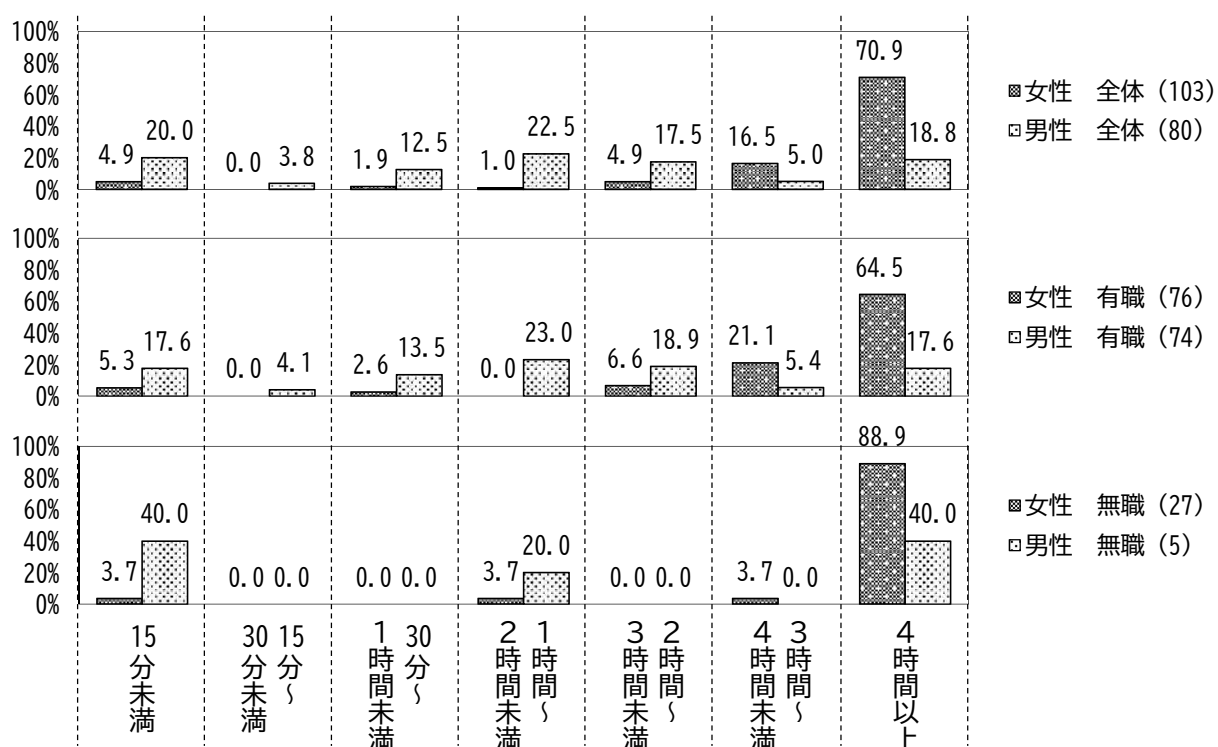
子育てに要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。【1つだけに○】

この設問では、平日の子育てにどれくらいの時間を要しているかたずねている。有職・無職を合わせた全体を見ると、女性は「4時間以上」が70.9%と最も多く、男性は「1時間～2時間未満」が22.5%と最も多い。

次に、女性について職業の有無による違いを見てみると、「4時間以上」の割合は、無職の女性が88.9%、有職の女性が64.5%と、無職の女性の方が高い。しかし、子育てに要する時間が「3時間以上」の人の割合を比べると、無職の女性が92.6%、有職の女性が85.6%となり、その差は7.0ポイントに縮まった。

この結果から、女性は、働いているかどうかに関わらず、子育てに多くの時間を要していることが分かる。（図2-22）。

図2-22 1日（平日）のうち子育てに要する時間（6歳未満の子どもを持つ方のみ対象）



※有職：「勤め人（正規社員・職員）」、「勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）」、「勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）」、「会社経営者・自営業主または家族従業員」

無職：「学生」、「無職（家事専業、定年後も含む）」

(2) - 2 現在、介護中の方におたずねします。

介護に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。【1つだけに○】

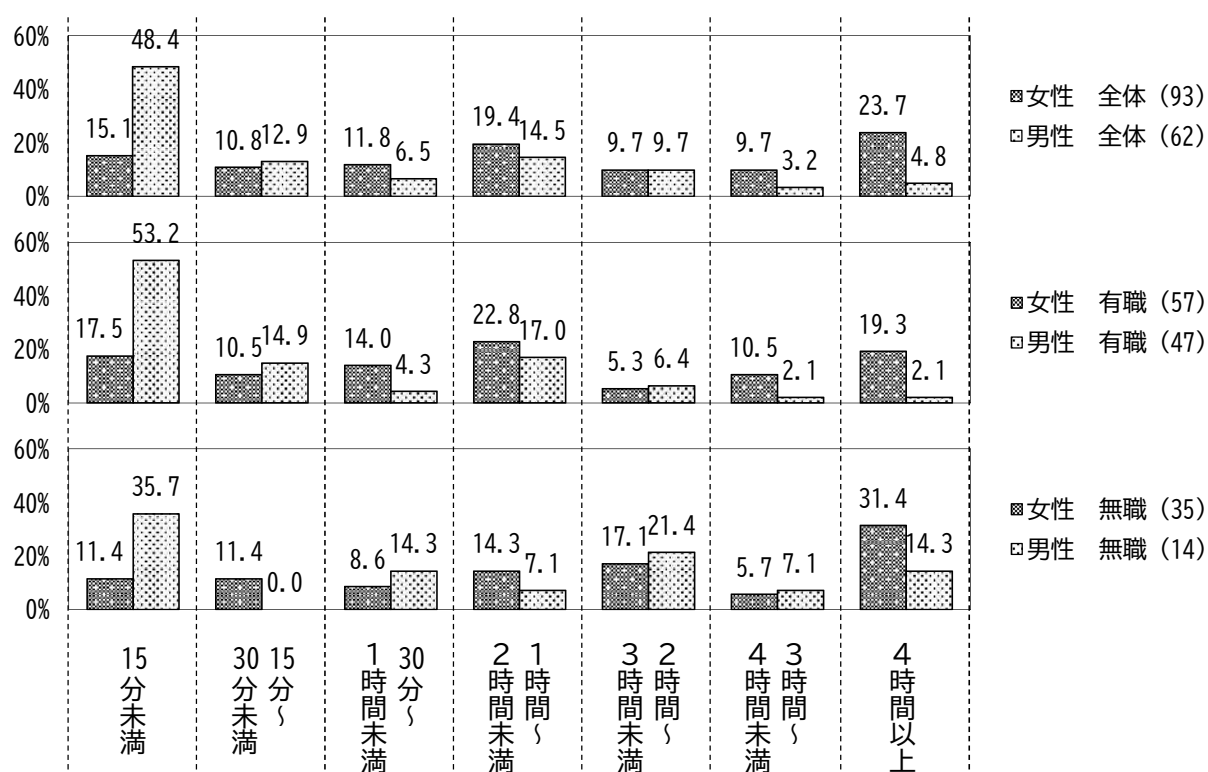
この設問では、平日にどれくらいの時間を介護に要しているかをたずねた。その結果、女性では「4時間以上」が23.7%と最も多く、さらに「2時間～3時間未満」と「3時間～4時間未満」を合わせると、43.1%の人が介護に2時間以上を要していることが分かった。

一方、男性では、約半数（48.4%）の人が「15分未満」と回答しており、女性と比べて介護に要する時間が非常に短いことが分かる。

このことから、働いているかどうかに関わらず、介護の負担が女性に偏っている状況が分かる。

（図2-23）

図2-23 1日（平日）のうち介護に要する時間（介護中の方のみ対象）



※有職：「勤め人（正規社員・職員）」、「勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）」、「勤め人で休業中/（育児休業、介護休業等）」、「会社経営者・自営業主または家族従業員」

無職：「学生」、「無職（家事専業、定年後も含む）」

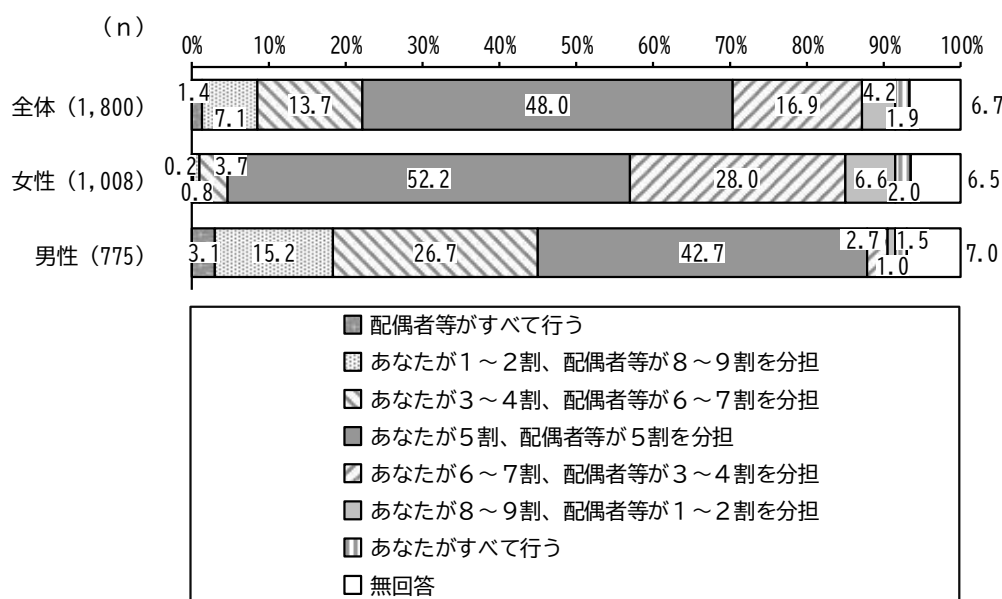
2 家事・子育て・介護の役割分担

問9 配偶者やパートナー（以下「配偶者等」という。）の間の家事、子育て、介護などの役割の分担についておたずねします。

（１）配偶者等の有無や、家事、子育て、介護などを行っている、していないに関わらず、あなたが希望する分担をお答えください。【１つだけに○】

問9（１）では、配偶者等の有無や家事・子育て・介護をしているかどうかに関係なく、「希望する分担割合」をたずねた。女性の52.2%、男性の42.7%が「自分が5割、配偶者等が5割を分担」を希望しているが、次に多い希望は男女で大きく異なる。女性の28.0%が「自分が6～7割、配偶者等が3～4割」と回答したのに対し、男性の26.7%が「自分が3～4割、配偶者等が6～7割」と女性とは逆の分担を回答している。また、「配偶者等がすべて行う」と希望した割合は、女性が0.2%であるのに対し、男性では3.1%であった。このことから、男女ともに家事・育児・介護の分担において平等を望む割合が多いものの、依然として女性が多く担うべきだと考える意識が残っていることが示唆される（図2-24）。

図2-24 希望する分担比率



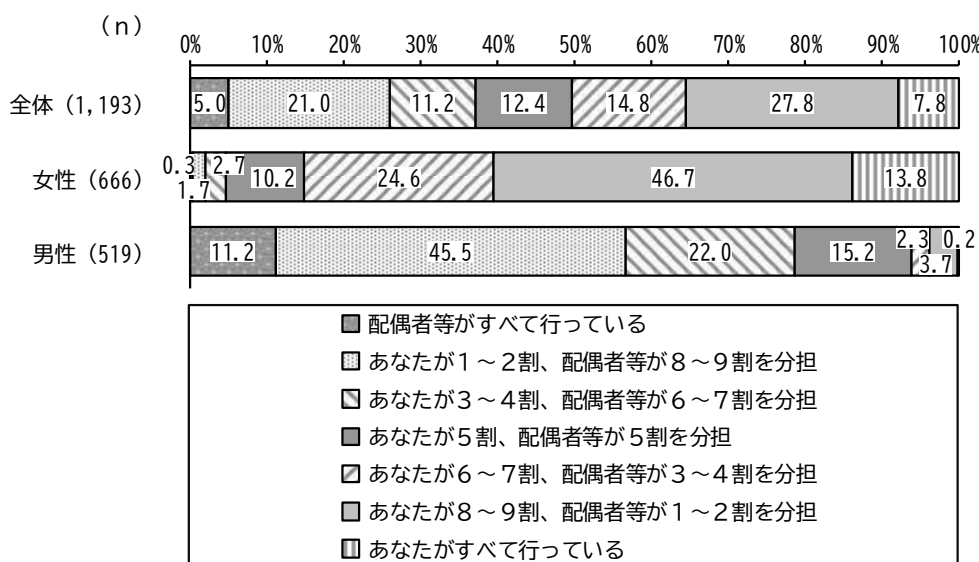
(1) - 1 配偶者等と同居している方におたずねします。

実際に、どのように家事、子育て、介護などを分担していますか。【1つだけに○】

なお、同居親族が担う役割は含まずにお答えください。

この設問では、問9(1)の「希望する分担」をもとに、配偶者等と同居している人を対象に「実際の分担」についてたずねている。その結果、女性は家事の8～9割を自分で担い、男性は家事の8～9割を配偶者等に任せているという回答が最も多く、男女間の大きな差が見られた。具体的には、女性の46.7%が「自分が8～9割、配偶者が1～2割」、男性の45.5%が「自分が1～2割、配偶者等が8～9割」と回答している。実際に男女で家事を半分ずつ分担している割合は、女性が10.2%、男性が15.2%にとどまり、男性の11.2%は配偶者等が家事をすべて行っているという回答している。

図 2-25 実際の分担比率（配偶者等と同居している方）



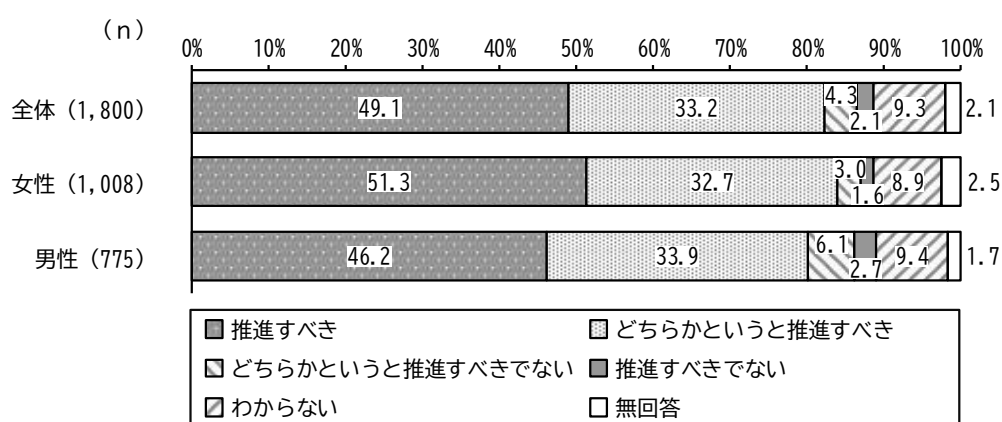
3 男性の育児休業の取得

問 10 男性の育児休業の取得についておたずねします。あなたは、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。【1つだけに○】

男性の育児休業取得についての考えをたずねたところ、女性 51.3%、男性 46.2%が「推進すべき」と答えた。「どちらかというと推進すべき」を含めると、男女ともに8割以上が推進すべきと考えていることが分かる。

一方で、女性 4.6%、男性 8.8%が「どちらかというと推進すべきでない」又は「推進すべきでない」と答えた。(図 2-26)

図 2-26 男性の育児休業取得についての考え



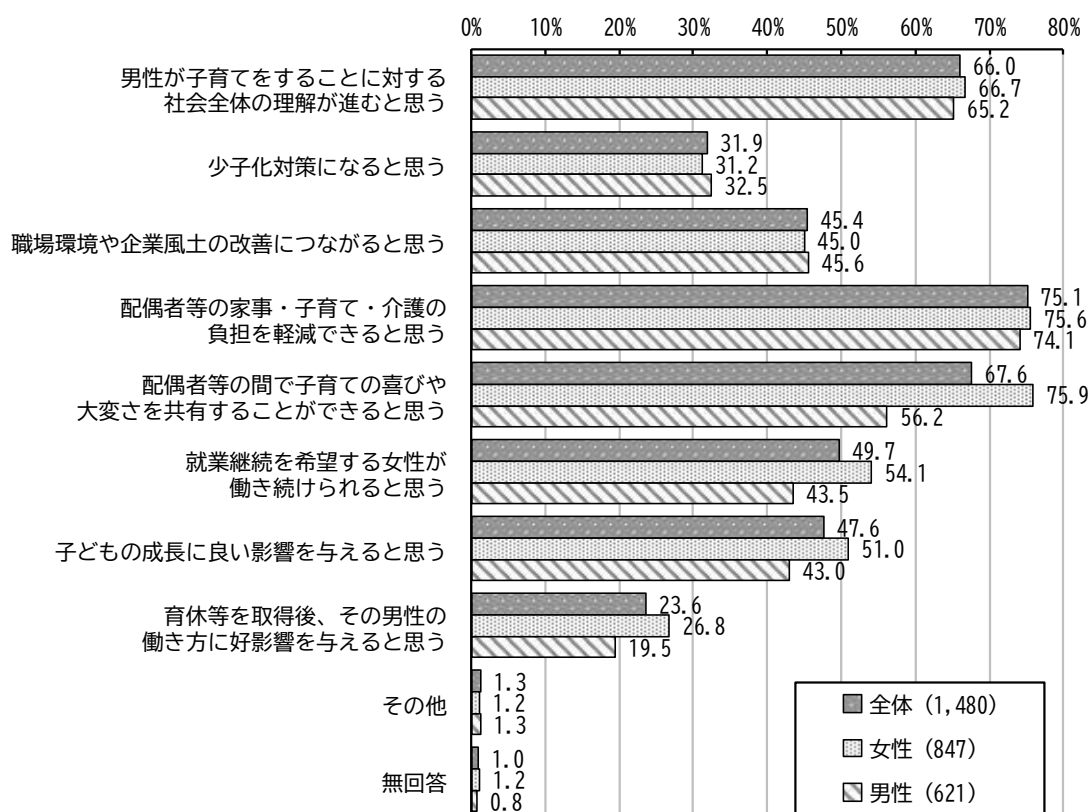
問 10-1 問 10 で「推進すべき」「どちらかという推進すべき」と答えた方におたずねします。
あなたは、男性が育児休業を取得することで、どのようなメリットがあると思いますか。【あてはまる番号すべてに○】

問 10-1 では、問 10 で男性の育児休業取得について「推進すべき」「どちらかという推進すべき」と答えた方に対し、その理由をたずねた。その結果、全体では、育児休業を取得することで配偶者等の負担を減らせるという点がメリットだと感じている人が最も多いことが分かった。具体的には、本設問回答者のうち女性 75.6%、男性 74.1%が、育児休業が配偶者等の家事や育児の負担軽減につながると考えている。また、「男性が子育てをすることに対する社会全体の理解が進む」ことも、メリットだと感じている人が男女ともに多く、本設問回答者のうち女性 66.7%、男性 65.2%がそう回答した。

しかし、「配偶者等の間で子育ての喜びや大変さを共有することができる」という点については、女性の方が男性よりも 19.7 ポイント高くなっており、「就業継続を希望する女性が働き続けられると思う」という点については、女性の方が男性よりも 10.6 ポイント高いという結果となった。

これらの結果から、男性の育児休業が家庭だけでなく社会全体にも良い影響を与えるという認識は男女ともに広がっている一方で、子育ての喜びや大変さを共有することや自身のキャリアとの関連性については、男性に比べ女性の方がより強く意識していることが示唆される(図 2-27)。

図 2-27 男性が育児休業を取得することのメリット



問 10-2 問 10 で「推進すべき」「どちらかという推進すべき」と答えた方におたずねします。

あなたは、男性が育児休業を取得するうえで、どのようなことが課題だと思いますか。【あてはまる番号すべてに○】

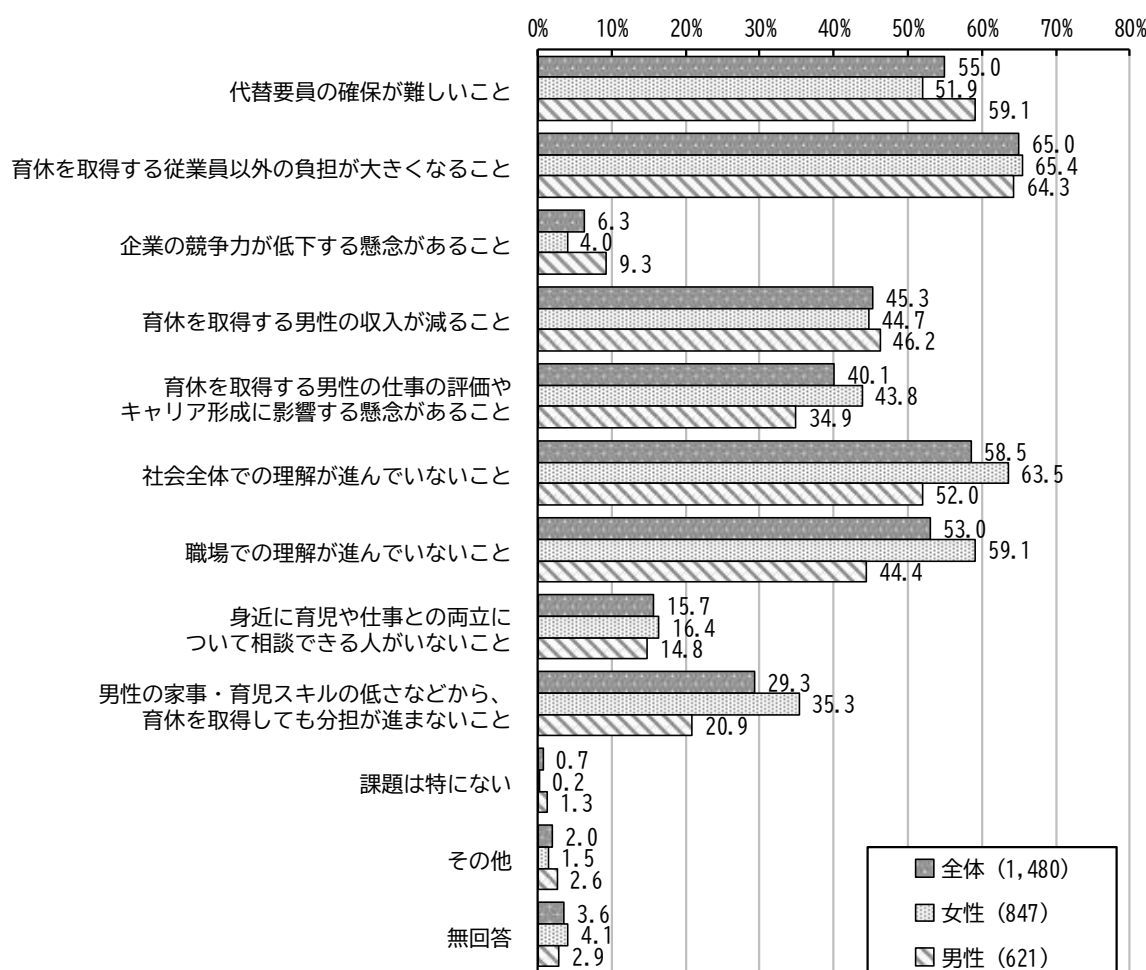
問 10-2 では、問 10 で男性の育児休業取得について「推進すべき」「どちらかという推進すべき」と答えた方に対し、男性が育児休業を取得するうえでの課題をたずねた。その結果、男女ともに、「育休を取得する従業員以外の負担が大きくなること」と回答した割合が最も高くなっている。具体的には、本設問回答者のうち女性 65.4%、男性 64.3%がこのように回答した。

しかし、2 番目に割合が高い回答については男女で分かれた。女性は「社会全体での理解が進んでいないこと」や「職場での理解が進んでいないこと」と回答した割合が高くなっており、特に「社会全体での理解が進んでいないこと」は女性が男性よりも 11.5 ポイント、「職場での理解が進んでいないこと」は 14.7 ポイント高い割合となっている。

一方、男性は「代替要員の確保が難しいこと」といった職場環境に関する課題を回答した割合が 2 番目に高くなっており、女性よりも 7.2 ポイント高い割合となっている。

このように、男女間で男性が育児休業を取得するうえでの課題に関する意識に差があることが明らかになった（図 2-28 参照）。

図 2-28 男性が育児休業を取得するうえでの課題



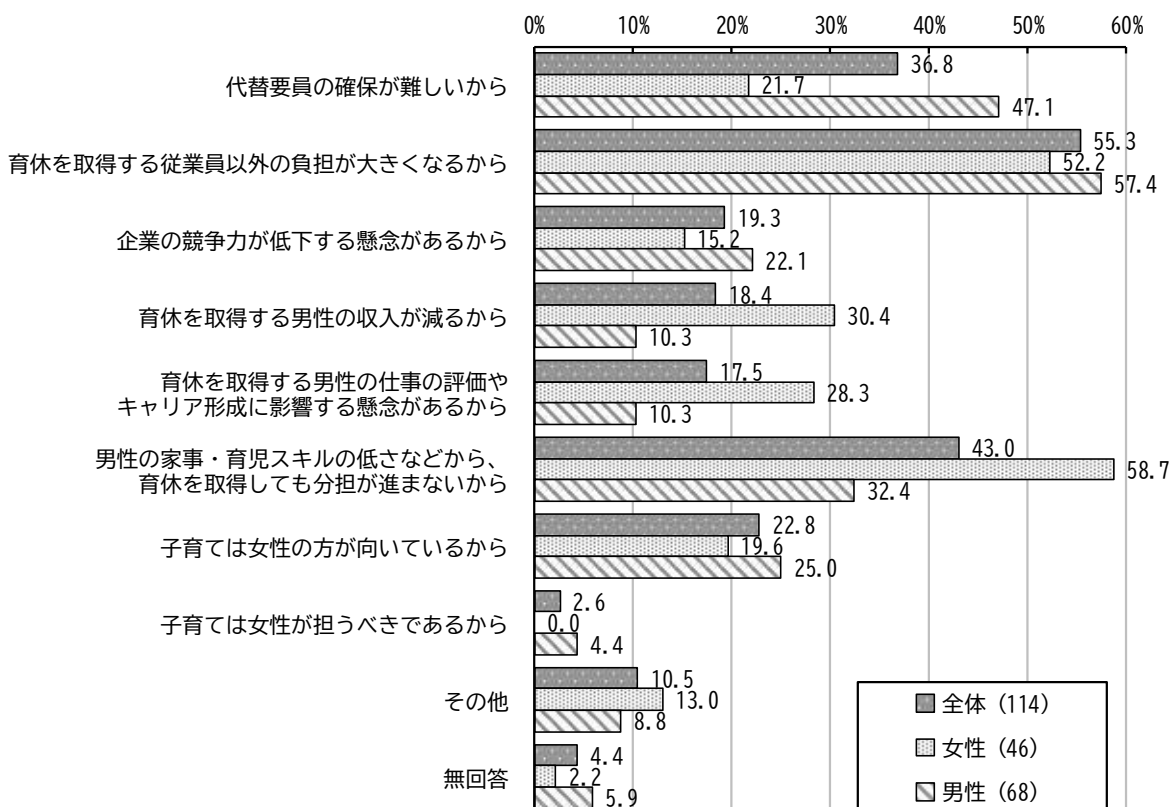
問 10-3 問 10 で「どちらかというとは推進すべきでない」「推進すべきでない」と答えた方におたずねします。
 そう考えるのはどのような理由ですか。【あてはまる番号すべてに○】

問 10-3 では、問 10 で男性の育児休業取得について「どちらかというとは推進すべきでない」「推進すべきでない」と答えた方に対し、理由をたずねた。その結果、男女ともに過半数が「育休を取得する従業員以外の負担が大きくなるから」と回答し、本設問回答者のうち女性 52.2%、男性 57.4%がこのように考えていることが分かった。これは、問 10-2 で「男性が育児休業を取得するうえでの課題」として挙げられたものと一致しており、育児休業を推進するためには職場環境の改善が深く関係することを示している。

一方、本設問回答者の女性のうち約 6 割は「男性の家事・育児スキルの低さなどから、育休を取得しても分担が進まないから」と回答している。これは、「男性が育休を取得したとしても、現実には家事・育児の分担は進まないだろう」という諦めを反映していると考えられる。また、「育休を取得する男性の収入が減るから」「育休を取得する男性の仕事の評価やキャリア形成に影響する懸念があるから」といった理由も、本設問回答者の女性のうちおよそ 3 割が挙げており、「育児休業を取得することで、会社での地位に影響したり出世で不利になる」と懸念している可能性がある。

さらに、本設問回答者の男性のうち 25.0%は「子育ては女性の方が向いているから」と考えていることが分かった。この結果は、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別役割分担意識が、男性の育児休業取得を妨げる要因になることを示している（図 2-29 参照）。

図 2-29 男性の育児休業取得を推進すべきでないと考える理由



第4章 人権に関わる意識と実態

今回の調査において、人権に関わる問題としてたずねたのは、セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という。）、ストーカー、痴漢行為の被害経験、配偶者等や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）（以下「DV」という。）の経験、DV被害の相談先、人権に関する言葉の認知度についてである。

セクハラ、ストーカー、痴漢行為の被害経験については、第8回以降、今回まで同じ設問を使用している。DVの被害経験率については、今回設問と選択肢を修正し、さらにこの1年間のDV被害について新たにたずねた。また、DV相談窓口の認知度について新規の設問を追加した。人権に関わる言葉の認知度については、時代背景を鑑みて設問の修正をし、セクシュアリティに関する項目を追加した。

1 あらゆる暴力の被害経験

問 11 あなたは、次のような被害を経験したことがありますか。以下の（１）～（３）について、あてはまると思う番号に○をつけてください。【それぞれの項目で1つだけに○】

今回の調査では、人権を脅かす重大な問題であるセクハラ、ストーカー行為、痴漢行為、DVについて、被害経験率を調べた。DVの被害経験がある回答者に対しては実際に利用した相談先をたずねた。なお、全ての被害経験率について、「1～2回ある」と「何回もある」とを合わせたものを「経験したことがある」数値としてそれぞれのグラフ横に記してある。

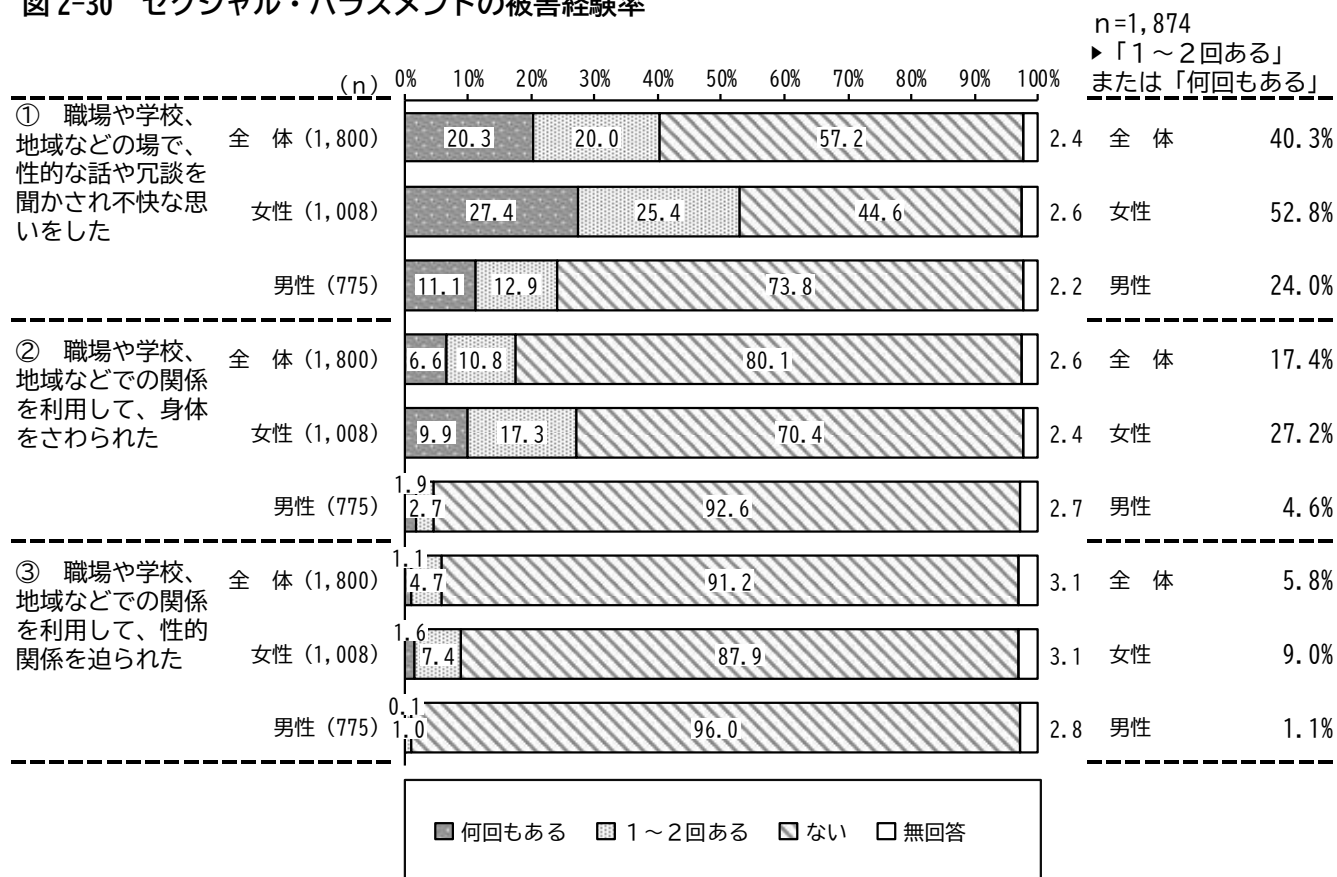
（１）セクシュアル・ハラスメント

セクハラについては、職場や学校、地域などの場で「性的な話や冗談を聞かされ、不快な思いをした」、「身体をさわられた」、「性的関係を迫られた」という3つの項目に分けてたずねた。その結果、セクハラ被害の被害経験率は図2-30のとおりとなった。

男女ともに、セクハラ被害の経験は全ての項目で前回の調査結果を上回った。セクハラ被害のうちでは「職場や学校、地域などの場で、性的な話や冗談を聞かされて不快な思いをした」という被害経験率が男女とも一番高い（女性52.8%、男性24.0%）。全ての項目において女性の被害経験率が男性より高い点は前回と同じであるが、男性の被害経験率について、全ての項目で前回の調査結果を上回ったのは、第7回調査で本設問による調査を開始して以降、初めてのことである。

また、男女ともにセクハラ被害で「何回もある」の割合が最も高いのは「職場や学校、地域などの場で性的な話や冗談を聞かされ、不快な思いをした」という回答であった（女性27.4%、男性11.1%）。性的な話や冗談が職場などで繰り返されている、いわゆる環境型セクハラ被害率が最も高いことが見てとれる。

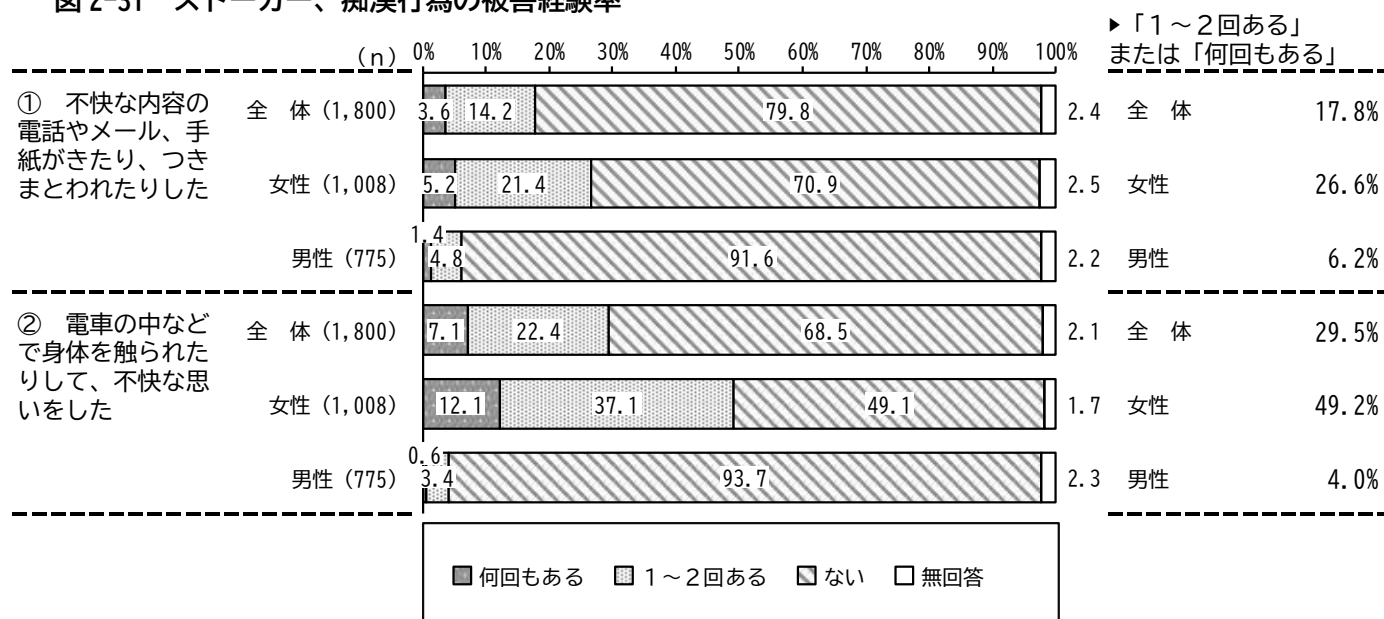
図 2-30 セクシャル・ハラスメントの被害経験率



(2) ストーカー、痴漢行為

ストーカー及び痴漢行為の被害経験率は図 2-31 のとおりであった。「不快な内容の電話やメール、手紙がきたり、つきまとわれたりした」というストーカー被害に遭ったことがあると回答した女性は 26.6%、男性は 6.2%であった。前回調査と比較して全ての項目で経験割合が高くなっている。今回、「電車の中などで身体を触られたりして、不快な思いをした」と回答した女性は 49.2%、男性は 4.0%で、圧倒的に女性の被害経験率が高い。おおむね女性の 2 人に 1 人は電車の中などで痴漢行為の被害を経験したことがあることが示された。

図 2-31 ストーカー、痴漢行為の被害経験率



名古屋市では、セクハラ、ストーカー、痴漢行為の被害経験率について、第7回（平成 22（2010）年）から今回（令和 6（2024）年）まで継続して調査している。被害経験率の男女ごとの経年推移は図 2-32、図 2-33 のとおりである。なお、第7回ではセクハラのうち身体をさわられた被害についてはたずねていないため、該当する数値はない。

女性について、「性的な話や冗談を聞かされ不快な思いをした」といういわゆる環境型セクハラの被害率が増加している。女性が受けた痴漢行為の被害率は、高い水準で横ばいである。男性についても環境型セクハラの被害率が増加している。

図 2-32 セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、痴漢行為の被害経験率の推移（女性）

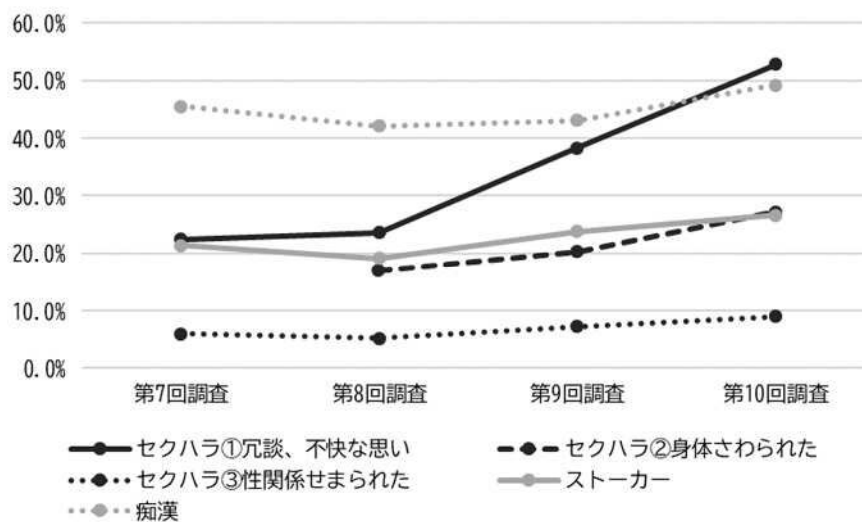
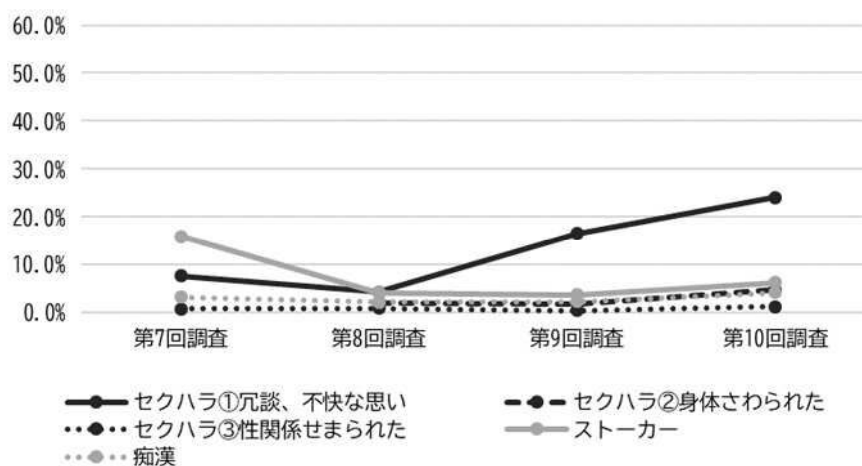


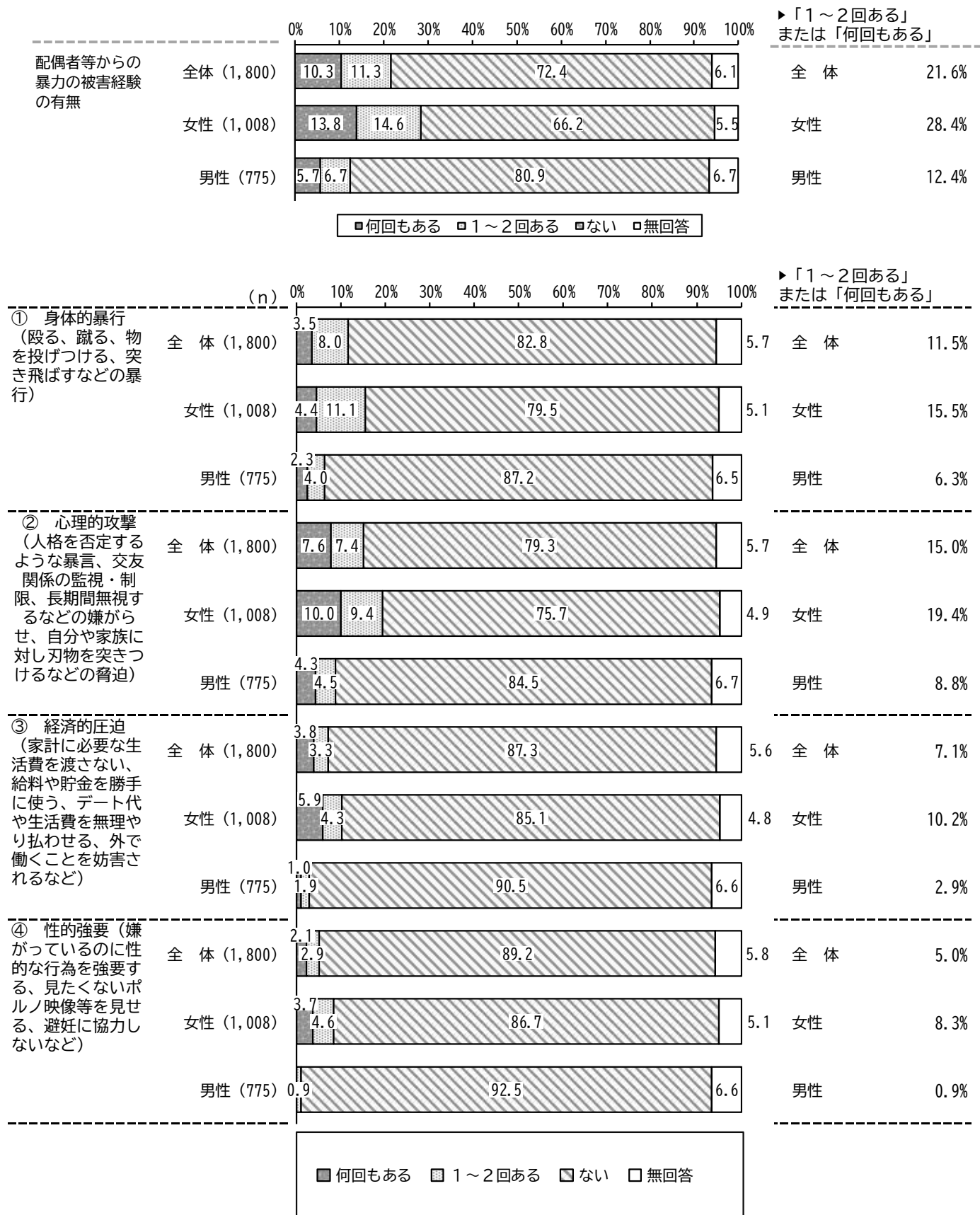
図 2-33 セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、痴漢行為の被害経験率の推移（男性）



(3) 配偶者等や交際相手からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））

配偶者等や交際相手からこれまでに受けた暴力被害経験率は図 2-34 のとおりであった。「1～2 回ある」あるいは「何回もある」という回答を合わせた被害経験率は、「身体的暴行」が女性 15.5%、男性 6.3%、「心理的攻撃」が女性 19.4%、男性 8.8%、「経済的圧迫」が女性 10.2%、男性 2.9%、「性的強要」が女性 8.3%、男性 0.9%であった。全ての暴力形態において、女性の被害経験率が男性の被害経験を上回っている。また、男女ともに被害経験率の高い方から、心理的攻撃、身体的暴行、経済的圧迫、性的強要の順番であった。この傾向は前回調査結果と同じである。

図 2-34 配偶者等や交際相手からの暴力被害経験率（これまで）

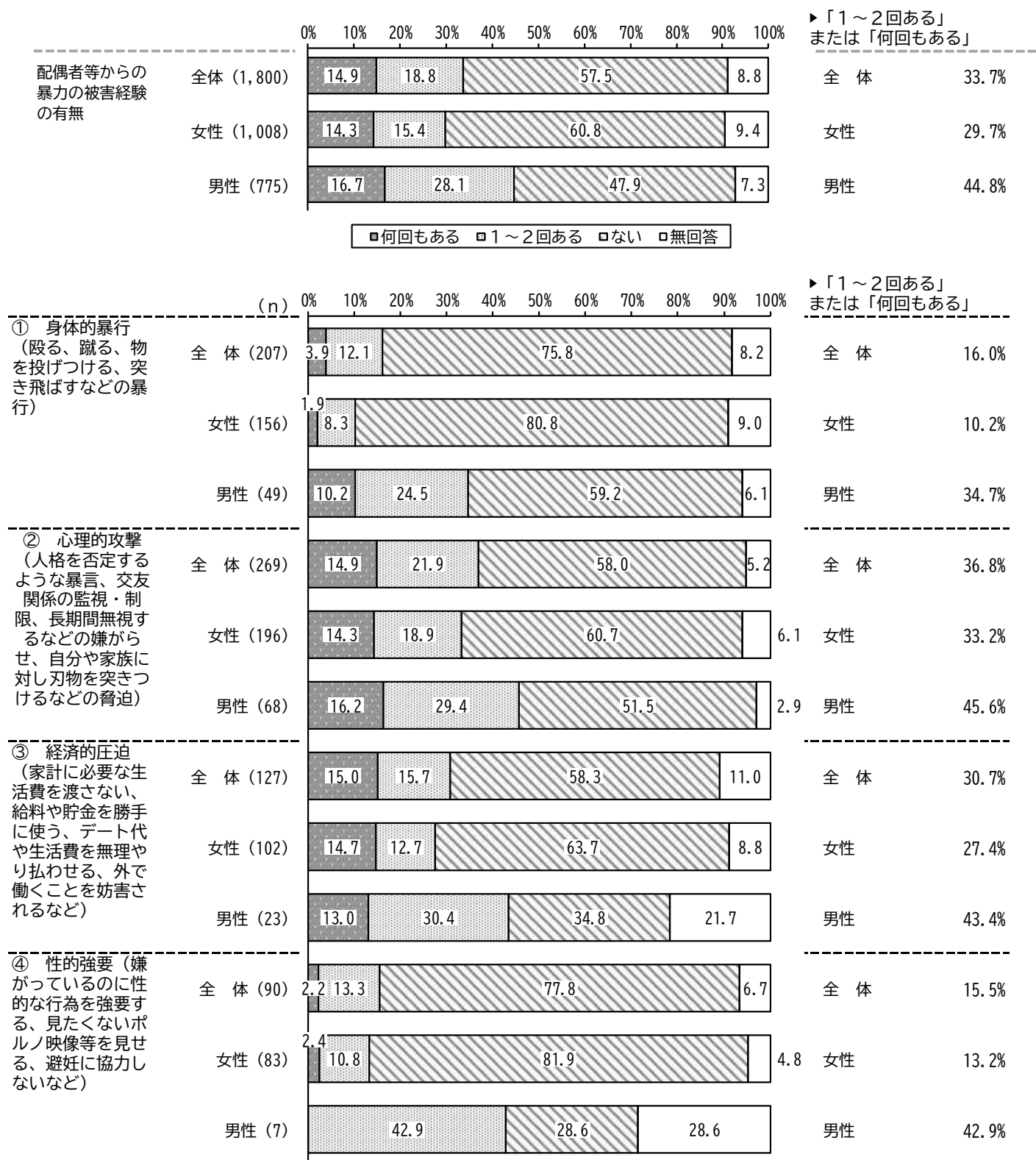


今回の調査では新たに、「これまで」DV被害を経験したことがあると回答した人に対し、「この1年間」に限定した被害経験率をたずねた（図2-35）。直近の被害状況を把握するためである。

「この1年間」における被害経験率を「1～2回ある」と「何回もある」の合計で見ると、男女ともに最も高かったのは心理的攻撃であり、その割合は女性が33.2%、男性が45.6%であった。特に、男性の被害率が女性よりも高い結果が示されていることが着目される。しかし、「これまで」の被害経験率においては、女性の割合（19.4%）が男性（8.8%）を上回っている。また、「これまで」と「この1年間」を比較した場合、男女ともに心理的攻撃の被害率が最も高いという傾向は共通している。

今回の調査に関しては、数値上、この1年間の被害経験率は全ての暴力形態に関して男性が女性を上回っているが、そもそも男性の回答数が少ないことに注意しなければならない（経済的圧迫は23名、性的強要は7名）。そのため、この数字をもとに何かを結論づけることには慎重であるべきだが、DV被害は、被害者の性別にかかわらず、人権問題であることは言うまでもない。

図 2-35 配偶者や交際相手からの暴力被害経験率（この１年間）（これまで被害が「１～２回ある」又は「何回もある」と回答した方のみ対象）



女性の「これまで」と「この１年間」の暴力被害経験率を比べたものが表 2-4 である。女性の場合、身体的暴行以外の全ての項目で、「これまで」より「この１年間」の被害経験率が高い。「これまでに身体的暴行被害を経験した」と回答した女性のうち 80.8%が「この１年間には受けていない」と回答している。すなわち、女性への身体的暴力は、他の暴力形態に比べて、この１年間より以前に受けた被害経験率が高かったことがうかがえる。

表 2-4 「これまで」と「この１年間」の暴力被害経験率の比較（女性）

	これまでの 経験率	この一年間の 経験率	（この１年間は 受けていない比率）
配偶者等からの 被害経験の有無	28.4%	29.7%	（60.8%）
身体的暴力	15.5%	10.2%	（80.8%）
心理的暴力	19.4%	33.2%	（60.7%）
経済的暴力	10.2%	27.4%	（63.7%）
性的暴力	8.3%	13.2%	（81.9%）

男女それぞれが「これまで」に受けたDV被害経験率を、暴力形態別及び年代別に示したものが図2-36及び図2-37である。女性の場合、40歳代において身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫の被害経験率が最も高く、性的強要の被害経験率は60歳代で最も高い。一方、男性では、40歳代に心理的攻撃の被害経験率が最も高く、高齢になるにつれてその割合が低下している。

図2-36 これまでの配偶者等や交際相手からの暴力の被害経験率（年代別・女性）

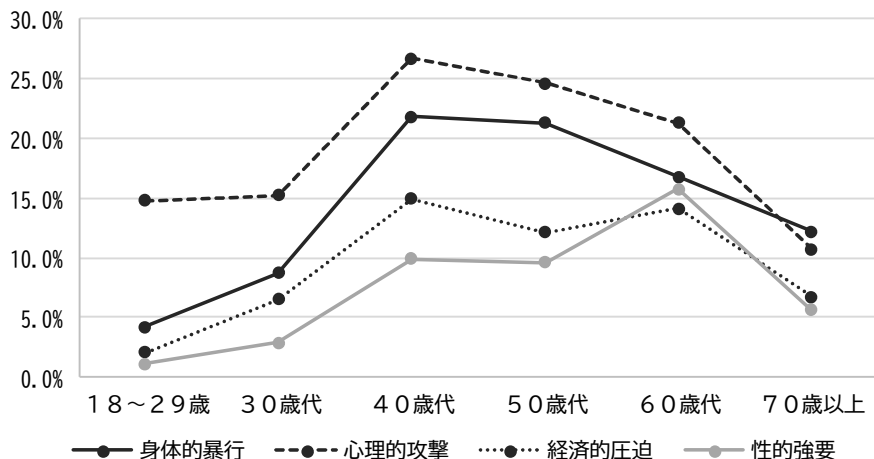
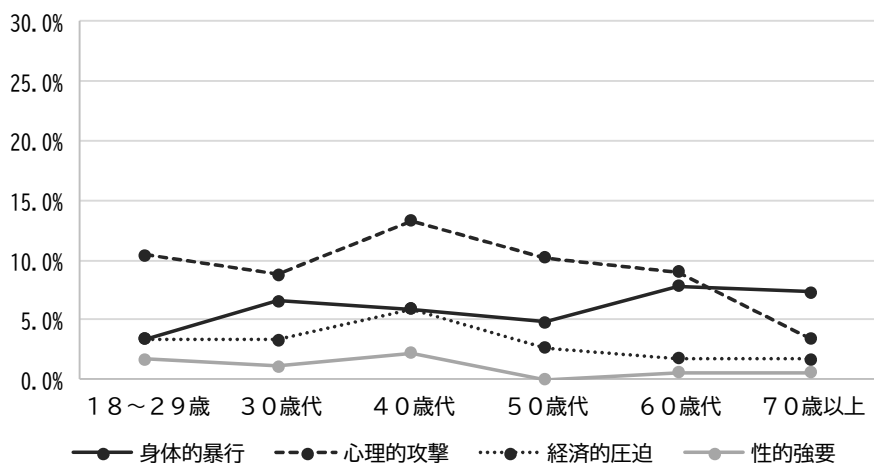
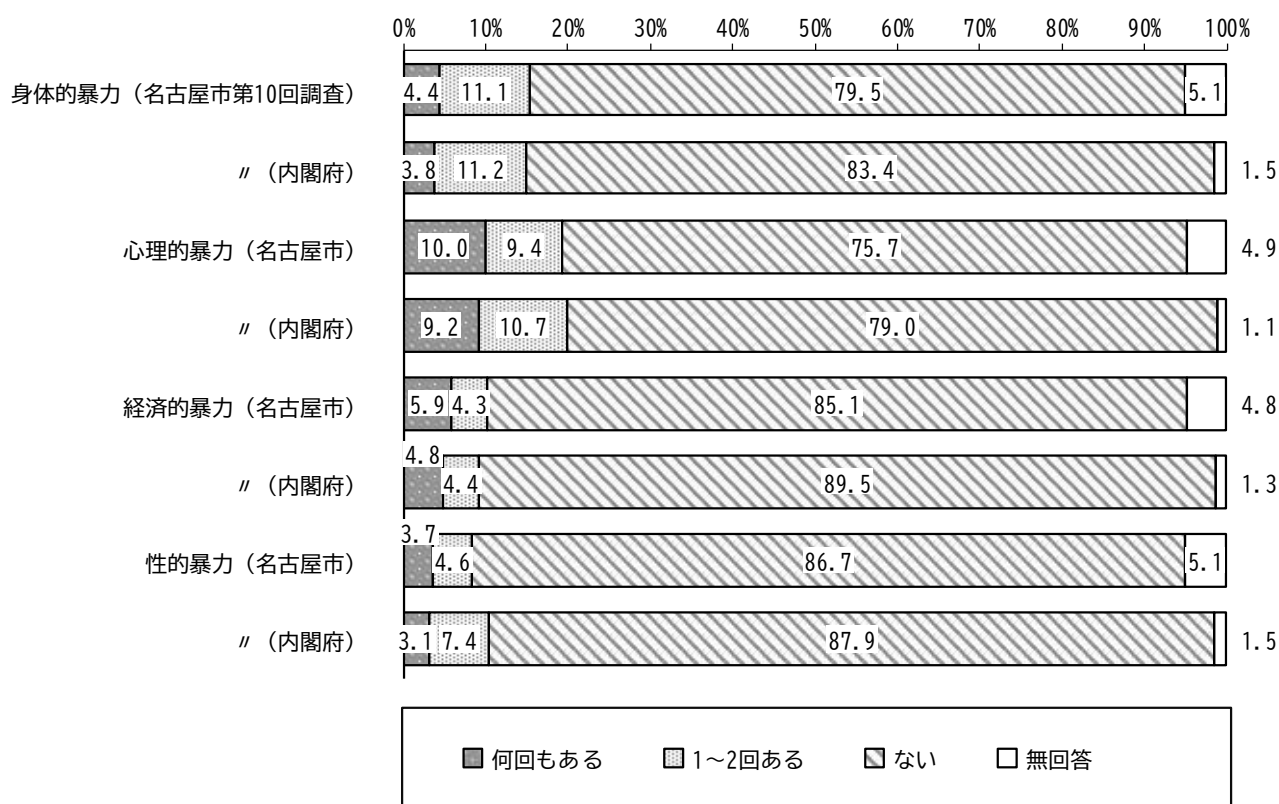


図2-37 これまでの配偶者等や交際相手からの暴力の被害経験率（年代別・男性）



女性のDVの被害経験率について、名古屋市と国（令和5（2023）年）*の調査結果を比較したものが図 2-38 である。全ての項目において、両者の被害経験率はほぼ同じ割合である。

図 2-38 配偶者等や交際相手からの暴力の被害経験率比較（女性・国の調査との比較）

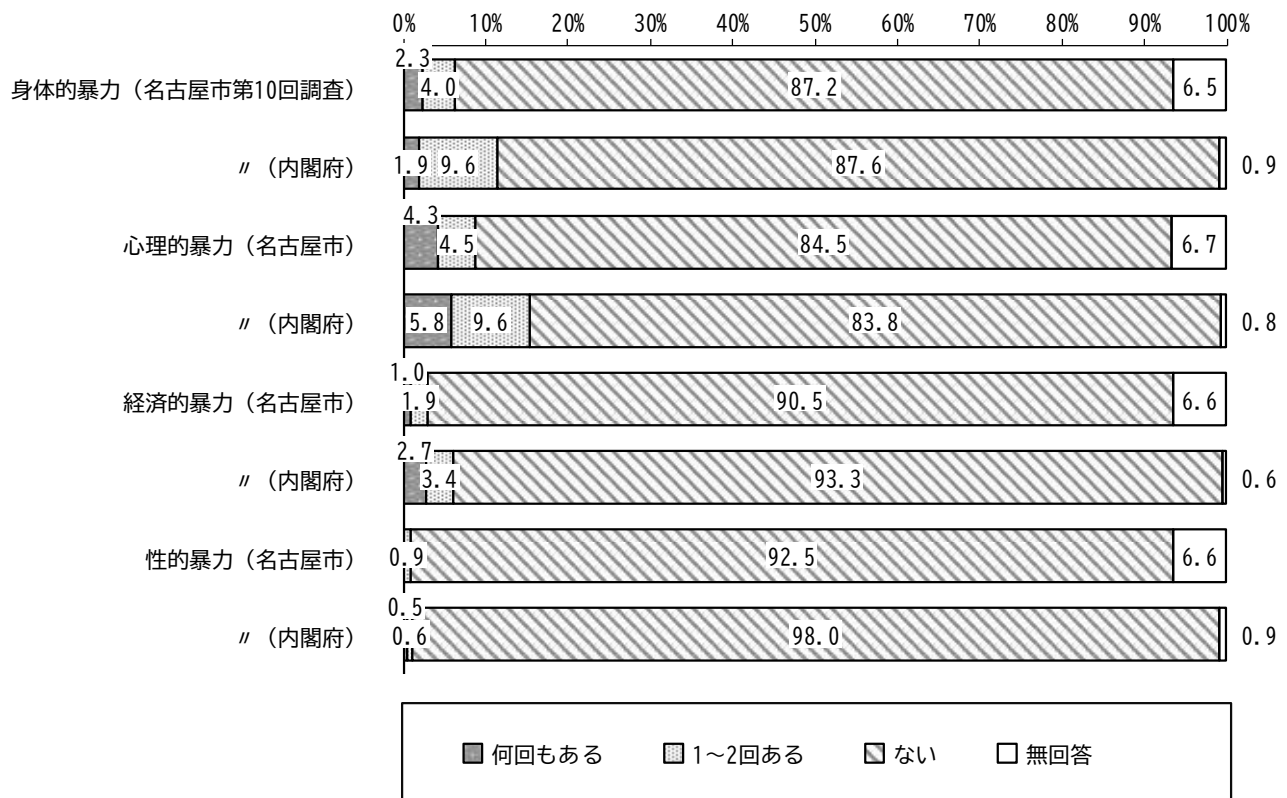


（棒グラフの上段が名古屋市第10回基礎調査、下段が内閣府調査『男女間における暴力に関する調査』令和5（2023）年度。）

*内閣府調査は令和5年（2023）11月～12月実施で、結婚したことがある人に、配偶者からの暴力についてたずねたもの。全体の有効回答数 2,950（回収率 59.0%）で、この質問については、n=1,050（女性）。

男性のDVの被害経験率を、名古屋市と国（令和5（2023）年）の調査結果とで比較したものが図2-39である。経済的暴力と性的暴力については両者はほぼ同じ割合であるが、身体的暴力と心理的暴力は、名古屋市よりも国の調査結果の方が高い被害率を示している。

図2-39 配偶者等や交際相手からの暴力の被害経験率比較（男性・国の調査との比較）



（棒グラフの上段が名古屋市第10回基礎調査、下段が内閣府調査『男女間における暴力に関する調査』令和5（2023）年度。）

*内閣府調査は令和5年（2023）11月～12月実施で、結婚したことがある人に、配偶者からの暴力についてたずねたもの。全体の有効回答数2,950（回収率59.0%）で、この質問については、n=788（男性）。

(3) - 1 問 11 (3) において1つでも「1～2回ある」「何回もある」と答えた方におたずねします。

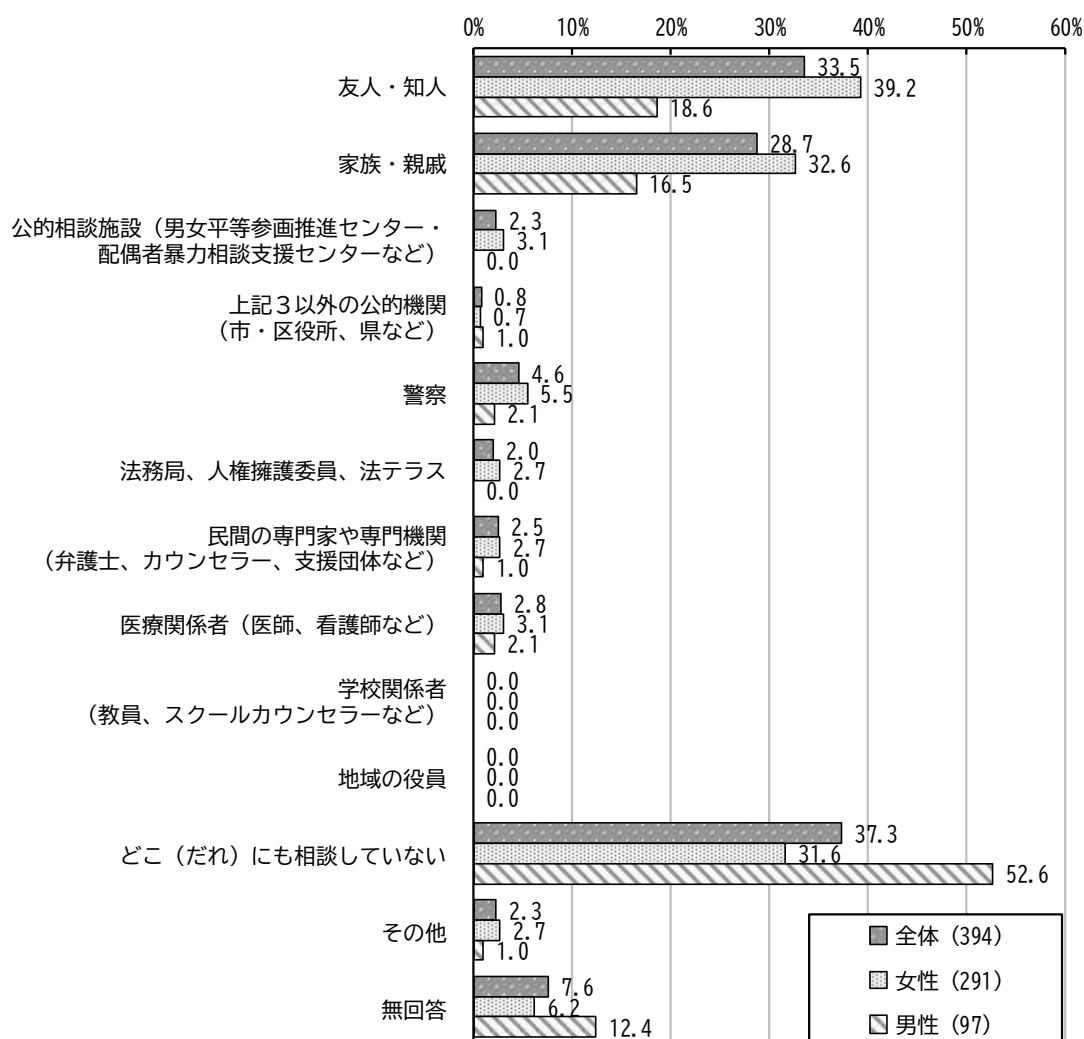
あなたは、配偶者等や交際相手からそのような行為を受けたことについて、どこか又は誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。【あてはまる番号すべてに○】

DV被害を受けたことのある人に、暴力被害をどこに相談したかを示したものが図 2-40 である。全体では「どこ（だれ）にも相談していない」の割合が最も高く（37.3%）、次いで「友人・知人」（33.5%）、「家族・親戚」（28.7%）となっている。男女別では、女性で最も多いのは「友人・知人」（39.2%）、男性で最も多いのは「どこ（だれ）にも相談していない」（52.6%）であった。

専門機関（市・区役所、県、警察、法務局、民間の専門機関、医療関係者、学校関係者、地域役員など）や公的相談窓口の利用率は男女ともに0%～4%台と低迷しており、DV被害の公的相談施設の利用率も例外ではない（2.3%）。

男女ともに、前回に比べ今回は、「どこ（だれ）にも相談していない」割合は減り、「友人・知人」及び「家族・親戚」に相談した割合は、それぞれ増えている。依然、「どこ（だれ）にも相談しない」という女性は約3割、男性は約5割いるが、一方で、男女ともに周囲に相談した割合が増えたことが分かる。

図 2-40 配偶者等や交際相手からの暴力の相談先

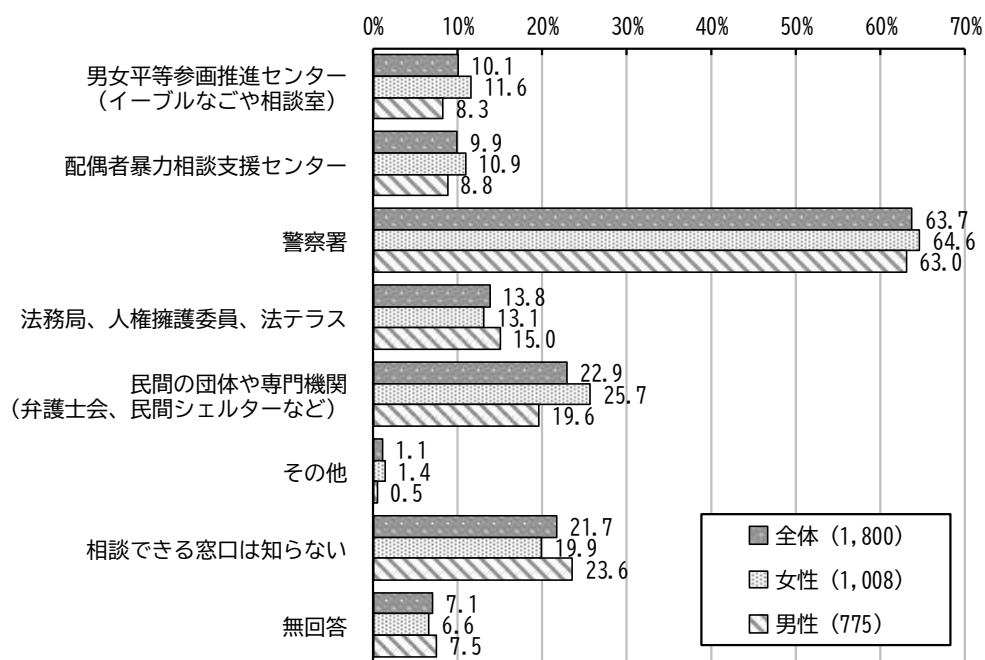


問 12 あなたは、配偶者等や交際相手からの暴力（DV（ドメスティック・バイオレンス））について相談できる窓口があることを知っていますか。次の中から知っているものに○を付けてください。【あてはまる番号すべてに○】

問 12 は、DVの相談窓口がどの程度、知られているかを把握するため、今回、新規に設けた設問である。図 2-41 によると、全体で「警察署」が 63.7%と突出して高く、次いで「民間の団体や専門機関（弁護士会、民間シェルターなど）」が 22.9%、「相談できる窓口は知らない」が 21.7%となっている。

DV被害を警察に相談できることは6割以上の人が知っているが、実際に被害を受けた際、警察に相談した人は 4.6%と非常に少ないことが分かる（図 2-40）。市民利用施設の男女平等参画推進センター（イーブルなごや相談室）や、DV被害の専門の公的相談機関である配偶者暴力相談支援センターについては、認知度が 10%程度と低くなっている。

図 2-41 配偶者等や交際相手からの暴力の相談窓口の認知度



2 言葉の認知度

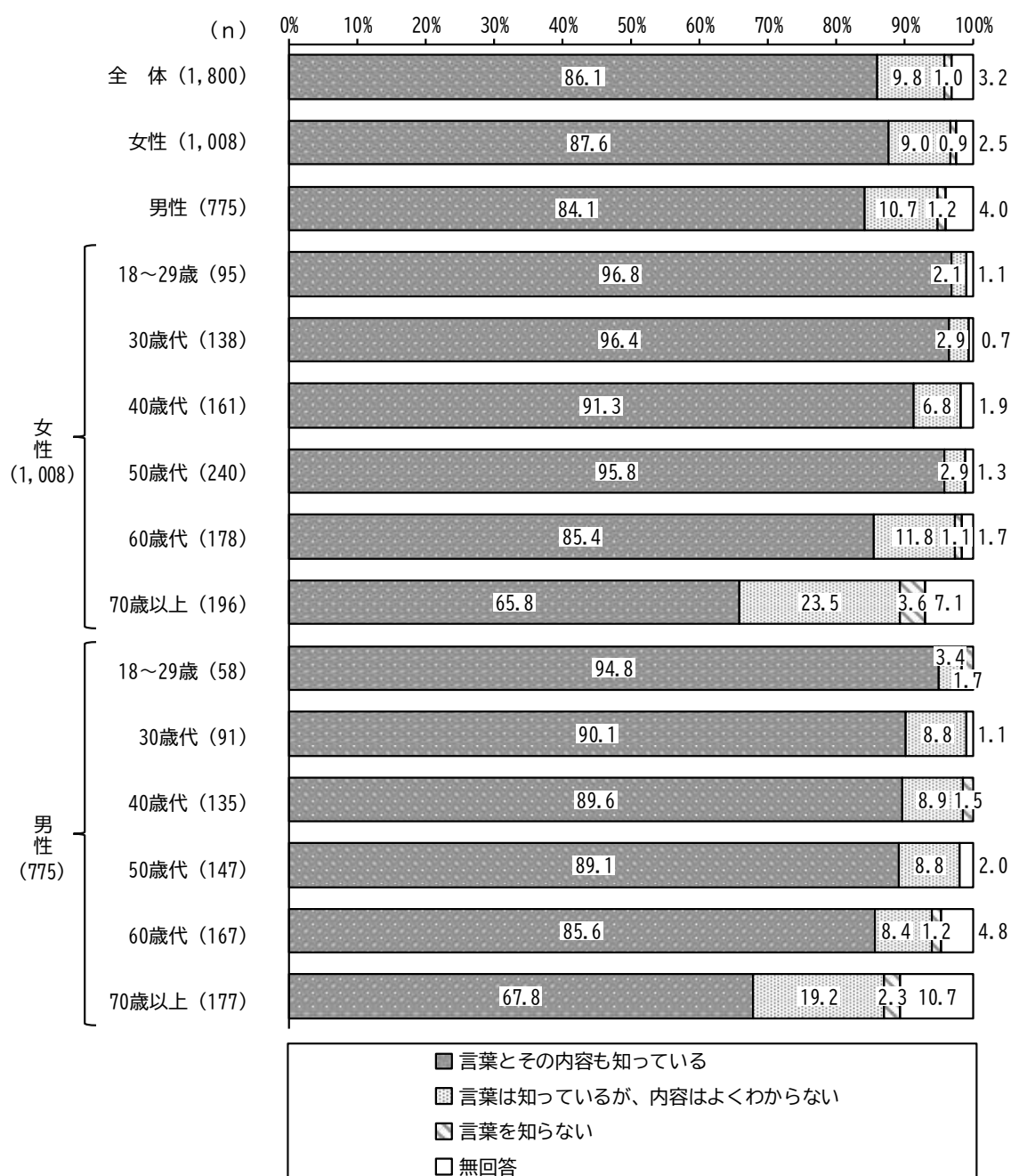
問 13 次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。

(1) DV

ドメスティック・バイオレンス（DV）について、「言葉とその内容も知っている」と答えた人の割合は、今回の調査で 86.1%だった。第9回調査では 87.2%と第8回調査の 74.9%から大きく増加したが、今回は前回からさほど変化は見られなかった。

DVについて「言葉とその内容も知っている」と回答した割合は男女とも 18～29 歳で最も高く、60 歳代から徐々に低下し、70 歳以上では 60%台にまで落ち込んでいる。また、DV、デートDV、モラル・ハラスメントの項目については、男女ともDVについての認知度が最も高かった。

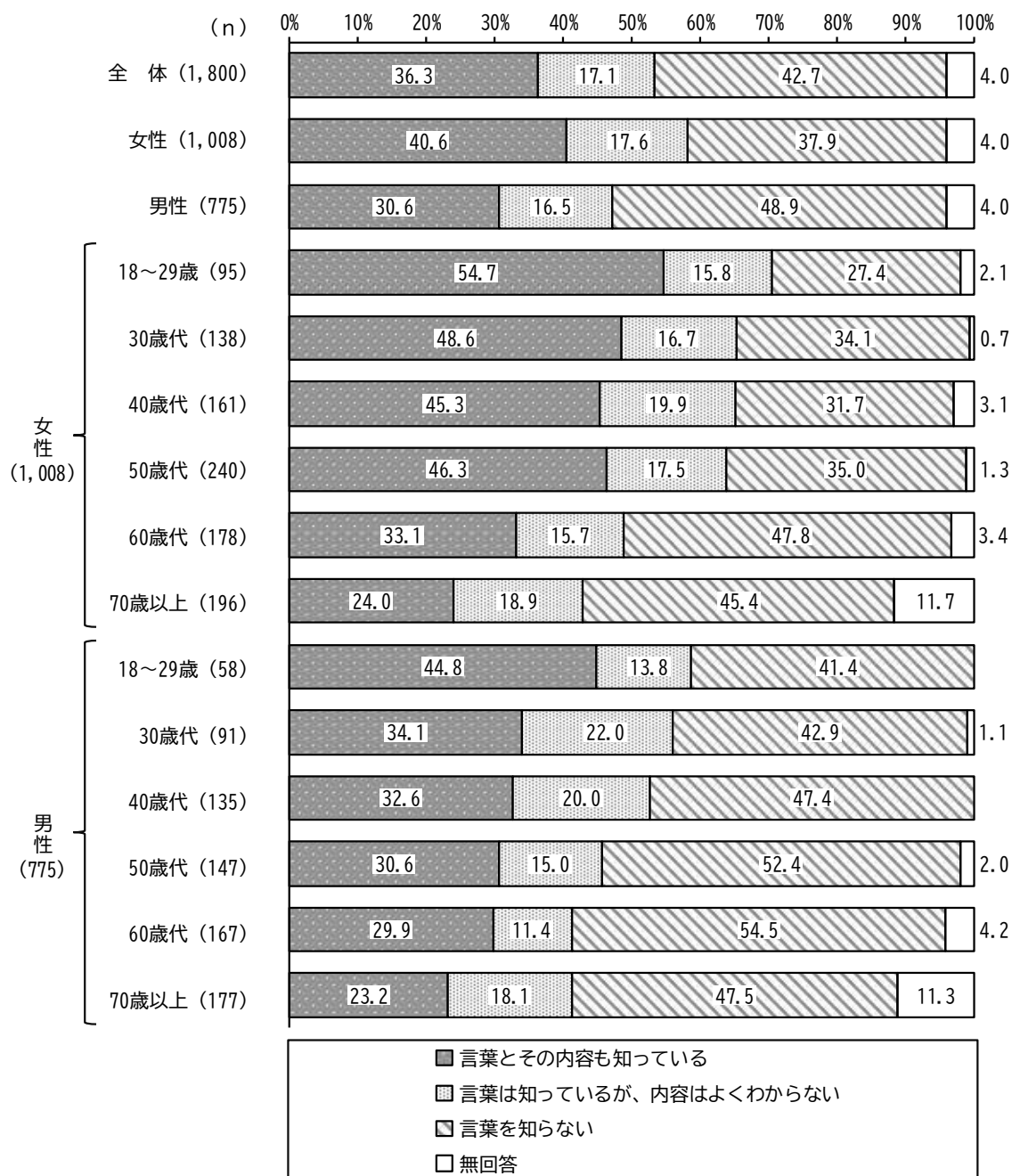
図 2-42 DVの認知度



(2) デートDV

デートDVの認知度については、「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」の成果指標として目標値 55%が掲げられている。今回の結果では、「言葉と内容を知っている」、「言葉のみ知っている」を合わせた認知度は全体で 53.4%であった。デートDVについて「言葉とその内容も知っている」と回答した割合は全体で 36.3%、女性は 40.6%、男性は 30.6%であり、DVに比べて、全体、女性、男性の全てにおいて半分以下にとどまっている。

図 2-43 デートDVの認知度



前回と今回とを比較して変化が目立ったのは 30 歳以上の男性であった。デートDVについて「言葉と内容を知っている」、「言葉のみ知っている」、「言葉を知らない」の3項目について比較したものが図 2-44（第9回）と図 2-45（第10回）である。前回の調査では、30～50 歳代の男性で「言葉を知らない」と回答した割合が、30 歳代、40 歳代、50 歳代それぞれ 60%以上であったが、今回は 40～50%台に下がっている。また、30 歳以上の男性の回答を見ると、前回の調査では、「言葉を知っている」と「言葉も内容も知っている」を合わせた割合について世代間で大きな差は見られず（36～39%の範囲）一様な傾向を示していた。

しかし今回は、30 歳代で 56.1%、40 歳代で 52.6%、70 歳以上では 41.3%と、若い年代ほど認知度が高い傾向が明らかになった。つまり、デートDVに関する認知は、男性全世代において広がりつつあり、特に、30 歳代、40 歳代の男性の間でデートDVに関する言葉や内容の認知度が向上していることがうかがえる。

図 2-44 デートDVについての認知度（第9回・男性）

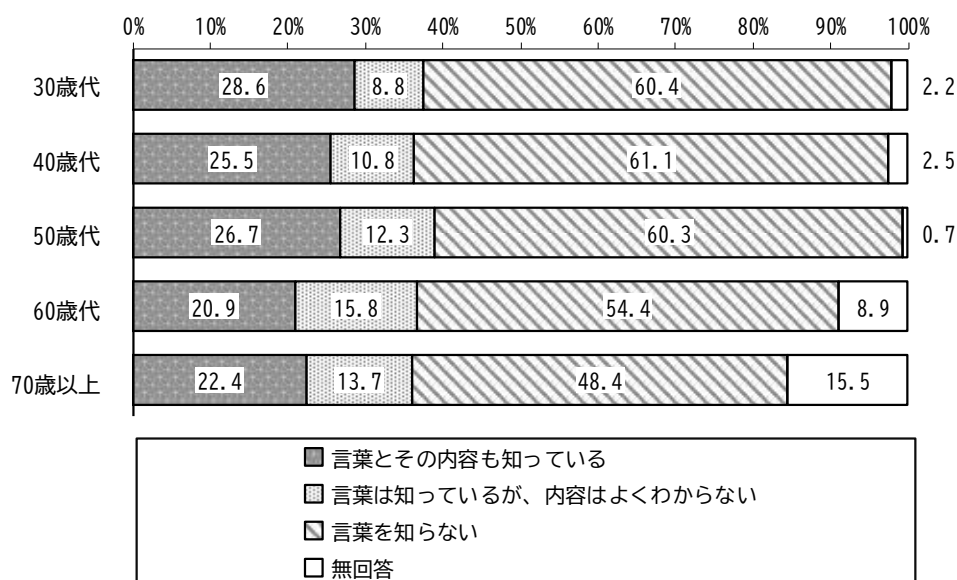
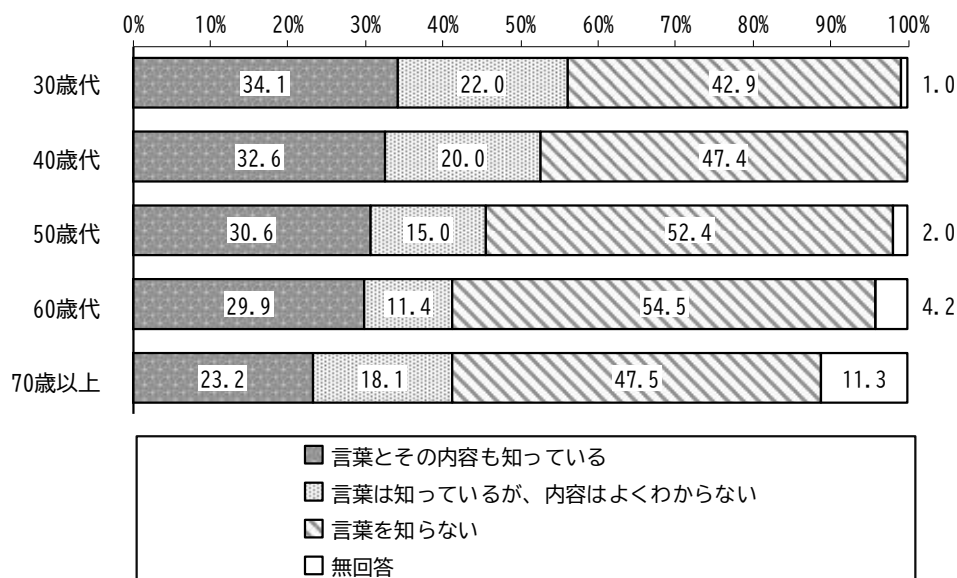


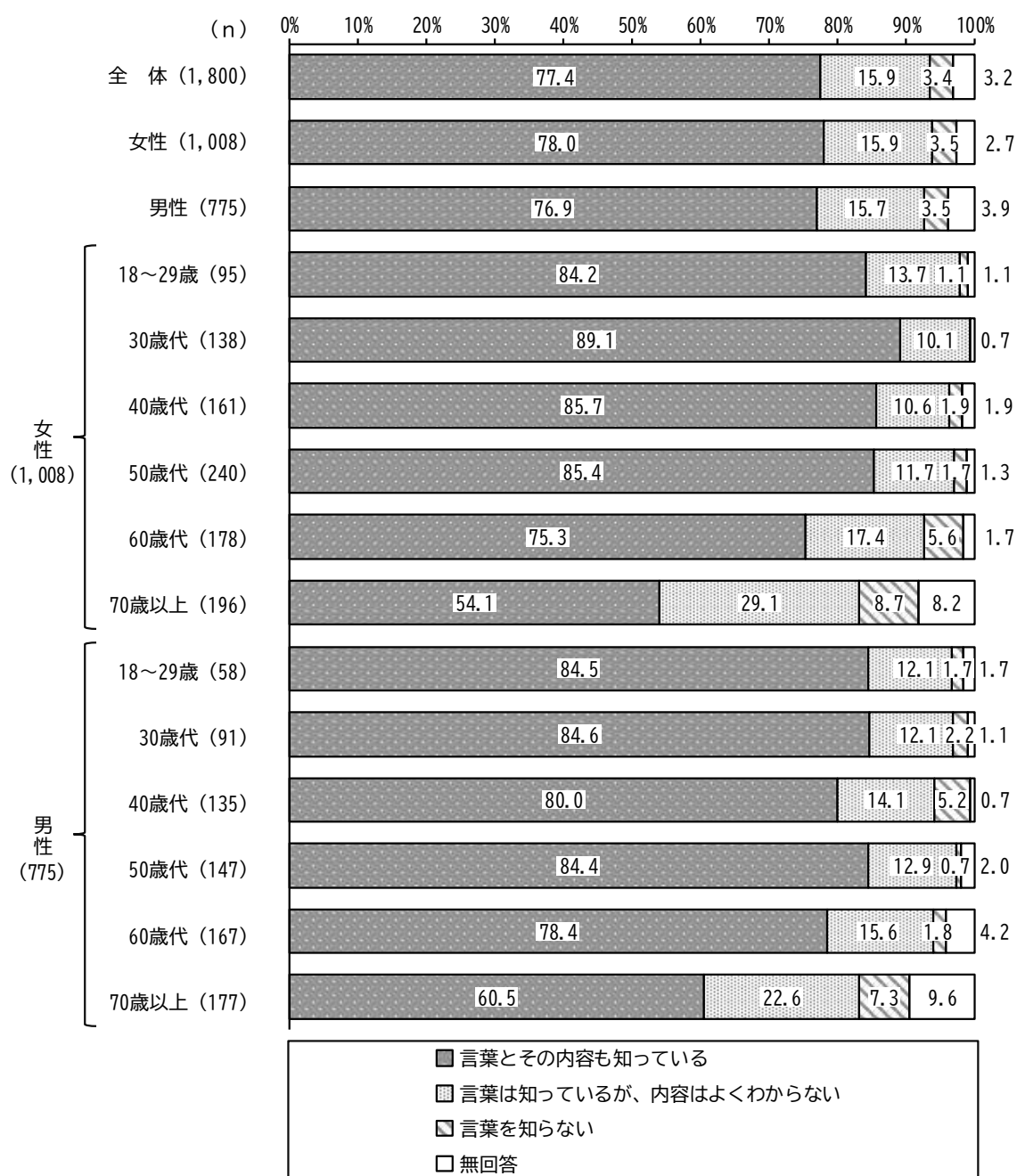
図 2-45 デートDVについての認知度（第10回・男性）



(3) モラル・ハラスメント

モラル・ハラスメントに関する設問は前回の調査から新たに加えられた。今回の調査では、「言葉とその内容を知っている」と答えた人が全体で 77.4%となり、前回の 61.7%から増加している。特に、認知度が最も低かった 70 歳以上の男女では顕著な伸びが見られ、女性は 27.8%から 54.1%に、男性は 41.0%から 60.5%へと増加した。依然として、男女ともに 70 歳以上の認知度は他の年代より低いものの、前回より大きく向上している。この結果から、モラル・ハラスメントに関する理解が幅広い世代に浸透しつつあることがうかがえる。

図 2-46 モラル・ハラスメントの認知度

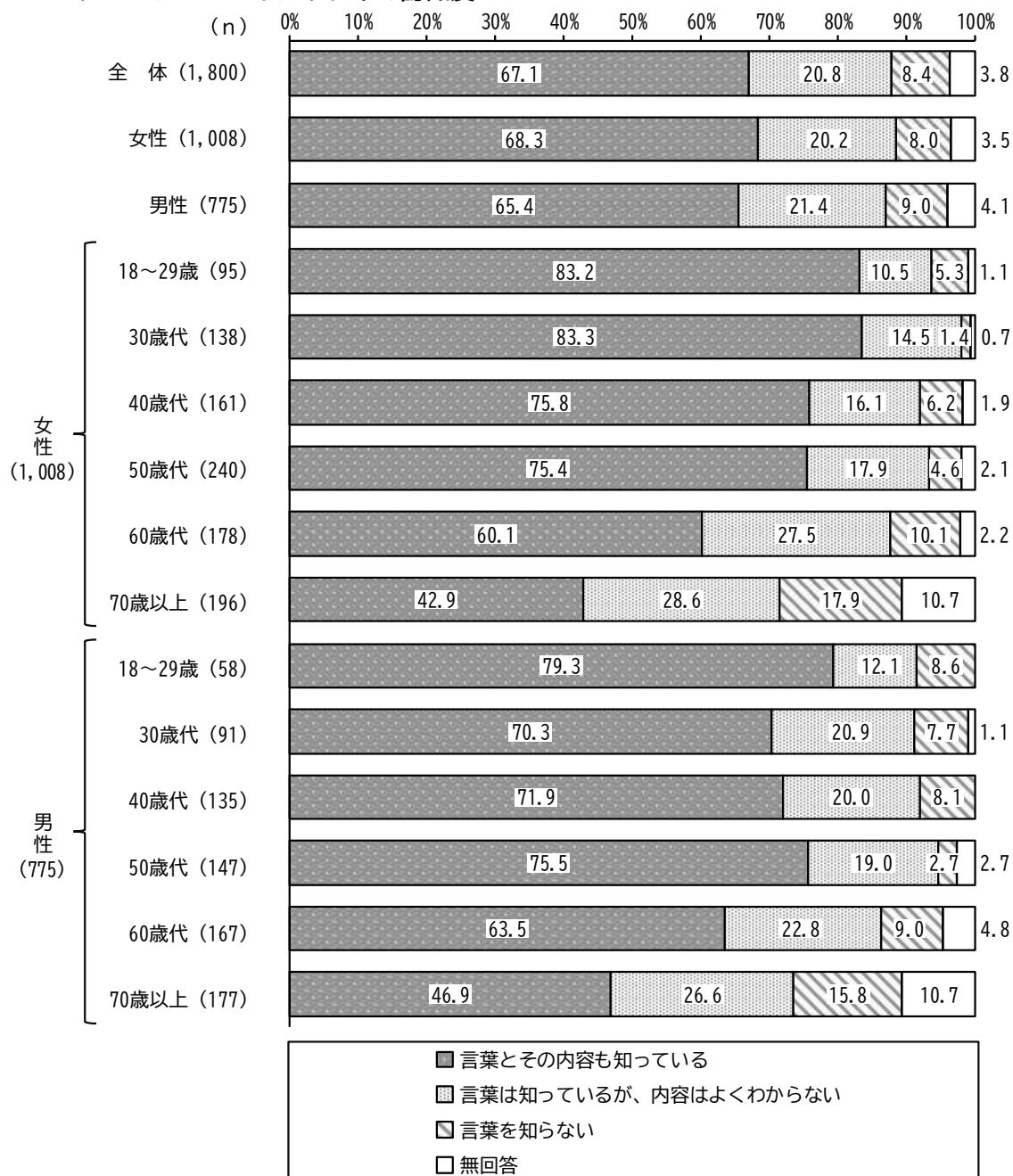


(4) セクシュアル・マイノリティ

性的少数者を意味するセクシュアル・マイノリティについては、前回の調査では「言葉とその内容も知っている」と回答した人は 42.1%、「言葉は知っているが、内容はよくわからない」が 23.4%、「言葉を知らない」が 29.3%であった。今回の調査では、「言葉とその内容も知っている」と回答した人は 67.1%と 25.0 ポイント増加した。セクシュアル・マイノリティという言葉とその内容を知っている人が約7割に達したことは、世間の関心の高まりを示していると考えられる。一方で、「言葉は知っているが、内容はよくわからない」と回答した人は 20.8%、「言葉を知らない」と回答した 8.4%であり、約3割の人がセクシュアル・マイノリティという言葉の内容又は言葉自体を知らないことも示された。

女性と男性を比較すると、「言葉とその内容も知っている」「言葉は知っているが、内容はよくわからない」の回答割合に顕著な差は見られないが、年代別に見ると年代が上がるにつれて認知度が下がる傾向が見られ、その傾向は 60 歳代及び 70 歳以上の高年齢層に顕著に表れている（図 2-47）。

図 2-47 セクシュアル・マイノリティの認知度

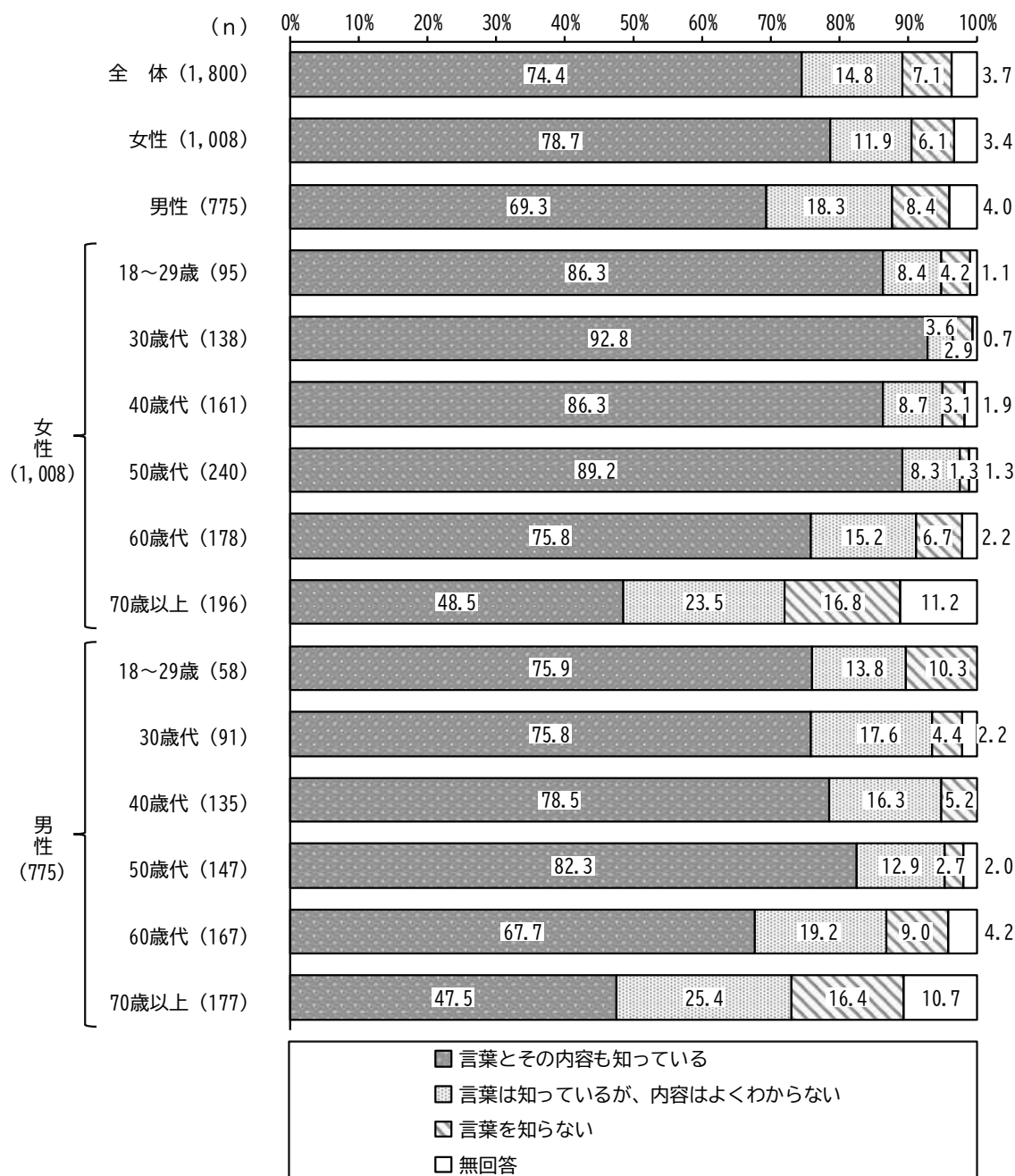


(5) カミングアウト

自身がセクシュアル・マイノリティであることを伝えるカミングアウトという言葉の認知度についてたずねたのは今回の調査が初めてである。カミングアウトについて、「言葉とその内容も知っている」の割合が74.4%、「言葉は知っているが、内容はよくわからない」の割合が14.8%となっている。注目すべきは、セクシュアル・マイノリティよりもカミングアウトの認知度の方が高いたることである。

女性と男性を比較すると、「言葉とその内容も知っている」と回答した割合は女性78.7%、男性69.3%で、女性の方が約9ポイント高かった。また年代別に見ても、全ての年代で女性の方が「言葉とその内容も知っている」と答えた割合が高かった。またセクシュアル・マイノリティと同様に、年代が上がるにつれて認知度が下がる傾向が見られた（図2-48）。

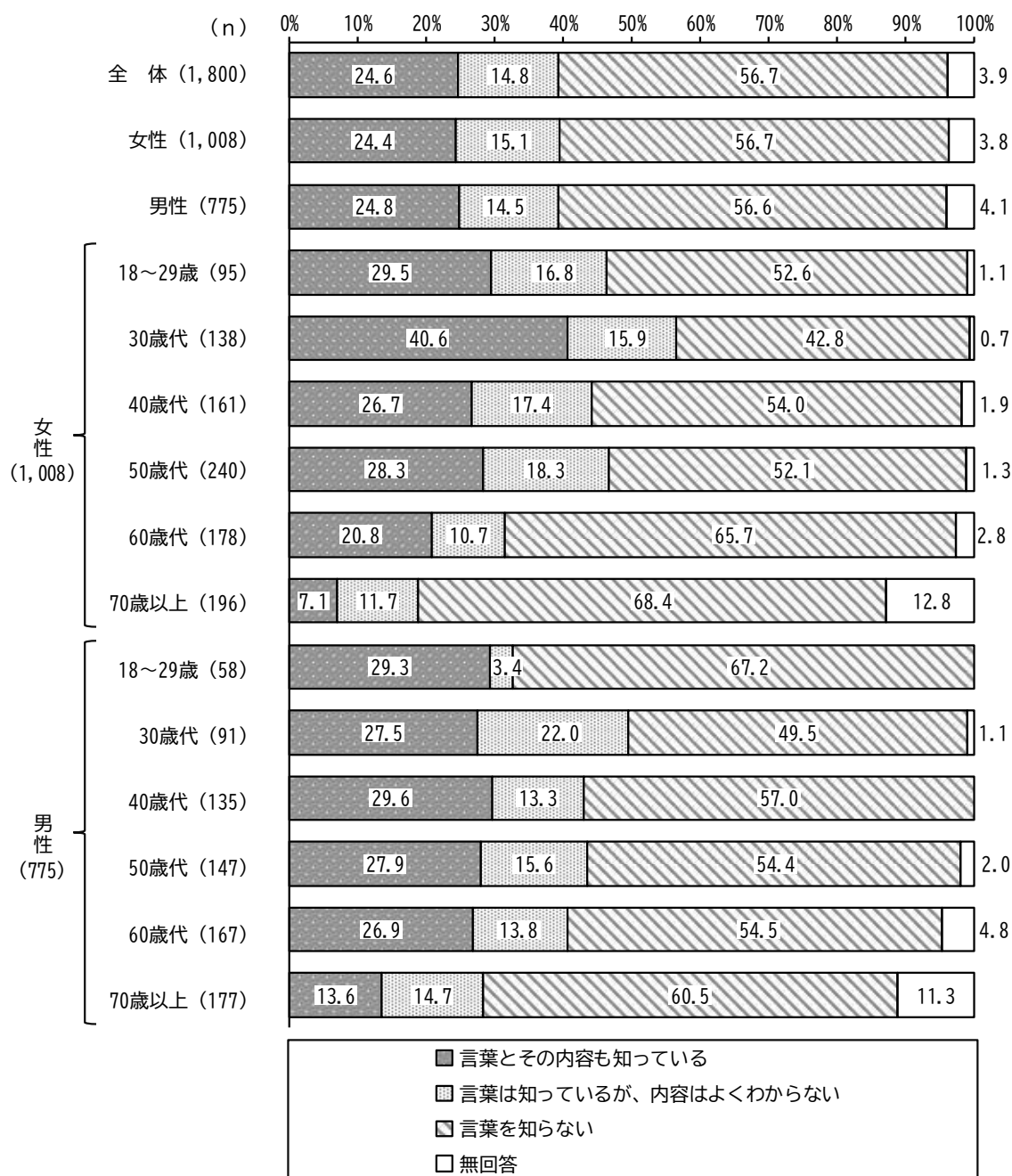
図2-48 カミングアウトの認知度



(6) アウティング

セクシュアル・マイノリティであることを本人の同意なく暴露することを意味するアウティングという言葉の認知度をたずねたのも、今回の調査が初めてである。「言葉とその内容も知っている」の割合が24.6%、「言葉は知っているが、内容はよくわからない」の割合が14.8%となっている。セクシュアル・マイノリティやカミングアウトと比べて認知率が低かった。女性と男性を比較すると、「言葉とその内容も知っている」、「言葉は知っているが、内容はよくわからない」の割合はほぼ同じであった。年代別では、30代の女性のみ、「言葉とその内容も知っている」と回答した割合が4割を超えていた(図2-49)。

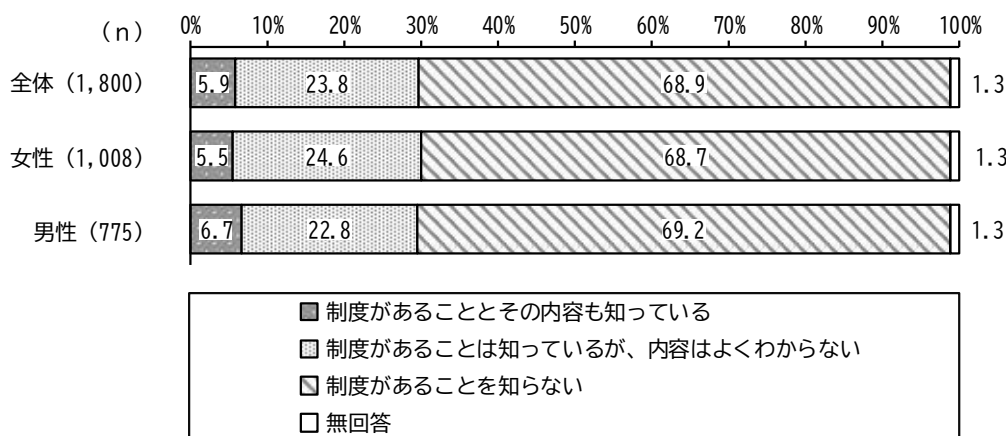
図2-49 アウティングの認知度



問 14 名古屋市には、現在の婚姻制度を利用できない・利用しない性的少数者や事実婚などのカップルの方に向けて、ファミリーシップ制度があります。当制度は、互いを人生のパートナーとしている二人が、日常生活において対等な立場で継続的な共同生活を行うことを市に宣誓し、市がその事実を証明するものです。あなたは、名古屋市のファミリーシップ制度について知っていますか。【1つだけに○】

ファミリーシップ制度の認知度をたずねたのも、今回の調査が初めてである。「制度があることを知らない」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「制度があることは知っているが、内容はよくわからない」の割合が 23.8%となっている。「制度があることとその内容も知っている」と答えた割合は、全体で 5.9%であり、女性全体では 5.5%、男性全体では 6.7%であった。調査が行われた時点で、名古屋市において令和 4（2022）年にファミリーシップ制度が導入されて約 2 年が経過しているが、市民の間では十分に認知されていないことが明らかになった。（図 2-50）

図 2-50 ファミリーシップ制度の認知度



第5章 行政課題

1 男女平等参画の推進

問 15 男女平等参画の推進のために、今後、行政は特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。【あてはまる番号に3つまで○】

「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が特に力を入れていくべきことについて、具体的な8つの取組内容と「特になし」と「その他」の10の選択肢を示してたずね、当てはまるものを3つまで選んでもらったところ、図2-51に見るように、「特になし」(4.5%)と「無回答」(9.6%)を除いた85.9%が、いずれかの取組が必要と回答した。

前回の調査では【あてはまる番号すべてに○】をつけてもらったが、今回の調査では【あてはまる番号に3つまで○】をつける形式に変更するとともに、回答の選択肢も一部変更しているため、割合の増減に関して直接的な比較はできない。そのことを前提にしたうえで、前回の調査で多かった上位5つを挙げると、1位「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(65.3%)、2位「子育て中や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」(62.4%)、3位「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」(59.0%)、4位「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」(53.2%)、5位「国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」(49.8%)であった。

一方、今回の調査での上位5つは、1位「子育て支援・介護支援」(47.1%)、2位「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」(38.7%)、3位「性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発」(37.6%)、4位「政策決定・意思決定の場への女性の積極的登用」(26.2%)、5位「家庭・地域における男女平等参画の促進」(21.2%)の順となった（図2-51）。

両者を比較すると、「子育て支援・介護支援」が前回・今回ともに1位であり、ワーク・ライフ・バランスにかかわるとされる前回4位の項目が今回は2位となっていた。また前回5位であった政策決定の場への女性の積極的な登用は、今回は4位であった。

男女別に見ると、「性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発」では男女に顕著な割合の差は見られなかった。女性では、「子育て支援・介護支援」と「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」、「配偶者間の暴力（DV）や性犯罪・性暴力などの人権侵害の解消」では約3ポイント、「LGBTなどの性的少数者への支援と理解促進」では4.0ポイント男性よりも高かった。一方、「政策決定・意思決定の場への女性の積極的登用」では男性が女性よりも7.2ポイント高かった（図2-51）。

年代別に見ると女性においては、「子育て支援・介護支援」を選択した割合が、18～29歳を除いて全ての年代で最も高かった。男性においても「子育て支援・介護支援」の回答割合は30歳代～60歳代で最も高かったが、40歳代では「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」、60歳代では「政策決定・意思決定の場への女性の積極的登用」が「子育て支援・介護支援」と同率で回答割合が高かった。（表2-5）

図 2-51 男女共同参画社会の実現のために力を入れるべきこと

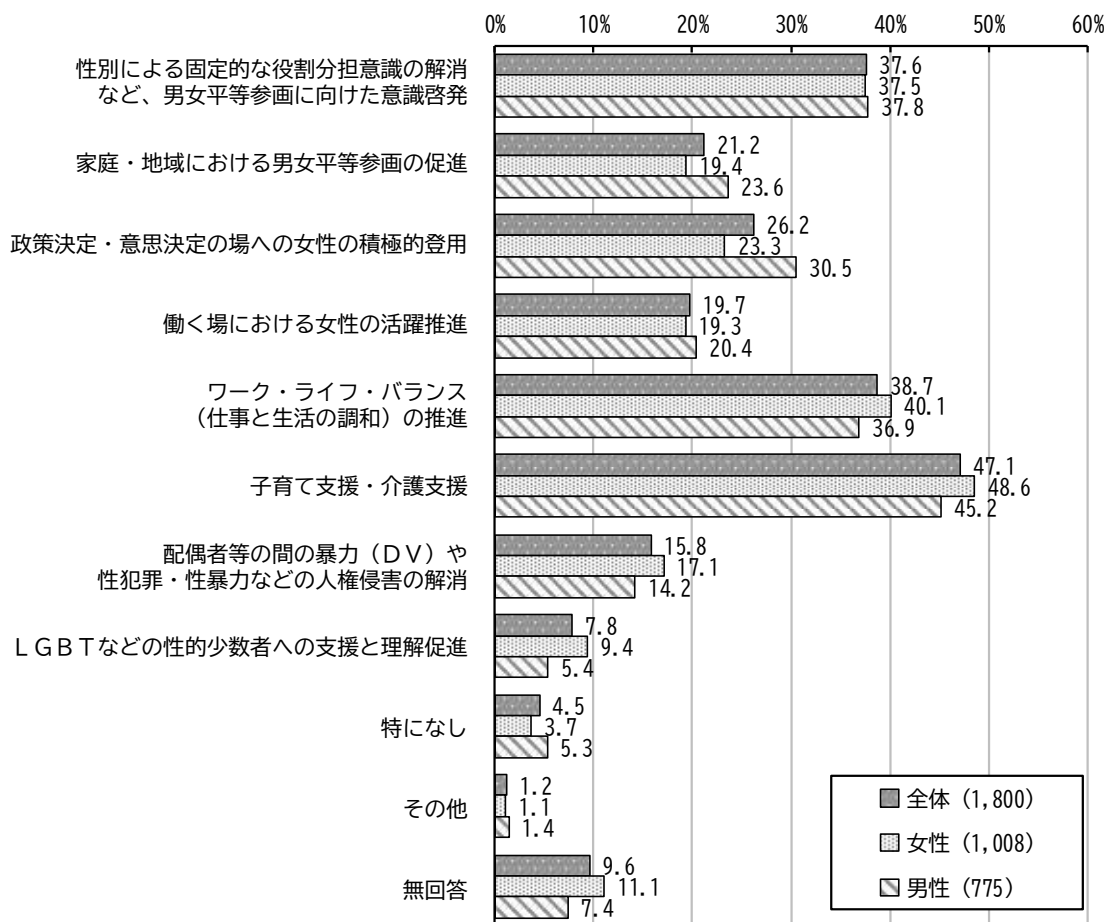


表 2-5 性別・年齢階級別に見た男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れるべきこと

単位：％

		性別による固定的な 役割分担意識の解消 など、男女平等参画 に向けた意識啓発	政策決定・意思決定 の場への女性の 積極的登用	ワーク・ライフ・バ ランス（仕事と生活 の調和）の推進	子育て支援・ 介護支援
女性	18～29歳	34.7	21.1	51.6	47.4
	30歳代	30.4	19.6	56.5	61.6
	40歳代	35.4	26.1	42.2	43.5
	50歳代	37.9	16.3	42.1	44.2
	60歳代	42.7	27.0	36.0	49.4
	70歳以上	40.3	30.1	22.4	49.0
男性	18～29歳	36.2	17.2	48.3	43.1
	30歳代	39.6	19.8	50.5	54.9
	40歳代	34.1	23.0	56.3	56.3
	50歳代	38.8	30.6	36.1	44.2
	60歳代	35.9	37.1	26.3	37.1
	70歳以上	41.2	39.5	22.0	40.7

注) 全体の回答割合の上位4つを対象として記載している。

第Ⅲ部

調査結果から 見えてきた課題

第1章 各領域における課題

1 男女平等意識や家族

周知のとおり男女平等参画は、昨今あらゆる次元で目標として掲げられており、その達成のための法律や制度が様々に整えられつつある。しかしながら、未だ実現への道半ばであることを示すデータは枚挙にいとまがなく、さらに前回第9回調査（令和元（2019）年9月実施）の後、約3年間に及んだ新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行によってその歩みが遅滞した——「ステイホーム」策で増加した家事・育児・介護の多くが女性の肩に掛かった、就業・雇用状況の悪化が女性でより大きかった、等*——と言われている。今回の調査では、こうした現実と合致した結果、つまり「学校教育の場」を除き、総じて「男性優遇」との感が大勢であることが示された**と同時に、男女平等参画実現に向けての課題も見えた。その課題とは、大きく言えば男女平等参画の意義や必要性を社会全体で共有することの難しさだと考えられる。以下、名古屋市男女平等参画審議会（11期）における諸議論での意見も踏まえつつ、説明を試みたい。

上述のように、男女平等参画のための法律や制度は相当に整備されてきてはいるものの、活用にあたって問題が生じているとの指摘がある。具体的には、例えば育児休業に関して、日本では少子化も背景に1990年代から男性にも育児休業の取得が認められるようになり、現在に至るまで関連の法制度は拡充の一途をたどっているが、依然として育児休業の取得率や取得期間に男女間で大きな差が存在する。その一因として「育児は女性が（主）担当」との社会通念が挙げられており、女性に限らず、男性も育児の取得にあたって不利益な扱い等の嫌がらせ（「パタニティハラスメント」）を受けたり、（女性よりも男性に対して一層厳しいことも想像される）職場の空気を読んで希望通りの取得を断念する場合があることが知られている。また、上記の社会通念が嫌がらせではなく、気遣いとなって、男女平等参画を阻んでいる事態も取り沙汰されている。すなわち、育児中の労働者、特に（上記の社会通念に基づいて）女性に対し、負担過多に陥らないようにとの職場・上司による配慮から、当事者の意思を確認しないまま、あるいはそれに反して、重責の職務の免除等がなされ、結果的に当該労働者の昇進機会の逸失を招いてしまうことがある***と言う。このように社会通念が施策の効力を妨げている可能性があり、かつ今回並びに前回調査、内閣府による「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和4（2022）年11月実施）では「社会通念・しきたり・慣習」項目での「男性優遇」回答が他項目に比べてひととき多かった。従って、「社会通念・しきたり・慣習」への働きかけが男女平等参画実現の鍵の一つとなろう。

しかしながら、そうした働きかけの難しさが審議会内でも多く語られた。それを要するに、まず、ライフスタイルの選択肢や価値観の多様化に則した法律、制度を策定したり、それらの効力を引き出すためには、既述のとおり「社会通念・慣習・しきたり」に過度にとらわれることのないよう、組織や団体の意思決定者、管理者について年齢・性別等の多様性が確保されることが望ましいが、実現には至っていない。加えて、そうした法律や制度に関する情報の伝わりづらさもある。例えば特に男性は、市や区から発信される行政関連の情報に接することがあまりないとか、男女平等参画に関する市や区の講座に参加するのは女性が多く、かつ参加者はそもそもそれに対する関心が既に高いことが推察され、大多数に上る非参加者がどの程度情報に接しているのか分からないといった意見が出された。また、今回の調査では「政治の場」を除く項目において、男性、わけでも若年層に「女性優遇」との回答が少なからず見られたが、このことに関しても情

報不足が一因となっているのではとの声が聞かれた。すなわち、近年、入試における「女子枠」や、政府の主導で「女性活躍」がうたわれていること等が「女性優遇」の回答につながったと思われるが、「女子枠」や「女性活躍（推進法）」が導入された理由、目的等の周知の度合いに関する疑問も呈された。

行政としてできることには限りがあるため、こうした課題の克服には、他の主体との連携が求められる。

* 詳しくは例えば内閣府男女共同参画局『令和3年版男女共同参画白書』を参照されたい。

** なお、令和6（2024）年夏に開催された、名古屋市男女平等参画審議会（11期）の「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」（令和3（2021）年策定）中間評価部会では、男女平等に対する人々の評価基準が以前に比べて厳しくなっている可能性並びに主体性を持って回答する市民が増えている可能性、等にも言及があった。

*** 女性労働者が育児を理由に、本人の意思に関わらず昇進やキャリアアップの機会から遠のくことは「マミートラック（mommy track）」（母親コース）と称されている。なお、男性の育児参加が進むにつれて、最近ではその男性版である「パピートラック」もしくは「ダディートラック」の語も登場している。

2 地域

今回の調査結果から見て、地域活動の領域や防災の領域における男女平等参画を促進するための課題として、以下の3点を挙げる。

1点目は、全体として地域活動の参加割合が前回調査よりも微減し、地域との関わりの希薄化は漸次的に進行しているといえるが、とりわけ若年層の関わりは低下傾向にあることである。今回の調査結果によれば、18歳～29歳の女性の54.7%、30歳代の女性の44.2%が「いずれも参加したことがない」が第1位となっており、若年世代女性における地域活動への不参加状況がさらに進んでいることが看取できる。これに対して、18歳～29歳の男性は「ごみ・資源収集の協力、清掃活動」が37.9%で第1位で、地域との関わりは同年代の女性よりも高いことになっているが、30歳代で「いずれも参加したことがない」が51.6%で第1位である。地域活動について言えば、男女ともに若い世代の関わりはそれ以降の年代と比較して低い傾向にある。今回も、前回の調査時に提起された課題と同様のことを指摘することになるが、特に若年層の地域への定着や地域活動への参画が期待されている中で、それとは反対の傾向が続き、その傾向がより加速化していることには注意を払う必要がある。もっとも、「地域活動に参加していない理由」について、18～29歳の女性の67.3%、18～29歳の男性の63.2%が「きっかけがないから」と回答しており、何らかの「きっかけ」があれば参加する可能性もある。名古屋市の「令和5年度 第62回市政世論調査」によれば、「名古屋が住みやすい」と思う人は9割以上であり、その住みやすさを維持・発展させていくために、地域活動への参加経験のない住民が、それらの活動の重要性を認識してもらうにはどうすればよいか、その「きっかけ」をいかにつくるかが課題である。

2点目は、地域における女性の活躍、とりわけ「自治会長やPTA会長など、女性が地域での活動のリーダーとなるために必要なこと」についても、前回調査同様、中高年男性は、「女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること」（ポジティブ・アクションの導

入)については、60 歳代・70 歳以上の高齢男性の方が3割台～4割台の支持があるにもかかわらず、女性はどの世代でも1割台～2割台にとどまっていることである。今回の調査結果としては、男女とも、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」(全体の44.9%)、「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」(全体の42.2%)が上位を占めており、「抵抗感」という意識の問題に収れんされていることが明らかになった。少子高齢化が進展する中で、自治会・町内会をはじめとする地域の活動団体においても、会長・役員業務について女性役員が増えることで、それらの活動の持続的展開が望まれ、これまで男性が多く担ってきた地域社会の活動方針の決定の場への女性参画の促進が求められるが、そのことを認識している高齢男性が増える中で、女性をいかに地域活動のリーダーとしていくかについては課題となっている。

3点目は、防災の領域に関して、災害発生時の地域の避難所運営をめぐる課題である。第9回調査の結果と同様、男女ともに最も回答割合が高いのは、避難者の性別によるニーズの違いに配慮が必要という選択肢で、女性の8割半ば、男性の7割強という回答割合であった。特に、女性では18歳から60歳代の全ての世代で8割後半と高い回答割合を示した。次いで回答割合が多かったのは、順に、避難所運営・方針決定への男女の参画、性別により異なる悩みや問題の相談窓口設置、避難所運営における性別役割分担意識の解消についての選択肢で、この傾向は前回調査と同様であった。相談窓口の設置については、特に若年層の女性の回答割合が前回調査比で20ポイント近く増え、男女間での回答割合の差がやや広がった。また、避難所運営・方針決定への男女の参画は前回調査比で約8ポイント増、性別役割分担意識解消は前回調査比で約6ポイント増となっており、日本各地で災害が多発する中で、男女平等参画の意識が向上してきていると考えられる。災害は全ての人の生活を脅かすが、性別や年齢、障害の有無などの違いにより受ける影響が異なることが知られている。東日本大震災をはじめとするこれまでの災害においては、様々な意思決定過程への女性の参画が十分に確保されず、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといった課題が生じたことから、内閣府は令和2年5月に「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を作成している。避難所等における女性に対する暴力の防止・安全確保、避難所の環境整備(プライバシーが十分に確保された間切り、男女別のトイレ・物干し場・更衣室・休養スペース・入浴施設、授乳室の設置、女性用品の配布場所の設置、女性トイレの増加や多目的トイレの設置等)のためにも、運営体制・組織への女性参画は不可欠である。地域における防災についても、女性の視点からの取組を進め、地域の災害対応力を強化していくことが重要である。

3 労働

第9回調査が実施された令和元(2019)年から今回の令和6(2024)年調査までの5年間を振り返ると、最も大きな社会経済変化は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大であろう。このパンデミックは、経済活動の停滞、失業率の上昇、医療システムの逼迫など、社会全体に多大な影響を与え、リモートワークやオンライン教育の普及、デジタル化の加速など、人々の生活様式や働き方を大きく変えた。

この間、日本の労働市場においては、労働力の二極化が顕著に進んだ。具体的には、ITエンジニアや医療専門職など、高度な専門知識や技術を要する職業の需要が拡大する一方で、事務作

業など、ルーティンワークや標準化された作業を伴う中間スキル職の需要は減少傾向にある。特に、デジタルトランスフォーメーションの進展やA Iの導入は、この二極化を加速させる要因となっている。

一方、介護や警備など、人間ならではの共感力や臨機応変な対応が求められる仕事は、依然として人手不足が深刻な状況にある。社会福祉の分野では、高齢化の進展に伴い、介護や医療の需要が急増しており、労働力や社会保障の財源の不足が深刻な社会問題となっている。低所得者層の増加や子育て支援など、多岐にわたる社会福祉課題も重なり、サービス提供体制の逼迫が深刻化している。これらの課題を踏まえ、今回の調査結果を検証すると以下のとおりとなる。

（１）回答者の属性から見える状況

ア 男女間の雇用形態の差の縮小と生活への不安

回答者の属性を最終学歴から見ると、今回の調査では、39歳以下の層で女性の大卒割合が男性を初めて上回った。一方、職業については、正規雇用は男性、非正規雇用は女性が高い割合を占めるという従来の傾向は変わっていない。しかし、正規雇用の増加率は女性、非正規雇用の増加率は男性が上回っており、男女間の雇用形態の差が縮小しつつあることが示唆された。一方、暮らし向きに関する意識は男女間で大きな差はない。約半数が「ふつう」と回答しているのは前回と同様である。しかし、「ゆとりがある」と回答する人が減少し、「苦しい」と回答する人が増加しており、昨今の経済状況に不安を感じている人の増加を示唆するものと思われる。

イ 単身世帯の増加・50歳代以下の7割以上が共働き世帯

家族属性については、前回調査と比較すると、単身世帯が増加し、3世代世帯が減少しており、世帯の小規模化が進んでいることが示された。男性の方が女性よりも単身世帯の傾向が顕著であり、特に18～29歳及び30歳代の男性で単身世帯の割合が高い。また、今回の調査では、夫婦・カップルの働き方について詳しく知るために新たな質問項目を追加した。その結果、共働き世帯の割合は全体で約6割となり、特に50歳代以下では7割から8割を占めることが明らかになった。これは、若い世代を中心に夫婦・カップルで共に働くことが一般的になっていることを示している。

（２）労働時間の変化

社会経済の変化は、人々の働き方にも大きな影響を与えている。男性の平日の労働時間は減少傾向にあるが、中でも子育て世代でその傾向が顕著であった。対照的に、子育て期にあたる女性で労働時間を「なし」と回答した割合に変化はみられなかった。労働時間の減少の要因については、パンデミック中に進んだリモートワークや、フレックスタイム制導入の恩恵が考えられる。前回調査との比較において、注目すべきもう一つの変化は女性の若年層と子育てを終えた50歳代での労働時間の伸びである。今回調査においても、女性の高学歴化や雇用の正規化が確認されており、デジタルトランスフォーメーションやA Iの導入がそれを後押しすることが期待される。一方で、子育て世代ではこうした変化がほとんど観察されていない。保育の充実や男性の育休増進のみならず、包括的な支援策が望まれる。

（３）家事・育児・介護の時間

「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」の成果指標である「平日1時間以上家事を行う有職男

性の割合」の目標値は40%だが、今回の調査では32.0%と目標値に近づいている。しかし、平日1時間以上家事を行う男性の中でも、家事時間は1～2時間程度という割合が多く、有職男性全体では家事をしない男性も約2割いるため、男性の家事負担が大きく進んでいるとは言えない。

女性について見ると、無職の場合、家事負担は軽減した可能性があるが、有職の場合、家事時間は増加傾向にある。高性能な家電製品や中食（惣菜・弁当）の普及等により家事時間が全体的に減少していたとしても、家事以外の育児や介護と仕事の両立といった課題もあり、女性の負担は未だに大きい。

先進諸国では、便利な家電製品の普及などにより家事時間が減少する一方で、育児に費やす時間は増加している。特に、大学卒以上の高学歴女性において、この傾向は顕著に見られる。日本の女性の高学歴化が進んでいることから、今後も同様の傾向が加速することも考えられる。

これらの状況を踏まえると、男性の家事分担は家事を担うだけでなく、育児にも積極的に関わることが重要であり、そのための取組が求められる。

（４）家事・育児・介護の分担：希望と現実

家事・育児・介護の分担について、男女ともに約半数が「50：50」を希望すると回答している。しかし、残りの半数については男女で大きな意識の差がみられ、女性は自分が多く担うことを希望する割合が多いのに対し、男性は配偶者等が多く担うことを希望する割合が多いことが分かった。

実際の家事分担でもこの意識の違いが反映されている。女性の約5割は家事の8～9割を担い、男性の約5割は自分の分担は1～2割程度である。

家事分担の公平化を図るためには、男女平等の意識向上や男性の家事・育児・介護への参画に向けた取組が求められる。

（５）男性の育児休業取得

男性の育児休業取得を推進すべきと考える理由をたずねた結果、男女ともに「配偶者等の負担軽減」と「社会全体の理解促進」がメリットだと考えている人が多いことが分かった。一方、女性は「子育ての喜びや大変さの共有」や「就業継続を希望する女性が働き続けられること」と答えた割合が男性よりも高かった。これらの結果から、男性の育児休業取得が家庭や社会に良い影響を与えるという認識が広がっているが、メリットの捉え方には男女間で微妙な違いがあることが示唆される。

男性の育児休業取得を推進すべきでないとする理由として、男女ともに「他の社員の負担が増える」が挙げられた。これは職場環境の整備が急務であることを示している。

一方、女性からは男性の家事・育児スキルに対する不安や経済的な不安が具体的に挙げられた。また、男性の育児休業取得を推進すべきでないとする男性のうち約4分の1が「子育ては女性の方が向いている」と考えている結果は、従来の性別役割分担に対する固定観念が根強く残っていることを示唆している。

これらの結果から、男性の育児休業の普及には職場環境の整備だけでなく、男性が育児をすることに関する固定観念を改め、男女共同で子育てを行う意識改革に向けた取組が求められる。

4 人権

今回の調査では、人権に関する設問として、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、痴漢行為、配偶者等や交際相手からの暴力（DV）の被害経験、DV被害の相談先、人権関連の言葉の認知度、セクシュアル・マイノリティ関連についてたずねた。各項目について中核となる設問は残しつつ、被害の現状をより正確に把握し、施策に生かせるよう設問の整理や工夫がなされた。

DVに関しては、第7回及び第8回調査報告書に国と名古屋市との比較が記載されている。第7回調査では、男女ともに精神的暴力の被害経験率が名古屋市の方が高いことが示されており（第7回調査報告書 p.119）、第8回調査では心理的暴力の被害経験率が全国とほぼ同様であったことが報告されている（第8回調査報告書 p.89）。今回、令和5（2023）年の全国調査との比較では、4つの暴力形態全ての項目で、名古屋市と全国の被害率がほぼ同じであることが確認された。

名古屋市男女平等参画基礎調査で初めてDVに関する質問項目が設定されたのは、平成7年の第4回調査である。しかし、その後設問の内容や形式が変更されたため、経年推移を把握できない項目もある。一方、セクハラ、ストーカー、痴漢行為については第7回をのぞき、同一の設問が継続してたずねられている。これらの経年推移をグラフ化したところ、今回の調査では全ての項目で被害率が増加していた。特に、男女ともに環境型セクハラの被害率の増加が顕著であった。職場や地域などでのセクハラ防止に向けた取組が一層求められる。

また、DV、セクハラ、ストーカー、痴漢行為はいずれも女性の被害率が男性よりも高いという点は、前回及び前々回の調査結果と変わらない。性をめぐる暴力においては、女性の被害経験率が高い状況が続いている。特に、痴漢行為の被害は女性が圧倒的に多いことが明らかである。

（1）男性の暴力被害経験率の増加をどう見るか：男性の被害の顕在化

今回の調査では、前回調査に比べ男性の被害経験率が増加した点に触れておきたい。分析結果で見たように、男性への環境型セクハラやDV、特に心理的攻撃の被害率が前回調査結果より増加していた。また、これまでに暴力被害を受けたことがあると回答した男性のうち、44.8%の男性がこの1年間に何らかの暴力被害を受けたと回答しており、女性の被害経験率29.7%を大きく上回っていた。ただし、男性回答者のサンプル数が少なく、これらの結果から何らかの結論を導くには慎重さが求められる。

男性の被害経験率の増加については、実際に男性のDV被害が増えたのか、あるいは意識の変化によって男性が自身の経験を「被害」と認識し、それを回答として表明するようになったのかは不明である。この「増加」の幅が統計的に有意であるか、数値を慎重に検討しながら、男性のDV被害についても、人権問題として真摯に捉えることが重要である。女性、男性、セクシュアル・マイノリティ、外国籍住民など、いかなる属性であっても暴力の被害を受けることのない、またそれを許さない社会を構築していくことが重要である。

（2）市民意識向上の指標となる言葉の認知度

人権問題に関する言葉や内容についての認知度を把握することは、市民の人権意識の広まりを把握する一つの指標となり得る。言葉と内容について、今回たずねた中でDVは市民の間で最も認知度が高く、過去3回の調査では認知度が80%以上となっている。モラル・ハラスメントも認知度が70%以上であり、DVとともにその言葉と内容は着実に浸透しつつあることが分かる。

一方、恋人間で起こる暴力であるデートDVの認知度は低い。若い世代では、全世代のなかでも認知度は比較的高いが、それでも50%前後にとどまっており、デートDVの防止に向けて継続的な取組が求められる。さらに、親や家族の世代がデートDVやその被害について理解することは、人権が尊重される社会を作っていくためにも重要である。

(3) 相談するということ

親密な相手や利害関係にある相手からの暴力被害については、相談率が低いことが知られている。「相談」と一口に言っても、その先にどのような支援があり、どのように改善や解決につながるのかが明確でなければ、市民は相談窓口から遠のいてしまうのではないだろうか。暴力被害の防止や問題解決のための方法について、周知を工夫し、アクセスしやすくすることが求められる。市のイーブルなごや相談室や社会福祉、医療、心理職、弁護士など、さまざまな専門領域の相談窓口が存在している。当事者ニーズを把握しつつ、各々の状況に応じて社会のリソースを活用しやすいような一層の工夫が求められる。

(4) ファミリーシップ制度の認知について

今回初めて、名古屋市が令和4（2022）年から開始したファミリーシップ制度の認知度をたずねた。制度とその内容を共に認知している割合は1割を切っており、この制度が市民に十分に認知されていないことが示された。ファミリーシップ制度とは、同性カップルや事実婚のカップルなど、様々な事情により現在の婚姻制度を利用できない・利用しない人が、互いを人生のパートナーであることを宣誓し、名古屋市が宣誓を受理したことを証明する制度である。セクシュアル・マイノリティや事実婚のカップルが現在の婚姻制度を利用できない・利用しないことによって被る不利益等に対して、名古屋市が取組を行っているということをさらに広報していくことが求められる。

(5) 今後に向けた課題

名古屋市は、平成11（1999）年度に実施した「女性に対する暴力に関する調査」で、女性の被害状況のみならず男性の加害状況についての調査をいち早く手掛け、平成14（2002）年に「何人も、ドメスティック・バイオレンス（配偶者等に対する身体又は精神に著しく苦痛を与える暴力その他の行為をいう。）を行ってはならない。」と明記された「男女平等参画推進なごや条例」を施行し、平成19（2007）年度には市の配偶者暴力相談支援センター業務を開始するなど、DV問題へ取り組んできた。しかし、今回の調査から、依然、DV被害は存在しており、かつDV被害を経験しても被害者は誰にも相談しない傾向は依然として変わっていないことが明らかとなった。令和6（2024）年4月にはDV防止法の5回目の改正が行われるとともに、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されるなど、DV被害者の支援枠組みは大きく変わっている。今後、支援の成果や課題を注視しながら、人権を侵害するあらゆる暴力の被害を防止するための総合的な取組を進めていくことが重要である。男性の被害が顕在化している中で、女性への支援の歩みを止めることなくさらに充実させるとともに、男性の被害問題にも人権問題として取り組むことが求められる。男女ともに被害を相談できる社会的リソースの周知と、その利用率の向上を目指す工夫が求められる。

セクシュアル・マイノリティに関しても、令和5（2023）年に「性的指向及びジェンダーアイ

デンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されており、地方公共団体の役割として、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する施策を策定し、及び実施するよう努めることが定められている。セクシュアル・マイノリティという言葉自体を知らない、又は内容を知らない人が約3割存在することや、高年齢層で認知度が下がることが本調査で示されたことも踏まえ、さらなる啓発が求められるほか、アウティングについての認知度向上や、ファミリーシップ制度などセクシュアル・マイノリティを個人として尊重する取組が一層求められる。

5 行政

男女平等参画の推進のために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思うかについて、回答の中から3つまで選択してもらったところ、2割5分を超えたものを上位から並べると「子育て支援・介護支援」、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」、「性別による固定的な性別役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発（以下、「意識啓発」という。）」、「政策決定・意思決定の場への女性の積極的登用」の順となった（図2-51）。

「意識啓発」では男女間で差は見られなかったが、「子育て・介護支援」と「ワーク・ライフ・バランスの推進」では女性の方が約3ポイント多く、「政策決定・意思決定の場への女性の積極的登用」では男性のほう約7ポイント多かった。また女性の30歳代は「子育て・介護支援」を選択した者の割合が6割を超えていた。以上から、女性は子育て・介護やワーク・ライフ・バランスという日常生活にかかわる私的領域問題に、男性は政策決定・意思決定という公的領域により意識が向きがちな傾向が見てとれる。女性の方が仕事と家庭のバランスを取ることの困難さを、男性よりも多く経験していることから、こうした傾向の違いが生まれている可能性がある。

今後の課題として、回答割合が高かった「子育て・介護支援」と「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進」について、行政が具体的にどのように取り組んでいくのか検討を進める必要がある。

第2章 全体を通じたまとめ

名古屋市においては、男女共同参画社会の実現を目指すため、平成7（1995）年に策定した「男女共同参画プランなごや」を引き継ぐかたちで、21世紀に入って以降、さらに5次にわたる計画を策定、それらを踏まえ、女性と男性の平等とあらゆる分野への女性と男性の参画を目指して様々な施策や事業に取り組んできた。

まず、2次目となる「男女共同参画プランなごや 21」は、平成11（1999）年施行の国の「男女共同参画社会基本法」の努力義務規定を踏まえ、それに基づく「市町村男女共同参画計画」として、平成13（2001）年5月に、平成13年度から22年度までの10年間を計画期間として策定された。

次いで、平成23（2011）年3月に、平成23年度から27年度までの5年間を計画期間とする「名古屋市男女平等参画基本計画 2015」（以下、「基本計画 2015」）が策定された。この3次目の計画は、「市町村男女共同参画計画」であるとともに、名古屋市が平成14（2002）年に施行した「男女平等参画推進なごや条例」第8条において定めなければならないとされた「男女平等参画の推進に関する基本計画」としての位置付けが加わった。

さらに、平成28（2016）年3月には、平成28年度から32年度までの5年間を計画期間とする「名古屋市男女平等参画 2020」（以下、「基本計画 2020」）が策定された。この4次目のプランは、「市町村男女共同参画計画」及び「男女平等参画の推進に関する基本計画」であるとともに、平成27（2015）年施行の国の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の努力義務規定を踏まえた「市町村推進計画」としても位置付けられた。

令和3年（2021年）3月には、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「名古屋市男女平等参画基本計画 2025」（以下、「基本計画 2025」）が策定された。この「基本計画 2025」は、「基本計画 2020」の取組状況を踏まえたうえで、「性別に起因する多くの課題が依然として解消されず、また、女性の活躍も更に進める必要があることから、施策のさらなる推進を図るため」重点項目の一部変更はありつつも「基本計画 2020」の体系を大枠で継承し策定された。

「基本計画 2025」では、「性別にかかわる人権の尊重」「男女平等参画推進のための意識変革」「方針決定過程への女性の参画拡大」「雇用等における女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進」「家庭・地域における男女平等参画の促進」という5つの目標が掲げられた。それらの推進状況についての報告は、毎年実施され、市ウェブサイトに掲載されている。

さて今回実施した調査は、「基本計画 2025」が4年目に入り、令和7（2025）年度に最終年度を迎えることから、次期計画策定に着手する前年度に実施されることになった。したがって、この調査は「基本計画 2025」の達成状況の分析・評価のためのデータ提供という役割も担っている。その役割を果たすため、第Ⅱ部には、アンケート調査票の質問項目に沿った回答結果が性別・年齢別の視点から詳細に記述されている。また、第Ⅲ部第1章では、5つの領域ごとに、調査結果から把握された課題について整理を行った。以上を踏まえ、本章では、名古屋市が男女平等参画推進のために今後に向け特に取り組むべき方向性について、3点に絞って指摘しておくことにしたい。

第1に、性をめぐる暴力被害を減少させる取組が求められることである。まず今回の調査においてセクハラ、ストーカー、痴漢行為の被害率は前回（第9回）調査よりも増加しており、この傾向は第8回調査から継続している。次にDVに関しては全国の被害率とほぼ同じであったが、第9回調査と比較すると男女ともに身体的暴力と心理的攻撃において暴力被害が増加していることが示

された。性をめぐる暴力においては、女性の被害経験率が高い状況が続いているが、男性のDV被害経験率も上昇していた。また今回の調査では、DV被害を「どこにも相談していない」割合は減ったが、女性の約3割、男性の約5割は「どこにも相談していない」と答えており、相談窓口の活用が課題が示された。

また言葉の認知度では、DVの認知度は前回と変わらず、デートDVについては前回よりも増加したものの、「言葉と内容を知っている」割合は3割5分と低い割合にとどまっている。またセクシュアル・マイノリティの認知度は前回と比べ増加したが、アウティングの認知度は低い割合にとどまっていた。デートDVの認知の低さは若年層における親密な関係における暴力の認知を妨げ、被害を拡大させる恐れがある。また本人の意に反して性的マイノリティであることを暴露するアウティングについては、セクシュアル・マイノリティに対する人権侵害行為であるとともに、職場におけるハラスメント行為の1つであることも普及させていく必要がある。

最後に、これまでの性をめぐる暴力被害を減少させるとともに、重要概念の認知度を増加させる取組が十分であったのか改めて振り返るとともに、人権を侵害するあらゆる暴力の被害を防止するための総合的な取組を進める必要がある。

第2に、今回の調査では家庭での固定的な役割分担意識をめぐる課題は残っていることが把握されたことから、引き続き、実態や意識の変容を促すための取組が求められることである。

今回の調査では、全体的な傾向として、子育て世代においては、女性に家事・育児が偏り、男性の家事分担は依然として少ないことが示された。まず仕事に要する時間では、男性の平日の労働時間は減少傾向にあったが、子育て期にあたる30～40歳代では女性の労働時間に大きな変化はなく、若年層と子育てを終えた50歳代では労働時間の伸びが確認された。他方、家事に要する時間では、女性の家事時間は減少し、男性の家事時間は増加していたが、子育て期にあたる30～40歳代では、女性の3割以上が5時間以上の家事を行う一方、男性では1時間以上2時間未満が約2割5分と最も多かった。

女性に家事が偏る状況は、有職者であっても同様であった。「基本計画2025」では「平日1時間以上家事を行う有職男性の割合」を40%とする目標を設定しているが、今回の調査では32.0%と目標に近づいていることが示された。しかし、有職者の男性では、家事に要する時間は30分から1時間未満との回答が最多であり、約2割は家事をしないと回答した。有職者の女性では、2時間以上3時間未満の家事時間が約2割と最も多く、次いで多かったのが5時間以上であった。男性の家事時間が大きく増加しているとは言えない状況にある。

「基本計画2025」の目標のひとつである、「雇用等における女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進」にかかわる、子育て・介護を含む家事における性別役割分担の見直しは依然として大きな課題である。家事負担の公平化を図るためには、家事役割をめぐる意識にも焦点を当てつつ、何が男性の家事参加を妨げているのかについてのさらなる分析が必要である。

第3に、男女平等参画の意義や必要性を社会全体で共有することが求められることである。今回の調査では「学校教育の場」を除き、「男性の方が優遇されている」と答える人が多数を占めた。とりわけ、「政治の場」と「社会通念・慣習・しきたり」においては約8割が「男性優遇」と答えている。また「社会全体」では「男性優遇」と答えた人が7割5分を超えており、前回調査よりも4.1ポイント増加していた。その一方で、「社会全体」では「男性優遇」と答えた割合は、女性が8割5分、男性が6割5分と2割の開きがあり、他の項目も含め、女性の方が「男性優遇」と答えた割合が高かった。

また今回の調査で特徴的な結果の一つに、若年層から 30 歳代の男性を中心に「家庭生活」「職場」「学校教育」「地域活動」「法律や制度」「社会通念・慣習・しきたり」「社会全体」の項目において、「女性優遇」との回答が 1 ～ 3 割の間で見られたことが挙げられる。こうした傾向が見られる背景には、近年の入試における「女子枠」や、政府の主導で「女性活躍」がうたわれていること等があると思われる。だが、女性活躍推進法や教育や労働の場における「女性枠」の導入が進められているのは、これらの領域において男性優位の状況があるためである。

男女平等参画のための法律や制度は相当に整備されてきてはいるものの、依然として「男性優遇」との感が大勢であることが、今回の調査で明らかになった。一方で、今回の調査では、男女平等参画のための法律や制度が、30 歳代以下の男性において「女性優遇」の受け止め方をもたらしめている可能性も示された。男女平等参画が女性を優遇するためのものではなく、性別に関わらず生活しやすい社会をつくっていくための取組であることが、市民に十分に認知されていない現状をふまえ、男女平等参画の意義や必要性を社会全体で共有することが求められていると言えるだろう。

第IV部

資料

名古屋市から 男女平等参画に関するアンケート ご協力のお願い

名古屋市では、男女平等参画の推進に取り組んでおり、その一環として、今回、市民の皆さんにご意見と現状をおたずねし、今後の男女平等参画に関する施策の基礎資料とさせていただきますと考えております。

この調査は、満18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為に男女4,000人を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

<お答えいただくにあたってのお願い>

- 1 このアンケートは、封筒の宛名のご本人がご回答ください。
 - 2 このアンケートは無記名でご回答いただき、回答結果は統計的に処理いたしますので、個人の情報が特定されることはございません。ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- ※アンケート結果については、報告書にまとめ、令和7年3月頃に市公式ウェブサイトにて公表予定です。

<回答方法について>

本アンケートは①郵送回答、②インターネット回答のどちらかでご回答ください。

①郵送回答

- 1 ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- 2 ご記入には、鉛筆・ボールペンなど何をお使いいただいても構いません。
- 3 ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、**令和6年8月2日（金）までに** 郵便ポストに入れてください（切手は不要）。

②インターネット回答

- 1 右の二次元コードを読み取っていただくか、次のURLを入力し、名古屋市男女平等参画に関するアンケートのWebページにアクセスしてください。

URL：https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/nagoya_danjiyo

- 2 画面の案内に従って、下記のIDとパスワードを入力し、

令和6年8月2日（金）までにご回答ください。

ID：

パスワード：



- 3 インターネットでご回答いただいた場合、この調査票の返送は必要ございません。

よくあるお問い合わせについて、「名古屋おしえてダイヤル」のウェブサイトに掲載しています。（24時間）

（「男女平等参画基礎調査」で検索してください。）



名古屋市 スポーツ市民局 男女平等参画推進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 電話：052-972-2234

あなた自身のことについておたずねします。

F 1 性別 【1つだけに○】

- | | | |
|--------------------|---------|---------|
| 1 女 | (56.0%) | 1,008 人 |
| 2 男性 | (43.1%) | 775 人 |
| 3 答えたくない、わからない、その他 | (0.9%) | 17 人 |

F 2 年齢（満年齢） 【1つだけに○】

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 18~24歳 (4.3%) 78人 | 2 25~29歳 (4.2%) 76人 | 3 30~34歳 (5.2%) 94人 | 4 35~39歳 (7.6%) 136人 |
| 5 40~44歳 (6.7%) 120人 | 6 45~49歳 (10.0%) 180人 | 7 50~54歳 (11.2%) 202人 | 8 55~59歳 (10.7%) 192人 |
| 9 60~64歳 (10.4%) 187人 | 10 65~69歳 (8.9%) 160人 | 11 70歳以上 (20.8%) 375人 | |

F 3 あなたの現在のご職業をお答えください。 【1つだけに○】

- | | | |
|----------------------------------|---------|-------|
| 1 勤め人（正規社員・職員） | (36.5%) | 657 人 |
| 2 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等） | (23.3%) | 420 人 |
| 3 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等） | (0.8%) | 15 人 |
| 4 会社経営者・自営業主または家族従業員 | (9.2%) | 166 人 |
| 5 学生 | (2.3%) | 41 人 |
| 6 無職（家事専業、定年後も含む） | (26.4%) | 476 人 |
| 7 その他 | (0.9%) | 16 人 |
| 無回答 | (0.5%) | 9 人 |

F 4 あなたは現在結婚していますか（事実婚やパートナーがいる場合を含む）。

【1つだけに○】

- | | | | |
|-----------------------------|---------|---------|-----------|
| 1 結婚している又はパートナーがいる | (71.3%) | 1,284 人 | ⇒ F 4-1 へ |
| 2 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した | (9.7%) | 175 人 | |
| 3 結婚しておらず、パートナーもいない | (18.8%) | 338 人 | |
| 無回答 | (0.2%) | 3 人 | |

F 4-1 F 4で「1 結婚している又はパートナーがいる」と答えた方におたずねします。

就業状況をお答えください。 【1つだけに○】

- | | | | |
|-------------------------|---------|-------|-----------|
| 1 共に働いている（パート、アルバイトを含む） | (57.9%) | 743 人 | ⇒ F 4-2 へ |
| 2 自分のみ就業 | (12.7%) | 163 人 | |
| 3 配偶者・パートナーのみ就業 | (13.9%) | 179 人 | |
| 4 その他 | (13.6%) | 174 人 | ⇒ F 5 へ |
| 無回答 | (1.9%) | 25 人 | |

F4-2 F4-1で「1 共に働いている（パート、アルバイトを含む）」、「2 自分のみ就業」、「3 配偶者・パートナーのみ就業」と答えた方におたずねします。

あなたの配偶者やパートナーの現在のご職業をお答えください。 【1つだけに○】

1 勤め人（正規社員・職員）	(44.7%) 485人
2 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	(24.9%) 270人
3 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	(0.8%) 9人
4 会社経営者・自営業主または家族従業員	(13.1%) 142人
5 学生	(0.1%) 1人
6 無職（家事専業、定年後も含む）	(11.4%) 124人
7 その他	(0.4%) 4人
無回答	(4.6%) 50人

F5 あなたと現在同居している家族の構成は、次のうちどれにあたりますか。

【1つだけに○】

1 単身世帯（一人暮らし）	(14.1%) 253人	2 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	(26.4%) 475人
3 2世代世帯（親と子）	(50.4%) 907人	4 3世代世帯（親と子と孫）	(4.8%) 87人
5 その他	(1.5%) 27人	無回答	(2.8%) 51人

F6 現在のあなたの暮らしむきについておたずねします。

もっともあてはまるものはどれですか。 【1つだけに○】

1 たいへんゆとりがある	(3.6%) 65人	2 ややゆとりがある	(15.8%) 285人	3 ふつう	(48.3%) 870人
4 ややくるしい	(22.3%) 401人	5 たいへんくるしい	(7.7%) 138人	無回答	(2.3%) 41人

F7 あなたの最終学歴をお知らせください。在学中・退学は卒業とみなしてください。

【1つだけに○】

1 中学校（新制中学、高等小学校を含む）	(6.2%) 111人
2 高等学校（新制高校、旧制中学、高等女学校を含む）	(28.3%) 510人
3 専門学校など各種学校	(11.8%) 212人
4 短期大学、新制高等専門学校	(12.1%) 218人
5 大学（旧制女子専門学校、旧制高等専門学校を含む）	(35.4%) 637人
6 大学院	(4.2%) 75人
無回答	(2.1%) 37人

F8 あなたのお住まいの区はどこですか。 【1つだけに○】

1 千種区 (7.8%) 141人	2 東区 (3.7%) 67人	3 北区 (7.0%) 126人	4 西区 (6.6%) 118人
5 中村区 (5.2%) 94人	6 中区 (3.3%) 59人	7 昭和区 (5.3%) 95人	8 瑞穂区 (4.2%) 76人
9 熱田区 (3.1%) 55人	10 中川区 (8.8%) 158人	11 港区 (4.8%) 87人	12 南区 (6.1%) 110人
13 守山区 (7.3%) 132人	14 緑区 (10.5%) 189人	15 名東区 (7.5%) 135人	16 天白区 (6.9%) 125人
無回答 (1.8%) 33人			

I 男女平等意識や家族等についておたずねします。

問1 あなたは、次にあげる項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。以下の(1)～(7)について、もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。

【それぞれの項目で1つだけに○】

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	無回答
(1) 家庭生活	(14.1%) 253人	(41.4%) 745人	(33.6%) 605人	(5.6%) 101人	(1.5%) 27人	(3.8%) 69人
(2) 職場	(17.3%) 311人	(39.2%) 705人	(30.4%) 548人	(6.1%) 110人	(1.9%) 34人	(5.1%) 92人
(3) 学校教育の場	(3.7%) 66人	(18.6%) 334人	(64.7%) 1,165人	(3.8%) 68人	(0.8%) 14人	(8.5%) 153人
(4) 地域活動の場	(8.4%) 151人	(35.8%) 644人	(43.3%) 780人	(6.1%) 110人	(1.1%) 19人	(5.3%) 96人
(5) 政治の場	(44.7%) 805人	(37.5%) 675人	(11.3%) 203人	(1.4%) 25人	(0.8%) 14人	(4.3%) 78人
(6) 法律や制度	(17.7%) 319人	(39.3%) 708人	(31.1%) 559人	(6.4%) 116人	(1.1%) 20人	(4.3%) 78人
(7) 社会通念・慣習・しきたり	(31.0%) 558人	(47.8%) 861人	(13.2%) 237人	(2.8%) 51人	(1.1%) 20人	(4.1%) 73人

問2 あなたは、社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。 【1つだけに○】

1 男性の方が優遇されている	(18.1%)	325人
2 どちらかといえば男性の方が優遇されている	(58.6%)	1,055人
3 平等になっている	(14.4%)	259人
4 どちらかといえば女性の方が優遇されている	(5.3%)	95人
5 女性の方が優遇されている	(1.2%)	22人
無回答	(2.4%)	44人

問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。 【1つだけに○】

- | | | |
|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1 賛成 (3.0%) 54人 | 2 どちらかといえば賛成 (28.2%) 508人 | 3 どちらかといえば反対 (39.6%) 713人 |
| 4 反対 (27.8%) 501人 | 無回答 (1.3%) 24人 | |

問3-1 問3で「1 賛成」「2 どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。

賛成と思うのはなぜですか。 【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから | (13.7%) 77人 |
| 2 自分の両親も役割分担をしていたから | (9.6%) 54人 |
| 3 夫が外で働いていた方が、多くの収入を得られると思うから | (33.3%) 187人 |
| 4 妻が家庭を守っていた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから | (51.6%) 290人 |
| 5 家事・子育て・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから | (52.0%) 292人 |
| 6 その他 | (5.9%) 33人 |
| 無回答 | (1.1%) 6人 |

問3-2 問3で「3 どちらかといえば反対」「4 反対」と答えた方におたずねします。

反対と思うのはなぜですか。 【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1 男女平等に反すると思うから | (32.1%) 390人 |
| 2 自分の両親も外で働いていたから | (13.8%) 167人 |
| 3 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから | (36.8%) 447人 |
| 4 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから | (22.2%) 269人 |
| 5 家事・子育て・介護と両立しながら働き続けることは可能だと思うから | (17.9%) 217人 |
| 6 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから | (69.2%) 840人 |
| 7 その他 | (5.4%) 66人 |
| 無回答 | (1.7%) 21人 |

問4 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。(1)、(2)それぞれについて、もっともあてはまると思う番号に○をつけてください。

【それぞれの項目で1つだけに○】

	賛成	どちらか といえば賛成	どちらとも いえない	どちらかと いえば反対	反対	無回答
(1) 希望する夫婦は戸籍上、別々の姓であっても構わない	(37.3%) 672 人	(20.5%) 369 人	(23.2%) 417 人	(9.4%) 169 人	(7.8%) 140 人	(1.8%) 33 人
(2) 結婚後、通称として旧姓使用が可能な範囲が広がる方がよい	(41.4%) 746 人	(25.1%) 451 人	(22.2%) 399 人	(4.2%) 76 人	(4.3%) 78 人	(2.8%) 50 人

Ⅱ 地域での活動についておたずねします。

問5 現在も含めてこれまでに、あなたは地域でどのような活動に参加しましたか。

【あてはまる番号すべてに○】

1 自治会・町内会活動	(50.2%) 903人	2 高齢者・子育て支援	(7.2%) 129人
3 PTAや子ども会活動	(35.7%) 642人	4 ごみ・資源収集の協力、清掃活動	(33.9%) 611人
5 防犯パトロール、交通安全活動	(19.6%) 352人	6 地域における防災活動	(12.7%) 228人
7 いずれも参加したことがない	(29.1%) 524人	⇒ 問5-1へ	
8 その他	(1.6%) 29人	無回答	(0.8%) 14人

問5-1 問5で「7 いずれも参加したことがない」と答えた方におたずねします。

あなたが、活動に参加していないのはどのような理由ですか。

【あてはまる番号すべてに○】

1 忙しくて時間がないから	(38.2%) 200人
2 きっかけがないから	(48.9%) 256人
3 活動の内容や、参加方法が分からないから	(27.7%) 145人
4 一緒に参加する仲間や知り合いがないから	(23.7%) 124人
5 自分が高齢・病弱だから	(9.0%) 47人
6 人間関係が心配、わずらわしいから	(17.7%) 93人
7 家族の理解や協力が得られないから	(0.6%) 3人
8 地域での活動に興味・関心がないから	(19.8%) 104人
9 その他	(3.6%) 19人
無回答	(1.7%) 9人

問6 地域における方針決定への女性の参画についておたずねします。あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域での活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。 【あてはまる番号すべてに○】

1 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	(44.9%) 808人
2 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること	(31.3%) 564人
3 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	(42.2%) 760人
4 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること	(26.5%) 477人
5 必要だとは思わない	(9.8%) 176人
6 その他	(5.8%) 104人
無回答	(3.2%) 58人

問7 地域の防災についておたずねします。災害時の避難所運営について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。 【あてはまる番号すべてに○】

1 避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること	(69.7%) 1,254人
2 女性用スペース（着替え、物干し場など）や授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること	(80.8%) 1,454人
3 女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消	(36.2%) 651人
4 性別により異なる悩みや避難所生活上の問題を受け付ける窓口の設置	(55.4%) 997人
5 その他	(3.6%) 65人
無回答	(1.5%) 27人

Ⅲ 労働（家事労働を含む）についておたずねします。

問8 1日のうちであなたが仕事や家事、子育て、介護に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。

（1）仕事（在宅就労を含む。また通勤時間を含む） 【1つだけに○】

1 なし	(16.3%) 294人	2 3時間未満	(9.8%) 176人	3 3時間～5時間未満	(10.1%) 182人
4 5時間～7時間未満	(9.3%) 167人	5 7時間～9時間未満	(21.8%) 393人	6 9時間～11時間未満	(18.3%) 329人
7 11時間以上	(11.4%) 205人	無回答	(3.0%) 54人		

（2）家事全般（子育て・介護を含む） 【1つだけに○】

1 なし	(13.8%) 248人	2 30分未満	(8.9%) 160人	3 30分～1時間未満	(14.9%) 269人
4 1時間～2時間未満	(15.7%) 282人	5 2時間～3時間未満	(14.7%) 264人	6 3時間～4時間未満	(11.2%) 201人
7 4時間～5時間未満	(7.1%) 127人	8 5時間以上	(11.8%) 213人	無回答	(2.0%) 36人

（2）－1 現在、育児中の方（6歳未満の子どもを持つ方）におたずねします。

子育てに要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。

【1つだけに○】

1 15分未満	(12.0%) 22人	2 15分～30分未満	(1.6%) 3人	3 30分～1時間未満	(6.5%) 12人
4 1時間～2時間未満	(10.3%) 19人	5 2時間～3時間未満	(10.3%) 19人	6 3時間～4時間未満	(11.4%) 21人
7 4時間以上	(47.8%) 88人				

（2）－2 現在、介護中の方におたずねします。

介護に要する時間は、平日（働いている人は勤務日）どのくらいですか。

【1つだけに○】

1 15分未満	(28.7%) 45人	2 15分～30分未満	(11.5%) 18人	3 30分～1時間未満	(9.6%) 15人
4 1時間～2時間未満	(17.2%) 27人	5 2時間～3時間未満	(10.2%) 16人	6 3時間～4時間未満	(7.0%) 11人
7 4時間以上	(15.9%) 25人				

問9 配偶者やパートナー（以下「配偶者等」という。）の間の家事、子育て、介護などの役割の分担についておたずねします。

（1）配偶者等の有無や、家事、子育て、介護などを行っている、していないに関わらず、あなたが希望する分担をお答えください。 【1つだけに○】

1 配偶者等がすべて行う	(1.4%) 26人
2 あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担	(7.1%) 128人
3 あなたが3～4割、配偶者等が6～7割を分担	(13.7%) 247人
4 あなたが5割、配偶者等が5割を分担	(48.0%) 864人
5 あなたが6～7割、配偶者等が3～4割を分担	(16.9%) 304人
6 あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担	(4.2%) 76人
7 あなたがすべて行う	(1.9%) 35人
無回答	(6.7%) 120人

（1）－1 配偶者等と同居している方におたずねします。

実際に、どのように家事、子育て、介護などを分担していますか。【1つだけに○】
なお、同居親族が担う役割は含まずにお答えください。

1 配偶者等がすべて行っている	(5.0%) 60人
2 あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担	(21.0%) 250人
3 あなたが3～4割、配偶者等が6～7割を分担	(11.2%) 134人
4 あなたが5割、配偶者等が5割を分担	(12.4%) 148人
5 あなたが6～7割、配偶者等が3～4割を分担	(14.8%) 176人
6 あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担	(27.8%) 332人
7 あなたがすべて行っている	(7.8%) 93人

問10 男性の育児休業の取得についておたずねします。あなたは、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。 【1つだけに○】

1 推進すべき	(49.1%) 883人	⇒ 問10-1、 問10-2へ
2 どちらかというと推進すべき	(33.2%) 597人	
3 どちらかというと推進すべきでない	(4.3%) 77人	⇒ 問10-3へ
4 推進すべきでない	(2.1%) 37人	
5 わからない	(9.3%) 168人	
無回答	(2.1%) 38人	

問10-1 問10で「1 推進すべき」「2 どちらかというと推進すべき」と答えた方におたずねします。

あなたは、男性が育児休業を取得することで、どのようなメリットがあると思いますか。 【あてはまる番号すべてに○】

1 男性が子育てをすることに対する社会全体の理解が進むと思う	(66.0%)	977 人
2 少子化対策になると思う	(31.9%)	472 人
3 職場環境や企業風土の改善につながると思う	(45.4%)	672 人
4 配偶者等の家事・子育て・介護の負担を軽減できると思う	(75.1%)	1,111 人
5 配偶者等の間で子育ての喜びや大変さを共有することができると思う	(67.6%)	1,000 人
6 就業継続を希望する女性が働き続けられると思う	(49.7%)	735 人
7 子どもの成長に良い影響を与えると思う	(47.6%)	705 人
8 育休等を取得後、その男性の働き方に好影響を与えると思う	(23.6%)	350 人
9 その他	(1.3%)	19 人
無回答	(1.0%)	15 人

問10-2 問10で「1 推進すべき」「2 どちらかというと推進すべき」と答えた方におたずねします。

あなたは、男性が育児休業を取得するうえで、どのようなことが課題だと思いますか。 【あてはまる番号すべてに○】

1 代替要員の確保が難しいこと	(55.0%)	814 人
2 育休を取得する従業員以外の負担が大きくなること	(65.0%)	962 人
3 企業の競争力が低下する懸念があること	(6.3%)	93 人
4 育休を取得する男性の収入が減ること	(45.3%)	671 人
5 育休を取得する男性の仕事の評価やキャリア形成に影響する懸念があること	(40.1%)	593 人
6 社会全体での理解が進んでいないこと	(58.5%)	866 人
7 職場での理解が進んでいないこと	(53.0%)	784 人
8 身近に育児や仕事との両立について相談できる人がいないこと	(15.7%)	233 人
9 男性の家事・育児スキルの低さなどから、育休を取得しても分担が進まないこと	(29.3%)	433 人
10 課題は特にない	(0.7%)	10 人
11 その他	(2.0%)	29 人
無回答	(3.6%)	53 人

問10-3 問10で「3 どちらかというと推進すべきでない」「4 推進すべきでない」と答えた方におたずねします。

そう考えるのはどのような理由ですか。 【あてはまる番号すべてに○】

1 代替要員の確保が難しいから	(36.8%)	42 人
2 育休を取得する従業員以外の負担が大きくなるから	(55.3%)	63 人
3 企業の競争力が低下する懸念があるから	(19.3%)	22 人
4 育休を取得する男性の収入が減るから	(18.4%)	21 人
5 育休を取得する男性の仕事の評価やキャリア形成に影響する懸念があるから	(17.5%)	20 人
6 男性の家事・育児スキルの低さなどから、育休を取得しても分担が進まないから	(43.0%)	49 人
7 子育ては女性の方が向いているから	(22.8%)	26 人
8 子育ては女性が担うべきであるから	(2.6%)	3 人
9 その他	(10.5%)	12 人
無回答	(4.4%)	5 人

Ⅳ 人権に関わる問題についておたずねします。

問11 あなたは、次のような被害を経験したことがありますか。以下の(1)～(3)について、あてはまると思う番号に○をつけてください。

【それぞれの項目で1つだけに○】

(1) セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。	ない	1～2回ある	何回もある	無回答
① 職場や学校、地域などの場で、性的な話や冗談を聞かされ不快な思いをした	(57.2%) 1,030人	(20.0%) 360人	(20.3%) 366人	(2.4%) 44人
② 職場や学校、地域などでの関係を利用して、身体をさわられた	(80.1%) 1,441人	(10.8%) 195人	(6.6%) 118人	(2.6%) 46人
③ 職場や学校、地域などでの関係を利用して、性的関係を迫られた	(91.2%) 1,642人	(4.7%) 84人	(1.1%) 19人	(3.1%) 55人

(2) ストーカー、痴漢行為についておたずねします。	ない	1～2回ある	何回もある	無回答
① 不快な内容の電話やメール、手紙がきたり、つきまとわれたりした	(79.8%) 1,436人	(14.2%) 256人	(3.6%) 64人	(2.4%) 44人
② 電車の中などで身体を触られたりして、不快な思いをした	(68.5%) 1,233人	(22.4%) 403人	(7.1%) 127人	(2.1%) 37人

(3) 配偶者等や交際相手からの暴力についておたずねします。	これまで				「1～2回ある」「何回もある」と回答した方	この1年間			
	ない	1～2回ある	何回もある	無回答		ない	1～2回ある	何回もある	無回答
① 身体的暴行（殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの暴行）	(82.8%) 1490人	(8.0%) 144人	(3.5%) 63人	(5.7%) 103人	→	(75.8%) 157人	(12.1%) 25人	(3.9%) 8人	(8.2%) 17人
② 心理的攻撃（人格を否定するような暴言、交友関係の監視・制限、長期間無視するなどの嫌がらせ、自分や家族に対し刃物を突きつけるなどの脅迫）	(79.3%) 1,428人	(7.4%) 133人	(7.6%) 136人	(5.7%) 103人	→	(58.0%) 156人	(21.9%) 59人	(14.9%) 40人	(5.2%) 14人
③ 経済的圧迫（家計に必要な生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使う、デート代や生活費を無理やり払わせる、外で働くことを妨害されるなど）	(87.3%) 1,572人	(3.3%) 59人	(3.8%) 68人	(5.6%) 101人	→	(58.3%) 74人	(15.7%) 20人	(15.0%) 19人	(11.0%) 14人
④ 性的強要（嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないポルノ映像等を見せる、避妊に協力しないなど）	(89.2%) 1,606人	(2.9%) 53人	(2.1%) 37人	(5.8%) 104人	→	(77.8%) 70人	(13.3%) 12人	(2.2%) 2人	(6.7%) 6人



(3) - 1 問11 (3) において1つでも「2 1～2回ある」又は「3 何回もある」と答えた方におたずねします。

あなたは、配偶者等や交際相手からそのような行為を受けたことについて、どこか又は誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。 【あてはまる番号すべてに○】

1 友人・知人	(33.5%) 132人
2 家族・親戚	(28.7%) 113人
3 公的相談施設（男女平等参画推進センター・配偶者暴力相談支援センターなど）	(2.3%) 9人
4 上記3以外の公的機関（市・区役所、県など）	(0.8%) 3人
5 警察	(4.6%) 18人
6 法務局、人権擁護委員、法テラス	(2.0%) 8人
7 民間の専門家や専門機関（弁護士、カウンセラー、支援団体など）	(2.5%) 10人
8 医療関係者（医師、看護師など）	(2.8%) 11人
9 学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）	(0.0%) 0人
10 地域の役員	(0.0%) 0人
11 どこ（だれ）にも相談していない	(37.3%) 147人
12 その他	(2.3%) 9人
無回答	(7.6%) 30人

問12 あなたは、配偶者等や交際相手からの暴力（DV（ドメスティック・バイオレンス））について相談できる窓口があることを知っていますか。

次の中から知っているものに○を付けてください。【あてはまる番号すべてに○】

1 男女平等参画推進センター（イーブルなごや相談室）	（10.1%）	182 人
2 配偶者暴力相談支援センター	（9.9%）	179 人
3 警察署	（63.7%）	1,146 人
4 法務局、人権擁護委員、法テラス	（13.8%）	249 人
5 民間の団体や専門機関（弁護士会、民間シェルターなど）	（22.9%）	413 人
6 その他	（1.1%）	19 人
7 相談できる窓口は知らない	（21.7%）	390 人
無回答	（7.1%）	127 人

問13 次のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。

【それぞれの項目で1つだけに○】

	言葉と その内容も 知っている	言葉は 知っているが、 内容はよく わからない	言葉を 知らない	無回答
(1) DV （ドメスティック・バイオレンス。 配偶者間や恋人などの親密な間柄 で起こる暴力）	（86.1%） 1,549 人	（9.8%） 176 人	（1.0%） 18 人	（3.2%） 57 人
(2) デートDV （恋人間で起こるさまざまな暴 力）	（36.3%） 653 人	（17.1%） 307 人	（42.7%） 768 人	（4.0%） 72 人
(3) モラル・ハラスメント （道徳や倫理に反した言動によ り、相手に精神的な苦痛を与える こと）	（77.4%） 1,394 人	（15.9%） 286 人	（3.4%） 62 人	（3.2%） 58 人
(4) セクシュアル・マイノリティ （LGBTなどの性的少数者）	（67.1%） 1,207 人	（20.8%） 374 人	（8.4%） 151 人	（3.8%） 68 人
(5) カミングアウト （本人が、性的少数者であること を打ち明ける、表明すること）	（74.4%） 1,340 人	（14.8%） 266 人	（7.1%） 128 人	（3.7%） 66 人
(6) アウティング （本人の了承なく、性的少数者で あることを暴露すること）	（24.6%） 442 人	（14.8%） 266 人	（56.7%） 1,021 人	（3.9%） 71 人

問14 名古屋市には、現在の婚姻制度を利用できない・利用しない性的少数者や事実婚などのカップルの方に向けて、ファミリーシップ制度があります。当制度は、互いを人生のパートナーとしている二人が、日常生活において対等な立場で継続的な共同生活を行うことを市に宣誓し、市がその事実を証明するものです。

あなたは、名古屋市のファミリーシップ制度について知っていますか。

【1つだけに○】

1 制度があることとその内容も知っている	(5.9%)	107人
2 制度があることは知っているが、内容はよくわからない	(23.8%)	428人
3 制度があることを知らない	(68.9%)	1,241人
無回答	(1.3%)	24人

V 行政課題についておたずねします。

問15 男女平等参画の推進のために、今後、行政は特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。 【あてはまる番号に3つまで○】

1 性別による固定的な役割分担意識の解消など、男女平等参画に向けた意識啓発	(37.6%)	676人
2 家庭・地域における男女平等参画の促進	(21.2%)	381人
3 政策決定・意思決定の場への女性の積極的登用	(26.2%)	472人
4 働く場における女性の活躍推進	(19.7%)	354人
5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	(38.7%)	696人
6 子育て支援・介護支援	(47.1%)	847人
7 配偶者等との暴力（DV）や性犯罪・性暴力などの人権侵害の解消	(15.8%)	284人
8 L G B Tなどの性的少数者への支援と理解促進	(7.8%)	140人
9 特になし	(4.5%)	81人
10 その他	(1.2%)	22人
無回答	(9.6%)	172人

男女平等参画の推進に関し、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください]

資料2 クロス集計

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (1) 家庭生活					
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えは男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えは女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全 体		1,800人	14.1%	41.4%	33.6%	5.6%	1.5%	3.8%
性 別	女性	1,008人	19.4%	47.2%	24.9%	3.6%	1.1%	3.8%
	男性	775人	7.2%	34.2%	44.8%	8.0%	1.9%	3.9%
答えたくない、わからない、その他		17人	5.9%	23.5%	41.2%	17.6%	5.9%	5.9%
年 代	18～29歳	95人	9.5%	45.3%	35.8%	6.3%	3.2%	0.0%
	30歳代	138人	16.7%	42.8%	33.3%	4.3%	2.2%	0.7%
	40歳代	161人	22.4%	43.5%	29.2%	2.5%	0.6%	1.9%
	50歳代	240人	22.5%	49.6%	20.4%	3.8%	0.4%	3.3%
	60歳代	178人	20.2%	48.3%	23.0%	3.4%	0.6%	4.5%
	70歳以上	196人	19.4%	50.5%	17.3%	2.6%	1.0%	9.2%
	18～29歳	58人	6.9%	17.2%	58.6%	12.1%	3.4%	1.7%
	30歳代	91人	2.2%	31.9%	48.4%	13.2%	3.3%	1.1%
	40歳代	135人	5.2%	29.6%	47.4%	10.4%	4.4%	3.0%
	50歳代	147人	7.5%	34.7%	48.3%	7.5%	1.4%	0.7%
	60歳代	167人	7.8%	34.1%	46.7%	6.0%	1.2%	4.2%
	70歳以上	177人	10.7%	44.1%	31.6%	4.5%	0.0%	9.0%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	14.8%	42.2%	34.3%	5.1%	1.0%	2.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	16.0%	45.7%	21.7%	4.6%	1.1%	10.9%
婚 姻 関 係	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	10.4%	36.1%	37.6%	7.7%	3.6%	4.7%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	20.7%	47.6%	24.6%	3.5%	0.8%	2.7%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	17.7%	49.2%	19.2%	2.3%	1.5%	10.0%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	15.5%	44.1%	31.1%	4.3%	1.9%	3.1%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	7.3%	35.7%	46.3%	7.0%	1.2%	2.5%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	11.4%	34.1%	29.5%	11.4%	0.0%	13.6%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	5.9%	29.4%	43.5%	10.6%	4.7%	5.9%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	11.1%	39.9%	32.0%	8.3%	2.0%	6.7%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	12.2%	46.1%	34.1%	5.3%	1.1%	1.3%
	2世代世帯（親と子）	907人	16.2%	40.9%	34.6%	5.5%	1.8%	1.0%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	17.2%	41.4%	36.8%	2.3%	1.1%	1.1%
	その他	27人	7.4%	40.7%	40.7%	3.7%	0.0%	7.4%
	単身世帯（一人暮らし）	125人	14.4%	51.2%	24.8%	2.4%	0.8%	6.4%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	17.2%	53.2%	21.7%	4.9%	1.1%	1.9%
	2世代世帯（親と子）	526人	22.4%	44.1%	27.6%	3.4%	1.3%	1.1%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	21.7%	52.2%	21.7%	2.2%	0.0%	2.2%
	その他	18人	5.6%	44.4%	33.3%	5.6%	0.0%	11.1%
	単身世帯（一人暮らし）	126人	7.9%	28.6%	39.7%	14.3%	3.2%	6.3%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	5.8%	36.9%	50.0%	5.8%	1.0%	0.5%
	2世代世帯（親と子）	371人	7.8%	36.9%	44.2%	8.1%	2.2%	0.8%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	10.3%	30.8%	53.8%	2.6%	2.6%	0.0%
	その他	9人	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	たいへんゆとりがある	65人	10.8%	35.4%	40.0%	9.2%	4.6%	0.0%
	ややゆとりがある	285人	13.0%	43.2%	37.2%	4.9%	1.1%	0.7%
暮 ら し む せ	ふつう	870人	13.3%	43.3%	34.9%	5.4%	1.1%	1.8%
	ややくるしい	401人	15.0%	40.9%	34.7%	5.2%	1.7%	2.5%
	たいへんくるしい	138人	21.7%	41.3%	21.0%	8.0%	2.9%	5.1%
	たいへんゆとりがある	30人	10.0%	43.3%	36.7%	3.3%	6.7%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	17.2%	48.4%	28.7%	3.8%	1.3%	0.6%
	ふつう	506人	17.8%	48.2%	26.3%	4.5%	1.0%	2.2%
	ややくるしい	220人	23.2%	49.5%	23.6%	0.9%	0.5%	2.3%
	たいへんくるしい	73人	31.5%	46.6%	13.7%	2.7%	1.4%	4.1%
	たいへんゆとりがある	34人	11.8%	29.4%	44.1%	11.8%	2.9%	0.0%
	ややゆとりがある	127人	7.9%	37.0%	48.0%	5.5%	0.8%	0.8%
	ふつう	358人	7.3%	36.9%	46.6%	6.7%	1.1%	1.4%
	ややくるしい	172人	4.7%	30.2%	48.8%	10.5%	3.5%	2.3%
	たいへんくるしい	65人	10.8%	35.4%	29.2%	13.8%	4.6%	6.2%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	9.4%	36.1%	44.1%	6.7%	2.1%	1.5%
職 業	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	19.0%	47.1%	25.0%	3.3%	0.5%	5.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	6.7%	46.7%	26.7%	20.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	15.1%	44.0%	28.3%	7.2%	1.2%	4.2%
	学生	41人	2.4%	29.3%	56.1%	4.9%	7.3%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	17.2%	43.5%	27.5%	5.0%	1.1%	5.7%
	その他	16人	6.3%	37.5%	18.8%	12.5%	6.3%	18.8%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	17.4%	45.5%	31.6%	3.2%	1.2%	1.2%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	23.3%	50.3%	20.1%	2.2%	0.3%	3.8%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	7.7%	46.2%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	17.6%	45.6%	27.9%	7.4%	1.5%	0.0%
	学生	24人	4.2%	29.2%	50.0%	8.3%	8.3%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	19.4%	47.6%	22.3%	3.4%	0.9%	6.3%
	その他	7人	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%
	勤め人（正規社員・職員）	396人	4.5%	30.3%	52.0%	8.8%	2.5%	1.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	6.1%	37.4%	40.4%	7.1%	1.0%	8.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	12.5%	42.7%	29.2%	7.3%	1.0%	7.3%
	学生	16人	0.0%	31.3%	62.5%	0.0%	6.3%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	13.0%	35.7%	38.3%	7.1%	1.3%	4.5%
	その他	9人	0.0%	44.4%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%
学 歴	中学校	111人	9.9%	45.0%	31.5%	4.5%	1.8%	7.2%
	高等学校	510人	18.0%	41.2%	30.8%	6.3%	1.4%	2.4%
	専門学校など各種学校	212人	15.6%	41.5%	34.9%	4.2%	1.9%	1.9%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	19.3%	49.5%	25.7%	2.3%	0.5%	2.8%
	大学	637人	10.7%	40.5%	38.9%	7.4%	1.9%	0.6%
	大学院	75人	9.3%	37.3%	45.3%	4.0%	1.3%	2.7%
	中学校	51人	15.7%	52.9%	23.5%	2.0%	3.9%	2.0%
	高等学校	305人	24.3%	44.9%	23.0%	5.2%	0.3%	2.3%
	専門学校など各種学校	144人	17.4%	48.6%	26.4%	2.8%	2.8%	2.1%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	21.1%	51.5%	21.6%	2.1%	0.5%	3.1%
	大学	275人	16.4%	48.4%	29.1%	4.0%	1.1%	1.1%
	大学院	20人	15.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	中学校	59人	5.1%	39.0%	37.3%	6.8%	0.0%	11.9%
	高等学校	196人	9.2%	35.7%	42.3%	7.7%	3.1%	2.0%
	専門学校など各種学校	66人	10.6%	27.3%	53.0%	7.6%	0.0%	1.5%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	4.3%	34.8%	56.5%	4.3%	0.0%	0.0%
	大学	358人	6.4%	34.6%	46.9%	9.5%	2.2%	0.3%
	大学院	55人	7.3%	36.4%	47.3%	5.5%	1.8%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (2) 職場					
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全 体		1,800人	17.3%	39.2%	30.4%	6.1%	1.9%	5.1%
性 別	女性	1,008人	20.3%	40.8%	28.9%	3.7%	1.1%	5.3%
	男性	775人	13.2%	37.5%	32.3%	9.2%	3.0%	4.9%
答えない、わからない、その他		17人	23.5%	17.6%	41.2%	11.8%	0.0%	5.9%
年 代	18～29歳	95人	10.5%	33.7%	38.9%	13.7%	2.1%	1.1%
	30歳代	138人	19.6%	38.4%	34.8%	4.3%	2.9%	0.0%
	40歳代	161人	20.5%	40.4%	34.8%	1.9%	1.2%	1.2%
	50歳代	240人	20.4%	40.8%	30.4%	3.3%	0.8%	4.2%
	60歳代	178人	19.1%	42.1%	31.5%	2.2%	0.0%	5.1%
	70歳以上	196人	26.5%	44.9%	10.7%	1.5%	0.5%	15.8%
	18～29歳	58人	17.2%	24.1%	37.9%	12.1%	6.9%	1.7%
	30歳代	91人	8.8%	38.5%	35.2%	12.1%	3.3%	2.2%
	40歳代	135人	12.6%	36.3%	29.6%	12.6%	4.4%	4.4%
	50歳代	147人	13.6%	35.4%	35.4%	12.2%	2.7%	0.7%
	60歳代	167人	10.2%	37.7%	34.7%	7.8%	3.0%	6.6%
	70歳以上	177人	16.9%	44.1%	26.0%	2.8%	0.6%	9.6%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	17.1%	39.8%	31.0%	6.0%	1.6%	4.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	23.4%	37.1%	25.7%	2.3%	1.7%	9.7%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	14.8%	38.2%	30.8%	8.6%	3.3%	4.4%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	19.9%	41.0%	30.0%	3.4%	1.0%	4.8%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	26.2%	37.7%	23.8%	2.3%	0.8%	9.2%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	17.4%	42.9%	28.0%	6.2%	1.9%	3.7%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	13.4%	38.5%	32.3%	9.1%	2.3%	4.5%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	15.9%	36.4%	29.5%	2.3%	4.5%	11.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	11.8%	34.7%	32.9%	11.2%	4.7%	4.7%
	結婚しておらず、パートナーもいない	253人	17.0%	37.5%	32.8%	5.5%	3.2%	4.0%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	20.0%	40.8%	29.1%	4.2%	1.3%	4.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	16.4%	39.6%	32.0%	7.7%	1.9%	2.4%
	2世代世帯（親と子）	87人	18.4%	43.7%	28.7%	3.4%	2.3%	3.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	11.1%	40.7%	33.3%	7.4%	3.7%	3.7%
	その他	125人	20.8%	44.0%	30.4%	0.8%	0.0%	4.0%
	単身世帯（一人暮らし）	267人	21.0%	43.1%	25.5%	3.0%	1.5%	6.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	20.2%	39.7%	31.6%	4.9%	1.1%	2.5%
	2世代世帯（親と子）	46人	23.9%	43.5%	28.3%	0.0%	0.0%	4.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	18人	11.1%	44.4%	27.8%	5.6%	5.6%	5.6%
	その他	126人	13.5%	31.7%	34.9%	10.3%	6.3%	3.2%
	単身世帯（一人暮らし）	206人	18.4%	38.3%	34.0%	5.3%	1.0%	2.9%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	11.1%	39.9%	32.1%	11.6%	3.0%	2.4%
	2世代世帯（親と子）	39人	12.8%	43.6%	28.2%	7.7%	5.1%	2.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	9人	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	その他	65人	13.8%	33.8%	38.5%	6.2%	6.2%	1.5%
	たいへんゆとりがある	285人	12.6%	46.0%	30.9%	7.7%	1.1%	1.8%
暮 ら し む せ	ややゆとりがある	870人	17.0%	39.8%	32.9%	6.0%	1.6%	2.8%
	ふつう	401人	19.0%	40.1%	29.7%	6.0%	2.0%	3.2%
	ややくるしい	138人	29.7%	31.9%	19.6%	5.8%	2.9%	10.1%
	たいへんくるしい	30人	16.7%	30.0%	40.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	たいへんゆとりがある	157人	14.0%	53.5%	25.5%	4.5%	0.6%	1.9%
	ふつう	506人	19.2%	39.7%	32.2%	4.2%	1.0%	3.8%
	ややくるしい	220人	24.5%	41.8%	27.7%	1.8%	0.5%	3.6%
	たいへんくるしい	73人	37.0%	32.9%	17.8%	4.1%	2.7%	5.5%
	たいへんゆとりがある	34人	8.8%	38.2%	38.2%	5.9%	5.9%	2.9%
	ややゆとりがある	127人	11.0%	36.2%	37.8%	11.8%	1.6%	1.6%
	ふつう	358人	13.7%	40.5%	33.5%	8.4%	2.5%	1.4%
	ややくるしい	172人	12.2%	39.0%	31.4%	11.0%	4.1%	2.3%
	たいへんくるしい	65人	21.5%	30.8%	21.5%	7.7%	3.1%	15.4%
	その他	657人	14.5%	35.2%	35.0%	11.1%	2.7%	1.5%
職 業	勤め人（正規社員・職員）	420人	16.2%	34.5%	40.5%	3.1%	1.7%	4.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	15人	6.7%	60.0%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	166人	17.5%	35.5%	35.5%	6.0%	1.8%	3.6%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	41人	9.8%	26.8%	48.8%	7.3%	4.9%	2.4%
	学生	476人	22.9%	50.8%	12.4%	1.7%	0.8%	11.3%
	無職（家事専業、定年後も含む）	16人	18.8%	31.3%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	その他	253人	20.2%	37.5%	32.8%	6.7%	1.6%	1.2%
	勤め人（正規社員・職員）	318人	16.7%	36.5%	39.9%	2.8%	1.3%	2.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	13人	7.7%	53.8%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	68人	17.6%	30.9%	47.1%	4.4%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	24人	8.3%	20.8%	50.0%	12.5%	4.2%	4.2%
	学生	319人	25.7%	51.1%	9.4%	1.3%	0.6%	11.9%
	無職（家事専業、定年後も含む）	7人	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	396人	10.4%	34.1%	36.4%	13.9%	3.5%	1.8%
	勤め人（正規社員・職員）	99人	15.2%	29.3%	41.4%	4.0%	3.0%	7.1%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	2人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	96人	17.7%	38.5%	28.1%	6.3%	3.1%	6.3%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	16人	12.5%	37.5%	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%
	学生	154人	16.9%	50.6%	18.2%	2.6%	1.3%	10.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	9人	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%
	その他	111人	17.1%	37.8%	31.5%	0.9%	1.8%	10.8%
	中学校	510人	20.4%	39.8%	27.3%	6.1%	1.8%	4.7%
	高等学校	212人	19.3%	33.0%	39.6%	3.8%	1.9%	2.4%
	専門学校など各種学校	218人	19.3%	42.7%	29.4%	4.1%	1.4%	3.2%
	短期大学、新制高等専門学校	637人	15.2%	42.1%	30.8%	8.6%	2.2%	1.1%
	大学	75人	10.7%	34.7%	40.0%	8.0%	2.7%	4.0%
	大学院	51人	25.5%	45.1%	15.7%	0.0%	2.0%	11.8%
学 歴	中学校	305人	25.6%	41.0%	23.6%	3.9%	1.0%	4.9%
	高等学校	144人	18.8%	36.1%	37.5%	3.5%	2.8%	1.4%
	専門学校など各種学校	194人	20.1%	42.8%	28.9%	3.6%	1.0%	3.6%
	短期大学、新制高等専門学校	275人	16.4%	43.6%	33.5%	4.7%	0.4%	1.5%
	大学	20人	15.0%	35.0%	45.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	大学院	59人	10.2%	32.2%	44.1%	1.7%	1.7%	10.2%
	中学校	196人	12.2%	39.3%	32.7%	8.7%	3.1%	4.1%
	高等学校	66人	21.2%	25.8%	43.9%	4.5%	0.0%	4.5%
	専門学校など各種学校	23人	13.0%	43.5%	30.4%	8.7%	4.3%	0.0%
	短期大学、新制高等専門学校	358人	14.0%	41.1%	28.8%	11.7%	3.6%	0.8%
	大学	55人	9.1%	34.5%	38.2%	10.9%	3.6%	3.6%
	大学院							

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (3) 学校教育の場					
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全 体		1,800人	3.7%	18.6%	64.7%	3.8%	0.8%	8.5%
性 別	女性	1,008人	4.4%	22.3%	61.7%	2.3%	0.3%	9.0%
	男性	775人	2.5%	13.7%	69.4%	5.5%	1.3%	7.6%
答えたくない、わからない、その他		17人	17.6%	17.6%	29.4%	11.8%	5.9%	17.6%
年 代	18～29歳	95人	1.1%	11.6%	77.9%	7.4%	1.1%	1.1%
	30歳代	138人	0.7%	14.5%	78.3%	2.2%	0.7%	3.6%
	40歳代	161人	5.0%	17.4%	72.0%	1.9%	0.0%	3.7%
	50歳代	240人	7.1%	20.8%	62.9%	2.1%	0.0%	7.1%
	60歳代	178人	5.1%	29.8%	53.4%	1.7%	0.6%	9.6%
	70歳以上	196人	4.1%	32.1%	39.8%	1.0%	0.0%	23.0%
	18～29歳	58人	3.4%	10.3%	69.0%	13.8%	1.7%	1.7%
	30歳代	91人	2.2%	14.3%	70.3%	11.0%	1.1%	1.1%
	40歳代	135人	2.2%	7.4%	77.8%	4.4%	4.4%	3.7%
	50歳代	147人	3.4%	13.6%	74.8%	4.1%	1.4%	2.7%
	60歳代	167人	1.8%	13.2%	69.5%	5.4%	0.0%	10.2%
	70歳以上	177人	2.3%	19.8%	58.2%	2.3%	0.0%	17.5%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	3.6%	18.6%	66.5%	3.5%	0.3%	7.5%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	4.0%	18.9%	54.9%	2.3%	1.7%	18.3%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	3.8%	18.0%	63.3%	5.6%	2.1%	7.1%
	女性 結婚している又はパートナーがいる	714人	4.5%	22.7%	62.6%	2.5%	0.0%	7.7%
	女性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	4.6%	21.5%	51.5%	0.8%	1.5%	20.0%
	女性 結婚しておらず、パートナーもいない	161人	3.7%	21.1%	66.5%	2.5%	0.6%	5.6%
	男性 結婚している又はパートナーがいる	561人	2.1%	13.5%	72.2%	4.5%	0.7%	7.0%
	男性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	2.3%	9.1%	65.9%	6.8%	2.3%	13.6%
	男性 結婚しておらず、パートナーもいない	170人	3.5%	15.3%	61.2%	8.8%	2.9%	8.2%
	その他	253人	3.6%	19.8%	59.3%	5.5%	1.2%	10.7%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	2.7%	24.0%	61.7%	2.9%	0.2%	8.4%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	4.1%	15.5%	70.3%	4.1%	1.1%	4.9%
	2世代世帯（親と子）	87人	2.3%	21.8%	66.7%	2.3%	0.0%	6.9%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	7.4%	25.9%	59.3%	3.7%	0.0%	3.7%
	その他	125人	2.4%	27.2%	55.2%	0.0%	0.8%	14.4%
	女性 単身世帯（一人暮らし）	267人	3.7%	28.5%	55.4%	1.9%	0.0%	10.5%
	女性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	5.3%	17.9%	68.8%	3.2%	0.4%	4.4%
	女性 2世代世帯（親と子）	46人	2.2%	28.3%	60.9%	0.0%	0.0%	8.7%
	女性 3世代世帯（親と子と孫）	18人	0.0%	27.8%	61.1%	5.6%	0.0%	5.6%
	女性 その他	126人	4.8%	11.9%	64.3%	11.1%	1.6%	6.3%
	男性 単身世帯（一人暮らし）	206人	1.5%	18.0%	70.4%	4.4%	0.5%	5.3%
	男性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	1.9%	12.7%	73.3%	4.9%	1.9%	5.4%
	男性 2世代世帯（親と子）	39人	2.6%	12.8%	74.4%	5.1%	0.0%	5.1%
	男性 3世代世帯（親と子と孫）	9人	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 その他	65人	1.5%	12.3%	78.5%	4.6%	1.5%	1.5%
	たいへんゆとりがある	285人	1.8%	16.5%	73.7%	4.9%	0.0%	3.2%
	ややゆとりがある	870人	3.7%	19.1%	67.6%	2.9%	0.7%	6.1%
	ふつう	401人	4.7%	20.9%	60.3%	4.5%	0.7%	8.7%
暮 ら し む せ	ややくるしい	138人	6.5%	20.3%	50.7%	5.8%	2.2%	14.5%
	たいへんくるしい	30人	0.0%	16.7%	80.0%	3.3%	0.0%	0.0%
	女性 たいへんゆとりがある	157人	2.5%	20.4%	72.0%	1.3%	0.0%	3.8%
	女性 ややゆとりがある	506人	4.2%	22.3%	62.8%	2.6%	0.6%	7.5%
	女性 ふつう	220人	5.9%	27.7%	56.4%	1.8%	0.0%	8.2%
	女性 ややくるしい	73人	8.2%	19.2%	54.8%	4.1%	0.0%	13.7%
	女性 たいへんくるしい	34人	0.0%	8.8%	79.4%	5.9%	2.9%	2.9%
	男性 たいへんゆとりがある	127人	0.0%	11.8%	76.4%	9.4%	0.0%	2.4%
	男性 ややゆとりがある	358人	3.1%	14.5%	74.9%	3.1%	0.6%	3.9%
	男性 ふつう	172人	2.9%	12.2%	66.9%	7.6%	1.7%	8.7%
	男性 ややくるしい	65人	4.6%	21.5%	46.2%	7.7%	4.6%	15.4%
	男性 たいへんくるしい	253人	3.2%	19.0%	72.3%	2.4%	0.0%	3.2%
	勤め人（正規社員・職員）	318人	5.0%	23.0%	61.0%	2.8%	0.0%	8.2%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	13人	0.0%	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%	0.0%
職 業	勤め人（正規社員・職員）	657人	2.6%	13.4%	74.6%	4.4%	1.4%	3.7%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	4.5%	21.9%	59.8%	4.0%	0.2%	9.5%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	0.0%	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	3.0%	15.7%	68.1%	5.4%	0.6%	7.2%
	学生	41人	0.0%	9.8%	80.5%	4.9%	4.9%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	4.6%	23.7%	54.2%	2.1%	0.2%	15.1%
	その他	16人	18.8%	37.5%	31.3%	0.0%	0.0%	12.5%
	女性 勤め人（正規社員・職員）	253人	3.2%	19.0%	72.3%	2.4%	0.0%	3.2%
	女性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	5.0%	23.0%	61.0%	2.8%	0.0%	8.2%
	女性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	0.0%	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%	0.0%
	女性 会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	1.5%	22.1%	70.6%	0.0%	0.0%	5.9%
	女性 学生	24人	0.0%	8.3%	79.2%	4.2%	8.3%	0.0%
	女性 無職（家事専業、定年後も含む）	319人	5.3%	25.4%	51.4%	1.9%	0.3%	15.7%
	女性 その他	7人	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	男性 勤め人（正規社員・職員）	396人	2.0%	9.3%	77.0%	5.6%	2.0%	4.0%
	男性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	3.0%	19.2%	56.6%	7.1%	1.0%	13.1%
	男性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	4.2%	11.5%	66.7%	9.4%	1.0%	7.3%
	男性 学生	16人	0.0%	12.5%	81.3%	6.3%	0.0%	0.0%
	男性 無職（家事専業、定年後も含む）	154人	1.9%	20.8%	61.0%	2.6%	0.0%	13.6%
	男性 その他	9人	11.1%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%
学 歴	中学校	111人	3.6%	21.6%	47.7%	2.7%	0.9%	23.4%
	高等学校	510人	4.3%	22.4%	58.4%	4.9%	0.6%	9.4%
	専門学校など各種学校	212人	4.2%	19.3%	64.6%	2.8%	1.4%	7.5%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	5.5%	21.1%	63.8%	3.2%	0.0%	6.4%
	大学	637人	2.7%	14.9%	75.8%	3.5%	0.9%	2.2%
	大学院	75人	2.7%	16.0%	72.0%	6.7%	1.3%	1.3%
	女性 中学校	51人	5.9%	27.5%	41.2%	3.9%	0.0%	21.6%
	女性 高等学校	305人	4.9%	27.2%	53.8%	3.9%	0.0%	10.2%
	女性 専門学校など各種学校	144人	2.8%	23.6%	61.8%	2.1%	1.4%	8.3%
	女性 短期大学、新制高等専門学校	194人	6.2%	22.7%	62.9%	1.5%	0.0%	6.7%
	女性 大学	275人	2.9%	16.4%	77.1%	1.1%	0.4%	2.2%
	女性 大学院	20人	10.0%	25.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 中学校	59人	1.7%	16.9%	54.2%	0.0%	1.7%	25.4%
	男性 高等学校	196人	3.1%	14.8%	67.3%	6.1%	1.5%	7.1%
	男性 専門学校など各種学校	66人	7.6%	9.1%	71.2%	4.5%	1.5%	6.1%
	男性 短期大学、新制高等専門学校	23人	0.0%	8.7%	69.6%	17.4%	0.0%	4.3%
	男性 大学	358人	2.0%	14.0%	75.4%	5.3%	1.1%	2.2%
	男性 大学院	55人	0.0%	12.7%	74.5%	9.1%	1.8%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (4) 地域活動の場						
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答	
全 体		1,800人	8.4%	35.8%	43.3%	6.1%	1.1%	5.3%	
性 別	女性	1,008人	11.9%	41.1%	37.2%	4.2%	0.2%	5.5%	
	男性	775人	3.5%	29.4%	51.6%	8.5%	2.1%	4.9%	
答えたくない、わからない、その他		17人	23.5%	11.8%	29.4%	11.8%	5.9%	17.6%	
年 代	女 性	18～29歳	95人	3.2%	30.5%	56.8%	8.4%	0.0%	1.1%
		30歳代	138人	11.6%	33.3%	43.5%	7.2%	1.4%	2.9%
		40歳代	161人	16.1%	44.1%	35.4%	1.9%	0.0%	2.5%
		50歳代	240人	13.8%	44.6%	32.9%	3.8%	0.0%	5.0%
		60歳代	178人	12.9%	46.6%	31.5%	3.4%	0.0%	5.6%
		70歳以上	196人	9.7%	39.8%	35.2%	3.1%	0.0%	12.2%
		18～29歳	58人	5.2%	13.8%	63.8%	13.8%	1.7%	1.7%
	男 性	30歳代	91人	2.2%	25.3%	57.1%	11.0%	3.3%	1.1%
		40歳代	135人	3.0%	28.1%	52.6%	7.4%	5.2%	3.7%
		50歳代	147人	3.4%	29.9%	55.1%	9.5%	0.7%	1.4%
		60歳代	167人	3.0%	28.1%	52.1%	7.2%	1.8%	7.8%
		70歳以上	177人	4.5%	38.4%	40.7%	6.8%	0.6%	9.0%
		結婚している又はパートナーがいる	1,284人	8.8%	38.0%	42.8%	4.8%	0.7%	4.8%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	8.6%	34.3%	38.9%	8.6%	0.6%	9.1%
婚 姻 関 係	女 性	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	6.8%	28.4%	47.3%	9.8%	2.7%	5.0%
		結婚している又はパートナーがいる	714人	12.7%	42.2%	36.8%	3.2%	0.1%	4.9%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	10.0%	39.2%	35.4%	4.6%	0.8%	10.0%
	男 性	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	9.9%	38.5%	39.8%	8.1%	0.0%	3.7%
		結婚している又はパートナーがいる	561人	3.6%	33.2%	50.6%	6.8%	1.4%	4.5%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	2.3%	20.5%	50.0%	20.5%	0.0%	6.8%
家 族 構 成	女 性	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	3.5%	19.4%	55.3%	11.2%	4.7%	5.9%
		結婚している又はパートナーがいる	253人	6.3%	29.6%	47.8%	9.9%	0.8%	5.5%
		単身世帯（一人暮らし）	475人	8.0%	39.6%	42.5%	4.4%	0.6%	4.8%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	9.3%	36.6%	44.1%	6.2%	1.4%	2.4%
		2世代世帯（親と子）	87人	8.0%	37.9%	42.5%	9.2%	0.0%	2.3%
		3世代世帯（親と子と孫）	27人	11.1%	44.4%	40.7%	0.0%	0.0%	3.7%
	男 性	その他	125人	8.8%	40.8%	40.0%	5.6%	0.0%	4.8%
		単身世帯（一人暮らし）	267人	11.6%	42.3%	37.1%	3.0%	0.4%	5.6%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	12.9%	41.6%	37.8%	4.6%	0.2%	2.9%
		2世代世帯（親と子）	46人	10.9%	43.5%	34.8%	6.5%	0.0%	4.3%
		3世代世帯（親と子と孫）	18人	11.1%	44.4%	38.9%	0.0%	0.0%	5.6%
		その他	126人	3.2%	19.0%	56.3%	14.3%	1.6%	5.6%
暮 ら し む せ	女 性	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	3.4%	35.9%	50.0%	6.3%	1.0%	3.4%
		2世代世帯（親と子）	371人	3.8%	30.2%	53.1%	8.1%	3.0%	1.9%
		3世代世帯（親と子と孫）	39人	2.6%	33.3%	51.3%	12.8%	0.0%	0.0%
		その他	9人	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	男 性	たいへんゆとりがある	65人	6.2%	18.5%	61.5%	7.7%	3.1%	3.1%
		ややゆとりがある	285人	6.0%	40.0%	46.0%	6.7%	0.4%	1.1%
職 業	女 性	ふつう	870人	9.1%	36.1%	46.4%	4.5%	0.8%	3.1%
		ややくるしい	401人	10.2%	37.9%	37.9%	8.7%	1.2%	4.0%
		たいへんくるしい	138人	6.5%	35.5%	36.2%	8.7%	2.9%	10.1%
	男 性	たいへんゆとりがある	30人	3.3%	26.7%	60.0%	6.7%	0.0%	3.3%
		ややゆとりがある	157人	10.2%	45.2%	39.5%	5.1%	0.0%	0.0%
		ふつう	506人	11.5%	40.5%	40.5%	3.2%	0.4%	4.0%
学 歴	女 性	ややくるしい	220人	15.9%	45.9%	28.2%	5.9%	0.0%	4.1%
		たいへんくるしい	73人	12.3%	38.4%	35.6%	4.1%	0.0%	9.6%
	男 性	たいへんゆとりがある	34人	5.9%	11.8%	64.7%	8.8%	5.9%	2.9%
		ややゆとりがある	127人	0.0%	33.9%	54.3%	8.7%	0.8%	2.4%
		ふつう	358人	5.9%	30.2%	55.0%	6.1%	1.1%	1.7%
		ややくるしい	172人	2.3%	29.1%	50.6%	12.2%	2.9%	2.9%
		たいへんくるしい	65人	0.0%	32.3%	36.9%	13.8%	6.2%	10.8%
	男 性	勤め人（正規社員・職員）	657人	7.3%	30.9%	50.8%	6.5%	1.7%	2.7%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	9.0%	41.7%	37.6%	5.0%	0.5%	6.2%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	7.2%	33.7%	46.4%	6.0%	1.2%	5.4%
		学生	41人	2.4%	24.4%	58.5%	12.2%	2.4%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	476人	10.5%	39.1%	35.3%	6.1%	0.6%	8.4%
	女 性	その他	16人	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%
		勤め人（正規社員・職員）	253人	13.0%	40.3%	40.3%	3.6%	0.0%	2.8%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	11.9%	46.2%	31.8%	5.3%	0.0%	4.7%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	0.0%	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	10.3%	39.7%	45.6%	1.5%	0.0%	2.9%
		学生	24人	0.0%	20.8%	62.5%	12.5%	4.2%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	319人	12.5%	38.9%	35.4%	3.8%	0.3%	9.1%
		その他	7人	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	男 性	勤め人（正規社員・職員）	396人	3.3%	25.0%	58.1%	8.6%	2.5%	2.5%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	0.0%	28.3%	55.6%	4.0%	2.0%	10.1%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	5.2%	30.2%	46.9%	9.4%	2.1%	6.3%
		学生	16人	6.3%	31.3%	56.3%	6.3%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	154人	5.2%	40.3%	35.7%	10.4%	1.3%	7.1%
		その他	9人	0.0%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%	11.1%
	女 性	中学校	111人	4.5%	32.4%	42.3%	6.3%	0.9%	13.5%
		高等学校	510人	10.2%	35.5%	42.2%	6.7%	1.2%	4.3%
		専門学校など各種学校	212人	8.5%	38.2%	43.4%	3.8%	1.9%	4.2%
		短期大学、新制高等専門学校	218人	11.5%	43.6%	37.6%	4.6%	0.0%	2.8%
		大学	637人	7.4%	35.2%	47.7%	7.2%	1.1%	1.4%
		大学院	75人	5.3%	33.3%	53.3%	5.3%	1.3%	1.3%
	男 性	中学校	51人	9.8%	35.3%	35.3%	7.8%	0.0%	11.8%
		高等学校	305人	14.1%	39.0%	37.4%	4.6%	0.3%	4.6%
		専門学校など各種学校	144人	9.7%	43.8%	38.9%	2.1%	0.7%	4.9%
		短期大学、新制高等専門学校	194人	12.9%	46.4%	35.1%	2.6%	0.0%	3.1%
		大学	275人	10.5%	41.8%	40.4%	5.8%	0.0%	1.5%
		大学院	20人	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女 性	中学校	59人	0.0%	30.5%	47.5%	5.1%	1.7%	15.3%
		高等学校	196人	3.6%	30.6%	51.0%	9.2%	2.6%	3.1%
		専門学校など各種学校	66人	4.5%	27.3%	53.0%	7.6%	4.5%	3.0%
		短期大学、新制高等専門学校	23人	0.0%	21.7%	56.5%	21.7%	0.0%	0.0%
		大学	358人	4.7%	30.4%	53.6%	8.4%	1.7%	1.1%
		大学院	55人	0.0%	30.9%	58.2%	7.3%	1.8%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (5) 政治の場					
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えは男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えは女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全 体		1,800人	44.7%	37.5%	11.3%	1.4%	0.8%	4.3%
性 別	女性	1,008人	51.4%	37.1%	6.6%	0.6%	0.2%	4.1%
	男性	775人	36.0%	38.3%	17.3%	2.3%	1.4%	4.6%
答えたくない、わからない、その他		17人	47.1%	23.5%	11.8%	5.9%	5.9%	5.9%
年 代	18～29歳	95人	47.4%	41.1%	10.5%	1.1%	0.0%	0.0%
	30歳代	138人	53.6%	33.3%	11.6%	0.0%	0.7%	0.7%
	40歳代	161人	54.0%	39.1%	4.3%	1.2%	0.0%	1.2%
	50歳代	240人	54.6%	35.4%	5.4%	0.8%	0.4%	3.3%
	60歳代	178人	54.5%	36.5%	4.5%	0.6%	0.0%	3.9%
	70歳以上	196人	42.9%	38.8%	6.6%	0.0%	0.0%	11.7%
	18～29歳	58人	34.5%	32.8%	22.4%	6.9%	1.7%	1.7%
	30歳代	91人	29.7%	37.4%	25.3%	4.4%	2.2%	1.1%
	40歳代	135人	40.0%	38.5%	12.6%	3.0%	3.0%	3.0%
	50歳代	147人	41.5%	36.7%	17.7%	1.4%	0.7%	2.0%
	60歳代	167人	32.3%	40.1%	19.2%	1.8%	1.2%	5.4%
	70歳以上	177人	35.6%	40.1%	13.0%	0.6%	0.6%	10.2%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	46.0%	37.6%	10.7%	1.2%	0.5%	3.9%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	42.9%	39.4%	6.9%	1.1%	0.6%	9.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	40.8%	36.1%	15.7%	2.4%	1.8%	3.3%
	女性 結婚している又はパートナーがいる	714人	52.0%	37.8%	6.0%	0.6%	0.1%	3.5%
	女性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	47.7%	36.2%	6.2%	0.0%	0.8%	9.2%
	女性 結婚しておらず、パートナーもいない	161人	52.2%	34.8%	9.9%	1.2%	0.0%	1.9%
	男性 結婚している又はパートナーがいる	561人	38.3%	37.6%	16.8%	1.8%	1.1%	4.5%
	男性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	27.3%	50.0%	9.1%	4.5%	0.0%	9.1%
	男性 結婚しておらず、パートナーもいない	170人	30.6%	37.6%	21.2%	3.5%	2.9%	4.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	253人	37.9%	43.1%	12.3%	2.0%	0.8%	4.0%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	45.9%	37.1%	11.6%	1.5%	0.4%	3.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	48.3%	36.6%	10.9%	1.4%	1.1%	1.7%
	2世代世帯（親と子）	87人	37.9%	47.1%	11.5%	0.0%	0.0%	3.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	40.7%	37.0%	18.5%	0.0%	0.0%	3.7%
	その他	125人	46.4%	42.4%	7.2%	0.8%	0.0%	3.2%
	女性 単身世帯（一人暮らし）	267人	52.4%	35.6%	6.7%	0.7%	0.4%	4.1%
	女性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	54.4%	36.7%	6.7%	0.6%	0.2%	1.5%
	女性 2世代世帯（親と子）	46人	43.5%	50.0%	4.3%	0.0%	0.0%	2.2%
	女性 3世代世帯（親と子と孫）	18人	44.4%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%
	女性 その他	126人	29.4%	44.4%	17.5%	3.2%	1.6%	4.0%
	男性 単身世帯（一人暮らし）	206人	36.9%	39.3%	18.0%	2.4%	0.5%	2.9%
	男性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	40.2%	36.7%	16.7%	2.4%	2.2%	1.9%
	男性 2世代世帯（親と子）	39人	30.8%	43.6%	20.5%	0.0%	0.0%	5.1%
	男性 3世代世帯（親と子と孫）	9人	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 その他	65人	35.4%	43.1%	18.5%	1.5%	1.5%	0.0%
	たいへんゆとりがある	285人	42.8%	43.2%	10.5%	1.8%	0.4%	1.4%
	ややゆとりがある	870人	43.2%	40.6%	12.3%	0.9%	0.6%	2.4%
	ふつう	401人	54.4%	29.9%	10.2%	2.0%	1.0%	2.5%
暮 ら し む せ	ややくるしい	138人	45.7%	34.8%	8.7%	2.2%	2.2%	6.5%
	たいへんくるしい	30人	36.7%	50.0%	10.0%	3.3%	0.0%	0.0%
	女性 たいへんゆとりがある	157人	54.1%	40.1%	5.1%	0.6%	0.0%	0.0%
	女性 ややくるしい	506人	48.6%	40.1%	7.7%	0.4%	0.4%	2.8%
	女性 ふつう	220人	60.5%	30.9%	5.9%	0.9%	0.0%	1.8%
	女性 ややくるしい	73人	56.2%	32.9%	4.1%	0.0%	0.0%	6.8%
	女性 たいへんくるしい	34人	32.4%	38.2%	26.5%	0.0%	2.9%	0.0%
	男性 たいへんゆとりがある	127人	29.1%	46.5%	17.3%	3.1%	0.8%	3.1%
	男性 ややくるしい	358人	35.8%	41.6%	18.4%	1.7%	0.6%	2.0%
	男性 ふつう	172人	46.5%	29.1%	16.3%	2.9%	2.3%	2.9%
	男性 ややくるしい	65人	33.8%	36.9%	13.8%	4.6%	4.6%	6.2%
	男性 たいへんくるしい	30人	36.7%	50.0%	10.0%	3.3%	0.0%	0.0%
	男性 たいへんゆとりがある	157人	54.1%	40.1%	5.1%	0.6%	0.0%	0.0%
	男性 ややくるしい	506人	48.6%	40.1%	7.7%	0.4%	0.4%	2.8%
職 業	勤め人（正規社員・職員）	657人	43.7%	35.8%	14.8%	2.4%	1.1%	2.3%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	46.0%	39.0%	9.3%	0.7%	0.7%	4.3%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	42.2%	36.7%	14.5%	0.6%	1.2%	4.8%
	学生	41人	34.1%	48.8%	14.6%	0.0%	2.4%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	47.3%	37.2%	7.1%	1.1%	0.2%	7.1%
	その他	16人	31.3%	50.0%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%
	女性 勤め人（正規社員・職員）	253人	56.1%	32.4%	8.7%	1.2%	0.0%	1.6%
	女性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	51.3%	39.9%	5.3%	0.6%	0.0%	2.8%
	女性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	50.0%	36.8%	11.8%	0.0%	0.0%	1.5%
	女性 学生	24人	25.0%	62.5%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%
	女性 無職（家事専業、定年後も含む）	319人	50.5%	35.7%	5.3%	0.3%	0.3%	7.8%
	女性 その他	7人	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	男性 勤め人（正規社員・職員）	396人	35.4%	38.4%	18.7%	3.3%	1.5%	2.8%
	男性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	29.3%	37.4%	21.2%	1.0%	3.0%	8.1%
	男性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	36.5%	36.5%	16.7%	1.0%	2.1%	7.3%
	男性 学生	16人	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 無職（家事専業、定年後も含む）	154人	40.9%	40.3%	11.0%	1.9%	0.0%	5.8%
	男性 その他	9人	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
学 歴	中学校	111人	32.4%	45.9%	11.7%	0.9%	0.0%	9.0%
	高等学校	510人	44.9%	38.2%	11.2%	1.6%	0.8%	3.3%
	専門学校など各種学校	212人	49.5%	37.3%	10.8%	0.9%	0.5%	0.9%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	55.5%	36.2%	5.0%	0.9%	0.0%	2.3%
	大学	637人	44.1%	37.4%	14.1%	1.7%	1.3%	1.4%
	大学院	75人	41.3%	42.7%	12.0%	1.3%	1.3%	1.3%
	女性 中学校	51人	37.3%	41.2%	9.8%	2.0%	0.0%	9.8%
	女性 高等学校	305人	49.5%	38.4%	7.9%	0.7%	0.3%	3.3%
	女性 専門学校など各種学校	144人	53.5%	38.9%	6.3%	0.7%	0.7%	0.0%
	女性 短期大学、新制高等専門学校	194人	59.8%	34.5%	2.6%	0.5%	0.0%	2.6%
	女性 大学	275人	52.0%	37.8%	8.7%	0.4%	0.0%	1.1%
	女性 大学院	20人	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 中学校	59人	28.8%	50.8%	11.9%	0.0%	0.0%	8.5%
	男性 高等学校	196人	37.2%	38.8%	16.8%	2.6%	1.5%	3.1%
	男性 専門学校など各種学校	66人	40.9%	33.3%	21.2%	1.5%	0.0%	3.0%
	男性 短期大学、新制高等専門学校	23人	21.7%	52.2%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%
	男性 大学	358人	38.0%	37.2%	18.4%	2.8%	2.0%	1.7%
	男性 大学院	55人	34.5%	43.6%	16.4%	1.8%	1.8%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (6) 法律や制度					
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答
全 体		1,800人	17.7%	39.3%	31.1%	6.4%	1.1%	4.3%
性 別	女性	1,008人	23.3%	44.2%	23.8%	3.9%	0.2%	4.6%
	男性	775人	10.1%	33.4%	40.8%	9.7%	2.2%	3.9%
答えたくない、わからない、その他		17人	35.3%	17.6%	17.6%	11.8%	5.9%	11.8%
年 代	18～29歳	95人	20.0%	37.9%	31.6%	10.5%	0.0%	0.0%
	30歳代	138人	25.4%	36.2%	34.8%	2.2%	0.0%	1.4%
	40歳代	161人	24.8%	44.7%	22.4%	6.2%	0.0%	1.9%
	50歳代	240人	25.8%	47.1%	19.6%	3.8%	0.4%	3.3%
	60歳代	178人	24.2%	46.6%	20.2%	3.4%	0.0%	5.6%
	70歳以上	196人	18.4%	46.9%	21.9%	0.5%	0.5%	11.7%
	18～29歳	58人	5.2%	24.1%	41.4%	19.0%	6.9%	3.4%
	30歳代	91人	11.0%	22.0%	34.1%	26.4%	5.5%	1.1%
	40歳代	135人	8.1%	31.1%	43.0%	11.1%	3.7%	3.0%
	50歳代	147人	10.2%	36.7%	43.5%	8.2%	0.7%	0.7%
	60歳代	167人	7.8%	41.3%	40.1%	4.8%	1.2%	4.8%
	70歳以上	177人	14.7%	33.9%	40.7%	2.8%	0.0%	7.9%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	17.4%	41.1%	31.7%	5.6%	0.5%	3.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	20.0%	39.4%	25.1%	5.1%	0.6%	9.7%
婚 姻 関 係	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	17.5%	32.5%	32.0%	10.4%	3.6%	4.1%
	女性 結婚している又はパートナーがいる	714人	22.7%	46.1%	23.2%	3.9%	0.3%	3.8%
	女性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	21.5%	43.1%	23.1%	2.3%	0.0%	10.0%
	女性 結婚しておらず、パートナーもいない	161人	27.3%	37.3%	27.3%	5.0%	0.0%	3.1%
	男性 結婚している又はパートナーがいる	561人	10.7%	34.9%	42.8%	7.5%	0.9%	3.2%
	男性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	13.6%	29.5%	31.8%	13.6%	2.3%	9.1%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	7.1%	29.4%	36.5%	15.9%	6.5%	4.7%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	17.4%	36.4%	31.2%	7.9%	2.4%	4.7%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	18.1%	40.0%	32.8%	4.8%	0.8%	3.4%
	2世代世帯（親と子）	907人	18.9%	39.5%	31.3%	7.6%	1.1%	1.7%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	12.6%	55.2%	27.6%	3.4%	0.0%	1.1%
	その他	27人	11.1%	48.1%	33.3%	3.7%	0.0%	3.7%
	女性 単身世帯（一人暮らし）	125人	23.2%	41.6%	28.8%	2.4%	0.0%	4.0%
	女性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	23.6%	44.9%	23.2%	4.1%	0.4%	3.7%
	女性 2世代世帯（親と子）	526人	24.7%	44.3%	24.0%	4.6%	0.2%	2.3%
	女性 3世代世帯（親と子と孫）	46人	17.4%	63.0%	17.4%	0.0%	0.0%	2.2%
	女性 その他	18人	11.1%	44.4%	33.3%	5.6%	0.0%	5.6%
	男性 単身世帯（一人暮らし）	126人	11.1%	31.7%	34.1%	13.5%	4.8%	4.8%
	男性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	10.7%	34.0%	45.6%	5.8%	1.5%	2.4%
	男性 2世代世帯（親と子）	371人	10.2%	33.4%	41.8%	11.6%	2.2%	0.8%
	男性 3世代世帯（親と子と孫）	39人	7.7%	43.6%	41.0%	7.7%	0.0%	0.0%
	男性 その他	9人	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
暮 ら し む せ	たいへんゆとりがある	65人	16.9%	30.8%	41.5%	10.8%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	285人	16.5%	36.1%	41.1%	5.3%	0.7%	0.4%
	ふつう	870人	16.7%	41.6%	32.2%	6.1%	0.7%	2.8%
	ややくるしい	401人	19.5%	43.4%	26.2%	7.5%	1.0%	2.5%
	たいへんくるしい	138人	27.5%	34.1%	19.6%	7.2%	5.1%	6.5%
	女性 たいへんゆとりがある	30人	26.7%	33.3%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	女性 ややゆとりがある	157人	24.2%	40.1%	32.5%	3.2%	0.0%	0.0%
	女性 ふつう	506人	20.4%	47.4%	24.1%	4.2%	0.4%	3.6%
	女性 ややくるしい	220人	26.8%	48.2%	19.5%	3.2%	0.0%	2.3%
	女性 たいへんくるしい	73人	37.0%	35.6%	17.8%	2.7%	0.0%	6.8%
	男性 たいへんゆとりがある	34人	5.9%	29.4%	52.9%	11.8%	0.0%	0.0%
	男性 ややゆとりがある	127人	6.3%	31.5%	52.0%	7.9%	1.6%	0.8%
職 業	女性 ふつう	358人	11.5%	34.1%	43.6%	8.7%	0.8%	1.4%
	女性 ややくるしい	172人	9.3%	37.8%	35.5%	12.8%	2.3%	2.3%
	女性 たいへんくるしい	65人	16.9%	32.3%	21.5%	12.3%	10.8%	6.2%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	14.5%	34.4%	37.1%	10.4%	1.8%	1.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	20.7%	45.2%	23.6%	4.3%	0.5%	5.7%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	26.7%	53.3%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	19.9%	37.3%	30.7%	6.6%	0.6%	4.8%
	学生	41人	7.3%	43.9%	41.5%	7.3%	0.0%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	19.5%	41.4%	28.6%	3.2%	0.8%	6.5%
	その他	16人	18.8%	31.3%	31.3%	0.0%	6.3%	12.5%
	女性 勤め人（正規社員・職員）	253人	24.5%	40.7%	25.7%	6.7%	0.0%	2.4%
	女性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	24.5%	47.5%	20.4%	3.5%	0.0%	4.1%
	女性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	30.8%	53.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	25.0%	42.6%	29.4%	1.5%	0.0%	1.5%
	女性 学生	24人	8.3%	50.0%	37.5%	4.2%	0.0%	0.0%
	女性 無職（家事専業、定年後も含む）	319人	21.3%	43.9%	23.8%	2.8%	0.6%	7.5%
	女性 その他	7人	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	男性 勤め人（正規社員・職員）	396人	7.6%	30.6%	44.7%	12.9%	2.8%	1.5%
	男性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	8.1%	39.4%	34.3%	6.1%	2.0%	10.1%
	男性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	男性 会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	16.7%	33.3%	32.3%	10.4%	1.0%	6.3%
	男性 学生	16人	6.3%	37.5%	43.8%	12.5%	0.0%	0.0%
	男性 無職（家事専業、定年後も含む）	154人	14.9%	37.0%	39.0%	3.2%	1.3%	4.5%
	男性 その他	9人	0.0%	33.3%	44.4%	0.0%	11.1%	11.1%
学 歴	中学校	111人	16.2%	38.7%	29.7%	6.3%	0.9%	8.1%
	高等学校	510人	19.4%	40.8%	28.2%	5.7%	1.6%	4.3%
	専門学校など各種学校	212人	19.3%	46.7%	23.6%	7.1%	1.9%	1.4%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	23.9%	41.3%	27.1%	5.5%	0.0%	2.3%
	大学	637人	15.2%	37.7%	38.0%	7.4%	0.9%	0.8%
	大学院	75人	13.3%	36.0%	41.3%	8.0%	1.3%	0.0%
	女性 中学校	51人	17.6%	47.1%	21.6%	3.9%	0.0%	9.8%
	女性 高等学校	305人	23.0%	47.5%	20.3%	4.3%	0.7%	4.3%
	女性 専門学校など各種学校	144人	22.9%	54.2%	20.1%	2.1%	0.0%	0.7%
	女性 短期大学、新制高等専門学校	194人	26.3%	40.2%	26.3%	4.6%	0.0%	2.6%
	女性 大学	275人	24.7%	40.7%	29.5%	3.6%	0.0%	1.5%
	女性 大学院	20人	20.0%	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	男性 中学校	59人	15.3%	32.2%	37.3%	6.8%	1.7%	6.8%
	男性 高等学校	196人	13.3%	31.6%	40.8%	7.7%	3.1%	3.6%
	男性 専門学校など各種学校	66人	12.1%	28.8%	31.8%	18.2%	6.1%	3.0%
	男性 短期大学、新制高等専門学校	23人	4.3%	52.2%	30.4%	13.0%	0.0%	0.0%
	男性 大学	358人	7.3%	35.8%	45.0%	10.3%	1.4%	0.3%
	男性 大学院	55人	10.9%	34.5%	45.5%	7.3%	1.8%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問1】男女の地位は平等か (7) 社会通念・慣習・しきたり						
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかとい えば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答	
全 体		1,800人	31.0%	47.8%	13.2%	2.8%	1.1%	4.1%	
性 別	女性	1,008人	40.1%	45.2%	8.8%	1.6%	0.2%	4.1%	
	男性	775人	19.1%	51.7%	18.6%	4.5%	2.2%	3.9%	
答えたくない、わからない、その他		17人	35.3%	23.5%	23.5%	0.0%	5.9%	11.8%	
年 代	女 性	18～29歳	95人	29.5%	44.2%	17.9%	7.4%	1.1%	0.0%
		30歳代	138人	39.9%	46.4%	11.6%	1.4%	0.0%	0.7%
		40歳代	161人	44.7%	45.3%	6.2%	2.5%	0.0%	1.2%
		50歳代	240人	46.3%	40.8%	7.1%	1.3%	0.4%	4.2%
		60歳代	178人	40.4%	46.6%	9.0%	0.0%	0.0%	3.9%
		70歳以上	196人	33.7%	49.0%	6.6%	0.0%	0.0%	10.7%
		18～29歳	58人	17.2%	36.2%	22.4%	13.8%	6.9%	3.4%
	男 性	30歳代	91人	12.1%	47.3%	24.2%	11.0%	4.4%	1.1%
		40歳代	135人	17.0%	52.6%	15.6%	6.7%	3.7%	4.4%
		50歳代	147人	23.1%	50.3%	21.8%	2.7%	1.4%	0.7%
		60歳代	167人	21.6%	53.3%	18.0%	1.2%	1.2%	4.8%
		70歳以上	177人	19.2%	58.2%	14.7%	1.1%	0.0%	6.8%
婚 姻 関 係	結 婚	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	32.1%	49.9%	11.8%	1.9%	0.5%	3.7%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	32.0%	44.0%	13.7%	0.6%	0.6%	9.1%
		結婚しておらず、パートナーもいない	338人	26.3%	42.0%	18.0%	7.4%	3.6%	2.7%
		結婚している又はパートナーがいる	714人	41.3%	45.9%	7.7%	1.1%	0.1%	3.8%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	35.4%	44.6%	10.8%	0.0%	0.0%	9.2%
	既 婚	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	38.5%	42.9%	12.4%	5.0%	0.6%	0.6%
		結婚している又はパートナーがいる	561人	20.3%	55.4%	16.8%	3.0%	1.1%	3.4%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	20.5%	43.2%	22.7%	2.3%	2.3%	9.1%
		結婚しておらず、パートナーもいない	170人	14.7%	41.8%	23.5%	10.0%	5.9%	4.1%
		結婚している又はパートナーがいる	253人	28.1%	47.0%	14.6%	4.3%	2.0%	4.0%
家 族 構 成	単 身	単身世帯（一人暮らし）	475人	32.0%	52.4%	10.1%	1.7%	0.4%	3.4%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	33.1%	46.6%	14.1%	3.3%	1.4%	1.4%
		2世代世帯（親と子）	87人	26.4%	56.3%	13.8%	2.3%	0.0%	1.1%
		3世代世帯（親と子と孫）	27人	22.2%	44.4%	29.6%	0.0%	0.0%	3.7%
		その他	125人	36.8%	47.2%	10.4%	2.4%	0.0%	3.2%
	女 性	単身世帯（一人暮らし）	267人	40.4%	48.3%	6.4%	0.7%	0.4%	3.7%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	42.6%	43.9%	9.7%	1.9%	0.2%	1.7%
		2世代世帯（親と子）	46人	34.8%	54.3%	6.5%	2.2%	0.0%	2.2%
		3世代世帯（親と子と孫）	18人	27.8%	38.9%	27.8%	0.0%	0.0%	5.6%
		その他	126人	19.0%	47.6%	19.0%	6.3%	4.0%	4.0%
	男 性	単身世帯（一人暮らし）	206人	21.4%	57.8%	15.0%	2.9%	0.5%	2.4%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	19.7%	51.2%	19.7%	5.4%	3.0%	1.1%
		2世代世帯（親と子）	39人	15.4%	59.0%	23.1%	2.6%	0.0%	0.0%
		3世代世帯（親と子と孫）	9人	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		その他	65人	32.3%	36.9%	24.6%	3.1%	1.5%	1.5%
暮 ら し む せ	た い へ ん ゆ と り が あ る	ややゆとりがある	285人	28.1%	54.4%	12.6%	3.2%	1.1%	0.7%
		ふつう	870人	30.1%	50.1%	14.7%	2.0%	0.7%	2.4%
		ややくるしい	401人	34.2%	46.9%	12.5%	3.7%	1.2%	1.5%
		たいへんくるしい	138人	40.6%	39.1%	4.3%	5.8%	2.9%	7.2%
		た い へ ん ゆ と り が あ る	30人	40.0%	30.0%	23.3%	3.3%	3.3%	0.0%
	女 性	ややゆとりがある	157人	38.9%	49.0%	8.9%	3.2%	0.0%	0.0%
		ふつう	506人	38.1%	46.6%	10.9%	1.4%	0.2%	2.8%
		ややくるしい	220人	43.6%	49.1%	4.5%	1.4%	0.0%	1.4%
		たいへんくるしい	73人	54.8%	32.9%	2.7%	0.0%	0.0%	9.6%
		た い へ ん ゆ と り が あ る	34人	23.5%	44.1%	26.5%	2.9%	0.0%	2.9%
	男 性	ややゆとりがある	127人	14.2%	61.4%	17.3%	3.1%	2.4%	1.6%
		ふつう	358人	19.3%	55.3%	19.8%	2.8%	1.1%	1.7%
		ややくるしい	172人	21.5%	45.3%	22.1%	7.0%	2.9%	1.2%
		たいへんくるしい	65人	24.6%	46.2%	6.2%	12.3%	6.2%	4.6%
		た い へ ん ゆ と り が あ る	65人	24.6%	46.2%	6.2%	12.3%	6.2%	4.6%
職 業	勤 め 人（正規社員・職員）	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	33.6%	48.6%	10.5%	1.9%	0.5%	5.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	33.3%	53.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	31.9%	45.8%	13.9%	2.4%	0.6%	5.4%
		学生	41人	19.5%	53.7%	22.0%	2.4%	2.4%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	476人	35.3%	48.1%	9.7%	0.6%	0.2%	6.1%
	女 性	その他	16人	18.8%	62.5%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%
		勤め人（正規社員・職員）	253人	42.3%	42.3%	10.7%	3.6%	0.0%	1.2%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	38.7%	46.9%	9.1%	1.6%	0.0%	3.8%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	38.5%	53.8%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	44.1%	44.1%	7.4%	1.5%	0.0%	2.9%
	男 性	学生	24人	20.8%	58.3%	16.7%	0.0%	4.2%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	319人	40.4%	45.1%	7.2%	0.0%	0.3%	6.9%
		その他	7人	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
		勤め人（正規社員・職員）	396人	17.2%	50.5%	20.7%	5.8%	3.5%	2.3%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	17.2%	55.6%	14.1%	3.0%	2.0%	8.1%
学 歴	中 学 校	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	24.0%	46.9%	18.8%	3.1%	1.0%	6.3%
		学生	16人	18.8%	43.8%	31.3%	6.3%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	154人	24.0%	55.2%	14.3%	1.9%	0.0%	4.5%
		その他	9人	0.0%	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	女 性	中学校	111人	23.4%	53.2%	14.4%	1.8%	0.9%	6.3%
		高等学校	510人	31.4%	47.3%	14.1%	2.0%	1.8%	3.5%
		専門学校など各種学校	212人	38.2%	41.5%	13.2%	3.8%	1.9%	1.4%
		短期大学、新制高等専門学校	218人	38.1%	50.5%	7.3%	1.4%	0.0%	2.8%
		大学	637人	29.5%	50.4%	14.9%	3.8%	0.8%	0.6%
	男 性	大学院	75人	25.3%	53.3%	12.0%	5.3%	1.3%	2.7%
		中学校	51人	29.4%	52.9%	11.8%	0.0%	0.0%	5.9%
		高等学校	305人	38.7%	45.9%	9.8%	1.3%	0.3%	3.9%
		専門学校など各種学校	144人	44.4%	41.7%	11.1%	2.1%	0.0%	0.7%
		短期大学、新制高等専門学校	194人	41.2%	48.5%	6.2%	1.0%	0.0%	3.1%
学 歴	女 性	大学	275人	43.6%	44.4%	8.7%	2.5%	0.4%	0.4%
		大学院	20人	35.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
		中学校	59人	18.6%	54.2%	15.3%	3.4%	1.7%	6.8%
		高等学校	196人	20.4%	50.0%	20.4%	3.1%	4.1%	2.0%
		専門学校など各種学校	66人	24.2%	40.9%	18.2%	7.6%	6.1%	3.0%
	男 性	短期大学、新制高等専門学校	23人	13.0%	69.6%	13.0%	4.3%	0.0%	0.0%
		大学	358人	18.2%	55.6%	19.8%	4.7%	0.8%	0.8%
		大学院	55人	21.8%	50.9%	16.4%	7.3%	1.8%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問2】社会全体で男女の地位は平等か						
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかか いはいは男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかか いはいは女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	無回答	
全 体		1,800人	18.1%	58.6%	14.4%	5.3%	1.2%	2.4%	
性 別	女性	1,008人	22.3%	62.7%	9.5%	2.6%	0.4%	2.5%	
	男性	775人	12.1%	53.9%	20.5%	8.8%	2.2%	2.5%	
答えたくない、わからない、その他		17人	35.3%	29.4%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	
年 代	女 性	18～29歳	95人	14.7%	62.1%	15.8%	5.3%	2.1%	0.0%
		30歳代	138人	18.1%	65.9%	8.7%	6.5%	0.0%	0.7%
		40歳代	161人	26.1%	58.4%	11.2%	3.1%	0.0%	1.2%
		50歳代	240人	30.0%	55.8%	9.6%	1.7%	0.4%	2.5%
		60歳代	178人	21.9%	67.4%	6.7%	0.6%	0.0%	3.4%
		70歳以上	196人	16.8%	68.4%	8.2%	1.0%	0.5%	5.1%
		18～29歳	58人	10.3%	34.5%	22.4%	25.9%	5.2%	1.7%
	男 性	30歳代	91人	11.0%	42.9%	29.7%	11.0%	3.3%	2.2%
		40歳代	135人	10.4%	55.6%	18.5%	8.9%	5.2%	1.5%
		50歳代	147人	15.0%	48.3%	25.9%	8.8%	1.4%	0.7%
		60歳代	167人	12.0%	59.9%	18.0%	6.0%	1.2%	3.0%
		70歳以上	177人	12.4%	63.8%	14.7%	4.5%	0.0%	4.5%
	婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	18.3%	60.8%	13.9%	4.2%	0.5%	2.3%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	21.7%	57.7%	9.7%	6.3%	1.7%	2.9%
		結婚しておらず、パートナーもいない	338人	15.4%	50.6%	18.6%	8.9%	3.8%	2.7%
		結婚している又はパートナーがいる	714人	22.7%	63.4%	9.0%	2.4%	0.3%	2.2%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	23.1%	60.0%	9.2%	3.1%	0.8%	3.8%
		結婚しておらず、パートナーもいない	161人	20.5%	61.5%	12.4%	3.1%	0.6%	1.9%
家 族 構 成	女 性	結婚している又はパートナーがいる	561人	12.5%	57.9%	20.1%	6.4%	0.7%	2.3%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	15.9%	52.3%	11.4%	15.9%	4.5%	0.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	170人	10.0%	41.2%	24.1%	14.7%	6.5%	3.5%
		単身世帯（一人暮らし）	253人	17.8%	50.6%	17.4%	10.3%	2.8%	1.2%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	17.5%	63.8%	13.3%	4.4%	0.4%	0.6%
		2世代世帯（親と子）	907人	19.5%	59.2%	14.4%	5.0%	1.3%	0.6%
	男 性	3世代世帯（親と子と孫）	87人	14.9%	65.5%	16.1%	3.4%	0.0%	0.0%
		その他	27人	11.1%	70.4%	14.8%	0.0%	0.0%	3.7%
	女 性	単身世帯（一人暮らし）	125人	22.4%	59.2%	14.4%	1.6%	0.8%	1.6%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	21.3%	65.5%	9.0%	2.6%	0.4%	1.1%
		2世代世帯（親と子）	526人	24.3%	62.2%	9.3%	3.2%	0.4%	0.6%
		3世代世帯（親と子と孫）	46人	15.2%	76.1%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		その他	18人	11.1%	77.8%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
		単身世帯（一人暮らし）	126人	12.7%	42.9%	19.8%	19.0%	4.8%	0.8%
暮 ら し む せ	女 性	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	12.6%	61.2%	18.9%	6.8%	0.5%	0.0%
		2世代世帯（親と子）	371人	12.4%	56.1%	21.3%	7.3%	2.4%	0.5%
		3世代世帯（親と子と孫）	39人	12.8%	53.8%	25.6%	7.7%	0.0%	0.0%
		その他	9人	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	男 性	たいへんゆとりがある	65人	16.9%	50.8%	20.0%	10.8%	1.5%	0.0%
		ややゆとりがある	285人	15.4%	65.3%	14.7%	3.5%	0.7%	0.4%
		ふつう	870人	16.4%	60.0%	16.6%	4.8%	1.3%	0.9%
		ややくるしい	401人	21.9%	59.9%	11.7%	5.2%	0.7%	0.5%
		たいへんくるしい	138人	27.5%	49.3%	8.7%	10.9%	3.6%	0.0%
	女 性	たいへんゆとりがある	30人	16.7%	56.7%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%
		ややゆとりがある	157人	20.4%	68.2%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%
		ふつう	506人	20.0%	64.2%	11.3%	2.8%	0.6%	1.2%
		ややくるしい	220人	27.7%	64.1%	5.0%	1.8%	0.5%	0.9%
		たいへんくるしい	73人	35.6%	52.1%	8.2%	4.1%	0.0%	0.0%
	男 性	たいへんゆとりがある	34人	14.7%	47.1%	20.6%	14.7%	2.9%	0.0%
		ややゆとりがある	127人	8.7%	62.2%	21.3%	5.5%	1.6%	0.8%
		ふつう	358人	11.7%	54.2%	23.7%	7.8%	2.0%	0.6%
		ややくるしい	172人	13.4%	56.4%	19.8%	9.3%	1.2%	0.0%
		たいへんくるしい	65人	18.5%	46.2%	9.2%	18.5%	7.7%	0.0%
職 業	女 性	勤め人（正規社員・職員）	657人	16.4%	53.3%	18.7%	7.8%	2.0%	1.8%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	20.7%	61.7%	10.7%	3.8%	0.7%	2.4%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	13.3%	66.7%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	19.9%	54.8%	14.5%	6.6%	1.2%	3.0%
		学生	41人	7.3%	63.4%	22.0%	7.3%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	476人	18.3%	64.5%	10.9%	2.5%	0.6%	3.2%
	男 性	その他	16人	18.8%	56.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%
		勤め人（正規社員・職員）	253人	25.3%	58.5%	11.1%	2.8%	0.4%	2.0%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	23.3%	63.8%	7.9%	3.1%	0.3%	1.6%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	15.4%	69.2%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	22.1%	60.3%	16.2%	1.5%	0.0%	0.0%
		学生	24人	4.2%	79.2%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%
学 歴	女 性	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	20.1%	65.2%	8.2%	1.9%	0.6%	4.1%
		その他	7人	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	男 性	勤め人（正規社員・職員）	396人	10.4%	50.3%	23.7%	11.1%	2.8%	1.8%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	12.1%	56.6%	18.2%	6.1%	2.0%	5.1%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	18.8%	50.0%	13.5%	10.4%	2.1%	5.2%
	女 性	学生	16人	12.5%	43.8%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	154人	13.6%	64.3%	16.9%	3.2%	0.6%	1.3%
		その他	9人	0.0%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%
	男 性	中学校	111人	10.8%	64.0%	11.7%	9.9%	1.8%	1.8%
		高等学校	510人	20.0%	59.6%	13.1%	5.7%	1.0%	0.6%
		専門学校など各種学校	212人	18.9%	59.9%	12.7%	5.7%	2.4%	0.5%
		短期大学、新制高等専門学校	218人	20.6%	65.6%	9.2%	2.8%	0.5%	1.4%
		大学	637人	17.9%	57.3%	18.1%	5.0%	1.3%	0.5%
		大学院	75人	14.7%	56.0%	21.3%	6.7%	1.3%	0.0%
学 歴	女 性	中学校	51人	9.8%	72.5%	7.8%	5.9%	0.0%	3.9%
		高等学校	305人	23.3%	64.9%	7.5%	2.3%	1.0%	1.0%
		専門学校など各種学校	144人	21.5%	64.6%	10.4%	3.5%	0.0%	0.0%
		短期大学、新制高等専門学校	194人	23.2%	65.5%	7.7%	2.1%	0.0%	1.5%
	男 性	大学	275人	24.7%	58.5%	13.5%	2.5%	0.4%	0.4%
		大学院	20人	20.0%	75.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女 性	中学校	59人	11.9%	57.6%	13.6%	13.6%	3.4%	0.0%
		高等学校	196人	14.8%	52.6%	20.9%	10.7%	1.0%	0.0%
		専門学校など各種学校	66人	12.1%	50.0%	18.2%	10.6%	7.6%	1.5%
		短期大学、新制高等専門学校	23人	0.0%	65.2%	21.7%	8.7%	4.3%	0.0%
	男 性	大学	358人	12.0%	57.0%	21.8%	7.0%	1.7%	0.6%
		大学院	55人	12.7%	49.1%	27.3%	9.1%	1.8%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問3】夫は外で働き、妻は家庭を守るべき				
			賛成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反対	無回答
全 体		1,800人	3.0%	28.2%	39.6%	27.8%	1.3%
性 別	女性	1,008人	2.0%	24.3%	41.8%	30.7%	1.3%
	男性	775人	4.3%	33.7%	36.9%	23.7%	1.4%
答えたくない、わからない、その他		17人	5.9%	11.8%	35.3%	47.1%	0.0%
年 代	18～29歳	95人	3.2%	13.7%	42.1%	40.0%	1.1%
	30歳代	138人	2.9%	31.2%	38.4%	26.1%	1.4%
	40歳代	161人	0.6%	23.6%	43.5%	32.3%	0.0%
	50歳代	240人	1.7%	22.5%	40.4%	34.6%	0.8%
	60歳代	178人	0.0%	21.3%	45.5%	31.5%	1.7%
	70歳以上	196人	4.1%	30.1%	40.8%	22.4%	2.6%
	18～29歳	58人	8.6%	15.5%	44.8%	31.0%	0.0%
	30歳代	91人	3.3%	25.3%	38.5%	31.9%	1.1%
	40歳代	135人	5.9%	31.9%	35.6%	26.7%	0.0%
	50歳代	147人	3.4%	34.0%	37.4%	25.2%	0.0%
	60歳代	167人	3.0%	37.1%	34.1%	21.6%	4.2%
	70歳以上	177人	4.0%	41.8%	36.7%	15.8%	1.7%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	2.6%	31.2%	39.2%	25.7%	1.2%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	2.9%	25.7%	38.9%	30.3%	2.3%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	4.4%	18.3%	41.4%	34.9%	0.9%
	女性	714人	1.8%	26.6%	42.0%	28.7%	0.8%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	2.3%	21.5%	40.0%	33.1%	3.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	2.5%	16.8%	41.6%	37.9%	1.2%
	男性	561人	3.7%	37.3%	35.8%	21.4%	1.8%
	結婚している又はパートナーがいる	44人	4.5%	38.6%	34.1%	22.7%	0.0%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	170人	5.9%	20.6%	41.2%	31.8%	0.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	253人	3.2%	23.3%	39.5%	32.8%	1.2%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	2.7%	34.5%	38.1%	23.4%	1.3%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	3.3%	26.9%	40.4%	28.7%	0.8%
	2世代世帯（親と子）	87人	2.3%	28.7%	41.4%	27.6%	0.0%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	0.0%	25.9%	33.3%	37.0%	3.7%
	その他	125人	0.8%	20.0%	43.2%	34.4%	1.6%
	女性	267人	1.5%	30.3%	40.1%	27.0%	1.1%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	2.7%	23.2%	42.6%	31.0%	0.6%
	2世代世帯（親と子）	46人	2.2%	21.7%	41.3%	34.8%	0.0%
	3世代世帯（親と子と孫）	18人	0.0%	22.2%	38.9%	33.3%	5.6%
	その他	126人	5.6%	27.0%	35.7%	31.0%	0.8%
	男性	206人	3.9%	40.3%	35.9%	18.4%	1.5%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	4.3%	32.3%	37.2%	25.1%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	39人	2.6%	38.5%	43.6%	15.4%	0.0%
	3世代世帯（親と子と孫）	9人	0.0%	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%
	その他	65人	6.2%	16.9%	35.4%	41.5%	0.0%
暮 ら し む き	ややゆとりがある	285人	2.1%	29.1%	39.6%	28.1%	1.1%
	ややゆとりがある	870人	2.9%	28.9%	40.6%	26.6%	1.1%
	ふつう	401人	2.7%	26.9%	40.4%	28.9%	1.0%
	ややゆるしい	138人	4.3%	31.2%	35.5%	28.3%	0.7%
	たいへんゆるしい	30人	3.3%	20.0%	33.3%	43.3%	0.0%
	女性	157人	1.3%	27.4%	41.4%	29.3%	0.6%
	ややゆとりがある	506人	2.2%	22.7%	44.5%	29.4%	1.2%
	ふつう	220人	1.4%	25.0%	37.7%	35.5%	0.5%
	ややゆるしい	73人	2.7%	27.4%	42.5%	26.0%	1.4%
	たいへんゆるしい	34人	8.8%	14.7%	38.2%	38.2%	0.0%
	男性	127人	3.1%	31.5%	37.0%	26.8%	1.6%
	ややゆとりがある	358人	3.6%	38.0%	35.5%	21.8%	1.1%
	ふつう	172人	4.7%	29.7%	43.6%	20.3%	1.7%
	ややゆるしい	65人	6.2%	35.4%	27.7%	30.8%	0.0%
	たいへんゆるしい	657人	3.8%	25.3%	35.0%	34.6%	1.4%
職 業	勤め人（正規社員・職員）	420人	2.1%	23.3%	44.0%	29.5%	1.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	15人	0.0%	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	166人	2.4%	34.3%	35.5%	27.1%	0.6%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	41人	0.0%	12.2%	61.0%	24.4%	2.4%
	学生	476人	3.4%	36.6%	39.5%	18.9%	1.7%
	無職（家事専業、定年後も含む）	16人	0.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%
	その他	253人	2.4%	13.8%	36.8%	45.8%	1.2%
	女性	318人	1.6%	21.7%	44.0%	32.1%	0.6%
	勤め人（正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	13人	0.0%	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	68人	0.0%	35.3%	26.5%	36.8%	1.5%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	24人	0.0%	4.2%	66.7%	25.0%	4.2%
	学生	319人	2.8%	35.4%	42.6%	17.6%	1.6%
	無職（家事専業、定年後も含む）	7人	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
	その他	396人	4.5%	32.8%	33.8%	27.3%	1.5%
	男性	99人	4.0%	29.3%	44.4%	20.2%	2.0%
	勤め人（正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	2人	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	96人	4.2%	34.4%	42.7%	18.8%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	16人	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	学生	154人	4.5%	39.0%	33.1%	21.4%	1.9%
	無職（家事専業、定年後も含む）	9人	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
学 歴	中学校	111人	3.6%	32.4%	41.4%	20.7%	1.8%
	高等学校	510人	5.3%	29.8%	39.2%	24.5%	1.2%
	専門学校など各種学校	212人	1.9%	21.7%	42.9%	32.1%	1.4%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	0.9%	24.8%	43.6%	30.3%	0.5%
	大学	637人	2.2%	30.5%	38.0%	28.4%	0.9%
	大学院	75人	1.3%	21.3%	36.0%	41.3%	0.0%
	女性	51人	2.0%	41.2%	39.2%	17.6%	0.0%
	中学校	305人	3.6%	29.2%	39.3%	26.6%	1.3%
	高等学校	144人	0.7%	18.8%	45.1%	33.3%	2.1%
	専門学校など各種学校	194人	0.5%	24.2%	43.8%	30.9%	0.5%
	短期大学、新制高等専門学校	275人	1.8%	20.7%	42.9%	34.2%	0.4%
	大学	20人	0.0%	5.0%	35.0%	60.0%	0.0%
	大学院	59人	5.1%	25.4%	44.1%	22.0%	3.4%
	男性	196人	7.7%	31.1%	39.3%	20.9%	1.0%
	中学校	66人	4.5%	28.8%	39.4%	27.3%	0.0%
	高等学校	23人	4.3%	30.4%	43.5%	21.7%	0.0%
	専門学校など各種学校	358人	2.5%	38.3%	33.8%	24.0%	1.4%
	短期大学、新制高等専門学校	55人	1.8%	27.3%	36.4%	34.5%	0.0%
	大学						
	大学院						

項 目		回 答 者 数	【問3-1】賛成の理由						
			日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	自分の両親も役割分担をしていたから	夫が外で働いていた方が、多くの収入を得られると思うから	妻が家庭を守っていた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	家事・子育て・介護と両立しながら働き続けることは大変だと思うから	その他	無回答
全 体		562人	13.7%	9.6%	33.3%	51.6%	52.0%	5.9%	1.1%
性 別	女性	265人	9.8%	10.2%	37.4%	47.9%	59.6%	6.4%	1.1%
	男性	294人	17.0%	9.2%	29.9%	54.8%	45.2%	5.1%	1.0%
答えたくない、わからない、その他		3人	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%
年 代	女 性	18～29歳	16人	6.3%	37.5%	25.0%	25.0%	75.0%	6.3%
		30歳代	47人	4.3%	8.5%	51.1%	40.4%	59.6%	6.4%
		40歳代	39人	5.1%	15.4%	43.6%	43.6%	69.2%	10.3%
		50歳代	58人	8.6%	5.2%	34.5%	53.4%	62.1%	6.9%
		60歳代	38人	15.8%	2.6%	31.6%	60.5%	57.9%	10.5%
		70歳以上	67人	14.9%	10.4%	32.8%	49.3%	49.3%	1.5%
		18～29歳	14人	14.3%	7.1%	42.9%	21.4%	42.9%	7.1%
	男 性	30歳代	26人	11.5%	15.4%	26.9%	30.8%	57.7%	7.7%
		40歳代	51人	15.7%	7.8%	33.3%	52.9%	45.1%	11.8%
		50歳代	55人	18.2%	3.6%	23.6%	67.3%	43.6%	5.5%
		60歳代	67人	13.4%	9.0%	31.3%	58.2%	47.8%	3.0%
		70歳以上	81人	22.2%	12.3%	29.6%	58.0%	40.7%	1.2%
		結婚している又はパートナーがいる	435人	12.9%	8.7%	34.7%	52.9%	54.0%	6.0%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	50人	18.0%	4.0%	38.0%	54.0%	44.0%	6.0%
婚 姻 関 係		結婚しておらず、パートナーもいない	77人	15.6%	18.2%	22.1%	42.9%	45.5%	5.2%
女 性	結婚している又はパートナーがいる	203人	9.9%	8.4%	38.9%	46.3%	62.6%	5.9%	
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	31人	12.9%	6.5%	38.7%	64.5%	48.4%	6.5%	
	結婚しておらず、パートナーもいない	31人	6.5%	25.8%	25.8%	41.9%	51.6%	9.7%	
男 性	結婚している又はパートナーがいる	230人	15.2%	9.1%	31.3%	58.7%	46.5%	6.1%	
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	19人	26.3%	0.0%	36.8%	36.8%	36.8%	5.3%	
	家 族 構 成		結婚しておらず、パートナーもいない	45人	22.2%	13.3%	20.0%	42.2%	42.2%
女 性	単身世帯（一人暮らし）	67人	14.9%	9.0%	25.4%	47.8%	49.3%	4.5%	
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	177人	11.9%	7.3%	36.2%	53.1%	52.0%	6.8%	
	2世代世帯（親と子）	274人	13.5%	11.7%	34.7%	52.2%	52.9%	5.8%	
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	11.1%	7.4%	29.6%	55.6%	66.7%	7.4%	
	その他	7人	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	
男 性	単身世帯（一人暮らし）	26人	11.5%	15.4%	26.9%	61.5%	50.0%	11.5%	
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	85人	11.8%	5.9%	38.8%	43.5%	60.0%	5.9%	
	2世代世帯（親と子）	136人	8.1%	12.5%	39.0%	47.1%	62.5%	6.6%	
	3世代世帯（親と子と孫）	11人	9.1%	0.0%	45.5%	54.5%	63.6%	0.0%	
	その他	4人	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	
女 性	単身世帯（一人暮らし）	41人	17.1%	4.9%	24.4%	39.0%	48.8%	0.0%	
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	91人	12.1%	8.8%	34.1%	61.5%	45.1%	6.6%	
	2世代世帯（親と子）	136人	18.4%	11.0%	30.9%	57.4%	43.4%	5.1%	
	3世代世帯（親と子と孫）	16人	12.5%	12.5%	18.8%	56.3%	68.8%	12.5%	
	その他	3人	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
暮 ら し む き	女 性	たいへんゆとりがある	15人	0.0%	6.7%	40.0%	33.3%	60.0%	6.7%
		ややゆとりがある	89人	12.4%	10.1%	34.8%	61.8%	56.2%	10.1%
		ふつう	276人	13.8%	10.1%	31.2%	54.3%	50.4%	5.8%
		ややくるしい	119人	16.0%	10.1%	34.5%	47.9%	55.5%	4.2%
		たいへんくるしい	49人	12.2%	8.2%	36.7%	36.7%	51.0%	2.0%
		たいへんゆとりがある	7人	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%
		ややゆとりがある	45人	2.2%	11.1%	46.7%	57.8%	66.7%	4.4%
	男 性	ふつう	126人	12.7%	11.9%	35.7%	52.4%	53.2%	6.3%
		ややくるしい	58人	12.1%	8.6%	39.7%	41.4%	69.0%	6.9%
		たいへんくるしい	22人	4.5%	4.5%	27.3%	27.3%	68.2%	4.5%
		たいへんゆとりがある	8人	0.0%	0.0%	50.0%	37.5%	62.5%	0.0%
		ややゆとりがある	44人	22.7%	9.1%	22.7%	65.9%	45.5%	15.9%
		ふつう	149人	14.8%	8.7%	27.5%	55.7%	48.3%	4.7%
		ややくるしい	59人	18.6%	11.9%	30.5%	54.2%	42.4%	1.7%
職 業		たいへんくるしい	27人	18.5%	11.1%	44.4%	44.4%	37.0%	0.0%
女 性	勤め人（正規社員・職員）	191人	13.6%	9.4%	26.7%	51.8%	48.7%	7.3%	
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	107人	15.0%	11.2%	35.5%	50.5%	55.1%	7.5%	
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	会社経営者・自営業主または家族従業員	61人	9.8%	6.6%	34.4%	52.5%	45.9%	4.9%	
	学生	5人	0.0%	40.0%	60.0%	20.0%	60.0%	0.0%	
	無職（家事専業、定年後も含む）	190人	14.7%	8.9%	36.8%	53.7%	55.3%	4.2%	
	その他	2人	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
	勤め人（正規社員・職員）	41人	12.2%	12.2%	26.8%	41.5%	51.2%	7.3%	
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	74人	12.2%	13.5%	37.8%	56.8%	60.8%	9.5%	
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
男 性	会社経営者・自営業主または家族従業員	24人	0.0%	4.2%	54.2%	54.2%	54.2%	0.0%	
	学生	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	無職（家事専業、定年後も含む）	122人	9.8%	8.2%	37.7%	45.1%	63.1%	5.7%	
	その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	勤め人（正規社員・職員）	148人	14.2%	8.8%	27.0%	54.7%	48.0%	6.8%	
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	33人	21.2%	6.1%	30.3%	36.4%	42.4%	3.0%	
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	1人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	会社経営者・自営業主または家族従業員	37人	16.2%	8.1%	21.6%	51.4%	40.5%	8.1%	
	学生	4人	0.0%	25.0%	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	
	無職（家事専業、定年後も含む）	67人	22.4%	10.4%	35.8%	68.7%	41.8%	1.5%	
	その他	2人	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
学 歴	女 性	中学校	40人	15.0%	5.0%	25.0%	37.5%	45.0%	2.5%
		高等学校	179人	14.5%	6.1%	34.6%	48.6%	48.0%	6.7%
		専門学校など各種学校	50人	14.0%	20.0%	14.0%	44.0%	54.0%	8.0%
		短期大学、新制高等専門学校	56人	10.7%	14.3%	48.2%	48.2%	69.6%	7.1%
		大学	208人	12.5%	9.6%	35.1%	61.5%	53.4%	5.3%
		大学院	17人	17.6%	17.6%	29.4%	47.1%	41.2%	5.9%
		中学校	22人	13.6%	9.1%	22.7%	31.8%	59.1%	4.5%
		高等学校	100人	11.0%	5.0%	44.0%	49.0%	54.0%	6.0%
	男 性	専門学校など各種学校	28人	10.7%	21.4%	14.3%	42.9%	57.1%	7.1%
		短期大学、新制高等専門学校	48人	10.4%	14.6%	50.0%	45.8%	77.1%	8.3%
		大学	62人	4.8%	11.3%	35.5%	54.8%	59.7%	6.5%
		大学院	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		中学校	18人	16.7%	0.0%	27.8%	44.4%	27.8%	0.0%
		高等学校	76人	18.4%	7.9%	23.7%	47.4%	40.8%	6.6%
		専門学校など各種学校	22人	18.2%	18.2%	13.6%	45.5%	50.0%	9.1%
		短期大学、新制高等専門学校	8人	12.5%	12.5%	37.5%	62.5%	25.0%	0.0%
		大学	146人	15.8%	8.9%	34.9%	64.4%	50.7%	4.8%
		大学院	16人	18.8%	18.8%	31.3%	43.8%	43.8%	6.3%

項 目		回 答 者 数	【問3－2】 反対の理由								
			男女平等に 反すると思 うから	自分の両親 も外で働い ていたから	夫も妻も働 いた方が、 多くの収入 が得られる と思うから	妻が働いて 能力を発揮 した方が、 個人や社会 にとって良 いと思うか ら	家事・子育 て・介護と 両立しなが ら働き続け ることは可 能だと思っ たから	固定的な夫 と妻の役割 分担の意識 を押しつけ るべきでは ないから	その他	無回答	
全 体		1,214人	32.1%	13.8%	36.8%	22.2%	17.9%	69.2%	5.4%	1.7%	
性 別	女性	730人	32.3%	14.8%	37.1%	19.3%	18.8%	76.2%	5.3%	1.6%	
	男性	470人	31.7%	12.3%	36.8%	27.0%	16.4%	58.1%	5.3%	1.9%	
答えたくない、わからない、その他		14人	35.7%	7.1%	21.4%	7.1%	21.4%	78.6%	14.3%	0.0%	
年 代	女性	18～29歳	78人	38.5%	37.2%	47.4%	16.7%	16.7%	85.9%	5.1%	0.0%
	女性	30歳代	89人	29.2%	16.9%	40.4%	14.6%	18.0%	78.7%	11.2%	0.0%
		40歳代	122人	28.7%	13.9%	31.1%	18.0%	23.0%	82.8%	8.2%	1.6%
		50歳代	180人	32.8%	15.0%	37.8%	18.9%	17.8%	77.8%	2.8%	1.1%
		60歳代	137人	31.4%	5.8%	37.2%	22.6%	16.8%	73.0%	5.1%	2.2%
		70歳以上	124人	34.7%	9.7%	33.1%	22.6%	20.2%	62.9%	2.4%	4.0%
	男性	18～29歳	44人	38.6%	36.4%	52.3%	31.8%	22.7%	52.3%	0.0%	0.0%
		30歳代	64人	20.3%	7.8%	35.9%	9.4%	10.9%	70.3%	7.8%	0.0%
		40歳代	84人	25.0%	15.5%	45.2%	34.5%	14.3%	60.7%	11.9%	1.2%
		50歳代	92人	31.5%	7.6%	33.7%	28.3%	15.2%	57.6%	4.3%	2.2%
		60歳代	93人	33.3%	7.5%	29.0%	26.9%	15.1%	57.0%	4.3%	3.2%
		70歳以上	93人	40.9%	10.8%	33.3%	29.0%	21.5%	51.6%	2.2%	3.2%
		その他	833人	32.7%	11.8%	38.7%	23.9%	18.1%	70.0%	4.7%	1.6%
婚 姻 関 係	女性	結婚している又はパートナーがいる	121人	24.0%	13.2%	30.6%	18.2%	19.8%	66.9%	5.0%	2.5%
		結婚してはいるが、離別・死別した	258人	34.1%	20.2%	34.1%	18.2%	16.3%	67.8%	8.1%	1.9%
	女性	結婚している又はパートナーがいる	505人	31.7%	12.5%	38.6%	20.8%	18.6%	76.8%	4.6%	1.4%
		結婚してはいるが、離別・死別した	95人	26.3%	14.7%	31.6%	20.0%	22.1%	70.5%	2.1%	3.2%
		結婚してはいるが、パートナーもいない	128人	39.1%	23.4%	35.9%	12.5%	17.2%	78.1%	10.9%	1.6%
		結婚してはいるが、パートナーがいない	321人	34.3%	10.9%	39.3%	29.3%	17.1%	58.9%	5.0%	1.9%
		結婚してはいるが、パートナーがいない	25人	16.0%	8.0%	28.0%	12.0%	12.0%	52.0%	16.0%	0.0%
	男性	結婚している又はパートナーがいる	124人	28.2%	16.9%	32.3%	24.2%	15.3%	57.3%	4.0%	2.4%
		結婚してはいるが、離別・死別した	183人	32.8%	18.0%	31.7%	23.0%	15.8%	66.7%	4.9%	2.7%
		結婚してはいるが、パートナーもいない	292人	32.9%	9.6%	37.0%	21.9%	16.8%	63.0%	2.4%	2.4%
		結婚してはいるが、パートナーがいない	626人	31.0%	14.9%	38.3%	22.0%	18.7%	73.8%	6.5%	1.1%
		結婚してはいるが、パートナーがいない	60人	35.0%	15.0%	46.7%	25.0%	18.3%	76.7%	8.3%	0.0%
家 族 構 成	女性	単身世帯（一人暮らし）	19人	47.4%	10.5%	31.6%	15.8%	26.3%	52.6%	10.5%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	97人	37.1%	21.6%	33.0%	20.6%	17.5%	73.2%	3.1%	3.1%
		2世代世帯（親と子）	179人	30.7%	10.1%	40.8%	17.3%	17.3%	67.6%	3.4%	2.2%
		3世代世帯（親と子と孫）	387人	31.0%	15.5%	36.7%	19.1%	19.1%	81.1%	7.0%	1.0%
		その他	35人	34.3%	14.3%	42.9%	25.7%	25.7%	88.6%	2.9%	0.0%
	男性	単身世帯（一人暮らし）	13人	53.8%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	84人	27.4%	14.3%	31.0%	26.2%	14.3%	59.5%	7.1%	2.4%
		2世代世帯（親と子）	112人	36.6%	8.9%	31.3%	29.5%	15.2%	55.4%	0.9%	2.7%
		3世代世帯（親と子と孫）	231人	30.7%	13.9%	41.6%	27.3%	17.7%	61.5%	5.2%	1.3%
		その他	23人	34.8%	17.4%	52.2%	26.1%	8.7%	56.5%	17.4%	0.0%
暮 ら し む せ	女性	たいへんゆとりがある	6人	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
		ややゆとりがある	50人	40.0%	14.0%	32.0%	42.0%	24.0%	70.0%	4.0%	0.0%
		ふつう	193人	31.1%	11.9%	41.5%	25.4%	19.7%	69.4%	4.7%	3.1%
		ややゆるしい	584人	30.5%	13.7%	36.0%	21.4%	17.8%	71.2%	5.7%	1.0%
		たいへんくるしい	278人	35.6%	15.5%	39.6%	18.7%	16.5%	71.6%	5.4%	1.4%
	男性	たいへんゆとりがある	88人	33.0%	13.6%	29.5%	19.3%	15.9%	53.4%	6.8%	3.4%
		ややゆとりがある	23人	34.8%	8.7%	39.1%	34.8%	21.7%	69.6%	8.7%	0.0%
		ふつう	111人	36.9%	14.4%	45.9%	23.4%	17.1%	82.0%	3.6%	1.8%
		ややゆるしい	374人	28.3%	12.3%	32.9%	18.4%	18.4%	77.5%	6.1%	1.6%
		たいへんくるしい	161人	39.8%	21.1%	43.5%	16.1%	21.1%	78.3%	5.0%	0.6%
		たいへんゆとりがある	50人	30.0%	16.0%	30.0%	18.0%	16.0%	54.0%	4.0%	4.0%
		ややゆとりがある	26人	42.3%	19.2%	26.9%	50.0%	26.9%	69.2%	0.0%	0.0%
職 業	女性	勤め人（正規社員・職員）	81人	23.5%	8.6%	34.6%	28.4%	23.5%	51.9%	6.2%	4.9%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	205人	34.1%	16.1%	42.0%	26.8%	15.6%	60.0%	3.9%	0.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	110人	30.0%	8.2%	35.5%	23.6%	10.9%	60.9%	6.4%	2.7%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	38人	36.8%	10.5%	28.9%	21.1%	15.8%	52.6%	10.5%	2.6%
		その他	23人	34.8%	8.7%	39.1%	34.8%	21.7%	69.6%	8.7%	0.0%
	男性	勤め人（正規社員・職員）	209人	31.1%	18.7%	43.5%	17.7%	20.1%	80.4%	7.2%	1.0%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	242人	31.4%	12.8%	36.8%	19.8%	19.8%	77.7%	5.0%	0.8%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	12人	41.7%	25.0%	25.0%	8.3%	8.3%	91.7%	8.3%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	43人	25.6%	9.3%	25.6%	11.6%	23.3%	76.7%	4.7%	2.3%
		学生	22人	36.4%	45.5%	40.9%	27.3%	22.7%	72.7%	9.1%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	192人	35.9%	10.4%	34.4%	22.4%	14.1%	70.3%	3.1%	3.1%
		その他	7人	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%
学 歴	女性	勤め人（正規社員・職員）	242人	28.9%	11.6%	43.0%	26.9%	16.5%	58.3%	6.6%	0.8%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	64人	35.9%	12.5%	23.4%	18.8%	10.9%	60.9%	4.7%	1.6%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	59人	25.4%	11.9%	35.6%	30.5%	16.9%	64.4%	3.4%	3.4%
		学生	12人	50.0%	41.7%	41.7%	41.7%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	男性	勤め人（正規社員・職員）	84人	40.5%	11.9%	32.1%	29.8%	17.9%	54.8%	2.4%	3.6%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	7人	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	19人	47.4%	26.3%	47.4%	10.5%	15.8%	100.0%	5.3%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	39人	41.0%	15.4%	38.5%	23.1%	17.9%	53.8%	0.0%	2.6%
		学生	118人	23.7%	16.1%	31.4%	20.3%	16.1%	57.6%	2.5%	2.5%
		無職（家事専業、定年後も含む）	44人	25.0%	18.2%	38.6%	18.2%	9.1%	63.6%	4.5%	0.0%
		その他	15人	26.7%	20.0%	53.3%	40.0%	33.3%	53.3%	6.7%	0.0%
学 校	女性	中学校	207人	34.8%	8.2%	38.6%	30.4%	15.9%	58.9%	6.8%	1.9%
		高等学校	39人	41.0%	12.8%	38.5%	41.0%	20.5%	59.0%	10.3%	0.0%
		専門学校など各種学校	69人	33.3%	14.5%	37.7%	17.4%	17.4%	44.9%	1.4%	4.3%
		短期大学、新制高等専門学校	325人	30.2%	12.9%	31.4%	16.0%	16.3%	69.8%	3.4%	2.2%
		大学	159人	31.4%	18.9%	41.5%	18.9%	18.2%	71.7%	7.5%	1.9%
	男性	中学校	161人	26.7%	10.6%	38.5%	24.8%	23.0%	75.8%	2.5%	0.6%
		高等学校	423人	34.8%	13.0%	38.5%	26.7%	17.0%	70.0%	7.6%	1.2%
		専門学校など各種学校	58人	43.1%	17.2%	41.4%	31.0%	19.0%	72.4%	8.6%	0.0%
		短期大学、新制高等専門学校	29人	24.1%	13.8%	37.9%	10.3%	13.8%	34.5%	3.4%	6.9%
		大学	201人	33.8%	11.4%	32.3%	13.9%	16.4%	77.1%	3.5%	2.0%
		専門学校など各種学校	113人	33.6%	19.5%	42.5%	19.5%	22.1%	74.3%	8.8%	2.7%
		その他	145人	26.2%	9.7%	37.2%	23.4%	22.1%	77.9%	2.1%	0.7%

項 目		回 答 者 数	【問4】考え方についてどう思うか (1) 希望する夫婦は戸籍上、別々の姓であっても構わない					
			賛成	どちらか といえば賛成	どちらとも いえない	どちらか といえば反対	反対	無回答
全 体		1,800人	37.3%	20.5%	23.2%	9.4%	7.8%	1.8%
性 別	女性	1,008人	41.2%	20.9%	22.4%	7.9%	5.3%	2.3%
	男性	775人	32.5%	20.1%	24.0%	11.1%	11.0%	1.3%
答えたくない、わからない、その他		17人	29.4%	11.8%	29.4%	17.6%	11.8%	0.0%
年 代	18～29歳	95人	52.6%	27.4%	8.4%	6.3%	4.2%	1.1%
	30歳代	138人	54.3%	21.7%	13.8%	5.1%	4.3%	0.7%
	40歳代	161人	53.4%	21.7%	14.9%	6.2%	2.5%	1.2%
	50歳代	240人	47.5%	19.2%	23.3%	4.6%	4.2%	1.3%
	60歳代	178人	32.0%	20.8%	28.7%	10.7%	5.6%	2.2%
	70歳以上	196人	16.8%	18.9%	34.7%	13.8%	9.7%	6.1%
	18～29歳	58人	37.9%	24.1%	24.1%	8.6%	5.2%	0.0%
	30歳代	91人	37.4%	19.8%	23.1%	7.7%	11.0%	1.1%
	40歳代	135人	40.0%	15.6%	25.9%	6.7%	11.9%	0.0%
	50歳代	147人	34.7%	19.7%	22.4%	12.9%	8.8%	1.4%
	60歳代	167人	31.7%	22.8%	24.0%	9.6%	9.6%	2.4%
	70歳以上	177人	21.5%	20.3%	24.3%	16.9%	15.3%	1.7%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	36.4%	20.1%	24.5%	9.7%	7.8%	1.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	32.0%	18.3%	24.6%	9.7%	10.9%	4.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	43.8%	23.1%	17.8%	8.0%	6.2%	1.2%
	女性 結婚している又はパートナーがいる	714人	39.8%	21.7%	23.9%	7.7%	5.2%	1.7%
	女性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	34.6%	16.9%	24.6%	9.2%	8.5%	6.2%
	女性 結婚しておらず、パートナーもいない	161人	52.8%	20.5%	14.3%	8.1%	3.1%	1.2%
	男性 結婚している又はパートナーがいる	561人	32.1%	18.4%	24.8%	12.5%	10.9%	1.4%
	男性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	22.7%	22.7%	25.0%	11.4%	18.2%	0.0%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	36.5%	25.3%	21.2%	6.5%	9.4%	1.2%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	41.5%	20.6%	17.0%	10.3%	9.1%	1.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	33.1%	22.1%	23.8%	10.5%	9.3%	1.3%
	2世代世帯（親と子）	907人	39.4%	20.7%	23.7%	8.5%	6.3%	1.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	34.5%	13.8%	33.3%	11.5%	6.9%	0.0%
	その他	27人	25.9%	22.2%	29.6%	3.7%	14.8%	3.7%
	女性 単身世帯（一人暮らし）	125人	42.4%	23.2%	15.2%	11.2%	6.4%	1.6%
	女性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	36.7%	21.3%	23.6%	9.4%	7.1%	1.9%
	女性 2世代世帯（親と子）	526人	44.9%	20.9%	21.5%	7.0%	3.8%	1.9%
	女性 3世代世帯（親と子と孫）	46人	39.1%	10.9%	41.3%	2.2%	6.5%	0.0%
	女性 その他	18人	16.7%	27.8%	33.3%	5.6%	11.1%	5.6%
	男性 単身世帯（一人暮らし）	126人	40.5%	18.3%	19.0%	8.7%	11.9%	1.6%
	男性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	27.7%	23.3%	24.3%	12.1%	12.1%	0.5%
	男性 2世代世帯（親と子）	371人	32.3%	20.5%	26.7%	10.2%	9.4%	0.8%
	男性 3世代世帯（親と子と孫）	39人	30.8%	17.9%	20.5%	23.1%	7.7%	0.0%
	男性 その他	9人	44.4%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
暮 ら し む せ	たいへんゆとりがある	65人	52.3%	10.8%	18.5%	12.3%	6.2%	0.0%
	ややゆとりがある	285人	39.3%	24.2%	19.3%	7.4%	8.1%	1.8%
	ふつう	870人	35.6%	23.3%	24.0%	9.4%	6.7%	0.9%
	ややくるしい	401人	38.2%	17.7%	24.2%	10.0%	8.0%	2.0%
	たいへんくるしい	138人	37.7%	11.6%	27.5%	9.4%	10.9%	2.9%
	女性 たいへんゆとりがある	30人	53.3%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%
	女性 ややゆとりがある	157人	45.9%	25.5%	19.7%	2.5%	4.5%	1.9%
	女性 ふつう	506人	38.9%	22.9%	23.7%	8.7%	4.5%	1.2%
	女性 ややくるしい	220人	41.8%	19.5%	22.7%	8.2%	5.0%	2.7%
	女性 たいへんくるしい	73人	45.2%	8.2%	23.3%	9.6%	9.6%	4.1%
	男性 たいへんゆとりがある	34人	50.0%	8.8%	23.5%	11.8%	5.9%	0.0%
	男性 ややゆとりがある	127人	31.5%	22.0%	18.9%	13.4%	12.6%	1.6%
職 業	ふつう	358人	31.0%	24.0%	24.6%	10.3%	9.5%	0.6%
	ややくるしい	172人	34.3%	16.3%	25.0%	11.6%	11.6%	1.2%
	たいへんくるしい	65人	29.2%	15.4%	32.3%	9.2%	12.3%	1.5%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	43.2%	20.9%	20.2%	7.8%	7.2%	0.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	39.5%	21.4%	24.3%	7.6%	5.2%	1.9%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	60.0%	13.3%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	37.3%	22.3%	21.1%	10.8%	7.8%	0.6%
	学生	41人	34.1%	36.6%	17.1%	7.3%	2.4%	2.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	27.1%	17.6%	27.1%	13.2%	11.6%	3.4%
	その他	16人	31.3%	18.8%	37.5%	0.0%	6.3%	6.3%
	女性 勤め人（正規社員・職員）	253人	56.9%	20.9%	12.6%	5.9%	3.2%	0.4%
	女性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	43.4%	22.3%	23.3%	6.6%	2.5%	1.9%
	女性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	61.5%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
	女性 会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	42.6%	22.1%	22.1%	10.3%	1.5%	1.5%
	女性 学生	24人	41.7%	37.5%	12.5%	4.2%	0.0%	4.2%
	女性 無職（家事専業、定年後も含む）	319人	25.7%	18.2%	30.1%	11.0%	11.0%	4.1%
	女性 その他	7人	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 勤め人（正規社員・職員）	396人	34.6%	21.0%	24.5%	9.1%	9.8%	1.0%
	男性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	28.3%	19.2%	28.3%	9.1%	13.1%	2.0%
	男性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性 会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	33.3%	22.9%	19.8%	11.5%	12.5%	0.0%
	男性 学生	16人	25.0%	37.5%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%
	男性 無職（家事専業、定年後も含む）	154人	29.9%	16.2%	21.4%	18.2%	12.3%	1.9%
	男性 その他	9人	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	11.1%
学 歴	中学校	111人	19.8%	18.9%	35.1%	12.6%	9.0%	4.5%
	高等学校	510人	32.0%	18.2%	28.0%	11.2%	8.4%	2.2%
	専門学校など各種学校	212人	44.3%	20.8%	19.3%	8.0%	6.6%	0.9%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	36.2%	25.2%	25.2%	8.3%	4.6%	0.5%
	大学	637人	40.7%	22.3%	18.8%	8.8%	8.6%	0.8%
	大学院	75人	61.3%	14.7%	17.3%	4.0%	2.7%	0.0%
	女性 中学校	51人	15.7%	19.6%	41.2%	11.8%	7.8%	3.9%
	女性 高等学校	305人	33.4%	17.4%	29.2%	10.2%	6.6%	3.3%
	女性 専門学校など各種学校	144人	47.9%	19.4%	18.1%	7.6%	5.6%	1.4%
	女性 短期大学、新制高等専門学校	194人	37.6%	23.7%	25.3%	8.8%	4.1%	0.5%
	女性 大学	275人	51.6%	26.2%	13.1%	4.7%	3.6%	0.7%
	女性 大学院	20人	90.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	男性 中学校	59人	23.7%	18.6%	30.5%	13.6%	8.5%	5.1%
	男性 高等学校	196人	29.1%	20.4%	26.5%	12.2%	11.2%	0.5%
	男性 専門学校など各種学校	66人	37.9%	24.2%	19.7%	9.1%	9.1%	0.0%
	男性 短期大学、新制高等専門学校	23人	26.1%	34.8%	26.1%	4.3%	8.7%	0.0%
	男性 大学	358人	32.4%	19.3%	23.2%	11.7%	12.6%	0.8%
	男性 大学院	55人	50.9%	20.0%	21.8%	5.5%	1.8%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問4】考え方についてどう思うか (2) 結婚後、通称として旧姓使用が可能な範囲が広がる方がよい					
			賛成	どちらか いえば賛成	どちらとも いえない	どちらか いえば反対	反対	無回答
全 体		1,800人	41.4%	25.1%	22.2%	4.2%	4.3%	2.8%
性 別	女性	1,008人	44.5%	24.1%	21.6%	3.5%	2.9%	3.4%
	男性	775人	37.8%	26.3%	23.0%	5.2%	5.9%	1.8%
答えたくない、わからない、その他		17人	23.5%	23.5%	17.6%	5.9%	17.6%	11.8%
年 代	18～29歳	95人	52.6%	29.5%	13.7%	1.1%	2.1%	1.1%
	30歳代	138人	60.1%	23.9%	10.9%	2.2%	1.4%	1.4%
	40歳代	161人	57.1%	21.7%	14.9%	1.9%	1.9%	2.5%
	50歳代	240人	50.8%	24.2%	17.5%	3.8%	2.5%	1.3%
	60歳代	178人	38.8%	26.4%	25.8%	2.2%	3.4%	3.4%
	70歳以上	196人	16.8%	21.4%	39.8%	7.7%	5.1%	9.2%
	18～29歳	58人	46.6%	19.0%	25.9%	3.4%	5.2%	0.0%
	30歳代	91人	45.1%	26.4%	18.7%	4.4%	4.4%	1.1%
	40歳代	135人	45.2%	28.1%	19.3%	2.2%	4.4%	0.7%
	50歳代	147人	42.2%	27.9%	19.7%	6.8%	2.7%	0.7%
	60歳代	167人	37.1%	28.1%	23.4%	4.2%	4.8%	2.4%
	70歳以上	177人	22.6%	24.3%	29.4%	7.9%	11.9%	4.0%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	41.7%	25.0%	22.2%	4.4%	4.0%	2.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	33.1%	20.6%	31.4%	4.6%	5.1%	5.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	44.7%	27.5%	17.5%	3.3%	5.0%	2.1%
	女性	714人	45.0%	24.6%	21.1%	3.6%	2.5%	3.1%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	33.1%	19.2%	33.1%	4.6%	4.6%	5.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	52.2%	25.5%	14.9%	1.9%	3.1%	2.5%
	男性	561人	38.1%	25.5%	23.5%	5.5%	5.5%	1.8%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	31.8%	25.0%	27.3%	4.5%	6.8%	4.5%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	38.2%	29.4%	20.0%	4.1%	7.1%	1.2%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	44.3%	20.9%	22.1%	3.6%	5.9%	3.2%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	36.0%	26.3%	25.7%	3.4%	4.8%	3.8%
	2世代世帯（親と子）	907人	44.4%	26.6%	19.6%	4.5%	3.4%	1.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	39.1%	23.0%	26.4%	5.7%	4.6%	1.1%
	その他	27人	37.0%	11.1%	37.0%	7.4%	3.7%	3.7%
	女性	125人	46.4%	19.2%	24.8%	2.4%	4.0%	3.2%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	39.3%	24.0%	25.1%	3.0%	3.4%	5.2%
	2世代世帯（親と子）	526人	48.7%	25.7%	17.5%	4.0%	2.5%	1.7%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	34.8%	26.1%	30.4%	4.3%	2.2%	2.2%
	その他	18人	33.3%	11.1%	38.9%	5.6%	5.6%	5.6%
	男性	126人	42.1%	23.0%	19.8%	4.8%	7.9%	2.4%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	31.6%	29.6%	26.7%	3.9%	6.8%	1.5%
	2世代世帯（親と子）	371人	39.4%	27.8%	22.6%	5.1%	4.0%	1.1%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	46.2%	17.9%	20.5%	7.7%	7.7%	0.0%
	その他	9人	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
暮 ら し む せ	たいへんゆとりがある	65人	56.9%	10.8%	21.5%	1.5%	7.7%	1.5%
	ややゆとりがある	285人	48.8%	30.2%	13.7%	2.1%	2.8%	2.5%
	ふつう	870人	40.1%	24.9%	24.7%	4.6%	3.9%	1.7%
	ややくるしい	401人	42.4%	25.7%	20.0%	4.7%	4.7%	2.5%
	たいへんくるしい	138人	29.7%	21.7%	32.6%	5.8%	4.3%	5.8%
	女性	30人	66.7%	6.7%	23.3%	0.0%	3.3%	0.0%
	たいへんゆとりがある	157人	52.9%	28.7%	12.1%	1.9%	1.9%	2.5%
	ふつう	506人	41.9%	23.3%	25.9%	4.3%	2.4%	2.2%
	ややくるしい	220人	46.8%	26.8%	16.8%	2.7%	3.6%	3.2%
	たいへんくるしい	73人	34.2%	17.8%	27.4%	5.5%	6.8%	8.2%
	男性	34人	50.0%	14.7%	20.6%	2.9%	8.8%	2.9%
	たいへんゆとりがある	127人	43.3%	32.3%	15.7%	2.4%	3.9%	2.4%
	ふつう	358人	38.0%	27.4%	23.2%	4.7%	5.9%	0.8%
	ややくるしい	172人	37.8%	23.8%	23.8%	7.6%	5.8%	1.2%
職 業	たいへんくるしい	65人	24.6%	26.2%	38.5%	6.2%	1.5%	3.1%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	49.0%	25.7%	18.0%	3.2%	3.2%	0.9%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	39.8%	25.2%	26.0%	3.1%	2.9%	3.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	41.0%	25.9%	19.3%	5.4%	5.4%	3.0%
	学生	41人	46.3%	26.8%	17.1%	4.9%	2.4%	2.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	31.7%	23.5%	26.7%	6.3%	7.1%	4.6%
	その他	16人	25.0%	31.3%	31.3%	0.0%	6.3%	6.3%
	女性	253人	61.3%	24.1%	11.5%	2.0%	0.8%	0.4%
	勤め人（正規社員・職員）	318人	42.8%	24.8%	24.8%	2.5%	2.2%	2.8%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	45.6%	19.1%	23.5%	4.4%	4.4%	2.9%
	学生	24人	50.0%	37.5%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	31.3%	24.1%	27.6%	6.0%	5.3%	5.6%
	その他	7人	28.6%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%
	男性	396人	41.4%	26.8%	21.7%	4.0%	4.8%	1.3%
	勤め人（正規社員・職員）	99人	31.3%	26.3%	30.3%	5.1%	4.0%	3.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	38.5%	30.2%	16.7%	6.3%	6.3%	2.1%
	学生	16人	43.8%	12.5%	31.3%	6.3%	6.3%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	32.5%	22.7%	25.3%	7.1%	9.7%	2.6%
学 歴	その他	9人	22.2%	44.4%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
	中学校	111人	25.2%	16.2%	38.7%	2.7%	7.2%	9.9%
	高等学校	510人	33.3%	24.9%	27.8%	6.1%	4.9%	2.9%
	専門学校など各種学校	212人	45.3%	23.6%	19.8%	2.8%	4.2%	4.2%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	41.3%	27.1%	22.0%	6.0%	2.8%	0.9%
	大学	637人	48.7%	27.3%	17.0%	2.8%	3.6%	0.6%
	大学院	75人	57.3%	22.7%	13.3%	4.0%	2.7%	0.0%
	女性	51人	17.6%	13.7%	45.1%	2.0%	7.8%	13.7%
	中学校	305人	35.7%	24.6%	28.2%	4.9%	3.0%	3.6%
	高等学校	144人	47.2%	20.8%	20.1%	2.8%	4.2%	4.9%
	専門学校など各種学校	194人	43.8%	24.7%	21.6%	6.2%	2.6%	1.0%
	短期大学、新制高等専門学校	275人	58.5%	27.3%	11.3%	1.1%	1.5%	0.4%
	大学	20人	65.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大学院	59人	32.2%	18.6%	33.9%	3.4%	5.1%	6.8%
男 性	中学校	196人	30.1%	26.0%	28.1%	7.7%	7.1%	1.0%
	高等学校	66人	42.4%	28.8%	18.2%	3.0%	4.5%	3.0%
	専門学校など各種学校	23人	21.7%	43.5%	26.1%	4.3%	4.3%	0.0%
	短期大学、新制高等専門学校	358人	41.1%	27.4%	21.2%	4.2%	5.3%	0.8%
大 学	大学	55人	54.5%	23.6%	12.7%	5.5%	3.6%	0.0%
	大学院							

項 目		回 答 者 数	【問5】地域活動への参加状況								
			自治会・町 内会活動	高齢者・子 育て支援	P T Aや子 ども会活動	ごみ・資源 収集の協 力、清掃活 動	防犯パト ロール、交 通安全活動	地域におけ る防災活動	いずれも参 加したこと がない	その他	無回答
全 体		1,800人	50.2%	7.2%	35.7%	33.9%	19.6%	12.7%	29.1%	1.6%	0.8%
性 別	女性	1,008人	56.9%	11.4%	52.4%	38.4%	26.0%	15.4%	21.8%	1.3%	0.7%
	男性	775人	41.7%	1.8%	14.2%	28.5%	11.2%	9.3%	38.2%	2.1%	0.9%
答えたくない、わからない、その他		17人	35.3%	0.0%	23.5%	17.6%	17.6%	5.9%	47.1%	0.0%	0.0%
年 代	18～29歳	95人	17.9%	3.2%	21.1%	29.5%	9.5%	5.3%	54.7%	0.0%	1.1%
	30歳代	138人	33.3%	14.5%	29.0%	21.7%	9.4%	5.8%	44.2%	0.7%	0.0%
	40歳代	161人	49.1%	12.4%	57.1%	28.0%	26.7%	12.4%	26.7%	1.2%	0.0%
	50歳代	240人	69.6%	12.5%	70.8%	45.8%	39.6%	20.4%	10.8%	2.1%	0.8%
	60歳代	178人	73.6%	14.6%	61.2%	46.1%	30.9%	21.9%	12.4%	1.7%	1.1%
	70歳以上	196人	68.4%	8.2%	49.5%	46.9%	24.0%	17.3%	8.2%	1.0%	1.0%
	18～29歳	58人	22.4%	0.0%	17.2%	37.9%	6.9%	6.9%	32.8%	3.4%	0.0%
	30歳代	91人	20.9%	0.0%	17.6%	27.5%	7.7%	11.0%	51.6%	1.1%	0.0%
	40歳代	135人	41.5%	2.2%	20.7%	24.4%	13.3%	5.2%	41.5%	0.7%	0.0%
	50歳代	147人	40.8%	1.4%	19.7%	26.5%	7.5%	6.1%	40.8%	2.0%	0.0%
	60歳代	167人	49.7%	2.4%	7.2%	31.7%	12.0%	9.6%	32.3%	2.4%	3.6%
	70歳以上	177人	52.0%	2.8%	8.5%	27.7%	15.3%	14.7%	33.9%	2.8%	0.8%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	56.5%	8.4%	41.3%	34.8%	23.1%	14.3%	24.1%	1.6%	0.8%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	57.1%	9.7%	40.6%	40.0%	21.7%	16.0%	22.9%	1.1%	1.1%
婚 姻 関 係	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	23.1%	1.2%	12.1%	27.5%	5.3%	5.0%	51.5%	2.1%	0.3%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	63.0%	13.2%	60.9%	39.5%	31.4%	17.2%	16.8%	1.1%	0.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	63.8%	13.1%	52.3%	42.3%	22.3%	17.7%	15.4%	1.5%	0.8%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	25.5%	2.5%	15.5%	30.4%	5.6%	5.6%	49.1%	1.9%	0.6%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	48.1%	2.5%	16.4%	29.1%	12.3%	10.5%	33.5%	2.1%	1.1%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	38.6%	0.0%	6.8%	34.1%	20.5%	11.4%	43.2%	0.0%	2.3%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	21.2%	0.0%	8.8%	25.3%	5.3%	4.7%	52.4%	2.4%	0.0%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	34.4%	5.9%	16.6%	28.5%	11.1%	7.9%	47.0%	1.6%	1.2%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	54.9%	4.6%	29.9%	32.8%	17.5%	13.7%	28.2%	2.5%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	907人	52.8%	8.4%	44.0%	35.9%	22.7%	13.1%	25.2%	1.0%	0.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	46.0%	9.2%	42.5%	42.5%	26.4%	17.2%	20.7%	3.4%	0.0%
	その他	27人	40.7%	14.8%	22.2%	33.3%	14.8%	11.1%	29.6%	3.7%	3.7%
	単身世帯（一人暮らし）	125人	42.4%	11.2%	28.0%	31.2%	13.6%	8.8%	41.6%	0.8%	0.8%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	63.3%	7.5%	46.1%	39.0%	23.6%	15.7%	21.0%	1.9%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	526人	58.4%	12.7%	61.0%	40.1%	30.0%	16.5%	18.1%	1.0%	0.2%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	54.3%	15.2%	67.4%	45.7%	32.6%	19.6%	15.2%	4.3%	0.0%
	その他	18人	38.9%	22.2%	33.3%	33.3%	16.7%	11.1%	22.2%	0.0%	5.6%
	単身世帯（一人暮らし）	126人	27.0%	0.8%	5.6%	26.2%	8.7%	7.1%	51.6%	2.4%	1.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	44.2%	1.0%	9.2%	24.8%	9.7%	11.2%	37.4%	3.4%	1.0%
	2世代世帯（親と子）	371人	45.6%	2.4%	20.2%	30.7%	12.1%	8.4%	35.0%	1.1%	0.5%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	35.9%	2.6%	15.4%	41.0%	20.5%	15.4%	25.6%	2.6%	0.0%
	その他	9人	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%	11.1%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%
	たいへんゆとりがある	65人	38.5%	4.6%	21.5%	20.0%	12.3%	7.7%	35.4%	4.6%	0.0%
	ややゆとりがある	285人	48.8%	8.4%	36.8%	39.3%	20.0%	13.0%	28.8%	2.5%	1.1%
暮 ら し む せ	ふつう	870人	51.3%	8.0%	38.5%	33.8%	19.3%	12.6%	27.7%	1.5%	0.5%
	ややくるしい	401人	50.1%	4.7%	34.2%	35.4%	20.4%	12.7%	30.2%	1.0%	0.5%
	たいへんくるしい	138人	51.4%	7.2%	28.3%	30.4%	21.7%	15.2%	31.9%	0.7%	1.4%
	たいへんゆとりがある	30人	40.0%	6.7%	36.7%	23.3%	23.3%	6.7%	30.0%	3.3%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	54.8%	14.0%	53.5%	44.6%	26.1%	17.2%	25.5%	1.3%	1.3%
	ふつう	506人	59.1%	12.5%	54.3%	38.7%	25.3%	14.8%	18.8%	1.2%	0.4%
	ややくるしい	220人	55.9%	8.2%	52.7%	39.1%	27.3%	15.5%	23.6%	0.9%	0.0%
	たいへんくるしい	73人	57.5%	11.0%	43.8%	30.1%	27.4%	19.2%	27.4%	1.4%	1.4%
	たいへんゆとりがある	34人	38.2%	2.9%	8.8%	17.6%	2.9%	5.9%	41.2%	5.9%	0.0%
	ややゆとりがある	127人	41.7%	1.6%	16.5%	33.1%	12.6%	7.9%	32.3%	3.9%	0.8%
	ふつう	358人	40.8%	2.0%	16.5%	27.1%	10.9%	9.8%	39.7%	2.0%	0.6%
	ややくるしい	172人	42.4%	0.6%	10.5%	31.4%	11.6%	9.9%	38.4%	1.2%	1.2%
	たいへんくるしい	65人	44.6%	3.1%	10.8%	30.8%	15.4%	10.8%	36.9%	0.0%	1.5%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	39.4%	5.6%	25.3%	28.2%	13.1%	9.0%	39.7%	1.4%	0.3%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	60.0%	11.4%	51.7%	36.7%	28.8%	14.8%	20.7%	1.2%	0.7%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	26.7%	6.7%	6.7%	40.0%	6.7%	0.0%	46.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	47.0%	7.2%	33.1%	29.5%	16.9%	12.0%	32.5%	2.4%	0.6%
	学生	41人	17.1%	0.0%	43.9%	41.5%	14.6%	7.3%	22.0%	2.4%	2.4%
職 業	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	61.8%	6.3%	37.6%	39.7%	22.5%	16.8%	21.2%	1.7%	1.3%
	その他	16人	25.0%	0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	18.8%	31.3%	12.5%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	38.7%	11.9%	39.5%	30.0%	18.6%	11.1%	40.3%	1.2%	0.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	65.4%	14.8%	64.5%	38.1%	33.6%	17.0%	14.8%	1.3%	0.3%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	23.1%	7.7%	7.7%	38.5%	7.7%	0.0%	46.2%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	52.9%	14.7%	58.8%	32.4%	27.9%	14.7%	20.6%	1.5%	1.5%
	学生	24人	25.0%	0.0%	45.8%	50.0%	16.7%	12.5%	16.7%	0.0%	4.2%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	68.7%	8.2%	52.7%	44.8%	26.0%	18.2%	14.1%	1.3%	0.9%
	その他	7人	28.6%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員）	396人	39.9%	1.8%	16.4%	27.3%	9.3%	7.8%	39.1%	1.5%	0.5%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	43.4%	1.0%	10.1%	32.3%	13.1%	8.1%	39.4%	1.0%	2.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	42.7%	2.1%	15.6%	27.1%	9.4%	10.4%	40.6%	3.1%	0.0%
	学生	16人	6.3%	0.0%	43.8%	31.3%	12.5%	0.0%	25.0%	6.3%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	48.1%	2.6%	6.5%	29.9%	15.6%	13.6%	35.7%	2.6%	1.9%
	その他	9人	22.2%	0.0%	33.3%	33.3%	22.2%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%
学 歴	中学校	111人	39.6%	1.8%	18.0%	30.6%	16.2%	5.4%	36.0%	2.7%	1.8%
	高等学校	510人	56.5%	5.5%	39.6%	38.2%	23.7%	16.7%	24.7%	0.4%	1.0%
	専門学校など各種学校	212人	42.9%	8.5%	34.9%	27.8%	17.5%	7.1%	33.5%	1.4%	0.9%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	66.5%	12.8%	59.6%	44.5%	32.1%	20.2%	14.7%	2.3%	0.5%
	大学	637人	46.0%	7.2%	29.8%	32.3%	14.6%	10.7%	32.7%	2.5%	0.3%
	大学院	75人	30.7%	5.3%	20.0%	14.7%	9.3%	8.0%	46.7%	0.0%	0.0%
	中学校	51人	52.9%	2.0%	33.3%	39.2%	23.5%	9.8%	21.6%	2.0%	0.0%
	高等学校	305人	65.2%	8.2%	57.0%	43.9%	30.8%	20.0%	16.4%	0.3%	1.0%
	専門学校など各種学校	144人	47.9%	12.5%	46.5%	31.9%	21.5%	8.3%	28.5%	1.4%	1.4%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	67.5%	14.4%	64.4%	44.8%	33.5%	20.6%	13.4%	2.6%	0.5%
	大学	275人	47.3%	14.5%	47.6%	33.8%	20.0%	12.0%	28.7%	1.5%	0.0%
	大学院	20人	35.0%	5.0%	20.0%	10.0%	0.0%	5.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	中学校	59人	28.8%	1.7%	3.4%	23.7%	8.5%	1.7%	49.2%	3.4%	3.4%
	高等学校	196人	43.9%	1.5%	13.8%	30.6%	12.8%	11.7%	36.7%	0.5%	1.0%
	専門学校など各種学校	66人	31.8%	0.0%	10.6%	19.7%	9.1%	4.5%	43.9%	1.5%	0.0%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	60.9%	0.0%	21.7%	43.5%	21.7%	17.4%	21.7%	0.0%	0.0%
	大学	358人	45.0%	1.7%	15.9%	31.0%	10.6%	9.8%	35.5%	3.4%	0.6%
	大学院	55人	29.1%	5.5%	20.0%	16.4%	12.7%	9.1%	49.1%	0.0%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問6】女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと						
			女性が地域活動のリーダーになることに對する男性の抵抗感をなくすこと	社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、評価を高めること	女性が地域活動のリーダーになることに對する女性自身の抵抗感をなくすこと	女性が地域活動のリーダーになる割合でなような取組を進めること	必要だとは思わない	その他	無回答
全 体		1,800人	44.9%	31.3%	42.2%	26.5%	9.8%	5.8%	3.2%
性 別	女性	1,008人	47.4%	28.8%	44.2%	23.2%	10.9%	5.6%	3.3%
	男性	775人	41.5%	35.0%	39.9%	31.1%	8.4%	5.8%	3.1%
答えたくない、わからない、その他		17人	47.1%	17.6%	29.4%	11.8%	5.9%	17.6%	5.9%
年 代	18～29歳	95人	49.5%	30.5%	46.3%	24.2%	9.5%	4.2%	2.1%
	30歳代	138人	44.2%	22.5%	44.2%	17.4%	13.0%	9.4%	1.4%
	40歳代	161人	47.8%	31.7%	39.1%	28.6%	12.4%	6.8%	0.6%
	50歳代	240人	50.0%	30.4%	40.4%	21.7%	10.4%	6.3%	2.9%
	60歳代	178人	52.2%	28.1%	53.4%	23.0%	9.6%	6.7%	2.2%
	70歳以上	196人	40.8%	28.6%	43.9%	24.5%	10.7%	0.5%	8.7%
	18～29歳	58人	34.5%	36.2%	29.3%	13.8%	15.5%	6.9%	0.0%
	30歳代	91人	36.3%	24.2%	39.6%	25.3%	13.2%	9.9%	1.1%
	40歳代	135人	44.4%	31.1%	37.0%	26.7%	9.6%	9.6%	2.2%
	50歳代	147人	42.9%	28.6%	40.1%	27.9%	8.8%	7.5%	1.4%
	60歳代	167人	40.1%	38.9%	45.5%	32.9%	5.4%	2.4%	5.4%
	70歳以上	177人	44.6%	44.6%	40.1%	44.1%	5.1%	2.3%	5.1%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	45.6%	31.9%	42.8%	27.7%	9.6%	6.1%	2.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	38.9%	27.4%	38.9%	25.7%	11.4%	2.9%	8.0%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	45.6%	31.7%	42.3%	22.2%	9.5%	6.2%	2.7%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	49.0%	29.3%	44.1%	23.0%	10.8%	6.0%	2.4%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	40.8%	26.2%	40.0%	25.4%	12.3%	1.5%	7.7%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	46.6%	29.2%	49.1%	22.4%	9.9%	6.8%	3.1%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	41.5%	35.3%	41.4%	34.0%	8.2%	5.7%	3.0%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	31.8%	31.8%	36.4%	27.3%	9.1%	6.8%	9.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	44.1%	34.7%	35.9%	22.4%	8.8%	5.9%	1.8%
	結婚している又はパートナーがいる	253人	45.5%	28.5%	43.9%	22.5%	10.3%	4.0%	4.3%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	42.7%	33.7%	40.2%	30.3%	9.7%	4.2%	3.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	46.2%	31.1%	42.3%	24.6%	10.1%	7.2%	1.8%
	2世代世帯（親と子）	87人	50.6%	29.9%	43.7%	28.7%	4.6%	8.0%	4.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	40.7%	25.9%	48.1%	33.3%	11.1%	3.7%	7.4%
	単身世帯（一人暮らし）	125人	51.2%	26.4%	52.0%	23.2%	8.0%	3.2%	4.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	45.7%	30.3%	42.3%	21.7%	11.2%	4.9%	3.7%
	2世代世帯（親と子）	526人	48.9%	28.9%	42.6%	21.7%	12.2%	6.7%	1.9%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	47.8%	26.1%	50.0%	32.6%	4.3%	6.5%	4.3%
	その他	18人	27.8%	27.8%	50.0%	33.3%	11.1%	5.6%	11.1%
	単身世帯（一人暮らし）	126人	39.7%	31.0%	36.5%	22.2%	12.7%	4.8%	4.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	38.8%	37.9%	37.9%	41.7%	7.8%	3.4%	3.4%
	2世代世帯（親と子）	371人	42.3%	34.5%	41.8%	28.8%	7.3%	7.8%	1.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	53.8%	35.9%	38.5%	25.6%	5.1%	7.7%	5.1%
	その他	9人	66.7%	22.2%	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	たいへんゆとりがある	65人	46.2%	26.2%	46.2%	23.1%	12.3%	4.6%	0.0%
	ややゆとりがある	285人	46.3%	34.0%	49.1%	27.4%	7.7%	7.4%	1.4%
	ふつう	870人	44.3%	31.1%	40.6%	26.1%	9.4%	6.2%	3.2%
	ややくるしい	401人	45.6%	30.2%	41.4%	26.9%	11.7%	4.7%	2.7%
	たいへんくるしい	138人	46.4%	31.9%	38.4%	27.5%	10.1%	4.3%	5.1%
暮 ら し む せ	たいへんゆとりがある	30人	46.7%	20.0%	50.0%	16.7%	10.0%	6.7%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	52.2%	29.9%	51.6%	25.5%	9.6%	7.0%	1.3%
	ふつう	506人	46.8%	27.7%	43.5%	22.5%	10.1%	5.3%	3.6%
	ややくるしい	220人	50.0%	30.5%	43.2%	25.5%	13.6%	5.0%	2.3%
	たいへんくるしい	73人	38.4%	31.5%	34.2%	19.2%	13.7%	5.5%	5.5%
	たいへんゆとりがある	34人	44.1%	32.4%	41.2%	29.4%	14.7%	2.9%	0.0%
	ややゆとりがある	127人	39.4%	39.4%	45.7%	29.9%	5.5%	7.9%	1.6%
	ふつう	358人	40.5%	35.8%	36.9%	31.0%	8.4%	7.5%	2.8%
	ややくるしい	172人	40.1%	31.4%	40.1%	30.2%	9.9%	2.9%	2.9%
	たいへんくるしい	65人	55.4%	32.3%	43.1%	36.9%	6.2%	3.1%	4.6%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	43.5%	30.1%	42.8%	26.5%	8.7%	7.6%	1.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	46.4%	29.5%	41.2%	23.8%	12.9%	5.5%	3.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	46.7%	13.3%	40.0%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	44.0%	30.1%	39.2%	30.7%	6.0%	9.0%	2.4%
職 業	学生	41人	43.9%	39.0%	39.0%	19.5%	12.2%	0.0%	2.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	46.6%	35.5%	44.1%	28.6%	9.2%	2.9%	5.0%
	その他	16人	31.3%	31.3%	31.3%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	49.4%	28.1%	45.5%	24.9%	9.9%	6.3%	2.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	48.1%	26.7%	44.7%	22.0%	12.6%	5.7%	2.2%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	46.2%	15.4%	38.5%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	45.6%	25.0%	41.2%	23.5%	2.9%	14.7%	1.5%
	学生	24人	45.8%	37.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	4.2%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	46.4%	32.3%	43.6%	22.9%	11.6%	3.4%	5.0%
	その他	7人	28.6%	42.9%	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%
	勤め人（正規社員・職員）	396人	39.4%	31.8%	41.7%	27.8%	8.1%	7.8%	1.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	41.4%	38.4%	30.3%	29.3%	14.1%	5.1%	5.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	42.7%	33.3%	38.5%	36.5%	8.3%	5.2%	3.1%
	学生	16人	43.8%	43.8%	25.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	47.4%	42.9%	44.2%	40.9%	4.5%	1.9%	5.2%
	その他	9人	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%
学 歴	中学校	111人	31.5%	28.8%	27.0%	33.3%	11.7%	2.7%	12.6%
	高等学校	510人	45.5%	29.2%	39.4%	26.3%	11.2%	4.9%	3.5%
	専門学校など各種学校	212人	44.8%	33.0%	34.4%	26.4%	9.4%	9.9%	1.4%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	48.6%	33.0%	47.7%	22.9%	8.3%	4.1%	2.8%
	大学	637人	45.1%	32.0%	45.7%	27.8%	9.4%	6.3%	1.4%
	大学院	75人	53.3%	33.3%	58.7%	21.3%	6.7%	6.7%	0.0%
	中学校	51人	15.7%	19.6%	31.4%	25.5%	19.6%	3.9%	11.8%
	高等学校	305人	47.9%	27.2%	39.7%	23.0%	14.1%	4.3%	3.0%
	専門学校など各種学校	144人	47.2%	33.3%	39.6%	28.5%	8.3%	9.7%	2.1%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	48.5%	30.9%	47.9%	19.1%	8.2%	3.6%	3.1%
	大学	275人	53.1%	29.5%	50.2%	23.6%	9.8%	6.5%	1.8%
	大学院	20人	50.0%	10.0%	60.0%	20.0%	5.0%	10.0%	0.0%
	中学校	59人	45.8%	35.6%	23.7%	39.0%	5.1%	1.7%	13.6%
	高等学校	196人	41.8%	33.2%	39.8%	32.7%	6.6%	5.6%	4.1%
	専門学校など各種学校	66人	39.4%	33.3%	24.2%	22.7%	12.1%	9.1%	0.0%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	47.8%	52.2%	47.8%	56.5%	8.7%	8.7%	0.0%
	大学	358人	38.8%	34.1%	41.9%	31.0%	9.2%	5.9%	1.1%
	大学院	55人	54.5%	41.8%	58.2%	21.8%	7.3%	5.5%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問7】災害時の避難所運営について必要なこと					
			避難所の運営、運営方針の決定などにおいて、女性と男性がともに参加すること	女性用スペース（着替え、物干し場など）や授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること	女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な性別役割分担意識の解消	性別により異なる悩みや避難所生活上の問題を受け付けられる窓口の設置	その他	無回答
全 体		1,800人	69.7%	80.8%	36.2%	55.4%	3.6%	1.5%
性 別	女性	1,008人	67.1%	86.1%	35.6%	61.7%	3.9%	1.1%
	男性	775人	73.0%	73.9%	36.4%	46.8%	3.4%	1.9%
答えたくない、わからない、その他		17人	70.6%	76.5%	58.8%	70.6%	0.0%	5.9%
年 代	18～29歳	95人	69.5%	86.3%	31.6%	58.9%	5.3%	1.1%
	30歳代	138人	67.4%	88.4%	22.5%	57.2%	6.5%	0.7%
	40歳代	161人	61.5%	88.2%	34.8%	62.1%	3.7%	0.0%
	50歳代	240人	65.0%	88.8%	39.6%	60.0%	2.9%	0.0%
	60歳代	178人	70.8%	89.9%	43.3%	68.0%	5.1%	1.1%
	70歳以上	196人	69.4%	76.0%	35.7%	62.2%	1.5%	3.6%
	18～29歳	58人	69.0%	79.3%	25.9%	37.9%	3.4%	0.0%
	30歳代	91人	72.5%	72.5%	37.4%	49.5%	5.5%	1.1%
	40歳代	135人	65.9%	77.0%	35.6%	50.4%	4.4%	1.5%
	50歳代	147人	71.4%	68.7%	32.7%	41.5%	4.8%	2.0%
婚 姻 関 係	60歳代	167人	73.7%	73.1%	40.7%	44.3%	1.2%	4.2%
	70歳以上	177人	80.8%	75.7%	39.0%	52.5%	2.3%	1.1%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	71.2%	82.9%	36.6%	56.2%	3.2%	1.2%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	59.4%	74.3%	32.6%	55.4%	2.9%	3.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	69.8%	76.0%	36.1%	52.4%	5.6%	1.2%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	68.6%	88.0%	36.6%	61.2%	3.5%	0.7%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	56.9%	76.2%	31.5%	60.0%	3.1%	3.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	69.6%	86.3%	34.2%	65.8%	6.2%	0.6%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	74.5%	76.6%	36.4%	49.7%	2.9%	1.8%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	65.9%	68.2%	34.1%	40.9%	2.3%	4.5%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	70.0%	66.5%	37.1%	38.8%	5.3%	1.8%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	65.2%	72.3%	38.3%	52.6%	3.6%	2.4%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	70.9%	81.5%	36.0%	56.2%	2.9%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	907人	70.6%	83.6%	35.6%	54.9%	4.0%	1.0%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	73.6%	83.9%	40.2%	62.1%	4.6%	1.1%
	その他	27人	66.7%	59.3%	33.3%	59.3%	3.7%	3.7%
	単身世帯（一人暮らし）	125人	61.6%	84.0%	36.8%	68.0%	2.4%	1.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	67.4%	85.0%	35.6%	60.7%	3.4%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	526人	68.3%	88.2%	34.6%	59.9%	4.8%	0.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	73.9%	84.8%	41.3%	69.6%	2.2%	2.2%
暮 ら し む せ	その他	18人	66.7%	61.1%	33.3%	55.6%	5.6%	5.6%
	単身世帯（一人暮らし）	126人	68.3%	61.1%	39.7%	37.3%	4.8%	3.2%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	75.7%	76.7%	36.4%	50.5%	2.4%	1.0%
	2世代世帯（親と子）	371人	73.6%	77.4%	36.1%	47.4%	3.0%	1.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	74.4%	82.1%	38.5%	51.3%	7.7%	0.0%
	その他	9人	66.7%	55.6%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	たいへんゆとりがある	65人	69.2%	84.6%	38.5%	50.8%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	285人	76.1%	83.5%	37.2%	54.7%	3.9%	1.1%
	ふつう	870人	70.9%	80.7%	37.1%	54.5%	3.7%	0.9%
	ややくるしい	401人	65.1%	81.0%	32.7%	57.6%	3.7%	2.2%
職 業	たいへんくるしい	138人	63.8%	76.8%	38.4%	58.0%	4.3%	1.4%
	たいへんゆとりがある	30人	53.3%	86.7%	33.3%	53.3%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	76.4%	90.4%	37.6%	65.6%	3.8%	0.6%
	ふつう	506人	69.2%	84.8%	36.6%	60.1%	4.0%	1.0%
	ややくるしい	220人	63.2%	88.2%	34.5%	64.5%	4.1%	0.9%
	たいへんくるしい	73人	52.1%	80.8%	28.8%	58.9%	4.1%	1.4%
	たいへんゆとりがある	34人	82.4%	82.4%	41.2%	50.0%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	127人	75.6%	74.8%	36.2%	40.9%	3.9%	1.6%
	ふつう	358人	73.5%	74.9%	37.4%	46.4%	3.4%	0.8%
	ややくるしい	172人	67.4%	72.7%	29.7%	47.7%	3.5%	3.5%
学 歴	たいへんくるしい	65人	76.9%	72.3%	49.2%	56.9%	4.6%	1.5%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	70.3%	79.6%	34.7%	51.3%	4.3%	1.4%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	67.1%	81.2%	37.4%	56.2%	3.8%	1.2%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	73.3%	93.3%	20.0%	46.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	72.9%	82.5%	34.3%	56.6%	2.4%	1.8%
	学生	41人	56.1%	80.5%	26.8%	48.8%	2.4%	2.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	71.6%	82.6%	38.9%	60.7%	2.9%	1.7%
	その他	16人	50.0%	62.5%	50.0%	56.3%	12.5%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	71.5%	87.4%	33.2%	59.7%	6.3%	0.4%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	66.4%	85.8%	36.8%	61.0%	3.8%	0.6%
性 別	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	76.9%	92.3%	23.1%	53.8%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	70.6%	88.2%	32.4%	60.3%	1.5%	1.5%
	学生	24人	54.2%	87.5%	33.3%	58.3%	4.2%	4.2%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	65.5%	86.2%	37.9%	64.6%	2.8%	1.6%
	その他	7人	14.3%	57.1%	42.9%	71.4%	0.0%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員）	396人	69.7%	74.5%	35.1%	45.5%	3.0%	1.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	68.7%	66.7%	38.4%	41.4%	4.0%	3.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	75.0%	78.1%	35.4%	53.1%	3.1%	2.1%
	学生	16人	62.5%	75.0%	18.8%	31.3%	0.0%	0.0%
性 別	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	83.8%	75.3%	40.3%	52.6%	3.2%	1.9%
	その他	9人	77.8%	66.7%	55.6%	44.4%	22.2%	0.0%
	中学校	111人	58.6%	68.5%	34.2%	45.9%	1.8%	3.6%
	高等学校	510人	69.6%	79.4%	38.0%	58.2%	3.7%	1.4%
	専門学校など各種学校	212人	61.8%	81.6%	32.1%	57.1%	1.9%	2.4%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	66.5%	89.9%	33.9%	62.8%	3.2%	0.9%
	大学	637人	75.0%	81.3%	37.0%	52.0%	4.6%	0.5%
	大学院	75人	74.7%	82.7%	40.0%	54.7%	5.3%	1.3%
	中学校	51人	49.0%	72.5%	37.3%	49.0%	2.0%	3.9%
	高等学校	305人	66.9%	84.9%	37.4%	63.3%	3.9%	0.7%
性 別	専門学校など各種学校	144人	61.1%	85.4%	34.7%	62.5%	1.4%	2.1%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	66.0%	89.7%	34.0%	63.9%	3.1%	1.0%
	大学	275人	73.1%	89.1%	34.5%	61.1%	6.2%	0.0%
	大学院	20人	85.0%	80.0%	40.0%	55.0%	5.0%	0.0%
	中学校	59人	66.1%	64.4%	30.5%	44.1%	1.7%	3.4%
	高等学校	196人	74.0%	71.9%	38.8%	50.5%	3.6%	2.0%
	専門学校など各種学校	66人	63.6%	72.7%	25.8%	43.9%	3.0%	3.0%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	69.6%	91.3%	30.4%	52.2%	4.3%	0.0%
	大学	358人	76.5%	75.1%	38.5%	44.4%	3.4%	0.8%
	大学院	55人	70.9%	83.6%	40.0%	54.5%	5.5%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問 8（１）】１日のうち、仕事に要する時間							
			なし	３時間未満	３時間～５時間未満	５時間～７時間未満	７時間～９時間未満	９時間～１１時間未満	１１時間以上	無回答
全 体		1,800人	16.3%	9.8%	10.1%	9.3%	21.8%	18.3%	11.4%	3.0%
性 別	女性	1,008人	16.6%	7.7%	13.8%	12.4%	21.1%	15.0%	8.6%	4.8%
	男性	775人	16.1%	12.5%	5.2%	4.9%	23.1%	22.5%	15.0%	0.8%
答えたくない、わからない、その他		17人	11.8%	5.9%	17.6%	23.5%	5.9%	23.5%	11.8%	0.0%
年 代	18～29歳	95人	14.7%	5.3%	4.2%	7.4%	23.2%	31.6%	11.6%	2.1%
	30歳代	138人	19.6%	2.2%	8.0%	15.2%	30.4%	14.5%	8.7%	1.4%
	40歳代	161人	10.6%	3.1%	17.4%	10.6%	23.0%	17.4%	16.1%	1.9%
	50歳代	240人	10.0%	6.3%	10.4%	12.9%	28.8%	20.4%	10.0%	1.3%
	60歳代	178人	18.5%	10.1%	17.4%	16.3%	19.1%	9.6%	6.7%	2.2%
	70歳以上	196人	26.5%	16.3%	20.4%	10.2%	4.6%	3.6%	1.0%	17.3%
	18～29歳	58人	27.6%	12.1%	3.4%	5.2%	19.0%	22.4%	10.3%	0.0%
	30歳代	91人	6.6%	2.2%	2.2%	1.1%	31.9%	30.8%	25.3%	0.0%
	40歳代	135人	4.4%	7.4%	1.5%	0.0%	21.5%	35.6%	29.6%	0.0%
	50歳代	147人	6.1%	13.6%	1.4%	1.4%	26.5%	30.6%	20.4%	0.0%
	60歳代	167人	18.6%	9.0%	7.2%	7.8%	29.9%	19.2%	8.4%	0.0%
	70歳以上	177人	32.2%	24.3%	11.3%	10.7%	11.9%	4.5%	1.7%	3.4%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	15.1%	10.1%	11.3%	9.8%	21.3%	17.4%	12.0%	3.0%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	19.4%	12.6%	9.1%	11.4%	20.6%	15.4%	8.0%	3.4%
婚 姻 関 係	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	19.5%	7.1%	6.2%	6.2%	24.3%	23.1%	10.9%	2.7%
	女性	714人	16.9%	7.7%	15.8%	13.6%	19.3%	12.9%	9.0%	4.8%
	結婚している又はパートナーがいる	130人	16.9%	12.3%	10.8%	13.8%	19.2%	14.6%	7.7%	4.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	14.9%	4.3%	7.5%	6.2%	30.4%	24.2%	8.1%	4.3%
	男性	561人	12.8%	13.2%	5.7%	4.6%	24.2%	22.8%	15.9%	0.7%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	27.3%	13.6%	4.5%	4.5%	25.0%	15.9%	9.1%	0.0%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	24.1%	10.0%	3.5%	5.9%	18.8%	22.9%	13.5%	1.2%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	19.0%	8.3%	4.7%	7.1%	25.7%	24.5%	8.3%	2.4%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	18.1%	13.3%	14.3%	9.3%	15.6%	14.9%	9.5%	5.1%
	2世代世帯（親と子）	907人	14.9%	8.2%	8.9%	9.5%	24.1%	19.7%	13.2%	1.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	12.6%	9.2%	12.6%	12.6%	19.5%	11.5%	14.9%	6.9%
	その他	27人	18.5%	14.8%	18.5%	7.4%	11.1%	7.4%	18.5%	3.7%
	女性	125人	16.8%	7.2%	4.8%	8.8%	26.4%	25.6%	6.4%	4.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	16.5%	10.5%	18.4%	10.5%	12.0%	15.7%	7.9%	8.6%
	2世代世帯（親と子）	526人	17.1%	5.5%	13.3%	13.7%	25.3%	13.9%	8.9%	2.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	15.2%	10.9%	13.0%	17.4%	15.2%	4.3%	13.0%	10.9%
	その他	18人	11.1%	11.1%	27.8%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	5.6%
	男性	126人	20.6%	9.5%	4.8%	5.6%	25.4%	23.0%	10.3%	0.8%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	20.4%	17.0%	8.7%	7.3%	20.4%	14.1%	11.7%	0.5%
	2世代世帯（親と子）	371人	12.1%	11.9%	2.4%	3.2%	22.9%	27.8%	19.4%	0.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	10.3%	7.7%	12.8%	5.1%	25.6%	20.5%	15.4%	2.6%
	その他	9人	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%
	女性	65人	24.6%	10.8%	10.8%	13.8%	23.1%	7.7%	7.7%	1.5%
	ややゆとりがある	285人	14.7%	11.9%	9.1%	8.4%	23.5%	20.0%	10.2%	2.1%
暮 ら し む せ	ふつう	870人	15.3%	8.6%	11.8%	8.3%	20.7%	20.2%	11.5%	3.6%
	ややくるしい	401人	19.0%	8.7%	7.2%	10.2%	22.9%	15.7%	14.2%	2.0%
	たいへんくるしい	138人	14.5%	15.9%	8.0%	13.0%	18.8%	15.9%	10.1%	3.6%
	女性	30人	20.0%	10.0%	16.7%	23.3%	16.7%	3.3%	6.7%	3.3%
	ややゆとりがある	157人	19.7%	10.8%	12.7%	10.8%	24.2%	14.0%	5.7%	1.9%
	ふつう	506人	15.4%	6.3%	16.2%	10.7%	20.8%	16.0%	8.5%	6.1%
	ややくるしい	220人	17.3%	6.8%	10.0%	14.1%	21.8%	15.9%	10.9%	3.2%
	たいへんくるしい	73人	12.3%	11.0%	9.6%	19.2%	16.4%	12.3%	12.3%	6.8%
	男性	34人	29.4%	8.8%	5.9%	5.9%	29.4%	11.8%	8.8%	0.0%
	ややゆとりがある	127人	8.7%	13.4%	4.7%	4.7%	22.8%	27.6%	15.7%	2.4%
	ふつう	358人	15.4%	12.0%	5.3%	4.7%	20.7%	26.3%	15.6%	0.0%
	ややくるしい	172人	20.9%	11.6%	3.5%	4.7%	25.6%	14.5%	18.6%	0.6%
	たいへんくるしい	65人	16.9%	21.5%	6.2%	6.2%	21.5%	20.0%	7.7%	0.0%
職 業	勤め人（正規社員・職員）	657人	3.3%	5.0%	1.7%	3.5%	29.1%	34.9%	22.2%	0.3%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	1.9%	6.4%	17.9%	20.7%	31.0%	14.0%	7.1%	1.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	3.0%	13.9%	13.3%	17.5%	24.7%	15.7%	12.0%	0.0%
	学生	41人	46.3%	9.8%	17.1%	7.3%	14.6%	2.4%	0.0%	2.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	47.7%	17.6%	13.2%	4.4%	3.8%	2.1%	1.7%	9.5%
	その他	16人	31.3%	6.3%	18.8%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%
	女性	253人	1.6%	2.0%	2.4%	6.7%	31.2%	36.0%	19.4%	0.8%
	勤め人（正規社員・職員）	318人	0.3%	6.0%	20.4%	22.0%	30.8%	12.6%	6.5%	0.9%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	61.5%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	0.0%	11.8%	22.1%	23.5%	16.2%	13.2%	13.2%	0.0%
	学生	24人	33.3%	8.3%	16.7%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	4.2%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	45.5%	13.2%	14.4%	5.0%	4.7%	2.5%	2.2%	12.5%
	その他	7人	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%
	男性	396人	4.3%	7.1%	1.0%	1.5%	28.0%	34.1%	24.0%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員）	99人	6.1%	8.1%	9.1%	17.2%	32.3%	18.2%	8.1%	1.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	5.2%	15.6%	7.3%	11.5%	31.3%	17.7%	11.5%	0.0%
	学生	16人	68.8%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	53.2%	26.6%	11.0%	1.9%	1.9%	1.3%	0.6%	3.2%
	その他	9人	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
学 歴	中学校	111人	18.9%	19.8%	8.1%	8.1%	15.3%	15.3%	5.4%	9.0%
	高等学校	510人	17.8%	10.6%	13.7%	11.8%	19.4%	14.7%	8.6%	3.3%
	専門学校など各種学校	212人	12.3%	6.1%	6.6%	15.1%	22.6%	18.9%	16.0%	2.4%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	14.7%	11.9%	14.2%	12.4%	21.6%	14.2%	7.8%	3.2%
	大学	637人	18.1%	8.3%	7.7%	5.2%	23.9%	21.0%	14.6%	1.3%
	大学院	75人	5.3%	6.7%	8.0%	2.7%	22.7%	37.3%	14.7%	2.7%
	女性	51人	9.8%	17.6%	15.7%	3.9%	19.6%	11.8%	3.9%	17.6%
	高等学校	305人	20.3%	9.8%	17.7%	13.8%	16.7%	9.2%	7.2%	5.2%
	専門学校など各種学校	144人	13.2%	4.2%	8.3%	19.4%	22.2%	17.4%	11.8%	3.5%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	15.5%	10.3%	16.0%	13.4%	20.6%	13.4%	7.2%	3.6%
	大学	275人	17.5%	3.6%	10.9%	8.4%	25.8%	20.7%	10.5%	2.5%
	大学院	20人	0.0%	0.0%	15.0%	5.0%	20.0%	40.0%	15.0%	5.0%
	男性	59人	27.1%	22.0%	1.7%	11.9%	11.9%	16.9%	6.8%	1.7%
	高等学校	196人	14.3%	11.7%	7.1%	8.2%	24.5%	22.4%	11.2%	0.5%
	専門学校など各種学校	66人	10.6%	10.6%	3.0%	4.5%	24.2%	22.7%	24.2%	0.0%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	8.7%	26.1%	0.0%	4.3%	26.1%	21.7%	13.0%	0.0%
	大学	358人	18.4%	12.0%	5.0%	2.5%	22.6%	21.5%	17.6%	0.3%
	大学院	55人	7.3%	9.1%	5.5%	1.8%	23.6%	36.4%	14.5%	1.8%

項 目		回 答 者 数	【問8（2）－1】家事全般のうち、子育てに要する時間						
			15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上
全 体		184人	12.0%	1.6%	6.5%	10.3%	10.3%	11.4%	47.8%
性別	女性	103人	4.9%	0.0%	1.9%	1.0%	4.9%	16.5%	70.9%
	男性	80人	20.0%	3.8%	12.5%	22.5%	17.5%	5.0%	18.8%
	答えたくない、わからない、その他	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代	女性	18～29歳	8人	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
		30歳代	66人	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	19.7%
		40歳代	26人	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%	11.5%	61.5%
		50歳代	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		60歳代	1人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		70歳以上	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	男性	18～29歳	7人	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
		30歳代	41人	9.8%	4.9%	7.3%	24.4%	17.1%	26.8%
		40歳代	22人	13.6%	4.5%	27.3%	22.7%	22.7%	9.1%
		50歳代	7人	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%
		60歳代	2人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		70歳以上	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
婚姻関係	女性	結婚している又はパートナーがいる	170人	7.6%	1.8%	6.5%	11.2%	11.2%	50.0%
		結婚していない又はパートナーがいたが、離別・死別した	4人	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	10人	80.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
		結婚している又はパートナーがいる	97人	2.1%	0.0%	2.1%	1.0%	5.2%	73.2%
		結婚していない又はパートナーがいたが、離別・死別した	3人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%
	男性	結婚しておらず、パートナーもいない	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚している又はパートナーがいる	73人	15.1%	4.1%	12.3%	24.7%	19.2%	5.5%
		結婚していない又はパートナーがいたが、離別・死別した	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	6人	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
家族構成	女性	単身世帯（一人暮らし）	7人	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	6人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
		2世代世帯（親と子）	163人	8.6%	1.8%	6.7%	11.0%	10.4%	12.3%
		3世代世帯（親と子と孫）	8人	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%
		その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		単身世帯（一人暮らし）	2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	2人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		2世代世帯（親と子）	96人	3.1%	0.0%	2.1%	1.0%	5.2%	17.7%
		3世代世帯（親と子と孫）	3人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
	男性	その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		単身世帯（一人暮らし）	5人	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	4人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		2世代世帯（親と子）	66人	15.2%	4.5%	13.6%	25.8%	18.2%	4.5%
		3世代世帯（親と子と孫）	5人	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%
		その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
暮らしむせ	女性	たいへんゆとりがある	9人	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%
		ややゆとりがある	36人	19.4%	2.8%	2.8%	13.9%	2.8%	16.7%
		ふつう	79人	6.3%	1.3%	7.6%	11.4%	17.7%	7.6%
		ややくるしい	45人	11.1%	2.2%	8.9%	6.7%	4.4%	13.3%
		たいへんくるしい	15人	20.0%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	53.3%
	男性	たいへんゆとりがある	5人	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
		ややゆとりがある	19人	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	21.1%
		ふつう	44人	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	11.4%	9.1%
		ややくるしい	28人	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	21.4%
		たいへんくるしい	7人	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
職 業	女性	勤め人（正規社員・職員）	98人	16.3%	2.0%	7.1%	13.3%	14.3%	13.3%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	29人	6.9%	0.0%	6.9%	3.4%	13.8%	17.2%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	9人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	15人	0.0%	6.7%	20.0%	20.0%	6.7%	13.3%
		学生	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	31人	6.5%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	83.9%
		その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		勤め人（正規社員・職員）	35人	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	25.7%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	25人	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	12.0%	20.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	8人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	8人	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%
		学生	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	無職（家事専業、定年後も含む）	27人	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	88.9%
		その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		勤め人（正規社員・職員）	62人	19.4%	3.2%	11.3%	21.0%	19.4%	6.5%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	4人	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	7人	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%
		学生	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	4人	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
		その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学 歴	女性	中学校	4人	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
		高等学校	31人	16.1%	0.0%	6.5%	9.7%	16.1%	45.2%
		専門学校など各種学校	23人	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	13.0%	17.4%
		短期大学・新制高等専門学校	16人	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	12.5%	18.8%
		大学	95人	12.6%	3.2%	6.3%	12.6%	8.4%	6.3%
		大学院	13人	7.7%	0.0%	15.4%	15.4%	15.4%	23.1%
	男性	中学校	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		高等学校	17人	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%
		専門学校など各種学校	18人	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
		短期大学・新制高等専門学校	13人	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%
		大学	50人	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	6.0%	8.0%
		大学院	4人	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	女性	中学校	3人	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
		高等学校	14人	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%
		専門学校など各種学校	5人	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%
		短期大学・新制高等専門学校	3人	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
		大学	44人	25.0%	6.8%	11.4%	25.0%	11.4%	4.5%
		大学院	9人	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%

項 目		回 答 者 数	【問8（2）－2】家事全般のうち、介護に要する時間						
			15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上
全 体		157人	28.7%	11.5%	9.6%	17.2%	10.2%	7.0%	15.9%
性別	女性	93人	15.1%	10.8%	11.8%	19.4%	9.7%	9.7%	23.7%
	男性	62人	48.4%	12.9%	6.5%	14.5%	9.7%	3.2%	4.8%
答えたくない、わからない、その他		2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
年代	女性	18～29歳	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		30歳代	5人	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
		40歳代	7人	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%
		50歳代	36人	19.4%	8.3%	13.9%	19.4%	5.6%	11.1%
		60歳代	28人	0.0%	25.0%	21.4%	17.9%	7.1%	21.4%
		70歳以上	15人	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	20.0%	6.7%
		18～29歳	5人	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	30歳代	6人	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
		40歳代	8人	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
		50歳代	15人	46.7%	6.7%	0.0%	40.0%	6.7%	0.0%
		60歳代	20人	30.0%	25.0%	15.0%	5.0%	15.0%	5.0%
		70歳以上	8人	37.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%
		結婚している又はパートナーがいる	112人	25.9%	15.2%	9.8%	18.8%	8.9%	5.4%
		結婚していない又はパートナーがいたが、離別・死別した	14人	50.0%	0.0%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%
婚姻関係	女性	結婚しておらず、パートナーもいない	31人	29.0%	3.2%	3.2%	12.9%	16.1%	12.9%
		結婚している又はパートナーがいる	68人	11.8%	14.7%	11.8%	22.1%	7.4%	25.0%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	11人	36.4%	0.0%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	14人	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	35.7%
		結婚している又はパートナーがいる	44人	47.7%	15.9%	6.8%	13.6%	11.4%	2.3%
	男性	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	15人	40.0%	6.7%	6.7%	20.0%	6.7%	13.3%
		単身世帯（一人暮らし）	14人	57.1%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	34人	11.8%	20.6%	14.7%	17.6%	11.8%	8.8%
		2世代世帯（親と子）	87人	28.7%	8.0%	11.5%	19.5%	8.0%	4.6%
家族構成	女性	3世代世帯（親と子と孫）	16人	37.5%	6.3%	0.0%	12.5%	18.8%	6.3%
		その他	4人	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
		単身世帯（一人暮らし）	8人	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	25人	0.0%	24.0%	16.0%	20.0%	12.0%	8.0%
		2世代世帯（親と子）	49人	20.4%	4.1%	14.3%	20.4%	6.1%	6.1%
		3世代世帯（親と子と孫）	8人	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%
		その他	2人	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	男性	単身世帯（一人暮らし）	6人	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	9人	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
		2世代世帯（親と子）	36人	38.9%	13.9%	8.3%	19.4%	8.3%	2.8%
		3世代世帯（親と子と孫）	8人	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
		その他	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		たいへんゆとりがある	9人	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
		ややゆとりがある	18人	50.0%	16.7%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%
暮らしむき	女性	ふつう	69人	21.7%	8.7%	11.6%	23.2%	14.5%	7.2%
		ややくるしい	48人	27.1%	16.7%	10.4%	14.6%	8.3%	14.6%
		たいへんくるしい	12人	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%
		たいへんゆとりがある	3人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
		ややゆとりがある	10人	30.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%
		ふつう	44人	11.4%	9.1%	15.9%	22.7%	15.9%	9.1%
		ややくるしい	27人	14.8%	18.5%	11.1%	18.5%	0.0%	11.1%
	男性	たいへんくるしい	8人	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
		たいへんゆとりがある	6人	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		ややゆとりがある	8人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		ふつう	24人	37.5%	8.3%	4.2%	25.0%	12.5%	4.2%
		ややくるしい	20人	45.0%	15.0%	10.0%	10.0%	15.0%	5.0%
		たいへんくるしい	4人	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
		勤め人（正規社員・職員）	49人	57.1%	12.2%	4.1%	14.3%	6.1%	4.1%
職 業	女性	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	44人	13.6%	11.4%	15.9%	20.5%	9.1%	6.8%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	3人	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	10人	10.0%	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%	10.0%
		学生	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	48人	16.7%	8.3%	10.4%	12.5%	18.8%	6.3%
		その他	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		勤め人（正規社員・職員）	11人	54.5%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	38人	7.9%	10.5%	15.8%	23.7%	7.9%	26.3%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	6人	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%
		学生	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	35人	11.4%	11.4%	8.6%	14.3%	17.1%	5.7%
	男性	その他	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		勤め人（正規社員・職員）	37人	56.8%	10.8%	2.7%	16.2%	8.1%	2.7%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	5人	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	4人	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		学生	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	13人	30.8%	0.0%	15.4%	7.7%	23.1%	7.7%
		その他	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学 歴	女性	中学校	11人	27.3%	9.1%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%
		高等学校	52人	25.0%	15.4%	7.7%	17.3%	7.7%	19.2%
		専門学校など各種学校	20人	10.0%	15.0%	20.0%	10.0%	10.0%	25.0%
		短期大学・新制高等専門学校	14人	28.6%	0.0%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%
		大学	54人	38.9%	9.3%	9.3%	18.5%	5.6%	13.0%
		大学院	5人	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
		中学校	5人	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%
		高等学校	37人	21.6%	13.5%	8.1%	16.2%	8.1%	24.3%
		専門学校など各種学校	17人	5.9%	17.6%	17.6%	5.9%	11.8%	29.4%
	男性	短期大学・新制高等専門学校	13人	30.8%	0.0%	15.4%	23.1%	15.4%	7.7%
		大学	20人	5.0%	10.0%	15.0%	25.0%	10.0%	25.0%
		大学院	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		中学校	6人	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
		高等学校	15人	33.3%	20.0%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%
		専門学校など各種学校	3人	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		短期大学・新制高等専門学校	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		大学	32人	59.4%	9.4%	6.3%	15.6%	0.0%	6.3%
		大学院	5人	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問9（1）】家事、子育て、介護などの役割の分担（希望）							
			配偶者等が すべて行う	あなたが1 ～2割、配 偶者等が3 ～9割を分 担	あなたが3 ～4割、配 偶者等が6 ～7割を分 担	あなたが5 割、配偶者 等が5割を 分担	あなたが6 割、配偶者 等が3 ～4割を分 担	あなたが8 ～9割、配 偶者等が1 ～2割を分 担	あなたがす べて行う	無回答
全 体		1,800人	1.4%	7.1%	13.7%	48.0%	16.9%	4.2%	1.9%	6.7%
性 別	女性	1,008人	0.2%	0.8%	3.7%	52.2%	28.0%	6.6%	2.0%	6.5%
	男性	775人	3.1%	15.2%	26.7%	42.7%	2.7%	1.0%	1.5%	7.0%
答えたくない、わからない、その他		17人	0.0%	11.8%	17.6%	41.2%	5.9%	5.9%	17.6%	0.0%
年 代	女性									
	18～29歳	95人	1.1%	1.1%	5.3%	53.7%	20.0%	3.2%	0.0%	15.8%
	30歳代	138人	0.0%	0.7%	2.9%	48.6%	37.7%	5.8%	0.7%	3.6%
	40歳代	161人	0.6%	0.6%	2.5%	52.8%	32.9%	5.0%	1.2%	4.3%
	50歳代	240人	0.0%	1.3%	2.1%	55.4%	28.3%	10.0%	0.8%	2.1%
	60歳代	178人	0.0%	0.6%	5.6%	54.5%	24.2%	6.7%	2.8%	5.6%
	70歳以上	196人	0.0%	0.5%	4.6%	47.4%	24.0%	6.1%	5.1%	12.2%
	男性									
	18～29歳	58人	3.4%	1.7%	17.2%	56.9%	3.4%	0.0%	1.7%	15.5%
	30歳代	91人	2.2%	12.1%	19.8%	47.3%	5.5%	2.2%	0.0%	11.0%
	40歳代	135人	2.2%	15.6%	31.1%	40.7%	2.2%	1.5%	2.2%	4.4%
	50歳代	147人	4.8%	21.8%	29.9%	34.7%	2.7%	0.0%	1.4%	4.8%
	60歳代	167人	3.6%	18.0%	23.4%	44.9%	1.2%	1.2%	0.6%	7.2%
	70歳以上	177人	2.3%	13.0%	30.5%	41.8%	2.8%	1.1%	2.8%	5.6%
婚 姻 関 係	女性									
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	1.5%	9.6%	16.1%	45.0%	20.0%	5.2%	1.2%	1.3%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	0.0%	1.1%	8.0%	55.4%	10.9%	2.3%	5.1%	17.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	2.1%	0.9%	7.7%	55.6%	8.3%	1.5%	3.0%	21.0%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	0.1%	0.7%	3.9%	50.0%	34.0%	8.4%	1.5%	1.3%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	0.0%	0.8%	3.1%	58.5%	12.3%	2.3%	4.6%	18.5%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	0.6%	1.2%	3.1%	57.1%	14.3%	2.5%	1.9%	19.3%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	3.2%	20.7%	31.6%	38.9%	2.5%	1.1%	0.7%	1.4%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	0.0%	2.3%	22.7%	47.7%	6.8%	2.3%	4.5%	13.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	3.5%	0.6%	11.8%	54.1%	2.4%	0.6%	3.5%	23.5%
家 族 構 成	男性									
	結婚している又はパートナーがいる	253人	0.4%	1.6%	9.9%	53.8%	9.1%	2.0%	4.0%	19.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	475人	1.3%	7.4%	14.9%	51.6%	15.8%	5.7%	2.1%	1.3%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	1.5%	8.7%	14.2%	44.4%	19.8%	4.5%	1.3%	5.4%
	2世代世帯（親と子）	87人	0.0%	6.9%	11.5%	59.8%	16.1%	2.3%	0.0%	3.4%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	3.7%	7.4%	22.2%	37.0%	7.4%	0.0%	7.4%	14.8%
	その他	125人	0.0%	0.0%	3.2%	57.6%	16.8%	3.2%	2.4%	16.8%
	女性									
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	0.0%	0.7%	4.1%	55.8%	27.0%	8.6%	2.6%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	526人	0.4%	1.1%	3.4%	49.2%	31.7%	7.2%	1.5%	5.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	0.0%	0.0%	2.2%	63.0%	26.1%	2.2%	0.0%	6.5%
	その他	18人	0.0%	0.0%	16.7%	44.4%	11.1%	0.0%	5.6%	22.2%
	男性									
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	2.9%	16.0%	29.1%	46.1%	1.5%	1.9%	1.0%	1.5%
	2世代世帯（親と子）	371人	3.2%	19.4%	29.4%	37.7%	3.2%	0.5%	0.8%	5.7%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	0.0%	15.4%	23.1%	53.8%	5.1%	2.6%	0.0%	0.0%
	その他	9人	11.1%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
暮 ら し む せ	女性									
	たいへんゆとりがある	65人	1.5%	9.2%	13.8%	52.3%	16.9%	1.5%	1.5%	3.1%
	ややゆとりがある	285人	1.4%	7.4%	14.0%	47.7%	19.6%	4.2%	0.4%	5.3%
	ふつう	870人	1.4%	7.4%	13.7%	47.4%	17.1%	4.6%	2.1%	6.4%
	ややくるしい	401人	1.0%	7.0%	13.5%	51.6%	16.0%	3.5%	1.0%	6.5%
	たいへんくるしい	138人	0.7%	5.8%	15.2%	43.5%	11.6%	4.3%	8.0%	10.9%
	男性									
	たいへんゆとりがある	30人	0.0%	3.3%	6.7%	50.0%	33.3%	3.3%	0.0%	3.3%
	ややゆとりがある	157人	0.0%	0.6%	3.8%	49.0%	34.4%	7.6%	0.6%	3.8%
	ふつう	506人	0.4%	0.6%	2.8%	52.8%	27.7%	6.9%	2.2%	6.7%
	ややくるしい	220人	0.0%	0.5%	4.1%	56.4%	26.8%	5.5%	1.4%	5.5%
	たいへんくるしい	73人	0.0%	2.7%	6.8%	49.3%	17.8%	5.5%	6.8%	11.0%
	男性									
	たいへんゆとりがある	34人	2.9%	14.7%	17.6%	55.9%	2.9%	0.0%	2.9%	2.9%
	ややゆとりがある	127人	3.1%	15.7%	26.8%	46.5%	0.8%	0.0%	0.0%	7.1%
	ふつう	358人	2.8%	17.0%	29.3%	39.7%	2.5%	1.1%	1.4%	6.1%
	ややくるしい	172人	2.3%	14.5%	25.0%	45.9%	2.9%	1.2%	0.0%	8.1%
	たいへんくるしい	65人	1.5%	9.2%	24.6%	36.9%	4.6%	3.1%	9.2%	10.8%
職 業	女性									
	勤め人（正規社員・職員）	657人	2.0%	10.2%	19.9%	49.5%	9.7%	2.1%	1.4%	5.2%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	0.2%	4.0%	8.3%	50.0%	25.7%	3.3%	1.2%	7.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	0.0%	6.7%	0.0%	53.3%	33.3%	0.0%	0.0%	6.7%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	4.2%	13.9%	18.7%	42.8%	12.0%	3.0%	1.2%	4.2%
	学生	41人	4.9%	2.4%	9.8%	51.2%	7.3%	2.4%	0.0%	22.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	0.6%	3.6%	9.2%	46.8%	21.4%	8.4%	3.2%	6.7%
	その他	16人	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	37.5%
	男性									
	勤め人（正規社員・職員）	253人	0.4%	0.8%	2.8%	64.0%	22.5%	3.6%	0.8%	5.1%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	0.0%	0.6%	5.0%	51.9%	31.8%	4.1%	0.9%	5.7%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	0.0%	0.0%	5.9%	54.4%	26.5%	7.4%	1.5%	4.4%
	学生	24人	4.2%	4.2%	8.3%	45.8%	12.5%	4.2%	0.0%	20.8%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	0.0%	0.9%	2.5%	44.2%	30.7%	11.6%	3.1%	6.9%
	その他	7人	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%
	女性									
	勤め人（正規社員・職員）	396人	3.0%	15.9%	31.3%	40.2%	1.8%	1.3%	1.3%	5.3%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	1.0%	15.2%	18.2%	44.4%	7.1%	0.0%	2.0%	12.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	7.3%	24.0%	28.1%	34.4%	2.1%	0.0%	0.0%	4.2%
	学生	16人	6.3%	0.0%	12.5%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	1.9%	9.1%	22.1%	53.2%	1.9%	1.9%	3.2%	6.5%
	その他	9人	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%
学 歴	女性									
	中学校	111人	2.7%	5.4%	12.6%	47.7%	6.3%	4.5%	5.4%	15.3%
	高等学校	510人	1.2%	5.9%	12.5%	47.6%	17.1%	5.3%	2.9%	7.5%
	専門学校など各種学校	212人	0.5%	5.2%	10.8%	49.1%	19.8%	4.2%	2.4%	8.0%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	0.0%	2.3%	4.1%	51.4%	29.8%	7.3%	1.8%	3.2%
	大学	637人	2.0%	11.1%	18.8%	44.7%	14.4%	2.8%	0.8%	5.2%
	大学院	75人	0.0%	4.0%	17.3%	69.3%	5.3%	0.0%	0.0%	4.0%
	女性									
	中学校	51人	0.0%	0.0%	2.0%	49.0%	13.7%	5.9%	7.8%	21.6%
	高等学校	305人	0.0%	1.6%	4.6%	50.5%	25.2%	8.2%	3.0%	6.9%
	専門学校など各種学校	144人	0.0%	0.7%	4.2%	54.9%	25.7%	6.3%	2.1%	6.3%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	0.0%	0.5%	1.5%	51.0%	33.5%	8.2%	2.1%	3.1%
	男性									
	大学	275人	0.7%	0.4%	4.4%	52.7%	31.6%	4.7%	0.0%	5.5%
	大学院	20人	0.0%	0.0%	5.0%	80.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性									
	中学校	59人	5.1%	10.2%	22.0%	47.5%	0.0%	1.7%	3.4%	10.2%
	高等学校	196人	3.1%	12.2%	24.0%	43.9%	5.1%	1.0%	2.0%	8.7%
	専門学校など各種学校	66人	1.5%	15.2%	25.8%	34.8%	7.6%	0.0%	3.0%	12.1%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	0.0%	17.4%	26.1%	52.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
	大学	358人	3.1%	19.3%	30.2%	38.8%	1.1%	1.4%	1.1%	5.0%
	大学院	55人	0.0%	5.5%	21.8%	65.5%	1.8%	0.0%	0.0%	5.5%

項 目		回 答 者 数	【問9（1）～1】家事、子育て、介護などの役割の分担（実態）						
			配偶者等が すべて行っ ている	あなたが1 2割、配 偶者等が ～9割を分 担	あなたが3 4割、配 偶者等が ～7割を分 担	あなたが5 割、配偶 者等が5割 を分担	あなたが6 割、配 偶者等が3 ～4割を分 担	あなたが8 割、配 偶者等が ～2割を分 担	あなたがす べて行っ ている
全 体		1,193人	5.0%	21.0%	11.2%	12.4%	14.8%	27.8%	7.8%
性別	女性	666人	0.3%	1.7%	2.7%	10.2%	24.6%	46.7%	13.8%
	男性	519人	11.2%	45.5%	22.0%	15.2%	2.3%	3.7%	0.2%
答えたくない、わからない、その他		8人	0.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%
年代	女性	18～29歳	20人	0.0%	5.0%	5.0%	15.0%	30.0%	5.0%
		30歳代	95人	0.0%	0.0%	3.2%	12.6%	30.5%	47.4%
		40歳代	115人	0.0%	1.7%	3.5%	7.8%	23.5%	16.5%
		50歳代	186人	0.0%	1.1%	2.2%	8.1%	21.5%	14.5%
		60歳代	127人	1.6%	2.4%	3.1%	12.6%	22.8%	15.0%
		70歳以上	123人	0.0%	2.4%	1.6%	10.6%	26.8%	16.3%
		18～29歳	6人	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	男性	30歳代	55人	3.6%	32.7%	30.9%	23.6%	3.6%	5.5%
		40歳代	97人	5.2%	49.5%	27.8%	11.3%	2.1%	4.1%
		50歳代	108人	17.6%	51.9%	17.6%	11.1%	0.9%	0.0%
		60歳代	121人	10.7%	47.1%	19.0%	17.4%	1.7%	4.1%
		70歳以上	132人	14.4%	43.2%	18.2%	15.9%	3.8%	0.8%
		結婚している又はパートナーがいる	1,193人	5.0%	21.0%	11.2%	12.4%	14.8%	27.8%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
婚姻関係	女性	結婚しておらず、パートナーもいない	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚している又はパートナーがいる	666人	0.3%	1.7%	2.7%	10.2%	24.6%	13.8%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚している又はパートナーがいる	519人	11.2%	45.5%	22.0%	15.2%	2.3%	0.2%
	男性	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		結婚しておらず、パートナーもいない	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家族構成	女性	単身世帯（一人暮らし）	3人	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	445人	4.7%	20.4%	9.2%	15.7%	17.5%	7.6%
		2世代世帯（親と子）	646人	4.3%	20.9%	13.2%	9.4%	13.0%	8.0%
		3世代世帯（親と子と孫）	61人	13.1%	24.6%	6.6%	9.8%	14.8%	6.6%
		その他	12人	8.3%	16.7%	16.7%	33.3%	8.3%	8.3%
		単身世帯（一人暮らし）	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	252人	0.8%	2.4%	2.4%	12.7%	28.6%	13.5%
		2世代世帯（親と子）	368人	0.0%	1.1%	2.7%	8.4%	21.7%	13.9%
		3世代世帯（親と子と孫）	28人	0.0%	3.6%	3.6%	3.6%	25.0%	14.3%
	男性	その他	6人	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%
		単身世帯（一人暮らし）	3人	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	193人	9.8%	44.0%	18.1%	19.7%	3.1%	5.2%
		2世代世帯（親と子）	273人	10.3%	47.6%	26.7%	10.6%	1.5%	2.9%
		3世代世帯（親と子と孫）	31人	25.8%	41.9%	9.7%	16.1%	6.5%	0.0%
		その他	6人	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
暮らしむせ	女性	たいへんゆとりがある	40人	5.0%	15.0%	20.0%	15.0%	15.0%	7.5%
		ややゆとりがある	204人	5.9%	21.1%	11.8%	12.3%	18.6%	4.9%
		ふつう	590人	5.1%	21.2%	9.8%	12.2%	14.9%	7.3%
		ややくるしい	269人	3.7%	21.6%	13.0%	12.3%	12.6%	7.4%
		たいへんくるしい	64人	4.7%	18.8%	14.1%	9.4%	9.4%	21.9%
		たいへんゆとりがある	19人	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	31.6%	15.8%
	男性	ややゆとりがある	109人	0.9%	1.8%	1.8%	9.2%	31.2%	9.2%
		ふつう	342人	0.3%	1.2%	2.6%	10.8%	24.6%	12.6%
		ややくるしい	146人	0.0%	1.4%	2.7%	10.3%	22.6%	13.7%
		たいへんくるしい	36人	0.0%	2.8%	2.8%	11.1%	11.1%	36.1%
		たいへんゆとりがある	20人	10.0%	30.0%	25.0%	30.0%	0.0%	0.0%
		ややゆとりがある	95人	11.6%	43.2%	23.2%	15.8%	4.2%	0.0%
職業	女性	勤め人（正規社員・職員）	410人	5.6%	35.9%	17.6%	15.1%	10.5%	13.7%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	290人	1.7%	10.7%	5.5%	9.7%	19.3%	12.1%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	53.8%	15.4%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	132人	12.9%	23.5%	13.6%	10.6%	17.4%	4.5%
		学生	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	340人	4.4%	10.6%	7.9%	12.4%	15.6%	12.1%
		その他	4人	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		勤め人（正規社員・職員）	128人	0.0%	1.6%	1.6%	21.1%	31.3%	5.5%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	235人	0.0%	2.1%	3.0%	8.9%	23.0%	14.9%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	11人	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	55人	0.0%	0.0%	5.5%	7.3%	36.4%	10.9%
		学生	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	無職（家事専業、定年後も含む）	235人	0.9%	1.3%	2.6%	6.8%	20.9%	17.0%
		その他	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
		勤め人（正規社員・職員）	278人	8.3%	51.1%	24.8%	12.6%	1.1%	2.2%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	54人	9.3%	48.1%	16.7%	13.0%	3.7%	0.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	76人	22.4%	40.8%	19.7%	13.2%	3.9%	0.0%
		学生	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	103人	12.6%	32.0%	19.4%	24.3%	3.9%	1.0%
		その他	3人	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
学 歴	女性	中学校	56人	14.3%	21.4%	8.9%	23.2%	5.4%	5.4%
		高等学校	326人	6.7%	17.2%	10.1%	12.6%	30.7%	10.1%
		専門学校など各種学校	127人	3.9%	14.2%	6.3%	9.4%	21.3%	12.6%
		短期大学、新制高等専門学校	170人	0.0%	7.1%	2.4%	7.1%	24.7%	14.1%
		大学	443人	5.0%	30.0%	16.0%	12.2%	11.7%	3.4%
		大学院	49人	2.0%	26.5%	26.5%	20.4%	16.3%	0.0%
		中学校	23人	4.3%	4.3%	0.0%	21.7%	8.7%	13.0%
		高等学校	199人	0.5%	3.0%	4.5%	10.1%	19.6%	16.1%
		専門学校など各種学校	91人	0.0%	0.0%	2.2%	8.8%	28.6%	17.6%
	男性	短期大学、新制高等専門学校	153人	0.0%	1.3%	1.3%	5.9%	26.1%	15.7%
		大学	176人	0.0%	1.1%	2.8%	11.4%	26.7%	8.5%
		大学院	13人	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	53.8%	23.1%
		中学校	32人	21.9%	34.4%	15.6%	25.0%	3.1%	0.0%
		高等学校	123人	17.1%	39.8%	17.9%	16.3%	1.6%	0.8%
		専門学校など各種学校	34人	14.7%	50.0%	17.6%	11.8%	2.9%	0.0%
		短期大学、新制高等専門学校	17人	0.0%	58.8%	11.8%	17.6%	11.8%	0.0%
		大学	266人	8.3%	48.9%	24.8%	12.8%	1.9%	0.0%
		大学院	36人	2.8%	36.1%	36.1%	19.4%	2.8%	0.0%

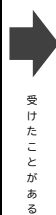
項 目		回 答 者 数	【問10】男性の育児休業の取得について						
			推進すべき	どちらかという と推進 すべき	どちらかという と推進 すべきでない	推進すべき でない	わからない	無回答	
全 体		1,800人	49.1%	33.2%	4.3%	2.1%	9.3%	2.1%	
性 別	女性	1,008人	51.3%	32.7%	3.0%	1.6%	8.9%	2.5%	
	男性	775人	46.2%	33.9%	6.1%	2.7%	9.4%	1.7%	
答えたくない、わからない、その他		17人	47.1%	23.5%	0.0%	0.0%	29.4%	0.0%	
年 代	女 性	18～29歳	95人	71.6%	23.2%	0.0%	0.0%	1.1%	4.2%
		30歳代	138人	61.6%	22.5%	5.1%	1.4%	8.0%	1.4%
		40歳代	161人	50.9%	34.2%	4.3%	1.9%	6.8%	1.9%
		50歳代	240人	42.9%	39.6%	2.9%	2.9%	11.3%	0.4%
		60歳代	178人	56.7%	33.1%	0.6%	1.7%	6.7%	1.1%
		70歳以上	196人	39.8%	34.7%	4.1%	0.5%	14.3%	6.6%
		18～29歳	58人	67.2%	19.0%	0.0%	1.7%	10.3%	1.7%
	男 性	30歳代	91人	63.7%	18.7%	6.6%	1.1%	7.7%	2.2%
		40歳代	135人	46.7%	34.8%	8.9%	3.0%	6.7%	0.0%
		50歳代	147人	40.8%	35.4%	8.2%	3.4%	10.2%	2.0%
		60歳代	167人	39.5%	41.3%	3.0%	4.8%	9.6%	1.8%
		70歳以上	177人	40.7%	37.9%	6.8%	1.1%	11.3%	2.3%
婚 姻 関 係	女 性	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	48.7%	35.0%	5.0%	1.9%	8.6%	0.9%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	37.7%	36.0%	3.4%	2.9%	14.9%	5.1%
		結婚しておらず、パートナーもいない	338人	56.2%	25.1%	2.1%	2.4%	9.5%	4.7%
		結婚している又はパートナーがいる	714人	51.3%	33.9%	3.4%	1.8%	8.5%	1.1%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	38.5%	38.5%	2.3%	2.3%	12.3%	6.2%
	男 性	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	61.5%	23.6%	1.9%	0.0%	8.1%	5.0%
		結婚している又はパートナーがいる	561人	45.5%	36.4%	7.1%	2.0%	8.4%	0.7%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	36.4%	29.5%	6.8%	4.5%	20.5%	2.3%
		結婚しておらず、パートナーもいない	170人	51.2%	27.1%	2.4%	4.7%	10.0%	4.7%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	253人	46.6%	29.2%	2.8%	2.8%	14.6%	4.0%
家 族 構 成	女 性	単身世帯（一人暮らし）	475人	49.1%	34.5%	4.8%	1.5%	9.1%	1.1%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	49.5%	34.3%	4.3%	2.3%	7.8%	1.8%
		2世代世帯（親と子）	87人	55.2%	29.9%	3.4%	0.0%	9.2%	2.3%
		3世代世帯（親と子と孫）	27人	51.9%	25.9%	7.4%	0.0%	11.1%	3.7%
		その他	125人	48.8%	32.8%	2.4%	0.0%	12.0%	4.0%
		単身世帯（一人暮らし）	267人	53.6%	31.5%	4.1%	1.1%	8.2%	1.5%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	50.6%	34.4%	2.7%	2.3%	8.2%	1.9%
		2世代世帯（親と子）	46人	56.5%	30.4%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%
		3世代世帯（親と子と孫）	18人	50.0%	27.8%	0.0%	0.0%	16.7%	5.6%
	男 性	単身世帯（一人暮らし）	126人	45.2%	26.2%	3.2%	5.6%	15.9%	4.0%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	43.2%	38.8%	5.8%	1.9%	9.7%	0.5%
		2世代世帯（親と子）	371人	48.2%	34.0%	6.7%	2.4%	7.0%	1.6%
		3世代世帯（親と子と孫）	39人	51.3%	30.8%	2.6%	0.0%	15.4%	0.0%
		その他	9人	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
暮 ら し む せ	女 性	たいへんゆとりがある	65人	46.2%	40.0%	4.6%	1.5%	7.7%	0.0%
		ややゆとりがある	285人	56.8%	31.2%	2.5%	1.4%	7.4%	0.7%
		ふつう	870人	46.6%	34.9%	4.7%	2.4%	9.3%	2.1%
		ややくるしい	401人	52.1%	31.2%	3.2%	1.5%	9.2%	2.7%
		たいへんくるしい	138人	47.1%	28.3%	6.5%	1.4%	14.5%	2.2%
		たいへんゆとりがある	30人	40.0%	46.7%	3.3%	0.0%	10.0%	0.0%
	男 性	ややゆとりがある	157人	61.8%	26.1%	1.9%	1.3%	7.6%	1.3%
		ふつう	506人	49.0%	35.4%	3.4%	1.6%	8.5%	2.2%
		ややくるしい	220人	56.8%	30.9%	0.9%	1.4%	6.8%	3.2%
		たいへんくるしい	73人	39.7%	30.1%	6.8%	2.7%	17.8%	2.7%
		たいへんゆとりがある	34人	50.0%	35.3%	5.9%	2.9%	5.9%	0.0%
		ややゆとりがある	127人	50.4%	37.8%	3.1%	1.6%	7.1%	0.0%
職 業	女 性	ふつう	358人	43.3%	34.6%	6.7%	3.6%	9.8%	2.0%
		ややくるしい	172人	46.5%	31.4%	6.4%	1.7%	11.6%	2.3%
		たいへんくるしい	65人	55.4%	26.2%	6.2%	0.0%	10.8%	1.5%
		勤め人（正規社員・職員）	657人	52.1%	31.7%	5.2%	2.3%	7.5%	1.4%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	49.0%	34.8%	2.9%	2.1%	9.5%	1.7%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	53.3%	40.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	44.0%	34.3%	6.0%	3.0%	12.0%	0.6%
		学生	41人	68.3%	22.0%	0.0%	0.0%	4.9%	4.9%
		無職（家事専業、定年後も含む）	476人	46.4%	34.7%	4.0%	1.7%	10.5%	2.7%
		その他	16人	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	31.3%	18.8%
	男 性	勤め人（正規社員・職員）	253人	59.3%	28.1%	2.4%	1.2%	7.5%	1.6%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	47.8%	38.4%	2.5%	2.2%	7.9%	1.3%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	53.8%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	50.0%	30.9%	5.9%	2.9%	10.3%	0.0%
		学生	24人	70.8%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
		無職（家事専業、定年後も含む）	319人	48.6%	32.6%	3.8%	1.3%	10.3%	3.4%
		その他	7人	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%
		勤め人（正規社員・職員）	396人	47.5%	33.8%	7.1%	3.0%	7.3%	1.3%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	53.5%	24.2%	4.0%	2.0%	13.1%	3.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	39.6%	37.5%	6.3%	3.1%	12.5%	1.0%
		学生	16人	68.8%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
学 歴	女 性	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	41.6%	39.0%	4.5%	2.6%	11.0%	1.3%
		その他	9人	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%
		中学校	111人	36.9%	27.9%	5.4%	0.9%	20.7%	8.1%
		高等学校	510人	49.0%	32.0%	4.5%	2.0%	10.2%	2.4%
		専門学校など各種学校	212人	44.8%	37.7%	1.4%	1.4%	13.2%	1.4%
		短期大学、新制高等専門学校	218人	50.5%	35.8%	3.2%	1.8%	7.3%	1.4%
		大学	637人	53.1%	31.4%	5.3%	2.5%	6.6%	1.1%
		大学院	75人	52.0%	41.3%	2.7%	1.3%	2.7%	0.0%
	男 性	中学校	51人	37.3%	27.5%	3.9%	0.0%	21.6%	9.8%
		高等学校	305人	51.1%	31.5%	4.6%	1.3%	8.9%	2.6%
		専門学校など各種学校	144人	42.4%	41.7%	0.0%	1.4%	13.2%	1.4%
		短期大学、新制高等専門学校	194人	52.1%	34.5%	3.1%	1.5%	7.2%	1.5%
		大学	275人	60.4%	28.4%	2.9%	2.2%	4.7%	1.5%
		大学院	20人	45.0%	50.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
		中学校	59人	37.3%	28.8%	6.8%	1.7%	18.6%	6.8%
		高等学校	196人	46.9%	32.7%	4.6%	3.1%	10.7%	2.0%
		専門学校など各種学校	66人	48.5%	30.3%	4.5%	1.5%	13.6%	1.5%
		短期大学、新制高等専門学校	23人	39.1%	43.5%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%
		大学	358人	46.9%	34.1%	7.3%	2.8%	8.1%	0.8%
		大学院	55人	54.5%	38.2%	3.6%	1.8%	1.8%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問11(2)】ストーリー、痴漢行為 ①不快な内容の電話やメール、手紙がきたり、つきまといわれたりした				【問11(2)】ストーリー、痴漢行為 ②電車の中などで身体を触られたりして、不快な思いをした			
			ない	1～2回ある	何回もある	無回答	ない	1～2回ある	何回もある	無回答
全 体		1,800人	79.8%	14.2%	3.6%	2.4%	68.5%	22.4%	7.1%	2.1%
性 別	女性	1,008人	70.9%	21.4%	5.2%	2.5%	49.1%	37.1%	12.1%	1.7%
	男性	775人	91.6%	4.8%	1.4%	2.2%	93.7%	3.4%	0.6%	2.3%
答えたくない、わからない、その他		17人	64.7%	17.6%	5.9%	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%	11.8%
年 代	18～29歳	95人	77.9%	16.8%	3.2%	2.1%	73.7%	21.1%	2.1%	3.2%
	30歳代	138人	76.8%	18.1%	3.6%	1.4%	58.7%	34.1%	7.2%	0.0%
	40歳代	161人	68.9%	22.4%	8.1%	0.6%	41.6%	41.6%	16.1%	0.6%
	50歳代	240人	66.7%	25.8%	6.7%	0.8%	40.0%	42.1%	17.1%	0.8%
	60歳代	178人	67.4%	25.3%	6.2%	1.1%	40.4%	43.8%	15.7%	0.0%
	70歳以上	196人	73.5%	16.3%	2.0%	8.2%	55.6%	31.1%	7.7%	5.6%
	18～29歳	58人	87.9%	8.6%	3.4%	0.0%	89.7%	6.9%	3.4%	0.0%
	30歳代	91人	92.3%	4.4%	2.2%	1.1%	94.5%	4.4%	0.0%	1.1%
	40歳代	135人	95.6%	3.0%	1.5%	0.0%	92.6%	5.2%	2.2%	0.0%
	50歳代	147人	91.8%	6.1%	0.7%	1.4%	98.6%	0.7%	0.0%	0.7%
婚 姻 関 係	60歳代	167人	93.4%	4.2%	1.2%	1.2%	95.2%	3.0%	0.0%	1.8%
	70歳以上	177人	87.6%	4.5%	1.1%	6.8%	89.8%	2.8%	0.0%	7.3%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	80.8%	13.5%	3.6%	2.2%	67.5%	23.1%	7.7%	1.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	68.6%	24.0%	4.0%	3.4%	59.4%	27.4%	9.7%	3.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	82.0%	12.1%	3.3%	2.7%	76.9%	17.2%	3.3%	2.7%
	女性	714人	71.7%	20.9%	5.3%	2.1%	46.4%	39.1%	13.3%	1.3%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	63.1%	27.7%	5.4%	3.8%	50.0%	34.6%	13.1%	2.3%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	73.9%	19.3%	4.3%	2.5%	60.2%	31.1%	6.2%	2.5%
	男性	561人	92.3%	4.1%	1.4%	2.1%	94.3%	3.0%	0.7%	2.0%
	結婚している又はパートナーがいる	44人	86.4%	11.4%	0.0%	2.3%	88.6%	4.5%	0.0%	6.8%
家 族 構 成	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	170人	90.6%	5.3%	1.8%	2.4%	92.9%	4.1%	0.6%	2.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	253人	76.7%	13.8%	5.1%	4.3%	74.7%	17.0%	4.0%	4.3%
	単身世帯（一人暮らし）	475人	78.1%	14.7%	4.8%	2.3%	65.5%	25.7%	6.7%	2.1%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	81.3%	14.3%	3.0%	1.4%	68.0%	22.5%	8.6%	0.9%
	2世代世帯（親と子）	87人	86.2%	10.3%	1.1%	2.3%	73.6%	21.8%	2.3%	2.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	85.2%	11.1%	0.0%	3.7%	59.3%	25.9%	11.1%	3.7%
	その他	125人	68.0%	19.2%	8.0%	4.8%	56.0%	33.6%	7.2%	3.2%
	女性	267人	67.8%	22.8%	6.7%	2.6%	44.2%	41.6%	12.0%	2.2%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	72.2%	21.9%	4.4%	1.5%	49.0%	36.1%	14.1%	0.8%
	2世代世帯（親と子と孫）	46人	78.3%	17.4%	2.2%	2.2%	56.5%	37.0%	4.3%	2.2%
暮 ら し む せ	その他	18人	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	38.9%	38.9%	16.7%	5.6%
	男性	126人	86.5%	7.9%	2.4%	3.2%	94.4%	0.0%	0.8%	4.8%
	単身世帯（一人暮らし）	206人	92.2%	3.9%	2.4%	1.5%	93.7%	4.9%	0.0%	1.5%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	93.8%	4.0%	0.8%	1.3%	94.1%	3.8%	1.1%	1.1%
	2世代世帯（親と子）	39人	94.9%	2.6%	0.0%	2.6%	92.3%	5.1%	0.0%	2.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	9人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	65人	86.2%	7.7%	6.2%	0.0%	80.0%	13.8%	6.2%	0.0%
	女性	285人	81.1%	13.3%	3.9%	1.8%	66.3%	25.3%	7.4%	1.1%
	ややゆとりがある	870人	81.5%	13.6%	2.9%	2.1%	69.5%	22.2%	6.4%	1.8%
	ふつう	401人	76.6%	17.5%	3.2%	2.7%	65.3%	23.2%	9.0%	2.5%
職 業	ややくるしい	138人	73.9%	15.2%	8.0%	2.9%	70.3%	21.7%	5.8%	2.2%
	たいへんくるしい	30人	80.0%	13.3%	6.7%	0.0%	63.3%	26.7%	10.0%	0.0%
	女性	157人	71.3%	21.0%	6.4%	1.3%	41.4%	44.6%	13.4%	0.6%
	ややゆとりがある	506人	72.9%	20.6%	4.3%	2.2%	52.0%	35.6%	10.7%	1.8%
	ふつう	220人	68.2%	24.5%	4.1%	3.2%	44.5%	38.2%	15.5%	1.8%
	ややくるしい	73人	60.3%	24.7%	12.3%	2.7%	52.1%	35.6%	11.0%	1.4%
	たいへんくるしい	34人	91.2%	2.9%	5.9%	0.0%	94.1%	2.9%	2.9%	0.0%
	男性	127人	92.9%	3.9%	0.8%	2.4%	96.9%	1.6%	0.0%	1.6%
	ややゆとりがある	358人	94.1%	3.6%	0.6%	1.7%	94.4%	3.4%	0.6%	1.7%
	ふつう	172人	87.8%	8.1%	2.3%	1.7%	91.9%	4.1%	1.2%	2.9%
学 歴	ややくるしい	65人	89.2%	4.6%	3.1%	3.1%	90.8%	6.2%	0.0%	3.1%
	たいへんくるしい	253人	72.7%	22.1%	4.3%	0.8%	54.9%	37.2%	7.5%	0.4%
	女性	318人	73.6%	20.1%	5.0%	1.3%	44.0%	39.0%	16.0%	0.9%
	勤め人（正規社員・職員）	13人	76.9%	15.4%	0.0%	7.7%	76.9%	15.4%	7.7%	0.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	68人	63.2%	29.4%	7.4%	0.0%	48.5%	38.2%	13.2%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	24人	83.3%	12.5%	0.0%	4.2%	83.3%	12.5%	0.0%	4.2%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	319人	68.0%	21.3%	6.0%	4.7%	46.1%	38.2%	12.5%	3.1%
	無職（家事専業、定年後も含む）	7人	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%
	その他	396人	94.4%	3.5%	1.3%	0.8%	94.4%	4.0%	1.0%	0.5%
	男性	99人	87.9%	7.1%	3.0%	2.0%	96.0%	1.0%	0.0%	3.0%
学 校	勤め人（正規社員・職員）	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	96人	90.6%	7.3%	1.0%	1.0%	97.9%	1.0%	0.0%	1.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	16人	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	154人	90.3%	3.2%	1.3%	5.2%	89.6%	3.9%	0.6%	5.8%
	学生	9人	55.6%	33.3%	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
	無職（家事専業、定年後も含む）	111人	73.0%	12.6%	3.6%	10.8%	81.1%	8.1%	0.0%	10.8%
	その他	510人	78.6%	16.5%	2.0%	2.9%	66.7%	24.7%	6.5%	2.2%
	女性	212人	73.6%	18.4%	7.5%	0.5%	64.6%	25.0%	10.4%	0.0%
	中学校	218人	75.2%	15.6%	7.8%	1.4%	50.9%	33.0%	14.7%	1.4%
	高等学校	637人	84.5%	11.9%	2.4%	1.3%	73.3%	19.8%	5.8%	1.1%
専 門 学 校	大学	75人	89.3%	8.0%	2.7%	0.0%	82.7%	14.7%	2.7%	0.0%
	大学院	51人	58.8%	21.6%	7.8%	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%	11.8%
	中学校	305人	71.1%	22.6%	3.0%	3.3%	49.2%	39.3%	10.2%	1.3%
	高等学校	144人	66.7%	24.3%	8.3%	0.7%	50.0%	35.4%	14.6%	0.0%
	女性	194人	72.2%	17.5%	8.8%	1.5%	45.4%	36.6%	16.5%	1.5%
	大学	275人	73.8%	21.8%	3.3%	1.1%	45.8%	40.0%	13.1%	1.1%
	大学院	20人	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	60.0%	35.0%	5.0%	0.0%
	中学校	59人	84.7%	5.1%	0.0%	10.2%	89.8%	0.0%	0.0%	10.2%
	高等学校	196人	91.3%	6.6%	0.5%	1.5%	94.4%	2.0%	1.0%	2.6%
	男性	66人	87.9%	6.1%	6.1%	0.0%	95.5%	3.0%	1.5%	0.0%
専 門 学 校	専門学校など各種専門学校	23人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%
	短期大学・新制高等専門学校	358人	93.0%	4.2%	1.4%	1.4%	94.4%	4.2%	0.3%	1.1%
	大学	55人	96.4%	1.8%	1.8%	0.0%	90.9%	7.3%	1.8%	0.0%

項 目		回 答 者 数	【問 1 1 (3)】配偶者等や交際相手からの暴力 (これまで) ①身体的暴行			
			ない	1～2回ある	何回もある	無回答
全 体		1,800人	82.8%	8.0%	3.5%	5.7%
性 別	女性	1,008人	79.5%	11.1%	4.4%	5.1%
	男性	775人	87.2%	4.0%	2.3%	6.5%
答えたくない、わからない、その他		17人	76.5%	5.9%	5.9%	11.8%
年 代	18～29歳	95人	91.6%	2.1%	2.1%	4.2%
	30歳代	138人	89.1%	6.5%	2.2%	2.2%
	40歳代	161人	74.5%	14.3%	7.5%	3.7%
	50歳代	240人	76.7%	16.7%	4.6%	2.1%
	60歳代	178人	78.1%	10.1%	6.7%	5.1%
	70歳以上	196人	75.5%	10.2%	2.0%	12.2%
	18～29歳	58人	91.4%	1.7%	1.7%	5.2%
	30歳代	91人	87.9%	4.4%	2.2%	5.5%
	40歳代	135人	90.4%	0.0%	5.9%	3.7%
	50歳代	147人	93.2%	3.4%	1.4%	2.0%
	60歳代	167人	85.0%	6.0%	1.8%	7.2%
	70歳以上	177人	80.2%	6.2%	1.1%	12.4%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	86.1%	7.7%	3.2%	3.0%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	63.4%	17.7%	9.7%	9.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	80.5%	4.1%	1.5%	13.9%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	82.6%	10.6%	3.9%	2.8%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	61.5%	20.8%	10.0%	7.7%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	80.1%	5.6%	1.9%	12.4%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	90.4%	4.1%	2.3%	3.2%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	68.2%	9.1%	9.1%	13.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	81.8%	2.4%	0.6%	15.3%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	253人	76.7%	7.5%	4.0%	11.9%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	86.3%	8.2%	2.3%	3.2%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	83.0%	8.6%	3.9%	4.5%
	2世代世帯（親と子）	87人	85.1%	2.3%	5.7%	6.9%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	77.8%	7.4%	0.0%	14.8%
	その他	125人	73.6%	11.2%	5.6%	9.6%
	単身世帯（一人暮らし）	267人	82.8%	11.2%	3.4%	2.6%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	79.8%	11.8%	4.0%	4.4%
	2世代世帯（親と子）	46人	78.3%	4.3%	10.9%	6.5%
	3世代世帯（親と子と孫）	18人	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
	その他	126人	80.2%	4.0%	2.4%	13.5%
	単身世帯（一人暮らし）	206人	91.3%	4.4%	1.0%	3.4%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	87.6%	4.0%	3.5%	4.9%
	2世代世帯（親と子）	39人	92.3%	0.0%	0.0%	7.7%
	3世代世帯（親と子と孫）	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
暮 ら し む せ	たいへんゆとりがある	65人	96.9%	1.5%	0.0%	1.5%
	ややゆとりがある	285人	86.7%	7.4%	2.5%	3.5%
	ふつう	870人	85.1%	6.9%	2.6%	5.4%
	ややくるしい	401人	80.3%	10.0%	4.0%	5.7%
	たいへんくるしい	138人	64.5%	13.8%	10.9%	10.9%
	たいへんゆとりがある	30人	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	85.4%	8.9%	1.9%	3.8%
	ふつう	506人	81.6%	10.1%	3.0%	5.3%
	ややくるしい	220人	77.7%	12.7%	5.5%	4.1%
	たいへんくるしい	73人	54.8%	21.9%	16.4%	6.8%
	たいへんゆとりがある	34人	97.1%	0.0%	0.0%	2.9%
	ややゆとりがある	127人	89.0%	4.7%	3.1%	3.1%
	ふつう	358人	90.2%	2.5%	2.0%	5.3%
	ややくるしい	172人	83.1%	7.0%	2.3%	7.6%
職 業	たいへんくるしい	65人	75.4%	4.6%	4.6%	15.4%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	89.2%	5.6%	2.4%	2.7%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	77.4%	12.4%	5.2%	5.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	83.1%	6.6%	4.8%	5.4%
	学生	41人	87.8%	2.4%	0.0%	9.8%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	78.8%	8.6%	3.4%	9.2%
	その他	16人	68.8%	0.0%	6.3%	25.0%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	85.4%	10.3%	2.0%	2.4%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	75.5%	15.4%	6.0%	3.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	83.8%	7.4%	7.4%	1.5%
	学生	24人	87.5%	4.2%	0.0%	8.3%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	77.4%	9.1%	4.4%	9.1%
学 歴	その他	7人	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%
	勤め人（正規社員・職員）	396人	91.7%	2.8%	2.5%	3.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	83.8%	3.0%	3.0%	10.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	83.3%	6.3%	3.1%	7.3%
	学生	16人	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	81.8%	7.1%	1.3%	9.7%
	その他	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	中学校	111人	67.6%	9.0%	5.4%	18.0%
	高等学校	510人	80.4%	9.0%	4.1%	6.5%
	専門学校など各種学校	212人	81.6%	9.4%	3.3%	5.7%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	81.2%	10.1%	3.2%	5.5%
	大学	637人	87.6%	6.8%	2.7%	3.0%
	大学院	75人	94.7%	0.0%	4.0%	1.3%
性 別	中学校	51人	62.7%	11.8%	7.8%	17.6%
	高等学校	305人	76.4%	12.5%	5.9%	5.2%
	専門学校など各種学校	144人	81.3%	11.8%	4.2%	2.8%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	80.9%	10.3%	3.1%	5.7%
	大学	275人	83.6%	10.5%	2.9%	2.9%
	大学院	20人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学校	59人	71.2%	6.8%	3.4%	18.6%
	高等学校	196人	86.7%	4.1%	1.5%	7.7%
	専門学校など各種学校	66人	81.8%	4.5%	1.5%	12.1%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	82.6%	8.7%	4.3%	4.3%
	大学	358人	91.1%	3.6%	2.2%	3.1%
	大学院	55人	92.7%	0.0%	5.5%	1.8%
	中学校	16人	56.3%	6.3%	0.0%	37.5%
	高等学校	67人	82.1%	10.4%	1.5%	6.0%
	専門学校など各種学校	27人	77.8%	14.8%	3.7%	3.7%
	短期大学、新制高等専門学校	29人	86.2%	6.9%	0.0%	6.9%
	大学	60人	70.0%	16.7%	8.3%	5.0%
	大学院	3人	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
	中学校	10人	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%
	高等学校	56人	83.9%	7.1%	1.8%	7.1%
	専門学校など各種学校	23人	78.3%	17.4%	0.0%	4.3%
	短期大学、新制高等専門学校	26人	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%
	大学	37人	78.4%	8.1%	5.4%	8.1%
	大学院	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学校	6人	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%
	高等学校	11人	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
	専門学校など各種学校	4人	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	短期大学、新制高等専門学校	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大学	21人	52.4%	33.3%	14.3%	0.0%
	大学院	3人	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%

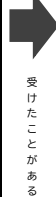
受けたことがある

項 目		回 答 者 数	【問 1 1 (3) 】 配偶者等や交際相手からの暴力 (これまで) ②心理的攻撃			
			ない	1 ～ 2 回あ る	何回もある	無回答
全 体		1,800人	79.3%	7.4%	7.6%	5.7%
性 別	女性	1,008人	75.7%	9.4%	10.0%	4.9%
	男性	775人	84.5%	4.5%	4.3%	6.7%
答えたくない、わからない、その他		17人	58.8%	17.6%	11.8%	11.8%
年 代	女性					
	18～29歳	95人	81.1%	9.5%	5.3%	4.2%
	30歳代	138人	82.6%	7.2%	8.0%	2.2%
	40歳代	161人	68.3%	13.7%	13.0%	5.0%
	50歳代	240人	73.8%	11.7%	12.9%	1.7%
	60歳代	178人	74.2%	6.7%	14.6%	4.5%
	70歳以上	196人	78.1%	7.1%	3.6%	11.2%
	男性					
	18～29歳	58人	84.5%	5.2%	5.2%	5.2%
	30歳代	91人	84.6%	6.6%	2.2%	6.6%
婚 姻 関 係	女性					
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	82.9%	7.6%	6.5%	3.1%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	60.0%	9.7%	21.7%	8.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	76.0%	5.6%	4.4%	13.9%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	79.0%	9.7%	8.7%	2.7%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	59.2%	10.8%	22.3%	7.7%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	74.5%	7.5%	6.2%	11.8%
	男性					
	結婚している又はパートナーがいる	561人	87.9%	4.8%	3.7%	3.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	63.6%	6.8%	18.2%	11.4%
家 族 構 成	女性					
	単身世帯（一人暮らし）	253人	71.1%	6.3%	11.5%	11.1%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	84.2%	8.0%	4.4%	3.4%
	2世代世帯（親と子）	907人	79.3%	7.7%	8.4%	4.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	82.8%	3.4%	6.9%	6.9%
	その他	27人	74.1%	7.4%	3.7%	14.8%
	男性					
	単身世帯（一人暮らし）	125人	68.0%	8.8%	15.2%	8.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	80.5%	10.5%	6.7%	2.2%
	2世代世帯（親と子）	526人	75.5%	9.5%	10.5%	4.6%
暮 ら し む せ	女性					
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	76.1%	4.3%	13.0%	6.5%
	その他	18人	72.2%	11.1%	5.6%	11.1%
	男性					
	単身世帯（一人暮らし）	126人	75.4%	4.0%	7.1%	13.5%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	89.3%	4.9%	1.5%	4.4%
	2世代世帯（親と子）	371人	85.2%	4.6%	5.4%	4.9%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	89.7%	2.6%	0.0%	7.7%
	その他	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	たいへんゆとりがある	65人	93.8%	1.5%	3.1%	1.5%
職 業	女性					
	ややゆとりがある	285人	87.8%	7.0%	6.7%	3.5%
	ふつう	870人	81.6%	7.8%	5.2%	5.4%
	ややくるしい	401人	77.1%	7.2%	9.5%	6.2%
	たいへんくるしい	138人	60.1%	10.1%	20.3%	9.4%
	男性					
	たいへんゆとりがある	30人	93.3%	3.3%	3.3%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	80.9%	8.3%	7.6%	3.2%
	ふつう	506人	76.9%	10.7%	6.9%	5.5%
	ややくるしい	220人	75.0%	8.6%	12.3%	4.1%
学 歴	女性					
	たいへんくるしい	73人	53.4%	9.6%	32.9%	4.1%
	たいへんゆとりがある	34人	94.1%	0.0%	2.9%	2.9%
	ややゆとりがある	127人	85.0%	5.5%	5.5%	3.9%
	ふつう	358人	88.8%	3.6%	2.5%	5.0%
	ややくるしい	172人	80.8%	4.7%	5.8%	8.7%
	たいへんくるしい	65人	67.7%	10.8%	6.2%	15.4%
	男性					
	勤め人（正規社員・職員）	657人	83.3%	7.2%	6.4%	3.2%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	75.5%	9.3%	10.5%	4.8%
学 校	女性					
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	80.0%	13.3%	6.7%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	80.1%	6.0%	8.4%	5.4%
	学生	41人	82.9%	4.9%	2.4%	9.8%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	77.7%	6.5%	6.9%	8.8%
	その他	16人	62.5%	6.3%	6.3%	25.0%
	男性					
	勤め人（正規社員・職員）	253人	78.7%	10.3%	8.3%	2.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	73.9%	10.4%	12.9%	2.8%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	76.9%	15.4%	7.7%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	77.9%	8.8%	11.8%	1.5%
学 校	女性					
	学生	24人	83.3%	4.2%	4.2%	8.3%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	74.6%	8.2%	8.8%	8.5%
	その他	7人	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%
	男性					
	勤め人（正規社員・職員）	396人	86.4%	5.3%	4.8%	3.5%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	81.8%	5.1%	3.0%	10.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	82.3%	4.2%	6.3%	7.3%
	学生	16人	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%
学 校	女性					
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	84.4%	2.6%	3.2%	9.7%
	その他	9人	66.7%	11.1%	0.0%	22.2%
	男性					
	中学校	111人	73.9%	4.5%	3.6%	18.0%
	高等学校	510人	77.6%	8.2%	7.8%	6.3%
	専門学校など各種学校	212人	75.9%	6.6%	11.8%	5.7%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	73.9%	11.5%	9.2%	5.5%
	大学	637人	83.8%	6.9%	6.4%	2.8%
	大学院	75人	89.3%	2.7%	4.0%	4.0%
学 校	女性					
	中学校	51人	66.7%	7.8%	7.8%	17.6%
	高等学校	305人	75.4%	9.5%	10.5%	4.6%
	専門学校など各種学校	144人	75.0%	9.0%	13.2%	2.8%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	72.2%	12.4%	9.8%	5.7%
	大学	275人	80.0%	8.0%	9.1%	2.9%
	大学院	20人	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	男性					
	中学校	59人	79.7%	1.7%	0.0%	18.6%
	高等学校	196人	82.7%	5.6%	3.6%	8.2%
学 校	女性					
	専門学校など各種学校	66人	77.3%	1.5%	9.1%	12.1%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	87.0%	4.3%	4.3%	4.3%
	大学	358人	87.2%	5.9%	4.2%	2.8%
	大学院	55人	89.1%	0.0%	5.5%	5.5%
	男性					
	専門学校など各種学校	66人	77.3%	1.5%	9.1%	12.1%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	87.0%	4.3%	4.3%	4.3%
	大学	358人	87.2%	5.9%	4.2%	2.8%
	大学院	55人	89.1%	0.0%	5.5%	5.5%



受けたことがある

項 目		回 答 者 数	【問 1 1 (3) 】 配偶者等や交際相手からの暴力 (これまで) ③経済的圧迫			
			ない	1 ～ 2 回あ る	何回もある	無回答
全 体		1,800人	87.3%	3.3%	3.8%	5.6%
性 別	女性	1,008人	85.1%	4.3%	5.9%	4.8%
	男性	775人	90.5%	1.9%	1.0%	6.6%
答えたくない、わからない、その他		17人	76.5%	5.9%	5.9%	11.8%
年 代	女性	95人	93.7%	0.0%	2.1%	4.2%
	18～29歳	138人	91.3%	2.9%	3.6%	2.2%
	30歳代	161人	81.4%	5.0%	9.9%	3.7%
	40歳代	240人	86.3%	5.8%	6.3%	1.7%
	50歳代	178人	81.5%	6.2%	7.9%	4.5%
	60歳代	196人	81.6%	3.1%	3.6%	11.7%
	70歳以上	58人	91.4%	3.4%	0.0%	5.2%
	男性	91人	90.1%	2.2%	1.1%	6.6%
	30歳代	135人	90.4%	2.2%	3.7%	3.7%
	50歳代	147人	95.2%	2.0%	0.7%	2.0%
婚 姻 関 係	女性	167人	91.0%	1.2%	0.6%	7.2%
	60歳代	177人	85.9%	1.7%	0.0%	12.4%
	70歳以上	1,284人	91.7%	2.4%	2.8%	3.0%
	結婚している又はパートナーがいる	175人	68.0%	9.7%	14.9%	7.4%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	338人	80.8%	3.3%	1.8%	14.2%
	結婚しておらず、パートナーもいない	714人	89.5%	3.5%	4.3%	2.7%
	結婚している又はパートナーがいる	130人	66.2%	9.2%	18.5%	6.2%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	561人	81.4%	3.7%	2.5%	12.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	561人	94.7%	1.1%	0.9%	3.4%
	男性	44人	75.0%	9.1%	4.5%	11.4%
家 族 構 成	女性	170人	80.6%	2.9%	0.6%	15.9%
	結婚している又はパートナーがいる	253人	77.9%	5.1%	5.5%	11.5%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	475人	92.0%	2.5%	2.1%	3.4%
	単身世帯（一人暮らし）	907人	88.0%	3.2%	4.5%	4.3%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	87人	90.8%	1.1%	1.1%	6.9%
	2世代世帯（親と子）	27人	81.5%	3.7%	0.0%	14.8%
	3世代世帯（親と子と孫）	125人	76.0%	4.8%	10.4%	8.8%
	その他	267人	90.3%	3.4%	3.7%	2.6%
	女性	526人	84.8%	4.8%	6.5%	4.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	46人	89.1%	2.2%	2.2%	6.5%
暮 ら し む せ	女性	18人	83.3%	5.6%	0.0%	11.1%
	単身世帯（一人暮らし）	126人	81.0%	4.8%	0.8%	13.5%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	94.7%	1.5%	0.0%	3.9%
	2世代世帯（親と子）	371人	92.5%	1.1%	1.6%	4.9%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	92.3%	0.0%	0.0%	7.7%
	その他	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	男性	65人	95.4%	0.0%	3.1%	1.5%
	たいへんゆとりがある	285人	91.9%	2.1%	2.5%	3.5%
	ややゆとりがある	870人	89.7%	3.1%	2.0%	5.3%
	ふつう	401人	86.3%	3.2%	4.7%	5.7%
職 業	女性	138人	66.7%	8.7%	15.2%	9.4%
	たいへんゆとりがある	30人	96.7%	0.0%	3.3%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	91.1%	3.2%	2.5%	3.2%
	ふつう	506人	87.5%	4.0%	3.2%	5.3%
	ややくるしい	220人	83.6%	5.0%	7.7%	3.6%
	たいへんくるしい	73人	58.9%	9.6%	27.4%	4.1%
	男性	34人	94.1%	0.0%	2.9%	2.9%
	たいへんゆとりがある	127人	92.9%	0.8%	2.4%	3.9%
	ややゆとりがある	358人	93.0%	2.0%	0.0%	5.0%
	ふつう	172人	90.1%	0.6%	1.2%	8.1%
学 歴	女性	65人	75.4%	7.7%	1.5%	15.4%
	たいへんくるしい	657人	91.6%	2.4%	3.0%	2.9%
	勤め人（正規社員・職員）	420人	83.1%	4.3%	7.9%	4.8%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	15人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	166人	89.2%	3.0%	2.4%	5.4%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	41人	90.2%	0.0%	0.0%	9.8%
	学生	476人	84.9%	4.2%	2.1%	8.8%
	無職（家事専業、定年後も含む）	16人	68.8%	0.0%	6.3%	25.0%
	その他	253人	90.1%	2.4%	5.1%	2.4%
	女性	318人	81.8%	5.3%	10.1%	2.8%
学 校	女性	13人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	68人	89.7%	4.4%	4.4%	1.5%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	24人	91.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	319人	83.1%	5.3%	3.1%	8.5%
	学生	7人	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%
	無職（家事専業、定年後も含む）	396人	92.9%	2.3%	1.5%	3.3%
	その他	99人	87.9%	1.0%	1.0%	10.1%
	男性	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勤め人（正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	96人	89.6%	2.1%	1.0%	7.3%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	16人	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%
大 学	女性	154人	88.3%	1.9%	0.0%	9.7%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	学生	111人	74.8%	5.4%	2.7%	17.1%
	無職（家事専業、定年後も含む）	510人	83.9%	5.1%	4.5%	6.5%
	その他	212人	86.3%	1.9%	5.7%	6.1%
	中学校	218人	86.2%	2.3%	6.0%	5.5%
	高等学校	637人	92.9%	2.7%	1.9%	2.5%
	専門学校など各種学校	75人	94.7%	0.0%	2.7%	2.7%
	短期大学・新制高等専門学校	51人	72.5%	5.9%	5.9%	15.7%
	大学	305人	80.7%	6.9%	7.5%	4.9%
大 学	女性	144人	86.1%	2.1%	8.3%	3.5%
	専門学校など各種学校	194人	85.6%	2.6%	6.2%	5.7%
	短期大学・新制高等専門学校	275人	91.3%	4.0%	2.5%	2.2%
	大学	20人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大学院	59人	76.3%	5.1%	0.0%	18.6%
	中学校	196人	89.8%	2.0%	0.0%	8.2%
	高等学校	66人	86.4%	1.5%	0.0%	12.1%
	専門学校など各種学校	23人	91.3%	0.0%	4.3%	4.3%
	短期大学・新制高等専門学校	358人	94.4%	1.7%	1.1%	2.8%
	大学	55人	92.7%	0.0%	3.6%	3.6%



受けたことがある

項 目		回 答 者 数	【問 1 1 (3) 】 配偶者等や交際相手からの暴力 (これまで) ④性的強要				回 答 者 数	【問 1 1 (3) 】 配偶者等や交際相手からの暴力 (この1年間) ④性的強要			
			ない	1～2回あ る	何回もある	無回答		ない	1～2回あ る	何回もある	無回答
全 体		1,800人	89.2%	2.9%	2.1%	5.8%	90人	77.8%	13.3%	2.2%	6.7%
性 別	女性	1,008人	86.7%	4.6%	3.7%	5.1%	83人	81.9%	10.8%	2.4%	4.8%
	男性	775人	92.5%	0.9%	0.0%	6.6%	7人	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%
年 代	答えたくない、わからない、その他	17人	88.2%	0.0%	0.0%	11.8%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18～29歳	95人	94.7%	1.1%	0.0%	4.2%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	30歳代	138人	94.9%	2.2%	0.7%	2.2%	4人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	161人	86.3%	3.1%	6.8%	3.7%	16人	68.8%	12.5%	12.5%	6.3%
男 性	50歳代	240人	88.8%	5.8%	3.8%	1.7%	23人	69.6%	21.7%	0.0%	8.7%
	60歳代	178人	78.7%	7.3%	8.4%	5.6%	28人	92.9%	3.6%	0.0%	3.6%
婚 姻 関 係	70歳以上	196人	82.1%	5.1%	0.5%	12.2%	11人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18～29歳	58人	93.1%	1.7%	0.0%	5.2%	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女 性	30歳代	91人	92.3%	1.1%	0.0%	6.6%	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	135人	94.1%	2.2%	0.0%	3.7%	3人	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
男 性	50歳代	147人	98.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	167人	92.2%	0.6%	0.0%	7.2%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家 族 構 成	70歳以上	177人	87.0%	0.6%	0.0%	12.4%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	92.5%	2.6%	1.9%	3.0%	58人	75.9%	17.2%	3.4%	3.4%
女 性	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	80.0%	5.1%	5.1%	9.7%	18人	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	81.7%	3.0%	1.2%	14.2%	14人	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%
男 性	結婚している又はパートナーがいる	714人	89.8%	4.3%	3.4%	2.5%	55人	80.0%	12.7%	3.6%	3.6%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	78.5%	5.4%	6.9%	9.2%	16人	93.8%	0.0%	0.0%	6.3%
家 族 構 成	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	80.1%	5.0%	2.5%	12.4%	12人	75.0%	16.7%	0.0%	8.3%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	96.1%	0.5%	0.0%	3.4%	3人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
女 性	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	84.1%	4.5%	0.0%	11.4%	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	82.9%	1.2%	0.0%	15.9%	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
男 性	単身世帯（一人暮らし）	253人	83.4%	2.4%	2.4%	11.9%	12人	91.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	92.2%	2.5%	2.1%	3.2%	22人	86.4%	9.1%	0.0%	4.5%
家 族 構 成	2世代世帯（親と子）	907人	90.1%	3.1%	2.2%	4.6%	48人	70.8%	18.8%	4.2%	6.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	89.7%	3.4%	0.0%	6.9%	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	その他	27人	81.5%	3.7%	0.0%	14.8%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	単身世帯（一人暮らし）	125人	82.4%	3.2%	4.8%	9.6%	10人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男 性	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	89.5%	4.5%	3.7%	2.2%	22人	86.4%	9.1%	0.0%	4.5%
	2世代世帯（親と子）	526人	86.9%	4.8%	3.8%	4.6%	45人	75.6%	13.3%	4.4%	6.7%
家 族 構 成	3世代世帯（親と子と孫）	46人	87.0%	6.5%	0.0%	6.5%	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	18人	83.3%	5.6%	0.0%	11.1%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	単身世帯（一人暮らし）	126人	84.9%	1.6%	0.0%	13.5%	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	96.1%	0.0%	0.0%	3.9%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男 性	2世代世帯（親と子）	371人	94.3%	0.8%	0.0%	4.9%	3人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	92.3%	0.0%	0.0%	7.7%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家 族 構 成	その他	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	たいへんゆとりがある	65人	95.4%	3.1%	0.0%	1.5%	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
女 性	ややゆとりがある	285人	92.6%	1.8%	1.8%	3.9%	10人	70.0%	10.0%	0.0%	20.0%
	ふつう	870人	90.9%	2.8%	1.0%	5.3%	33人	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%
男 性	ややゆるしい	401人	89.5%	3.2%	1.2%	6.0%	18人	72.2%	22.2%	0.0%	5.6%
	たいへんゆるしい	138人	71.7%	5.1%	13.0%	10.1%	25人	72.0%	12.0%	8.0%	8.0%
家 族 構 成	たいへんゆとりがある	30人	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	ややゆとりがある	157人	89.8%	3.2%	3.2%	3.8%	10人	70.0%	10.0%	0.0%	20.0%
女 性	ふつう	506人	88.3%	4.5%	1.8%	5.3%	32人	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%
	ややゆるしい	220人	88.6%	5.0%	2.3%	4.1%	16人	81.3%	12.5%	0.0%	6.3%
男 性	たいへんゆるしい	73人	64.4%	5.5%	24.7%	5.5%	22人	77.3%	9.1%	9.1%	4.5%
	たいへんゆとりがある	34人	97.1%	0.0%	0.0%	2.9%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家 族 構 成	ややゆとりがある	127人	96.1%	0.0%	0.0%	3.9%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ふつう	358人	94.7%	0.3%	0.0%	5.0%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	ややゆるしい	172人	90.7%	1.2%	0.0%	8.1%	2人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	たいへんゆるしい	65人	80.0%	4.6%	0.0%	15.4%	3人	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
男 性	勤め人（正規社員・職員）	657人	94.2%	2.3%	0.6%	2.9%	19人	73.7%	21.1%	0.0%	5.3%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	87.1%	4.5%	3.6%	4.8%	34人	82.4%	5.9%	2.9%	8.8%
家 族 構 成	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	91.6%	1.2%	1.2%	6.0%	4人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	学生	41人	90.2%	0.0%	0.0%	9.8%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	84.2%	3.4%	3.2%	9.2%	31人	74.2%	19.4%	3.2%	3.2%
男 性	その他	16人	68.8%	0.0%	6.3%	25.0%	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	91.3%	4.7%	1.6%	2.4%	16人	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
家 族 構 成	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	86.8%	5.7%	4.7%	2.8%	33人	84.8%	6.1%	3.0%	6.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	91.2%	2.9%	2.9%	2.9%	4人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学生	24人	91.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男 性	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	82.1%	4.1%	4.7%	9.1%	28人	75.0%	17.9%	3.6%	3.6%
	その他	7人	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
家 族 構 成	勤め人（正規社員・職員）	396人	96.0%	0.8%	0.0%	3.3%	3人	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	88.9%	1.0%	0.0%	10.1%	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女 性	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	92.7%	0.0%	0.0%	7.3%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男 性	学生	16人	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	88.3%	1.9%	0.0%	9.7%	3人	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
家 族 構 成	その他	9人	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学校	111人	76.6%	2.7%	0.9%	19.8%	4人	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%
女 性	高等学校	510人	86.9%	4.3%	2.2%	6.7%	33人	87.9%	9.1%	0.0%	3.0%
	専門学校など各種学校	212人	89.6%	0.9%	3.8%	5.7%	10人	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%
男 性	短期大学・新制高等専門学校	218人	85.3%	5.0%	4.6%	5.0%	21人	81.0%	4.8%	4.8%	9.5%
	大学	637人	94.5%	1.7%	1.1%	2.7%	18人	66.7%	27.8%	0.0%	5.6%
家 族 構 成	大学院	75人	94.7%	2.7%	0.0%	2.7%	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	中学校	51人	74.5%	2.0%	2.0%	21.6%	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女 性	高等学校	305人	83.9%	7.2%	3.6%	5.2%	33人	87.9%	9.1%	0.0%	3.0%
	専門学校など各種学校	144人	90.3%	1.4%	5.6%	2.8%	10人	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%
男 性	短期大学・新制高等専門学校	194人	84.0%	5.7%	5.2%	5.2%	21人	81.0%	4.8%	4.8%	9.5%
	大学	275人	92.0%	2.9%	2.5%	2.5%	15人	73.3%	20.0%	0.0%	6.7%
家 族 構 成	大学院	20人	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	中学校	59人	78.0%	3.4%	0.0%	18.6%	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女 性	高等学校	196人	91.8%	0.0%	0.0%	8.2%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	専門学校など各種学校	66人	87.9%	0.0%	0.0%	12.1%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男 性	短期大学・新制高等専門学校	23人	95.7%	0.0%	0.0%	4.3%	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大学	358人	96.4%	0.8%	0.0%	2.8%	3人	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
家 族 構 成	大学院	55人	94.5%	1.8%	0.0%	3.6%	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

受けたことがある

項 目		回 答 者 数	【問 1 2】配偶者等や交際相手からの暴力についての相談窓口の認知度							
			男女平等参 画推進セン ター（イー プルなごや 相談室）	配偶者暴力 相談支援セ ンター	警察署	法務局、人 権擁護委 員、法テラ ス	民間の団体 や専門機関 （弁護士 会、民間 シェルター など）	その他	相談できる 窓口は知ら ない	無回答
全 体		1,800人	10.1%	9.9%	63.7%	13.8%	22.9%	1.1%	21.7%	7.1%
性 別	女性	1,008人	11.6%	10.9%	64.6%	13.1%	25.7%	1.4%	19.9%	6.6%
	男性	775人	8.3%	8.8%	63.0%	15.0%	19.6%	0.5%	23.6%	7.5%
答えたくない、わからない、その他		17人	5.9%	5.9%	41.2%	5.9%	11.8%	5.9%	35.3%	11.8%
年 代	18～29歳	95人	12.6%	11.6%	64.2%	8.4%	17.9%	0.0%	15.8%	6.3%
	30歳代	138人	7.2%	8.0%	71.0%	14.5%	23.9%	2.2%	23.9%	1.4%
	40歳代	161人	14.3%	11.2%	66.5%	13.7%	34.8%	1.9%	17.4%	5.6%
	50歳代	240人	12.5%	11.7%	67.5%	18.8%	30.8%	1.7%	22.9%	1.7%
	60歳代	178人	10.7%	10.1%	64.6%	11.2%	24.7%	2.2%	20.2%	5.6%
	70歳以上	196人	11.7%	12.2%	55.1%	8.7%	17.9%	0.0%	17.3%	18.4%
	18～29歳	58人	10.3%	6.9%	58.6%	13.8%	17.2%	1.7%	32.8%	1.7%
	30歳代	91人	4.4%	13.2%	62.6%	13.2%	18.7%	0.0%	25.3%	6.6%
	40歳代	135人	5.2%	9.6%	68.1%	16.3%	21.5%	0.7%	25.9%	3.0%
	50歳代	147人	6.1%	4.8%	69.4%	11.6%	22.4%	0.0%	21.1%	3.4%
	60歳代	167人	11.4%	7.2%	62.9%	18.0%	19.8%	1.2%	18.6%	10.2%
	70歳以上	177人	10.7%	11.3%	55.4%	15.3%	16.9%	0.0%	24.9%	14.1%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	10.3%	10.3%	67.4%	14.0%	24.3%	0.9%	20.5%	5.3%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	9.7%	9.1%	50.9%	12.6%	17.1%	1.7%	24.0%	13.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	9.8%	9.2%	56.2%	13.9%	21.0%	1.2%	24.9%	10.4%
	結婚している又はパートナーがいる	714人	11.9%	10.8%	66.9%	12.5%	27.7%	1.3%	20.6%	4.5%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	11.5%	10.8%	53.1%	13.1%	16.2%	2.3%	21.5%	13.1%
	結婚しておらず、パートナーもいない	161人	10.6%	11.8%	64.0%	16.1%	24.8%	1.2%	15.5%	10.6%
	結婚している又はパートナーがいる	561人	8.2%	9.6%	68.1%	16.0%	20.0%	0.4%	20.7%	6.2%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	4.5%	4.5%	45.5%	11.4%	20.5%	0.0%	29.5%	13.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	9.4%	7.1%	50.6%	12.4%	18.2%	1.2%	31.8%	10.0%
	単身世帯（一人暮らし）	253人	9.9%	9.9%	54.2%	15.0%	18.2%	2.0%	24.9%	9.5%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	10.3%	8.8%	64.6%	15.6%	20.8%	0.8%	21.3%	7.2%
	2世代世帯（親と子）	907人	9.7%	10.3%	66.8%	13.2%	26.0%	0.9%	21.4%	5.2%
	3世代世帯（親と子と孫）	87人	9.2%	10.3%	63.2%	9.2%	20.7%	2.3%	17.2%	11.5%
家 族 構 成	その他	27人	11.1%	14.8%	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%	14.8%	14.8%
	単身世帯（一人暮らし）	125人	12.0%	12.0%	60.0%	18.4%	21.6%	3.2%	19.2%	8.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	11.6%	10.1%	61.8%	11.6%	23.2%	1.1%	23.2%	6.0%
	2世代世帯（親と子）	526人	11.0%	10.3%	67.9%	12.9%	28.1%	1.1%	19.4%	5.3%
	3世代世帯（親と子と孫）	46人	13.0%	15.2%	71.7%	10.9%	30.4%	2.2%	8.7%	13.0%
	その他	18人	16.7%	22.2%	50.0%	11.1%	27.8%	0.0%	11.1%	22.2%
	単身世帯（一人暮らし）	126人	7.9%	7.9%	49.2%	11.9%	15.1%	0.8%	29.4%	11.1%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	8.7%	7.3%	68.4%	20.9%	18.0%	0.5%	18.4%	8.7%
	2世代世帯（親と子）	371人	8.1%	10.5%	66.0%	13.7%	23.2%	0.3%	24.0%	4.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	39人	2.6%	2.6%	53.8%	7.7%	10.3%	2.6%	28.2%	10.3%
	その他	9人	0.0%	0.0%	66.7%	11.1%	44.4%	0.0%	22.2%	0.0%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	8.7%	7.3%	68.4%	20.9%	18.0%	0.5%	18.4%	8.7%
暮 ら し む せ	たいへんゆとりがある	65人	7.7%	4.6%	69.2%	16.9%	29.2%	0.0%	16.9%	4.6%
	ややゆとりがある	285人	11.9%	13.7%	71.9%	16.1%	27.0%	2.1%	13.7%	5.6%
	ふつう	870人	10.1%	9.8%	66.0%	13.0%	23.1%	0.9%	20.9%	6.2%
	ややくるしい	401人	9.2%	7.2%	59.4%	15.5%	22.2%	0.7%	24.9%	8.7%
	たいへんくるしい	138人	7.2%	13.0%	44.9%	10.1%	16.7%	1.4%	34.1%	9.4%
	たいへんゆとりがある	30人	10.0%	6.7%	73.3%	13.3%	36.7%	0.0%	10.0%	3.3%
	ややゆとりがある	157人	14.6%	15.3%	73.2%	10.8%	31.2%	2.5%	10.8%	4.5%
	ふつう	506人	11.5%	10.7%	65.4%	13.0%	24.5%	1.4%	19.8%	6.5%
	ややくるしい	220人	10.0%	6.8%	63.6%	16.4%	28.2%	0.5%	23.2%	7.3%
	たいへんくるしい	73人	9.6%	16.4%	45.2%	11.0%	13.7%	2.7%	32.9%	8.2%
	たいへんゆとりがある	34人	5.9%	2.9%	67.6%	20.6%	23.5%	0.0%	23.5%	2.9%
	ややゆとりがある	127人	8.7%	11.8%	70.9%	22.8%	22.0%	1.6%	17.3%	6.3%
職 業	ふつう	358人	8.4%	8.7%	67.0%	13.1%	21.2%	0.3%	22.1%	5.9%
	ややくるしい	172人	8.1%	7.6%	54.7%	14.5%	15.1%	0.6%	26.7%	11.0%
	たいへんくるしい	65人	4.6%	9.2%	44.6%	9.2%	20.0%	0.0%	35.4%	10.8%
	勤め人（正規社員・職員）	657人	9.0%	9.0%	68.5%	14.5%	24.7%	1.1%	21.6%	3.0%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	11.4%	11.4%	62.1%	16.0%	23.3%	0.5%	24.3%	6.9%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	6.7%	6.7%	73.3%	6.7%	20.0%	0.0%	20.0%	6.7%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	9.6%	9.6%	65.7%	14.5%	25.9%	1.2%	21.7%	5.4%
	学生	41人	12.2%	14.6%	58.5%	14.6%	14.6%	0.0%	12.2%	9.8%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	10.9%	10.1%	59.9%	10.9%	19.7%	1.7%	20.0%	11.3%
	その他	16人	6.3%	6.3%	31.3%	12.5%	25.0%	0.0%	37.5%	31.3%
	勤め人（正規社員・職員）	253人	12.3%	9.5%	70.4%	14.6%	30.8%	2.0%	18.6%	2.4%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	11.6%	11.9%	64.2%	16.7%	25.5%	0.6%	23.6%	5.0%
学 歴	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	7.7%	7.7%	76.9%	7.7%	23.1%	0.0%	15.4%	7.7%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	7.4%	11.8%	60.3%	10.3%	25.0%	2.9%	27.9%	2.9%
	学生	24人	16.7%	20.8%	66.7%	12.5%	16.7%	0.0%	0.0%	12.5%
	無職（家事専業、定年後も含む）	319人	11.9%	10.7%	62.7%	8.8%	22.6%	1.6%	16.9%	10.7%
	その他	7人	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	42.9%
	勤め人（正規社員・職員）	396人	6.8%	8.8%	67.7%	14.4%	21.0%	0.5%	23.2%	3.5%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	11.1%	10.1%	56.6%	14.1%	16.2%	0.0%	25.3%	13.1%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	11.5%	7.3%	68.8%	17.7%	27.1%	0.0%	17.7%	7.3%
	学生	16人	6.3%	6.3%	50.0%	18.8%	12.5%	0.0%	25.0%	6.3%
	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	9.1%	9.1%	55.2%	15.6%	14.3%	1.3%	26.6%	11.7%
	その他	9人	0.0%	11.1%	44.4%	11.1%	33.3%	0.0%	33.3%	22.2%
性 別	中学校	111人	7.2%	9.9%	43.2%	6.3%	9.9%	0.0%	30.6%	21.6%
	高等学校	510人	9.8%	9.0%	57.5%	11.4%	21.2%	1.2%	23.7%	9.8%
	専門学校など各種学校	212人	5.7%	11.8%	60.8%	11.8%	18.4%	1.4%	25.0%	5.7%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	12.4%	11.0%	68.3%	11.5%	27.5%	2.3%	18.3%	6.0%
	大学	637人	10.8%	9.6%	71.3%	18.1%	27.2%	0.6%	18.7%	3.5%
	大学院	75人	10.7%	9.3%	68.0%	22.7%	25.3%	1.3%	18.7%	2.7%
	中学校	51人	7.8%	13.7%	43.1%	7.8%	7.8%	0.0%	27.5%	21.6%
	高等学校	305人	10.5%	10.2%	60.7%	11.8%	25.2%	1.3%	20.7%	8.9%
	専門学校など各種学校	144人	6.3%	11.8%	61.8%	12.5%	19.4%	2.1%	24.3%	4.2%
	短期大学、新制高等専門学校	194人	12.4%	10.8%	67.5%	10.8%	27.3%	2.6%	18.6%	6.2%
	大学	275人	14.2%	11.3%	72.7%	17.5%	31.3%	0.7%	16.4%	3.3%
	大学院	20人	25.0%	5.0%	70.0%	25.0%	45.0%	0.0%	15.0%	0.0%
性 別	中学校	59人	6.8%	6.8%	42.4%	5.1%	10.2%	0.0%	33.9%	22.0%
	高等学校	196人	9.2%	7.7%	53.6%	10.7%	15.3%	0.5%	27.6%	11.2%
	専門学校など各種学校	66人	3.0%	10.6%	59.1%	10.6%	16.7%	0.0%	27.3%	9.1%
	短期大学、新制高等専門学校	23人	13.0%	13.0%	73.9%	17.4%	30.4%	0.0%	17.4%	4.3%
	大学	358人	8.4%	8.4%	70.7%	18.7%	24.3%	0.6%	20.1%	3.4%
性 別	大学院	55人	5.5%	10.9%	67.3%	21.8%	18.2%	1.8%	20.0%	3.6%

項目		回答者数	【関13】言葉の認知度 (4) セクシュアル・マイノリティ				【関13】言葉の認知度 (5) カミングアウト				【関13】言葉の認知度 (6) アウティング				
			言葉とその内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよくわからない	言葉を知らない	無回答	言葉とその内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよくわからない	言葉を知らない	無回答	言葉とその内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよくわからない	言葉を知らない	無回答	
全体		1,800人	67.1%	20.8%	8.4%	3.8%	74.4%	14.8%	7.1%	3.7%	24.6%	14.8%	56.7%	3.9%	
性別	女性	1,008人	68.3%	20.2%	8.0%	3.5%	78.7%	11.9%	6.1%	3.4%	24.4%	15.1%	56.7%	3.8%	
	男性	775人	65.4%	21.4%	9.0%	4.1%	69.3%	18.3%	8.4%	4.0%	24.8%	14.5%	56.6%	4.1%	
答えたくない、わからない、その他		17人	70.6%	23.5%	0.0%	5.9%	58.8%	23.5%	11.8%	5.9%	23.5%	11.8%	58.8%	5.9%	
年代	女性	18～29歳	95人	83.2%	10.5%	5.3%	1.1%	86.3%	8.4%	4.2%	1.1%	29.5%	16.8%	52.6%	1.1%
		30歳代	138人	83.3%	14.5%	1.4%	0.7%	92.8%	3.6%	2.9%	0.7%	40.6%	15.9%	42.8%	0.7%
		40歳代	161人	75.8%	16.1%	6.2%	1.9%	86.3%	8.7%	3.1%	1.9%	26.7%	17.4%	54.0%	1.9%
		50歳代	240人	75.4%	17.9%	4.6%	2.1%	89.2%	8.3%	1.3%	1.3%	28.3%	18.3%	52.1%	1.3%
		60歳代	178人	60.1%	27.5%	10.1%	2.2%	75.8%	15.2%	6.7%	2.2%	20.8%	10.7%	65.7%	2.8%
	男性	70歳以上	196人	42.9%	28.6%	17.9%	10.7%	48.5%	23.5%	16.8%	11.2%	7.1%	11.7%	68.4%	12.8%
		18～29歳	58人	79.3%	12.1%	8.6%	0.0%	75.9%	13.8%	10.3%	0.0%	29.3%	3.4%	67.2%	0.0%
		30歳代	91人	70.3%	20.9%	7.7%	1.1%	75.8%	17.6%	4.4%	2.2%	27.5%	22.0%	49.5%	1.1%
		40歳代	135人	71.9%	20.0%	8.1%	0.0%	78.5%	16.3%	5.2%	0.0%	29.6%	13.3%	57.0%	0.0%
		50歳代	147人	75.5%	19.0%	2.7%	2.7%	82.3%	12.9%	2.7%	2.0%	27.9%	15.6%	54.4%	2.0%
婚姻関係	女性	60歳代	167人	63.5%	22.8%	9.0%	4.8%	67.7%	19.2%	9.0%	4.2%	26.9%	13.8%	54.5%	4.8%
		70歳以上	177人	46.9%	26.6%	15.8%	10.7%	47.5%	25.4%	16.4%	10.7%	13.6%	14.7%	60.5%	11.3%
		結婚している又はパートナーがいる	1,284人	68.1%	20.8%	8.1%	3.0%	75.9%	14.3%	6.9%	3.0%	24.1%	15.0%	57.9%	3.0%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	48.6%	27.4%	13.7%	10.3%	59.4%	20.0%	10.9%	9.7%	16.6%	14.3%	57.7%	11.4%
		結婚しておらず、パートナーもいない	338人	72.5%	17.5%	6.8%	3.3%	76.6%	14.2%	6.2%	3.0%	30.8%	13.9%	52.1%	3.3%
	男性	結婚している又はパートナーがいる	714人	69.0%	20.4%	8.0%	2.5%	80.1%	11.2%	6.2%	2.5%	23.2%	14.8%	59.2%	2.7%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	48.5%	29.2%	13.1%	9.2%	63.8%	19.2%	8.5%	8.5%	14.6%	15.4%	59.2%	10.8%
		結婚しておらず、パートナーもいない	161人	80.7%	12.4%	4.3%	2.5%	84.5%	9.3%	3.7%	2.5%	37.9%	15.5%	44.1%	2.5%
		結婚している又はパートナーがいる	561人	66.8%	21.2%	8.4%	3.6%	70.8%	18.0%	7.7%	3.6%	25.1%	15.5%	55.8%	3.6%
		結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	47.7%	22.7%	15.9%	13.6%	45.5%	22.7%	18.2%	13.6%	20.5%	11.4%	54.5%	13.6%
家族構成	女性	結婚しておらず、パートナーもいない	170人	65.3%	21.8%	9.4%	3.5%	70.6%	18.2%	8.2%	2.9%	24.7%	11.8%	60.0%	3.5%
		単身世帯（一人暮らし）	253人	58.5%	23.3%	10.3%	7.9%	67.6%	18.6%	6.7%	7.1%	28.5%	11.5%	52.2%	7.9%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	475人	65.5%	21.3%	9.5%	3.8%	68.4%	17.7%	9.9%	4.0%	21.9%	15.2%	59.2%	3.8%
		2世代世帯（親と子）	907人	72.3%	18.9%	6.7%	2.1%	80.6%	11.9%	5.5%	2.0%	25.2%	15.9%	56.9%	2.0%
		3世代世帯（親と子と孫）	87人	56.3%	28.7%	6.9%	8.0%	70.1%	13.8%	8.0%	8.0%	19.5%	14.9%	54.0%	11.5%
	男性	その他	27人	59.3%	29.6%	11.1%	0.0%	74.1%	18.5%	7.4%	0.0%	37.0%	7.4%	55.6%	0.0%
		単身世帯（一人暮らし）	125人	61.6%	24.0%	6.4%	8.0%	75.2%	16.0%	2.4%	6.4%	32.0%	9.6%	51.2%	7.2%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	267人	62.9%	23.2%	10.9%	3.0%	71.2%	15.7%	9.7%	3.4%	22.5%	14.6%	59.9%	3.0%
		2世代世帯（親と子）	526人	74.5%	16.9%	6.5%	2.1%	84.8%	8.7%	4.4%	2.1%	24.9%	16.9%	56.1%	2.1%
		3世代世帯（親と子と孫）	46人	56.5%	28.3%	6.5%	8.7%	71.7%	8.7%	10.9%	8.7%	17.4%	13.0%	54.3%	15.2%
暮らしむき	女性	その他	18人	61.1%	27.8%	11.1%	0.0%	77.8%	16.7%	5.6%	0.0%	27.8%	11.1%	61.1%	0.0%
		単身世帯（一人暮らし）	126人	55.6%	23.0%	14.3%	7.1%	60.3%	21.4%	11.1%	7.1%	24.6%	13.5%	54.0%	7.9%
		1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	206人	68.4%	18.9%	7.8%	4.9%	64.6%	20.4%	10.2%	4.9%	21.4%	16.0%	57.8%	4.9%
		2世代世帯（親と子）	371人	69.3%	21.3%	7.3%	2.2%	75.5%	15.9%	6.7%	1.9%	25.9%	14.3%	58.0%	1.9%
		3世代世帯（親と子と孫）	39人	56.4%	28.2%	7.7%	7.7%	69.2%	17.9%	5.1%	7.7%	20.5%	17.9%	53.8%	7.7%
	男性	その他	9人	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	55.6%	0.0%	44.4%	0.0%
		たいへんゆとりがある	65人	78.5%	15.4%	4.6%	1.5%	80.0%	10.8%	7.7%	1.5%	27.7%	20.0%	50.8%	1.5%
		ややゆとりがある	285人	81.1%	14.4%	2.1%	2.5%	83.2%	10.2%	3.9%	2.8%	31.9%	15.4%	49.5%	3.2%
		ふつう	870人	65.7%	22.9%	8.4%	3.0%	73.7%	15.7%	7.6%	3.0%	22.6%	15.1%	59.0%	3.3%
		ややくるしい	401人	64.1%	20.7%	10.5%	4.7%	73.1%	16.5%	6.2%	4.2%	24.2%	13.7%	58.4%	3.7%
職業	女性	たいへんくるしい	138人	55.8%	23.2%	13.8%	7.2%	68.1%	13.8%	11.6%	6.5%	22.5%	13.0%	56.5%	8.0%
		たいへんゆとりがある	30人	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%	83.3%	6.7%	10.0%	0.0%	23.3%	30.0%	46.7%	0.0%
		ややゆとりがある	157人	81.5%	14.0%	3.2%	1.3%	86.6%	8.9%	2.5%	1.9%	29.9%	15.9%	52.2%	1.9%
		ふつう	506人	67.6%	21.7%	7.1%	3.6%	77.9%	13.0%	5.7%	3.4%	22.9%	14.8%	58.5%	3.8%
		ややくるしい	220人	66.8%	18.6%	10.9%	3.6%	80.5%	10.9%	5.5%	3.2%	26.4%	12.7%	57.7%	3.2%
	男性	たいへんくるしい	73人	54.8%	26.0%	13.7%	5.5%	68.5%	12.3%	13.7%	5.5%	21.9%	15.1%	56.2%	6.8%
		たいへんゆとりがある	34人	82.4%	11.8%	2.9%	2.9%	79.4%	11.8%	5.9%	2.9%	32.4%	11.8%	52.9%	2.9%
		ややゆとりがある	127人	80.3%	15.0%	0.8%	3.9%	78.7%	11.8%	5.5%	3.9%	33.9%	15.0%	46.5%	4.7%
		ふつう	358人	62.8%	24.6%	10.3%	2.2%	68.2%	19.3%	10.1%	2.5%	22.3%	15.1%	59.8%	2.8%
		ややくるしい	172人	61.0%	22.7%	10.5%	5.8%	64.0%	23.8%	7.0%	5.2%	21.5%	15.7%	58.7%	4.1%
学歴	女性	たいへんくるしい	65人	56.9%	20.0%	13.8%	9.2%	67.7%	15.4%	9.2%	7.7%	23.1%	10.8%	56.9%	9.2%
		勤め人（正規社員・職員）	657人	76.9%	16.1%	5.5%	1.5%	82.2%	11.7%	4.9%	1.2%	30.6%	15.4%	53.0%	1.1%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	61.7%	23.6%	10.7%	4.0%	72.9%	16.0%	7.4%	3.8%	21.0%	16.2%	58.8%	4.0%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	46.7%	6.7%	46.7%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	67.5%	21.1%	8.4%	3.0%	80.1%	13.9%	3.0%	3.0%	24.1%	14.5%	57.8%	3.6%
	男性	学生	41人	92.7%	4.9%	2.4%	0.0%	90.2%	7.3%	2.4%	0.0%	31.7%	19.5%	48.8%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	476人	57.4%	25.2%	10.9%	6.5%	62.8%	18.7%	11.8%	6.7%	19.1%	12.4%	60.9%	7.6%
		その他	16人	31.3%	50.0%	6.3%	12.5%	62.5%	18.8%	6.3%	12.5%	12.5%	18.8%	56.3%	12.5%
		勤め人（正規社員・職員）	253人	81.8%	12.6%	4.0%	1.6%	89.7%	4.7%	4.3%	1.2%	34.0%	13.4%	51.4%	1.2%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	67.6%	20.4%	9.4%	2.5%	79.9%	13.5%	4.4%	2.2%	22.6%	17.9%	56.9%	2.5%
学歴	女性	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	10人	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	46.2%	7.7%	46.2%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	73.5%	17.6%	7.4%	1.5%	91.2%	4.4%	2.9%	1.5%	27.9%	8.8%	61.8%	1.5%
		学生	24人	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	29.2%	29.2%	41.7%	0.0%
		無職（家事専業、定年後も含む）	319人	55.8%	27.3%	11.0%	6.0%	66.1%	16.9%	10.7%	6.3%	17.6%	13.8%	61.4%	7.2%
		その他	7人	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%
	男性	勤め人（正規社員・職員）	396人	73.5%	18.4%	6.6%	1.5%	77.8%	15.9%	5.1%	1.3%	28.5%	16.4%	54.0%	1.0%
		勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	43.4%	33.3%	15.2%	8.1%	50.5%	24.2%	17.2%	8.1%	15.2%	11.1%	65.7%	8.1%
		勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
		会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	63.5%	22.9%	9.4%	4.2%	72.9%	19.8%	3.1%	4.2%	21.9%	18.8%	54.2%	5.2%
		学生	16人	87.5%	6.3%	6.3%	0.0%	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	37.5%	6.3%	56.3%	0.0%
学歴	女性	無職（家事専業、定年後も含む）	154人	60.4%	20.8%	11.0%	7.8%	55.8%	22.1%	14.3%	7.8%	22.1%	9.7%	59.7%	8.4%
		その他	9人	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%
		中学校	111人	34.2%	22.5%	26.1%	17.1%	45.9%	21.6%	14.4%	18.0%	11.7%	11.7%	60.4%	16.2%
		高等学校	510人	52.9%	30.0%	11.8%	5.3%	65.3%	19.2%	11.0%	4.5%	15.9%	13.5%	65.3%	5.3%
		専門学校など各種学校	212人	66.5%	21.7%	9.0%	2.8%	75.5%	15.1%	6.6%	2.8%	18.4%	19.3%	59.0%	3.3%
	男性	短期大学、新制高等専門学校	218人	71.6%	19.3%	6.9%	2.3%	79.8%	11.9%	6.0%	2.3%	21.1%	19.3%	56.9%	2.8%
		大学	637人	81.3%	14.8%	2.8%	1.1%	83.2%	11.9%	3.6%	1.3%	35.9%	13.3%	49.5%	1.3%
		大学院	75人	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%	94.7%	2.7%	2.7%	0.0%	36.0%	14.7%	49.3%	0.0%
		中学校	51人	31.4%	17.6%	31.4%	19.6%	39.2%	21.6%	17.6%	21.6%	9.8%	5.9%	64.7%	19.6%
		高等学校	305人	54.8%	29.5%	11.1%	4.6%	71.8%	16.1%	8.2%	3.9%	17.4%	14.1%	63.6%	4.9%
学歴	女性	専門学校など各種学校	144人	66.											

項 目		回 答 者 数	【問 1 4】ファミリーシップ制度の認知度			
			制度がある こととその 内容も知っ ている	制度がある ことは知っ ているが、 内容はよく わからない	制度がある ことを知ら ない	無回答
全 体		1,800人	5.9%	23.8%	68.9%	1.3%
性 別	女性	1,008人	5.5%	24.6%	68.7%	1.3%
	男性	775人	6.7%	22.8%	69.2%	1.3%
答えたくない、わからない、その他		17人	0.0%	17.6%	76.5%	5.9%
年 代	18～29歳	95人	10.5%	16.8%	70.5%	2.1%
	30歳代	138人	5.8%	24.6%	69.6%	0.0%
	40歳代	161人	5.6%	24.2%	70.2%	0.0%
	50歳代	240人	6.3%	24.6%	69.2%	0.0%
	60歳代	178人	4.5%	29.2%	65.7%	0.6%
	70歳以上	196人	2.6%	24.5%	67.9%	5.1%
	18～29歳	58人	8.6%	12.1%	79.3%	0.0%
	30歳代	91人	4.4%	22.0%	73.6%	0.0%
	40歳代	135人	8.1%	15.6%	75.6%	0.7%
	50歳代	147人	8.8%	21.1%	68.7%	1.4%
	60歳代	167人	8.4%	24.0%	66.5%	1.2%
	70歳以上	177人	2.8%	32.8%	61.6%	2.8%
婚 姻 関 係	結婚している又はパートナーがいる	1,284人	5.3%	24.9%	68.7%	1.1%
	結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	175人	1.7%	24.0%	70.9%	3.4%
	結婚しておらず、パートナーもいない	338人	10.7%	19.5%	68.9%	0.9%
	女性 結婚している又はパートナーがいる	714人	4.5%	25.5%	69.2%	0.8%
	女性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	130人	1.5%	25.4%	70.0%	3.1%
	女性 結婚しておらず、パートナーもいない	161人	13.0%	20.5%	65.2%	1.2%
	男性 結婚している又はパートナーがいる	561人	6.4%	24.1%	68.3%	1.2%
	男性 結婚していた又はパートナーがいたが、離別・死別した	44人	2.3%	20.5%	72.7%	4.5%
	男性 結婚しておらず、パートナーもいない	170人	8.8%	19.4%	71.2%	0.6%
	結婚しておらず、パートナーもいない	253人	5.9%	22.1%	69.6%	2.4%
家 族 構 成	単身世帯（一人暮らし）	475人	5.9%	23.6%	69.1%	1.5%
	1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	907人	6.0%	23.7%	69.8%	0.6%
	2世代世帯（親と子）	87人	5.7%	25.3%	64.4%	4.6%
	3世代世帯（親と子と孫）	27人	11.1%	29.6%	59.3%	0.0%
	その他	125人	5.6%	25.6%	66.4%	2.4%
	女性 単身世帯（一人暮らし）	267人	5.2%	22.8%	70.8%	1.1%
	女性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	526人	6.1%	24.5%	68.8%	0.6%
	女性 2世代世帯（親と子）	46人	2.2%	23.9%	67.4%	6.5%
	女性 3世代世帯（親と子と孫）	18人	5.6%	38.9%	55.6%	0.0%
	女性 その他	126人	6.3%	19.0%	72.2%	2.4%
	男性 単身世帯（一人暮らし）	206人	6.8%	24.8%	66.5%	1.9%
	男性 1世代世帯（夫婦（カップル）だけ）	371人	5.9%	22.9%	70.9%	0.3%
	男性 2世代世帯（親と子）	39人	10.3%	23.1%	64.1%	2.6%
	男性 3世代世帯（親と子と孫）	9人	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%
	男性 その他	65人	6.2%	24.6%	67.7%	1.5%
暮 ら し 方	たいへんゆとりがある	285人	10.5%	23.5%	65.3%	0.7%
	ややゆとりがある	870人	5.9%	23.0%	69.7%	1.5%
	ふつう	401人	3.2%	24.7%	70.8%	1.2%
	ややくるしい	138人	5.1%	25.4%	69.6%	0.0%
	たいへんくるしい	30人	3.3%	36.7%	60.0%	0.0%
	女性 たいへんゆとりがある	157人	10.2%	22.9%	66.9%	0.0%
	女性 ややゆとりがある	506人	5.5%	24.1%	68.8%	1.6%
	女性 ふつう	220人	2.7%	25.0%	70.9%	1.4%
	女性 ややくるしい	73人	5.5%	24.7%	69.9%	0.0%
	女性 たいへんくるしい	34人	8.8%	11.8%	76.5%	2.9%
	男性 たいへんゆとりがある	127人	11.0%	24.4%	63.0%	1.6%
	男性 ややゆとりがある	358人	6.4%	21.8%	70.4%	1.4%
	男性 ふつう	172人	4.1%	24.4%	70.9%	0.6%
	男性 ややくるしい	65人	4.6%	26.2%	69.2%	0.0%
職 業	勤め人（正規社員・職員）	657人	7.6%	19.2%	72.6%	0.6%
	勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	420人	5.5%	25.7%	68.1%	0.7%
	勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	15人	0.0%	26.7%	73.3%	0.0%
	会社経営者・自営業主または家族従業員	166人	4.8%	21.1%	72.9%	1.2%
	学生	41人	12.2%	17.1%	68.3%	2.4%
	無職（家事専業、定年後も含む）	476人	4.0%	30.0%	63.9%	2.1%
	その他	16人	12.5%	12.5%	62.5%	12.5%
	女性 勤め人（正規社員・職員）	253人	7.9%	20.2%	71.5%	0.4%
	女性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	318人	4.7%	26.1%	68.9%	0.3%
	女性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	13人	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%
	女性 会社経営者・自営業主または家族従業員	68人	7.4%	20.6%	72.1%	0.0%
	女性 学生	24人	12.5%	16.7%	66.7%	4.2%
	女性 無職（家事専業、定年後も含む）	319人	3.1%	28.2%	66.5%	2.2%
	女性 その他	7人	28.6%	0.0%	57.1%	14.3%
	男性 勤め人（正規社員・職員）	396人	7.6%	18.7%	73.0%	0.8%
	男性 勤め人（非正規社員・職員、臨時、パート、派遣、アルバイト等）	99人	8.1%	25.3%	64.6%	2.0%
	男性 勤め人で休業中（育児休業、介護休業等）	2人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	男性 会社経営者・自営業主または家族従業員	96人	3.1%	20.8%	74.0%	2.1%
	男性 学生	16人	12.5%	18.8%	68.8%	0.0%
	男性 無職（家事専業、定年後も含む）	154人	5.8%	33.8%	59.1%	1.3%
	男性 その他	9人	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%
学 歴	中学校	111人	2.7%	29.7%	63.1%	4.5%
	高等学校	510人	4.3%	22.4%	71.8%	1.6%
	専門学校など各種学校	212人	5.2%	28.8%	64.6%	1.4%
	短期大学、新制高等専門学校	218人	4.1%	29.8%	65.1%	0.9%
	大学	637人	8.6%	21.4%	69.4%	0.6%
	大学院	75人	6.7%	13.3%	80.0%	0.0%
	女性 中学校	51人	3.9%	19.6%	70.6%	5.9%
	女性 高等学校	305人	4.3%	23.0%	71.5%	1.3%
	女性 専門学校など各種学校	144人	5.6%	30.6%	63.2%	0.7%
	女性 短期大学、新制高等専門学校	194人	4.1%	28.4%	66.5%	1.0%
	女性 大学	275人	8.4%	22.9%	68.0%	0.7%
	女性 大学院	20人	5.0%	5.0%	90.0%	0.0%
	男性 中学校	59人	1.7%	39.0%	55.9%	3.4%
	男性 高等学校	196人	4.6%	21.9%	71.9%	1.5%
	男性 専門学校など各種学校	66人	4.5%	22.7%	69.7%	3.0%
	男性 短期大学、新制高等専門学校	23人	4.3%	43.5%	52.2%	0.0%
	男性 大学	358人	8.9%	20.4%	70.1%	0.6%
	男性 大学院	55人	7.3%	16.4%	76.4%	0.0%

第 10 回男女平等参画基礎調査報告書

令和 7 (2025) 年 3 月

執 筆 名古屋市男女平等参画審議会基礎調査部会（五十音順）

新井 美佐子

風間 孝（部会長）

桑島 薫

菅原 真

野崎 祐子

発 行 名古屋市スポーツ市民局市民生活部男女平等参画推進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

電話 052-972-2234 FAX 052-972-4206

発行部数 200 部

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。